
土 木 学 会 認 定 C P D プ ロ グ ラ ム

土木学会 平成23年度全国大会 案内

Japan Society of Civil Engineers 2011 Annual Meeting

大会テーマ

今一度、土木の原点に ～誇れる日本、住みよいまちへ～

日時：平成23年9月7日（水）～9日（金） 於：愛媛大学城北キャンパス、松山市民会館等

9月8日（木）愛媛大学城北キャンパスより松山市民会館への移動はお早めに伊予鉄道市内電車（路面）をご利用ください。

伊予鉄道市内電車（路面）の利用についてご都合のあわない際はシャトルバスをご利用ください。
11時55分から13時30まで愛媛大学城北キャンパス正門から松山市民会館までシャトルバスを運行いたします。詳細は、当日配布のチラシと携帯用サイトをご覧ください。

全国大会情報

<http://www.jsce.or.jp/taikai2011/>

なお大会期間前後に携帯用サイトを開設します。

<http://www.jsce.or.jp/taikai2011/m/>

（パケット通信料は、利用者の負担となります。情報料はかかりません。）

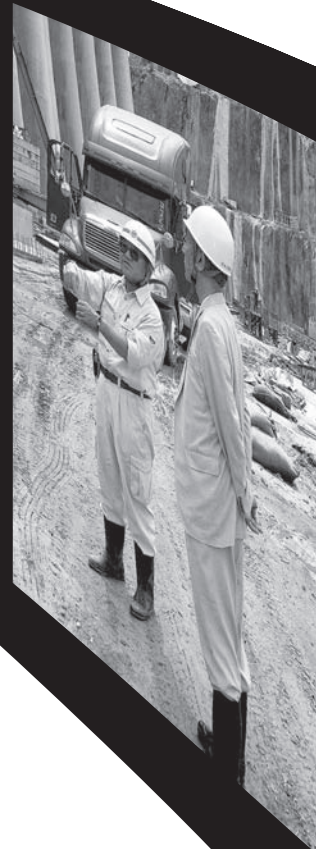


掲載情報が変更になっている場合がございますので、ホームページもあわせてご確認ください。

NIPPON KOEI



***Challenging mind,
Changing dynamics***



地球上のいくつかの国で
65年間、
注いできた、仕事への情熱。
紡いできた、人と人との堅い絆。
今までも、そして、これからも。

2011年、日本工営株式会社は65周年を迎えました。これまでに国内のフィールドを始め、海外では異なる文化の中で、独自の歴史を持つ人々と言葉を重ね、物を造り、共に仕事をしてきました。発電水力、電力送配電、農業開発、河川砂防、交通網の整備、都市・地域開発、環境保全など、その地で暮らす人々と喜びを分かち合える仕事に力を尽くしてきました。これからも、国や地域の発展のため、技術の向上に努めるとともに、次代の基幹技術を開発し、これまでの経験を活かして多様な仕事に挑んでいきます。

日本工営株式会社
<http://www.n-koei.co.jp/>



「土木学会全国大会案内」

平成23年9月7日(水)～9日(金) 於：愛媛大学城北キャンパス、松山市民会館等

大会テーマ：「今一度、土木の原点に
～誇れる日本、住みよいまちへ～」

CONTENTS

◆挨拶・講師等のプロフィール

挨拶 土木学会平成23年度全国大会を迎えて	4
東日本大震災シンポジウム	
基調講演会・会長講演	5
特別講演・パネルディスカッション	6

◆全国大会会場案内・大会行事

会場所在地(広域図)	8
愛媛大学城北キャンパス会場図	9
交流会会場	10
土木コレクション2011会場	10
行事案内	11
(1) 東日本大震災関係シンポジウム	12
(基調講演会、パネルディスカッション)	
(2) 第66回年次学術講演会	12
(3) 研究討論会	12
(4) 全国大会パネル展示	12
(5) 土木コレクション2011 (パネル展示)	12
(6) 交流会(学生を含む)	13
(7) International Programs (国際関連行事)	13
(8) 映画会	13
(9) 百周年記念討論会	13
(10) アンサンブルシヴィル演奏	14
一時保育のご案内	15
年次学術講演会講演要領	15
演題発表に関わる注意事項【重要】	15
ウイルス対策について	16
土木学会年次学術講演会優秀講演者表彰制度について	16

◆研究討論会等内容紹介

研究討論会一覧	17
---------------	----

◆第66回年次学術講演会プログラム

第66回年次学術講演会会場および座長(予定者)一覧表	22
第Ⅰ部門	24
第Ⅱ部門	36
第Ⅲ部門	41
第Ⅳ部門	49
第Ⅴ部門	54
第Ⅵ部門	65
第Ⅶ部門	73
共通セッション	77

挨拶・講師等のプロフィール

挨拶 土木学会平成23年度全国大会を迎えて

「今一度、土木の原点に
～誇れる日本、住みよいまちへ～」

川崎 正彦

KAWASAKI Masahiko

全国大会実行委員長

国土交通省 四国地方整備局長

平成23年度土木学会全国大会を、9月7日(水)から9日(金)までの3日間、愛媛大学城北キャンパスを主会場として開催させていただくこととなりました。

四国での開催は、平成15年以来8年ぶりとなりますが、学会最大の行事である全国大会をこの地で開催することは、四国の社会資本整備を担う四国地方整備局といたしましても非常に喜ばしく光栄に存じているところであります。

さて、3月11日に発生した「東北地方太平洋沖地震」は、マグニチュード9.0という過去最大級の規模で発生しました。強烈な地震動は各地に大規模な被害をもたらし、これにともなって発生した大津波は、東北地方の沿岸部を壊滅的な被害に陥れました。また、福島第一原子力発電所の事故も発生し、未だに多くの方々が避難を余儀なくされるなど心痛むところであります。一日も早い被災地の復旧・復興を、心からお祈り申し上げます。

今回の東日本大震災は、これまで整備されてきた社会資本に対し、多くの注目を集めるきっかけとなりました。震災直後のマスコミ報道では、砕け散った防潮堤や、津波に桁ごとにもっていかれた橋梁、ずたずたにされた海岸堤防などの映像が頻繁に流され、これらに対して全く役に立たなかったのではないかなという否定的な論調が幅を利かせていました。しかし、果たして本当にそうなのでしょうか。確かに全てを施設整備によって防ぎきれものではありませんが、釜石港の津波防波堤や仙台湾沿いの海岸堤防が、津波来襲速度や到達範囲の縮小に大きく寄与したことや、仙台東部道路の盛土が津波の遡上を押しとどめたことなど、結果的に施設自体が地域の方々の貴重な命や財産を守ることにつながる事となったのも事実であります。我々土木技術者の使命は、今回の震災の特性や施設の機能を詳細に検証し、土木の原点に立ち返って、大規模な自然災害へ立ち向かうための社会資本整備を改めて計画的に進めていくこと

にあるのではないのでしょうか。

このような観点から、大会の2日目である9月8日(木)には、特別行事として「東日本大震災シンポジウム」を企画することといたしました。このシンポジウムでは、土木学会会長と、最前線で災害対応の采配をとられた東北地方整備局長に特別講演をいただき、大学等の研究機関、行政、建設業界等からなるパネリストによって、今後想定される巨大災害に対しての土木技術者の行動のあり方をディスカッションすることとしています。

今大会のテーマは「今一度、土木の原点に～誇れる日本、住みよいまちへ～」です。

土木技術者にとって、今後の国土整備における最大の使命は安全・安心の確保にあると考えます。また併せて、少子・高齢化や地球規模での環境問題への対応など、複雑多様化する社会・経済に的確に答えることも求められています。大会では、研究討論会や100周年記念事業を通じて、これまでの土木(Civil Engineering)の歩みを振り返るとともに、その原点とも言える「自然と社会への貢献」に立ち返り、豊かさを実感できる社会づくりに向けて、どのように土木技術者は貢献すべきかを十分に考えていきたいと考えております。

開催地である松山市は、伊予の国の藩主加藤嘉明が築いた松山城の城下町であり、人口約52万人を数える四国第一の中核都市です。日本最古の湯として有名な道後温泉を市内に擁し、「坂の上の雲」の秋山好古・真之兄弟や、俳人正岡子規、種田山頭火、文豪夏目漱石ゆかりの地としても有名です。

多くの土木技術者がこの歴史ある松山の地に集い、大いなる技術交流をもって本大会が成功することを祈念いたしましてご挨拶いたします。

東日本大震災シンポジウム

平成23年3月11日にマグニチュード9.0の東北地方太平洋沖地震が発生した。この巨大地震の強くて継続時間の極めて長い地震動に加え、高い津波と多くの余震、さらには原子力発電所の事故によって、東北地方から関東地方までの広域にわたり複合災害が引き起こされた。この未曾有の災害に対し、土木学会には学術調査を通じて種々の被災・発災機構の解明に尽くし、その成果を元に復興、さらには今後の大規模地震と津波対策のあり方を検討し、安全な国土形成に資することが求められている。

本シンポジウムは、今回の大震災を含む過去の被災経験をふまえ、今後も発生するであろう巨大災害に土木技術者がどう立ち向かってゆくのかを考えるものである。

基調講演会

平成23年9月8日(木) 13:30～14:10 松山市民会館(大ホール)

会長講演



第99代土木学会 会長 鉄建建設(株)特別顧問

山本 卓朗 YAMAMOTO Takuro

学会歴

昭和37年 4月 正会員
平成 6年11月 フェロー会員
平成 2～3年度 評議員
平成 5～6年度 理事
平成11～12年度 理事(副会長)
平成10～16年度 施設拡充委員会 委員
平成11～13年度 第2回アジア土木技術国際会議組織委員会 副委員長
平成11～12年度 フェロー審査委員会 委員

職歴

昭和39年 3月 東京大学工学部卒業
昭和39年 4月 日本国有鉄道入社
昭和62年 4月 東日本旅客鉄道(株)仙台工事事務所長
平成 6年 6月 同常務取締役役開発事業本部長
平成 9年 6月 同常務取締役事業創造本部副本部長
平成12年 6月 東京圏駅ビル開発(株)社長
平成14年 6月 鉄建建設(株)社長
平成18年 6月 同会長
平成20年 6月 同特別顧問

講演題目 「東日本大震災の教訓と社会安全システム ―土木の原点を考えた行動計画を―」

我が国はバブル崩壊以後、失われた20年といわれる混迷の時代を過ごしてきた。この間加速度的に進展した情報化技術とグローバル社会での競争激化のなかで国際的にも大変厳しい状況に置かれていることは改めて言及するまでもない。このような状況を打破するためには、真に意義のあるインフラ整備が必要であること、そして災害が多発する脆弱な国土防災を強化すべきことを我々は訴え続けてきた。遺憾ながら事態の推移はその逆であり、社会資本整備の遅れも目立っており、本年3月11日に発生した東日本大震災はさらに深刻な事態をもたらすこととなった。そして今後予想される巨大震災に、土木技術者がどう立ち向かうかが改めて問われている。

一方近年の日本社会においては、過度とも言える情報の氾濫の中で発言が保守的になりがちで、それがゆえに柔軟な発想や議論が停滞して、思考停止社会に陥っているとさえ言われるようになってきている。そして社会資本整備や公共事業への意識の変化から土木界に対する厳しい批判や評価も依然として続いている。

しかしながら、高度成長期から現在までの我々自身の歴史を振り返ってみたとき、土木界にも改革すべき多くの課題があるのではないかと。そして今後我々が積極的に展開しようとしている様々な活動がきちんと理解されるためにも“土木の原点を考える”ことから始めるべきではないかと。

ではどのようにして議論を進めるか。“時代の推移とともに土木の営みが市民の率直な共感を呼ばなくなってきたのはなぜか？”を会員共通の課題として幅広い議論を始めよう。さいわい土木学会100周年を3年後にひかえて、100年記念事業を持続的に全国で展開しつつある。100年間を振り返り、100年後を構想するこの機会に、土木の原点を考え市民と共感できる行動へとつないでいきたい。

そして言うまでもなくその一つは、巨大災害に土木技術者がどう取り組むかである。東日本大震災が土木界に与えた強烈なメッセージはただひとつ、“土木の役割は国民の命を守ること”その一点に尽きると考えたい。そのメッセージに応えるために、全力を挙げて社会安全システムの構築に取り組むたいと思う。

特別講演

平成23年9月8日(木) 14:10～14:40 松山市民会館(大ホール)



国土交通省 東北地方整備局長
徳山 日出男 TOKUYAMA Hideo

1979年東京大学工学部卒業・建設省入省、アメリカ合衆国道路庁国際研究員、関東地方整備局道路部長、道路局企画課長などを歴任、2011年より現職。

講演題目 「東日本大震災 ―初動期にどう対処したか―」

パネルディスカッション

平成23年9月8日(木) 14:55～16:55 松山市民会館(大ホール)

テーマ 「巨大津波とどう向き合うか ―東日本の経験＋東海・東南海・南海地震に向けて―」



[コーディネーター] **家田 仁** IEDA Hitoshi
東京大学 教授

1978年東京大学工学部土木工学科卒業・日本国有鉄道入社、1984年東京大学助手、1986年東京大学助教授、1995年東京大学教授、現在に至る。専門は、交通学、都市学、国土学。2011年から土木学会副会長(震災担当)。



[パネリスト] **河田 恵昭** KAWATA Yoshiaki
関西大学 教授

1974年京都大学大学院工学研究科博士課程修了、京都大学巨大災害研究センター長、京大防災研究所長などを経て、2010年より現職。阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター長、日本災害情報学会長などを兼務。専門は巨大災害、都市災害、危機管理。



[パネリスト] **尾崎 正直** OZAKI Masanao
高知県 知事

1991年東京大学経済学部卒業・大蔵省入省、関税局国際調査課、在インドネシア大使館一等書記官、財務省主計局主計官補佐などを経て、2007年より現職。



[パネリスト] **木山 啓子** Kiyama Keiko

特定非営利活動法人ジェン(JEN)理事・事務局長

1994年よりJEN旧ユーゴスラビア地域代表として難民・避難民支援活動に従事。2011年3月11日の東日本大震災にも即座に出動。2005年エイボン功績賞受賞、日経ウーマン誌ウーマン・オブ・ザ・イヤー2006大賞受賞。



[パネリスト] **佐藤 直良** Sato Naoyoshi

国土交通省 技監

1977年東京工業大学大学院理工学研究科修士課程修了・建設省入省、荒川上流工事事務所長、四国地方建設局河川部長、中部地方整備局長などを経て、2011年より現職。



[パネリスト] **佐藤 慎司** Sato Shinji

東京大学 教授

1982年東京大学大学院工学研究科修士課程修了、東京大学助手、横浜国立大学助教授、建設省土木研究所海岸研究室長を経て、2000年から現職。専門は海岸工学、流砂系環境学。



[パネリスト] **平野 勝也** Hirano Katsuya

東北大学 准教授

1993年東京大学大学院工学研究科修士課程修了・建設省入省、1995年東北大学助手、2001年同講師、2008年より現職。



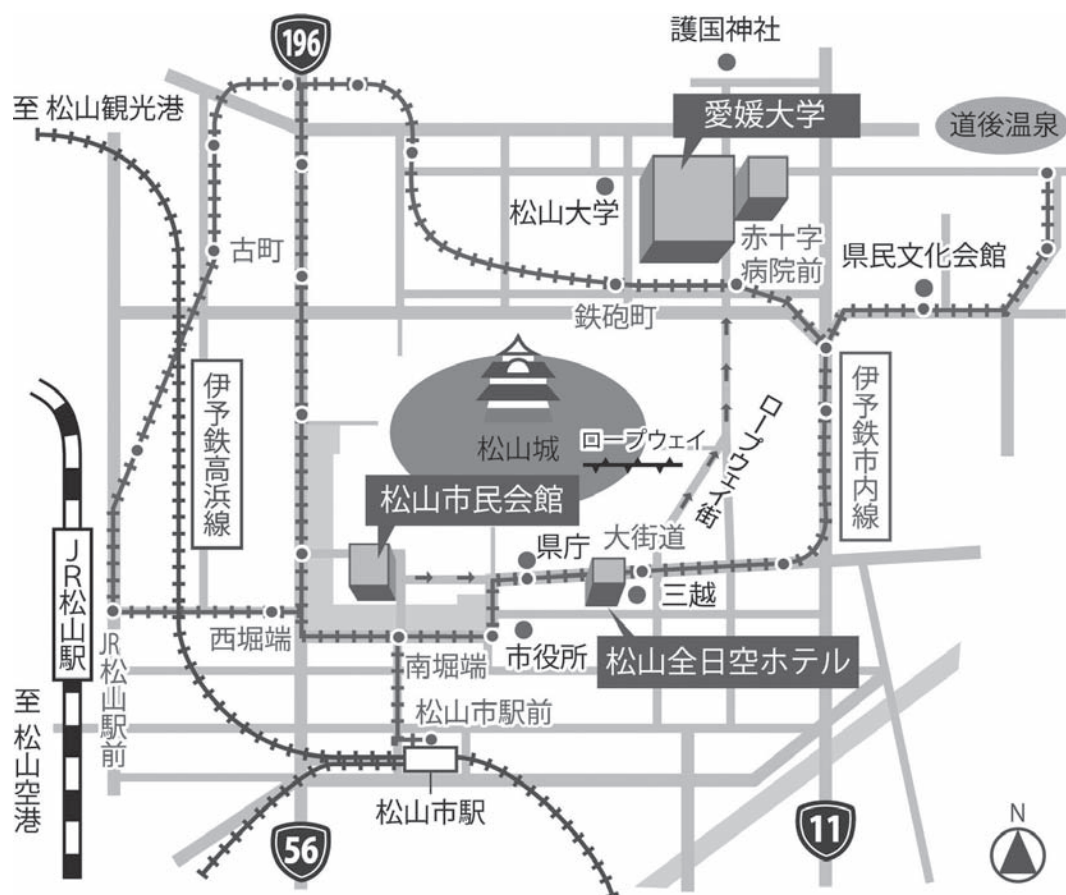
[パネリスト] **小野 武彦** Ono Takehiko

清水建設(株)代表取締役副社長

1968年北海道大学工学部土木工学科卒業・清水建設入社、2000年北海道支店長、2007年土木事業本部長を経て2008年より現職。

全国大会会場案内・大会行事

会場所在地(広域図)



◎愛媛大学 城北キャンパスへのアクセス

■松山空港から

伊予鉄バスをご利用の場合

JR松山駅まで：空港リムジンバス「JR松山駅前」下車

松山市駅まで：空港リムジンバス「松山市駅」下車

大街道まで：空港リムジンバス「大街道」下車、徒歩約15分

■JR松山駅から

伊予鉄道市内電車をご利用の場合

環状線（古町方面行き）「赤十字病院前」または「鉄砲町」下車、徒歩約2分

伊予鉄バスをご利用の場合

東西線「愛媛大学前」下車、徒歩約1分

■松山市駅から

伊予鉄道市内電車をご利用の場合

環状線（大街道方面行き）「赤十字病院前」下車、徒歩約2分

◎各会場へのアクセス

電車ご利用の場合

徒歩の場合

愛媛大学⇄松山市民会館

約15分

約25分

愛媛大学⇄松山全日空ホテル

約10分

約15分

松山市民会館⇄松山全日空ホテル

約5分

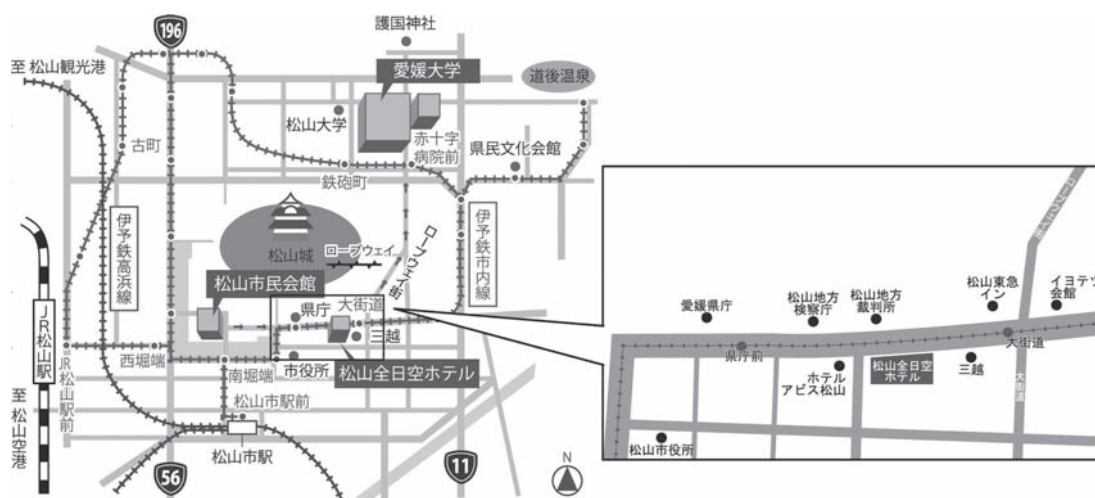
約10分

愛媛大学城北キャンパス会場図



※構内駐車場はご利用出来ませんので、お車でのご来場はご遠慮下さい。

交流会会場



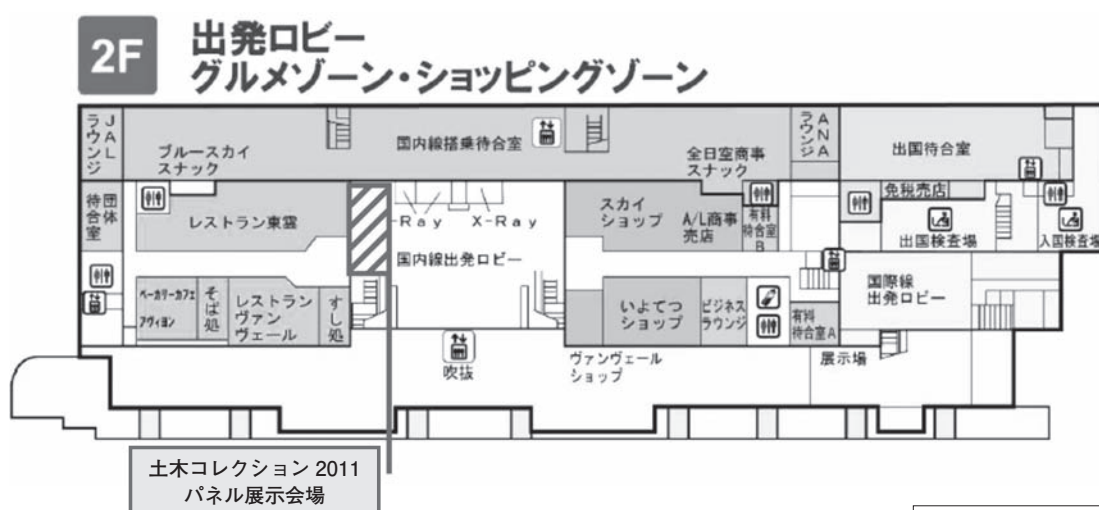
松山全日空ホテル 本館 4 階 ダイヤモンドボールルーム

〒790-8520 松山市一番町 3 丁目2-1

TEL:089-933-5511/FAX:089-931-6440

※松山市民会館から松山全日空ホテルまで徒歩約10分

土木コレクション2011会場



松山空港ビル(株)資料提供

松山空港ターミナルビル(出発ゲート横 2 階)

〒791-8042 松山市南吉田町2731番地

行事案内

■行事時間

日付 時刻	第1日目 9/7(水)	第2日目 9/8(木)	第3日目 9/9(金)
8:00	受付開始	受付開始	受付開始
9:00	8:40 年次学術講演会① (90分)	8:40 年次学術講演会⑤ (90分)	8:40 年次学術講演会⑦ (90分)
10:00	10:10 休憩(15分)	10:10 休憩(15分)	10:10 休憩(15分)
11:00	10:25 年次学術講演会② (90分)	10:25 年次学術講演会⑥ (90分)	10:25 年次学術講演会⑧ (90分)
12:00	11:55 昼休憩 (45分)	11:55 昼休憩及び会場へ 移動(95分)	11:55 昼休憩 (45分)
13:00	12:40 年次学術講演会③ (90分)	12:50 アンサンブル シヴィル演奏	12:40 研究討論会② (120分)
14:00	14:10 休憩(15分)	13:30 東日本大震災 シンポジウム	14:40 休憩(20分)
15:00	14:25 年次学術 講演会④ (90分)	14:40 休憩(15分)	15:00 年次学術講演会⑨ (90分)
16:00	15:55 休憩(20分)	14:55 パネルディスカッション (120分)	16:30
17:00	16:15 研究討論会① (120分)	16:55 会場へ移動 (50分)	
18:00	18:15	17:45 交流会 (120分)	
19:00		19:45	
20:00			

(1) 東日本大震災シンポジウム

9月8日(木) 13:30～16:55 松山市民会館(大ホール)

時 間	
13:30～14:40	実行委員長挨拶 川崎正彦(国土交通省四国地方整備局長)
13:30～14:10	①基調講演会 会長講演 「東日本大震災の教訓と社会安全システム –土木の原点を考えた行動計画を–」 土木学会 会長 山本 卓朗
14:10～14:40	特別講演 「東日本大震災 –初動期にどう対処したか–」 国土交通省 東北地方整備局長 徳山 日出男
14:55～16:55	②パネルディスカッション テーマ 「巨大津波とどう向き合うか –東日本の経験+東海・東南海・南海地震に向けて–」 コーディネーター 家田 仁(東京大学 教授) パネリスト 河田 恵昭(関西大学 教授) 尾崎 正直(高知県 知事) 木山 啓子(特定非営利活動法人ジェン(JEN)理事・事務局長) 佐藤 直良(国土交通省 技監) 佐藤 慎司(東京大学 教授) 平野 勝也(東北大学 准教授) 小野 武彦(清水建設(株) 代表取締役副社長)

(2) 第66回年次学術講演会

9月7日(水)～9日(金) 愛媛大学城北キャンパス

9月7日(水)			
8:40～10:10	10:25～11:55	12:40～14:10	14:25～15:55
9月8日(木)			
8:40～10:10	10:25～11:55		
9月9日(金)			
8:40～10:10	10:25～11:55	15:00～16:30	

(3) 研究討論会

9月7日(水)、9日(金) 愛媛大学城北キャンパス

9月7日(水) 16:15～18:15、9月9日(金) 12:40～14:40

(4) 全国大会パネル展示

9月7日(水)～9日(金) 愛媛大学城北キャンパス(愛大ミュージズ)

四国の防災について

東日本大震災について

(5) 土木コレクション2011

9月7日(水)～9日(金) 松山空港ターミナルビル(出発ゲート横2階)

○土木コレクション2011パネル展示

(6) 交流会(学生を含む)

9月8日(木) 17:45～19:45 松山全日空ホテル 本館4F ダイヤモンドボールルーム

日時:平成23年9月8日(木) 17:45～19:45

会場:松山全日空ホテル 本館4階

ダイヤモンドボールルーム松山市一番町3丁目2-1

TEL:089-933-5511 FAX:089-931-6440

参加料:一般6,000円 学生3,000円(お申し込み締切日以降:一般6,500円 学生3,500円)

《松山市民会館からのアクセス》

・徒歩で約10分程度

(7) International Programs (国際関連行事)

9月7日(水)、8日(木) 愛媛大学城北キャンパス

JSCE Annual Meeting International Program focuses on current issues and challenges facing the civil engineering profession. All registrants of the annual meeting are cordially invited to participate in the international program. Please take this opportunity to meet and share ideas and opinions with distinguished civil engineers from around the world.

国際関連行事として、期間中に英語による以下の行事を実施いたします。全国大会登録者であれば、どなたでも参加できます。ふるってご参加ください。

※For further details, please visit the JSCE website : <http://www.jsce-int.org>

詳細については、土木学会英文ホームページをご覧ください。

○Venue:Media Hall, Center for Information Technology, Ehime University, Johoku Campus

(会場:愛媛大学城北キャンパス総合情報メディアセンター メディアホール)

1. International Roundtable Meeting (ラウンドテーブルミーティング)

Topic: "PPP Policy, Guidelines, and Project Implementation"

(PPPに関する方策およびガイドラインとプロジェクトの実施)

Date:Wednesday, September 7

Time:15:00～17:00

2. 2011 Great East Japan Earthquake Disaster Field Studies (東日本大震災報告会)

Date:Thursday, September 8

Time:9:00～12:00

(8) 映画会

9月7日(水)～9月9日(金) 愛媛大学城北キャンパス(南加記念ホール)

土木技術映像委員会では、広島・仙台・福岡・北海道大会に引き続き、3日間連続で映画会を開催致します。シンポジウムテーマや研究討論会テーマ「災害記録映像で学ぶ防災技術教育その2—技術教育における映像メディアの効果 シリーズ4」と連動し、これまでに土木学会映画コンクールで受賞した作品や土木学会選定映像作品の中から、特に災害記録映像を中心に、たくさんさんの優れた映像を上映致します。

上映時間は大会情報ホームページ(<http://www.jsce.or.jp/taikai2011/>)をご覧ください。

(9) 百周年記念討論会

9月7日(水) 愛媛大学城北キャンパス(グリーンホール)

9月7日(水) 14:25～18:15 (休憩15:55～16:15)

詳細につきましては、大会情報ホームページ(<http://www.jsce.or.jp/taikai2011/>)をご覧ください。

(10) アンサンブルシヴィル演奏

9月8日(木) 松山市民会館(大ホール)、9日(金) 愛媛大学城北キャンパス

日時:平成23年9月8日(木) 12:50~13:20

会場:松山市民会館(大ホール)

日時:平成23年9月9日(金) 12:00~12:30

会場:愛媛大学城北キャンパス大学会館305号室

詳細につきましては、大会情報ホームページ(<http://www.jsce.or.jp/taikai2011/>)をご覧ください。

一時保育のご案内

愛媛大学外の保育施設で、一時保育サービスをご紹介します。

詳細は、公益社団法人 土木学会 四国支部へお問い合わせ下さい。

TEL:087-851-3315/FAX:087-851-3313/E-mail:office@jsce7.jp

年次学術講演会講演要領 ―学術講演会での講演者の方へのご注意―

- 1) 講演会の各セッションの運営は、そのセッションの座長に一任されています。
- 2) 座長と講演者の打合せをセッション開始直前にその会場で行います。その際、座長より、講演順番、講演時間、討論時間などについて指示がありますので、これを遵守してください。
- 3) 発表時間は原則として、入退場も含めて7分です。7分以内に発表が完了できるように、準備をお願い致します。
- 4) 発表に際しては、液晶プロジェクターを使用します。パソコンの操作は、講演者自身でお願い致します(会場担当係では対応しかねますのでご了承ください)。
- 5) パソコンは全セッションに用意します。個人のパソコンの持込みは禁止致します。

Attention to Presenters

- 1) The chairperson of each session is responsible for its organization.
- 2) The chairperson will decide the order of presentations, the presentation time, and the style of discussions. A meeting will be held shortly before the session, where the chairperson will spell out these rules. Presenters are required to follow the instructions of the chairperson.
- 3) In principle, the presentation time will be seven minutes including presentation and arrangement time. Presenters should prepare to finish the presentation in seven minutes.
- 4) Presentation shall use a PC and LCD projector, which should be operated by the presenters themselves. (Please note that the hall staff will not be able to assist you.)
- 5) A PC will be provided for each session. It is prohibited to bring your own PC to the session.

演題発表に関わる注意事項【重要】

1. 発表方法

発表会場に備え付けのWindowsPCにより、PowerPoint2007、またAcrobatReader9.0を使って発表していただきます。OHPによる発表はできません。MacintoshのPCをご利用の方は、pptファイルとpdfファイルの両者をご持参ください。

2. 発表データについて

- 1) 電子データをUSBメモリストイックもしくはCD-R（ファイナライズされたもの）に保存しご持参ください。それ以外のメディアはご利用いただけません。また、ウイルスチェックを必ず事前に実施していただくようお願い致します。
- 2) サイズは20MB以下を目安とし、これを超える場合も100MBを遵守してください。
- 3) 発表用ファイルの名前は演題番号としてください。
* 演題番号.ppt（例えばⅡ部門の演題番号138の場合は、Ⅱ138.pptとなります）
- 4) 動画データをご使用の場合はWindows Media Player V11.0に限らせていただきます。
- 5) フォントは標準装備されているものをお使いください。
(MS 明朝、MS ゴシック、MS P明朝、MS Pゴシック、Times New Roman、Century)

3. 試写室について

ファイルの動作確認等のチェック用の試写室を設けています。事前に、フォント・動画等のチェックをお勧めします。

4. 発表会場における注意事項

- 1) 発表セッションの10分前までにご自身の発表される会場に発表データをご持参下さい。遅れると発表できない場合がございます。
- 2) 発表者の方は会場前方の席にて待機してください。
- 3) 進行をスムーズに行うために、ファイルの立ち上げは会場担当係が行います。
- 3) トラブルにより発表順が変更になる場合もありますのでご了承ください。

4)発表終了後、会場担当係が責任を持ってファイルを削除致します。

ウィルス対策について

会場内の全てのPCにウィルス対策ソフトをインストールしていますが、ウィルス感染に関する責任は学会として負いかねます。各自の責任で会場内のPCをご利用ください。また、発表の際に使用したメディアをお持ち帰りの後、ご自身のPCに接続する前に再度ウィルスチェックをしていただくようお願い致します。

土木学会年次学術講演会優秀講演者表彰制度について

全国大会委員会

全国大会年次学術講演会の発表者を対象に「土木学会年次学術講演会優秀講演者表彰」を実施しております。

この「表彰規定」は、将来の土木界を担っていく若手の研究者および技術者の論文内容や講演技術が向上し、さらに全国大会が活性化することを目的とし定めたものです。

今回講演される若手研究者、技術者の方々のご健闘を期待いたします。

土木学会年次学術講演会優秀講演者表彰規定

この規定は土木学会全国大会における研究発表の表彰に関する取り扱いについて定めたものである。

1. 表彰の目的

土木学会全国大会で優れた講演を行った若手研究者、技術者を表彰し、

- ①論文内容、講演技術の向上に寄与する。
- ②若手研究者、技術者の参加意欲の向上を図る。
- ③全国大会全体の活性化に貢献する。

などを目的とする。

2. 名称

この表彰の名称は「土木学会年次学術講演会優秀講演者表彰」とする。

3. 対象者

- ・全国大会で実際に講演を行う個人会員の中で、40歳以下の研究者、技術者を対象に、論文内容に加え、講演が簡潔明瞭で優れたものに与える。
- ・講演予定者と講演者が一致しない場合は、審査の対象外とする。
- ・ポスターセッションは対象外とする。

4. 選出方法

- ・各セッションの座長(司会者)は、対象者の講演を「土木学会年次学術講演会優秀講演者採点表記入上の留意事項」に基づき採点し、合計得点最上位者1名を推薦する。
- ・本部事務局(全国大会実行委員会事務局)にて、部門ごとに各セッションからの被推薦者の合計得点を集計する。その中から、各部門セッション数の2分の1の人数となる合計得点の上位者を、優秀講演者として選出する。なお、ボーダーラインにある合計得点数が同じ被推薦者を全て含めた場合に、各部門セッション数の2分の1の人数を超えるときには、合計得点が高い被推薦者の中から年齢の若い順番に選出し、2分の1を超えない人数に調整する。

5. 表彰

- ・土木学会全国大会報告号において氏名を発表する。
- ・後日、個人あてに表彰状を送付する。
- ・表彰は全国大会実行委員会講演部会長と全国大会委員会委員長の連名で行う。

6. その他

- ・この規定は、1995年度全国大会から施行する。
- ・本規定は必要に応じて全国大会委員会において見直す。

附則(平成7年3月24日理事会了承)

(平成8年6月18日一部改正)

研究討論会等内容紹介

研究討論会一覧

平成23年9月7日(水)、9日(金)

日時／会場	題 目	座 長および話題提供者
【研01】 9月7日(水) 16:15-18:15 教育学部2号館 大講義室	水理・水文解析ソフトウェア統合型共通基盤の活用と普及に向けて 水工学委員会 http://committees.jsce.or.jp/hydraulic/	座 長：山田 正(中央大学) 話題提供者：椎葉充晴(京都大学) 大平一典(中央大学) 山本 聡(国土技術政策総合研究所) 五道仁実(国土交通省・河川局) 調整中(国土交通省・地域整備局下水道部) 調整中(建設コンサルタンツ協会) 調整中(全国上下水道技術協会)
水理・水文解析ソフトウェア統合型共通基盤であるCommonMPが公開されて1年半が経過した。この間、CommonMPの開発や運用・活用・普及に当たっては、産官学からなるコンソーシアムを構成しCommonMP普及のための方策を検討するとともに、CommonMPの改良やFortranプログラムのCommonMPへの組み込みなど、具体的なソフトウェアのバージョンアップを行ってきた。本討論会においては、コンソーシアムの活動内容を示すとともに、海外展開を含めて、今後のCommonMPの活用や普及に関する取り組みについて議論する。		
【研02】 9月7日(水) 16:15-18:15 共通教育講義棟 講35	センサはどこまで標準化すべきか？ ー維持管理CALSに向けてー 情報利用技術委員会 http://committees.jsce.or.jp/cceips/	座 長：藤原 博((株)ネクスコ東日本エンジニアリング) 話題提供者：遠藤和重(国土交通省) 田島剛之(大日本コンサルタント(株)) 石間計夫(ジェイアール東日本コンサルタンツ(株)) 島田芳夫((有) TWJ、次世代センサ協議会) 他1名
情報利用技術委員会センサ利用技術小委員会では、高度なセンサ利用技術を活用して土木構造物の長期的な情報の収集・共有・利用を図る「維持管理CALS」を提案し、その実現に向けた取り組みを行っている。本研究討論会では、構造物の維持管理分野で使用される主なセンサの標準化に着目し、まず現在行われている標準化へ向けた取り組みの事例について基調報告を行う。そして、維持管理分野に特有の要求仕様を踏まえて、標準化が必要な部分とそうでない部分、標準化のあるべき姿、標準化による効果等についてユーザー側、メーカー側双方の視点から幅広く議論を行う。		
【研03】 9月7日(水) 16:15-18:15 共通教育講義棟 講45	土木の広がりを考える ～学問・芸術・報道・建設に携わる4人が土木について語る～ 建設技術研究委員会 http://www.jsce.or.jp/committee/sekou/top.htm	座 長：吉田 明(建設技術研究委員会委員長 大成建設(株) 土木本部技術顧問) 話題提供者：藤井 聡(京都大学大学院 工学研究科 教授) 坂上桂子(早稲田大学文学学術院 教授) 早坂礼子(産経新聞東京本社 編集局経済本部 編集委員)
わが国は、長期にわたり経済の低迷が続き、社会資本の整備の遅れや国際競争力の低下を招くというような深刻な状況にあります。東日本大震災を含めてわが国が直面している状況を十分に理解し、今後土木が何をなすべきかしっかりと議論する必要があります。そのためには、既成の枠にとらわれることなく、広い視野をもって見つめなおすことが重要と考えています。 よって、本研究討論会では、学問・芸術・報道・建設の4つの異なる分野の方々から土木について自由に語っていただき、ご参加の皆さんとともに土木のいろいろな方々への広がり的重要性を感じ、そして大いに議論したいと考えております。		
【研04】 9月7日(水) 16:15-18:15 教育学部4号館 (共通教育北別棟) 北41	市民力を生かした地域づくりの新たなしくみ コンサルタント委員会市民合意形成小委員会 http://www.jsce.or.jp/committee/kenc/index.asp	座 長：上野俊司(国際航業株式会社 取締役) 話題提供者：森本章倫(宇都宮大学大学院工学研究科 准教授) (調整中) 山中英生(徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス部 教授) 田邊信男(西部技術コンサルタント) 林 将廣(アイ・エス・エス創研) 伊藤将司(株式会社福山コンサルタント)
近年は厳しい財政下において行政のみによる公的サービスに限界から、地域防犯や防災への対応、買い物弱者への対応など、市民ニーズに対応した社会資本や公的サービスの低下が顕在化している。このような状況の中、市民が真に必要な社会資本及び公的サービスを提供するためには、市民力を生かした地域づくりの新たな仕組みづくりが望まれる。 本研究討論会においては、当委員会がこれまで活動してきた市民合意形成に関する研究成果も活かしながら、市民が主体となる活動を通じて実現する地域づくりの新たな仕組みを考察し、市民参加の方法や土木技術者・合意形成プロデューサーの役割などについての議論を行い、今後の方向を探ってみたい。		
【研05】 9月7日(水) 16:15-18:15 法文学部講義棟 大講義室	次世代スパコンによる防災シミュレーションを目指して 応用力学委員会 http://www.jsce.or.jp/committee/amc/index.html	座 長：廣瀬壮一(東京工業大学) 話題提供者：堀 宗朗(東京大学) (予定) 阪口 秀((独)海洋研究開発機構) 古村孝志(東京大学) 梶原浩一(兵庫耐震工学研究センター)
地震津波防災のための大規模数値解析は、2012年度の供用開始を目指して開発がすすめられている「次世代スーパーコンピュータ(京速コンピュータ「京」)」での重要課題のひとつに選ばれている。 本パネルディスカッションでは、地震・津波・構造物被害など、様々な観点からの防災シミュレーションの現状を把握するとともに、これらすべてを統合する「次世代スパコンを用いた地震津波防災の未来像」を提示することを目指して議論する。		
【研06】 9月7日(水) 16:15-18:15 共通教育講義棟 講24	舗装の性能を考える ～舗装標準示方書の改訂に向けて～ 舗装工学委員会 http://www.jsce.or.jp/committee/pavement/index.html	座 長：八谷好高((財)港湾空港建設技術サービスセンター) 話題提供者：阿部長門(東亜道路工業(株)) 渡邊一弘((独)土木研究所) 三野真治(国土交通省四国地方整備局) 黒川卓郎(ニチレキ(株)) 坪川将丈(国土交通省国土技術政策総合研究所)
2007年に舗装標準示方書が発行されて以来4年が経過し、性能に基づく設計、施工、点検、補修といった本示方書に明示された舗装の整備方法が認知されている。一方で、性能の照査方法が詳細にされていないといった問題点も残されている。本研究討論会では、現示方書の実用性について、アンケートにより調査した結果を紹介するとともに、性能設計の実務者から話題提供を求める。また、改訂に向けて取り込むべき新たな課題として舗装のユーザーサイドからの要求性能について話題提供をお願いするとともに、海外における舗装の性能設計の動向について話題提供をお願いする。		

日時／会場	題 目	座 長および話題提供者
【研07】 9月7日(水) 16:15-18:15 共通教育講義棟 講21	リスク評価に基づく道路ネットワークの耐震設計法を目指して 土木計画学研究委員会・地震工学委員会 http://www.jsce.or.jp/committee/ip/index.shtm http://www.jsce.or.jp/committee/eec2/index.html	座 長：澤田純男(京都大学防災研究所) 話題提供者：多々納裕一(京都大学防災研究所) (予定) 中村 晋(日本大学) 酒井久和(広島工業大学) 奥村 誠(東北大学東北アジア研究センター)
土木計画学委員会と地震工学委員会の合同設置の共同研究小委員会「リスク評価に基づく道路構造物・道路ネットワークの耐震設計研究小委員会」では、道路ネットワークの各リンクの耐震性能の設計と、リンクの要求性能を所与とした場合の個別道路構造物の耐震設計とからなる2段階の耐震設計法の体系の確立が必要であるとの認識のもとで、共同研究を進めてきた。本研究小委員会では、リスク評価に基づいて道路ネットワークの耐震設計法を構成する際の主要な論点を整理すると共に、道路構造物及び道路ネットワークの新しい耐震設計法の確立を目指して、総合的な議論を行うこととする。		
【研08】 9月7日(水) 16:15-18:15 共通教育講義棟 講11	東日本大震災における土木構造物の被害と教訓 コンクリート委員会・構造工学委員会 http://www.jsce.or.jp/committee/concrete/index.html http://www.jsce.or.jp/committee/struct/framepage2.htm	座 長：鈴木基行(東北大学)コンクリート委員会・構造工学委員会合同調査団団長 話題提供者：丸山久一(長岡技術科学大学)土木学会第一次調査団 総合構造物班長 岩城一郎(日本大学)コンクリート委員会・構造工学委員会合同調査団 陸好宏史(埼玉大学)構造工学委員会特別研究委員会委員長 岩波光保(港湾空港技術研究所 構造研究チーム) 野澤伸一郎(JR東日本 構造技術センター) 木水隆夫(NEXCO東日本 技術本部 技術部)
平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震では、鉄道、道路、港湾施設等の鋼構造物・コンクリート構造物にも被害が生じた。コンクリート委員会と構造工学委員会は合同で現地調査を行い、分析検討を進めた。それらを通じて明らかとなった被害の特徴、耐震設計・耐震補強の有効性の検証、復旧過程の検証、今後の耐震設計、維持管理に向けての教訓について、議論を行う。		
【研09】 9月7日(水) 16:15-18:15 法文学部講義棟 305	近年、多発する道路盛土の地震被害を将来の警鐘として捉え、備える —経済的・効果的な性能評価、性能設計および耐震補強— 地震工学委員会 性能を考慮した道路盛土の耐震設計・耐震補強に関する研究小委員会 http://www.jsce.or.jp/committee/eec2/index.html	座 長：常田賢一(大阪大学大学院工学研究科) 話題提供者：横田聖哉(高速道路総合技術研究所) 佐々木哲也(土木研究所) 林 健二(フォレストエンジニアリング) 一井康二(広島大学大学院工学研究科) 小田和広(大阪大学大学院工学研究科) 原 隆史(岐阜大学工学部)
近年、地震による道路盛土の被害が顕在化している。地震に対して、安全な社会基盤を整備、保全するためには、バランス良い耐震性能を有する道路ネットワークが必要であり、その構成要素である道路盛土の適切な耐震設計・補強が求められる。道路盛土では、2009年に道路土工要綱で性能設計が明示され、緊急点検が鋭意実施されており、性能を考慮した効果的かつ経済的な道路盛土の耐震設計・補強の具体化が必要である。このような緊要な状況を踏まえ、研究討論会では、道路盛土に関する性能評価、性能設計及び経済的・効果的な耐震設計・補強技術に関する近年の研究、技術開発成果を概観するとともに、将来の道路盛土の耐震性向上を考えたい。		
【研10】 9月7日(水) 16:15-18:15 法文学部講義棟 201	異種材料をつなぐ！ —接合技術の現状、要求性能および課題— 複合構造委員会 http://www.ccn.yamanashi.ac.jp/~ssaito/jsce/fukugou/	座 長：杉浦邦征(京都大学 教授、複合構造委員会委員長) 話題提供者：中島章典(宇都宮大学 教授、複合構造ずれ止めの性能評価法に関する調査研究小委員会) 上田多門(北海道大学 教授、樹脂材料による複合技術研究小委員会) 春日昭夫(三井住友建設 土木本部 副本部長) 杉本一朗((公財)鉄道総合技術研究所 構造物技術研究部 鋼・複合構造研究室長)
近年、鋼とコンクリートの合成構造や混合構造を採用した数多く種類の複合構造物が建設されています。このような現状を振り返ると、これまで数多くの接合形式が考案され、各種実験や解析検討を行ったうえで、設計、施工されています。これらの接合部の設計、施工技術について、要求性能、荷重伝達機構、終局強度等を整理しておくことが重要となります。		
そこで、機械的なずれ止め、樹脂材料による接着的な接合、プレストレスを用いた接合等の分野の学術研究権威や経験豊富な技術者から、その設計、施工事例、要求性能ならびに課題についての話題提供を頂き、今後さらなる発展に向けて討議を行います。具体的には、この討議結果を踏まえ、複合構造委員会が2009年に発刊した「複合構造標準示方書」の今後の改定作業のための有益な情報と位置づけます。		
本討論会は、複合構造接合部に関する研究開発、設計、施工など幅広い分野技術者を対象に、最新の接合技術情報の共有化と残された課題を明確にすることが目的であり、未来を見据えた幅広い活動に繋げたいと考えています。		
【研11】 9月7日(水) 16:15-18:15 法文学部講義棟 101	道路橋床版の性能はどう変わるか ～維持管理評価と将来～ 鋼構造委員会 http://committees.jsce.or.jp/steel/	座 長：野上邦栄(首都大学東京) 話題提供者：大田孝二((財)土木研究センター) 緒方辰男(西日本高速道路(株)) 橘 吉宏((社)日本橋梁建設協会) 下里哲弘(琉球大学)
最近、優れた施工性や経済性を有する少数主桁橋、開断面箱桁橋、細幅箱桁橋や合理化トラス橋などの新しい鋼橋の採用事例が増加している。これに伴い道路橋として最もクリティカルになる床版についても、一般橋梁、長大橋および都市高架橋に多く採用されている従来のRC床版および鋼床版とともに、より疲労耐久性のある、ライフサイクルコストの低減などを可能にする床版形式の開発が進められ、実用化が図られてきている。このような状況において、これまで種々の床版いずれも損傷が発生する都度その問題を解決してきた中で、これからの道路橋床版の性能はどう変わるべきなのかを主テーマに、維持管理および性能評価のあり方、床版の将来に向けた展開などについて探ります。		

日時／会場	題 目	座長および話題提供者
【研12】 9月7日(水) 16:15-18:15 工学部講義棟 25	建設業の国際展開を考える ～インフラチームジャパンを世界へ！～ 建設マネジメント委員会 http://www.jsce.or.jp/committee/cmc/	座 長：小澤一雅(東京大学) 話題提供者：石川雄一(国土交通省) 杉 晟(佐藤工業(株)) 富田伸司((株)富田組) 中村裕司(アイ・エス・エス創研(株)) 廣瀬典昭(日本工営(株)) 福本勝司((株)大林組) 保崎康夫(西日本高速道路(株)) 司 会：松本美紀(愛媛大学)
建設マネジメント委員会では、平成22年3月に「インフラチームジャパンを世界へ！」と題する提言を公表し、平成22年度には国際展開推進・公共事業改革・国際連携の3つの特別小委員会を設けて、わが国建設業の国際展開や公共事業制度改革等について議論し、海外との連携強化の取組を実施してきた。本討論会では、これらの検討成果も踏まえて、わが国のインフラ整備の経験と強みを活かして、一体のものとして国際展開するための課題と推進方策を討議する。		
【研13】 9月7日(水) 16:15-18:15 教育学部2号館 103	土木分野における木材利用入門 ～土木分野における環境貢献に向けて～ 木材工学特別委員会 http://tbl.tec.fukuoka-u.ac.jp/jsce-wood/	座 長：今村祐嗣(京大名誉教授) 話題提供者：加用千裕(国立環境研究所) 渡辺 浩(福岡大学) 池田 稜(ハザマ)
地球環境問題への取り組みが進められる中、森林の役割と木材資源の活用がクローズアップされています。残念ながら土木分野ではその取り組みはまだまだ低調ですが、その背景には木材に関する知識や情報不足に加え、数多くの誤解があるようです。そこで本研究討論会では、より多くの会員に木材とその活用法を知っていただくため、木材利用を進める意義とメリット、木材を活かすための材料学的知識、利用技術の現状と将来展望の3方向から、さらなる木材利用の可能性を探ります。また、それらを通じて土木分野における環境貢献について共に考えていきます。		
【研14】 9月7日(水) 16:15-18:15 工学部講義棟 41	土砂動態学：広域および長期の国土保全に向けた学際的取り組み 地盤工学委員会(土砂侵食と運搬、堆積に関する学際研究小委員会) http://www.jsce.or.jp/committee/jiban/	座 長：前田健一(名古屋工業大学) 話題提供者：田島芳満(東京大学工学系研究科社会基盤学専攻) 成瀬 元(千葉大学理学研究科 地球科学コース) 佐々真志((独)港湾空港技術研究所地盤・構造部) 知花武佳(東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻) 前田健一(名古屋工業大学都市社会工学科)
地球科学的時間スケールで見た地形・地質形成過程は、地学分野の研究対象であるが、一方で数年～数百年といった時間スケールでの侵食・運搬・堆積現象は、土木工学の諸分野で多様な問題(山地での土砂侵食や斜面崩壊、平野部での河床変動や海岸侵食、それらに伴う構造物の維持管理問題や環境問題など)を生み出す。これらの課題は、時間軸および空間スケールに対するマルチスケール問題であり、観測等の現状把握がしにくい、力学的モデリングがしにくい、といった困難がある。本研究討論会では、東日本大震災での被害と復興問題も含め、これまで様々な分野で行われてきた取り組みを俯瞰し、今後の学際的研究の方向性について議論する。		
【研15】 9月9日(金) 12:40-14:40 共通教育講義棟 講21	電子出版・電子書籍の時代と土木工学の知の生産・流通 土木図書館委員会 http://committees.jsce.or.jp/lib/	座 長：五十畑弘(土木図書館委員会委員長／日本大学生産工学部教授) 話題提供者：三上市藏(関西大学名誉教授(キーノート)) 大内雅博(土木学会誌編集委員会(学会誌と電子出版)) 吉田秀典(土木学会論文編集委員会(学会論文集と電子出版)) 安井利美(土木学会出版委員会(学会出版と電子出版)) 牛口順二(紀伊國屋書店(学術出版と電子出版))
電子出版が拡がりをはじめ、電子書籍が身近になりつつある現在、新しいメディアによる表現世界の大きな変化には、期待がもたれている一方で課題も指摘されている。しかしながら、大きな転換期を迎えていることは間違いない。このような状況のもとで、土木工学分野の知の生産に対してもっとも重要な役割と責任を有する土木学会は、新しいメディアにどのように向き合えば良いのであろうか。そこで、電子出版、電子書籍に対する取り組みの現状や、今後の課題などを討論し、そのことから、土木工学分野の学術研究の発展、会員利益の増大、社会への貢献のあり方を探る研究討論を、参加者とともに進めたい。		
【研16】 9月9日(金) 12:40-14:40 教育学部2号館 大講義室	土木分野におけるNPO活動と土木学会の役割 教育企画・人材育成委員会 http://committees.jsce.or.jp/education/	座 長：駒田智久 話題提供者：渡邊法美(高知工科大学) 有岡正樹(NPO法人社会基盤ライフサイクルマネジメント研究会) 竹内よし子(NPO法人えひめグローバルネットワーク)
「新しい公共」とそれを主に担うNPO法人は現在の社会において重要な役割を果たすキーコンセプトと存在である。これらが土木分野において現状でどのような位置づけにあり、今後如何に位置づけされるべきか、又、実際のNPO活動における問題や課題は何であり、それへの対応として如何なる対応策が考えられるか、更にそれらを踏まえて、諸課題を克服してNPO活動が活性化されるために、土木学会は如何なる役割を果たすべきか、特にNPO法人中間支援組織に対する学会の支援について、話題提供の後、意見交換する。		
【研17】 9月9日(金) 12:40-14:40 教育学部2号館 103	災害記録映像で学ぶ防災技術教育(その2) 土木技術映像委員会 http://committees.jsce.or.jp/avc/	座 長：大野春雄((土木技術映像委員長)建設教育研究推進機構理事長) 話題提供者：小河保之(大阪府副知事) 有川太郎((独)港湾空港技術研究所海洋研究領域 上席研究官) 正木啓子(大阪ガス(株)近畿圏部顧問) 富田 洋(ジオサーチ(株)取締役社長)
3月11日に発生した平成23年東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)は、未曾有の被災となり、土木関係者にもおおきな衝撃を与えている。今後復旧から復興へ向かう過程で多くの記録映像が制作されると思われるが、これらの貴重映像を土木学会としても確実に収集保管し、公開していくことは重要な使命のひとつとなる。当委員会では、これまでも技術映像の収集・調査・評価活動を行い、映画会などでの公開、土木図書館映像ライブラリーへの蓄積・保管をはかってきた。防災分野でも津波、地震、地すべり、水害などまたその結果起きる液状化、側方流動、土砂崩れ、堤防の決壊など様々な災害の貴重映像が蓄積されている。今回の大震災を踏まえ、防災記録映像の要素化とその活用法、土木技術教育への利用、要素ごとのデータベース化などについて映像とともに提案・紹介し、土木学会会員と意見交換を行う。		

日時／会場	題 目	座 長および話題提供者
【研18】 9月9日(金) 12:40-14:40 法文学部講義棟 大講義室	今後の土木構造物のライフサイクル マネジメントのあり方について —道路構造物を例として— 構造工学委員会 http://www.jsce.or.jp/committee/struct/framepage2.htm	座 長：鈴木基行(東北大学) 話題提供者：岩城一郎(日本大学) 久田 真(東北大学) 白土博通(京都大学) 中島章典(宇都宮大学) 河井 正((財)電力中央研究所) 吉見雅行((独)産業技術総合研究所) 松島 学(香川大学) 高野 卓(福島市)
高度成長期に集中整備された土木構造物の一斉老朽化時代に備え、これまで材料・構造形式(コンクリート、鋼、複合、土)、作用(環境、地震、風)毎に議論してきた土木構造物のライフサイクルマネジメント(LCM)のあり方について、各分野の専門家が一堂に会し、その現状と将来像を示すとともに、これらの性能を包括的に扱うことの可能な信頼性評価のあり方について論じる。ここでは、道路構造物のうち主として橋梁を取り上げ、国・県・市町村で一律予防保全を主体とする維持管理方針を取っている現状に鑑み、その用途や重要度、自治体の財政状況・技術力に応じたより合理的かつ効率的な土木構造物のLCMのあり方について議論する。		
【研19】 9月9日(金) 12:40-14:40 法文学部講義棟 201	学会における設計資料の標準化とそ のありべき姿について考える 地震工学委員会・耐震基準小委員会 http://www.jsce.or.jp/committee/eec2/index.html	座 長：中村 晋(日本大学工学部土木工学科) 話題提供者：長尾 敦(国土交通省国土技術政策総合研究所) (調整中) 室野剛隆((財)鉄道総合技術研究所構造物技術研究部) 北原武嗣(関東学院大学工学部社会環境システム学科) 渡辺忠朋(北武コンサルタント(株)) 西村和夫(首都大学東京・環境学部 都市基盤環境コース) 江尻穰司(大林組技術研究所)
(社)土木学会の役割には、社会基盤施設の設計法などの調査研究とその成果を会員や市民へ説明責任を果たすことなどがある。それら施設の設計の考え方には国際整合性が要求され、国と学会が役割を適切に担うことは建設分野における国内外でのプレゼンス確保に必要となる。(社)土木学会では、60年以上の歴史があるコンクリート標準示方書に加え、他の構造材料や形式に関する標準示方書が発行されている。研究討論会では、学会としての標準示方書のあり方、その社会的な位置づけやコンセンサス、さらにそれを含む様々な技術文書の階層について、構造設計に共通な要素である地震作用の考え方をベースに共通認識の形成を目的とした討論を行う。		
【研20】 9月9日(金) 12:40-14:40 教育学部4号館 (共通教育北別棟) 北41	震災復興と地球環境問題 ～土木の目から見た震災と放射能問題～ 地球環境委員会 http://www.jsce.or.jp/committee/global/index.htm	座 長：山田 正(中央大学) 話題提供者：恩田裕一(筑波大学) 竹村公太郎((財)リバーフロント整備センター) 豊田康嗣((財)電力中央研究所地球工学研究所)
東日本大震災における原子力災害は、リスクというものの見方を根本的に変えさせられる大きな契機となった。特に、放射能という目に見えないものが人体・社会にどのような影響を及ぼすのかということについて十分な知識のない一般の国民は、大気・水・食料を通じた影響等に関する日々のマスコミ等の報道に心配を募らせてきている。今回の研究討論会は、幅広い分野をカバーしている地球環境委員会として、震災と放射能問題という課題に焦点をあてて意見交換するものである。土木の視点をもった識者からの放射能に関する取り組みの紹介は、社会としての問題解決に向けた動きを加速させるものと期待する。		
【研21】 9月9日(金) 12:40-14:40 工学部講義棟 41	国際リニアコライダ(ILC)施設の土木 工事に関するガイドラインの策定 岩盤力学委員会国際リニアコライダ施設の土 木工事に関する標準示方書策定小委員会 http://committees.jsce.or.jp/rm/	座 長：近久博志(国立大学法人 山口大学) 話題提供者：宮原正信(高エネルギー加速器研究機構) (予定) 真下英人(土木研究所) 西本吉伸(電源開発) 中野清人(高速道路総合技術研究所) 岡部治正(日建設計) 深沢成年(鉄道建設運輸施設整備支援機構) 来山尚義(復建調査設計)
本研究は、ILC施設の土木工事の施工に関する課題や問題点に対して、現時点で考えられる対応策をガイドラインとしてまとめようとするものです。3年間の委員会ですが、平成22年度は、国際リニアコライダ小委員会の研究成果である「加速器建設の土木技術に関する調査研究報告書」を基にして、今後の活動の方向性や方針を検討しました。平成23年度は、その結果を踏まえ、それぞれの課題ごとに作業部会を立ち上げ、課題解決のための検討を行っています。今回の研究討論会では、ILC施設の現状について説明を行うとともに、作業部会の活動の中間報告を行い、土木技術に関する課題や問題点とガイドライン策定に向けた方向性についての議論を予定しております。		
【研22】 9月9日(金) 12:40-14:40 法文学部講義棟 101	放射性廃棄物処分の新たな展開(仮 称) エネルギー委員会 http://www.jsce.or.jp/committee/enedobo/energydoboku.html	座 長：大西有三(京都大学副学長) 話題提供者：河西 基(電力中央研究所) (予定) 他3名程度未定
土木学会における放射性廃棄物処分に関する共通セッション及び研究討論会は、開催してきている。低レベル放射性廃棄物の余裕深度処分のうち土木工学に関係の深い事項を中心に様々な検討を行ってきた。高レベル放射性廃棄物処分に関しては、JAEAが継続して研究開発に取組み、NUMOはこれら国内外の最新成果および自らの技術開発成果を基に地層処分の安全な実施について2010年技術レポート(仮称)にまとめる予定である。本研究討論会においては、放射性廃棄物処分の今後の新たな展開について様々な視点から顧み、今後の土木技術者が果たすべき役割、要望等について議論する。		
【研23】 9月9日(金) 12:40-14:40 法文学部講義棟 305	公共事業縮小の時代における地域防 災の担い手育成の課題 地震工学委員会防災企画推進小委員会 http://www.jsce.or.jp/committee/eec2/index.html	座 長：佐伯光昭(防災企画推進小委員会委員、エイト日本技術開発) 話題提供者：三上 卓(防災企画推進小委員会副委員長、群馬高専准教授) 中野 晋(徳島大学教授 環境防災研究センター 副センター長) 尾崎浩二(久保興業(株)社長) 石橋良啓(国土省四国地方整備局企画部長)
大地震など、突発的な災害が発生した場合に、地域の救急救命活動の支援、災害拡大の防止、緊急復旧などには、日頃からその地域で活動している建設業関係者の活躍が極めて重要である。ところが、近年の公共事業の縮小により、その災害対応力が著しく低下している現実がある。この研究討論会では、防災企画推進小委員会が土木学会重点研究課題「建設従事者の災害緊急対応体験談の聞き取りとアーカイブ化」のために実施した6地震49名へのヒアリング結果から見えてきた課題を紹介し、学識者、地域でBCP等に取り組んでいる建設業者、それに行政関係者に登壇いただいて、土木学会として社会に発信すべき内容を議論する。		

日時／会場	題 目	座長および話題提供者
【研24】 9月9日(金) 12:40-14:40 共通教育講義棟 講11	先輩に聞く —環境工学の将来— 環境工学委員会 http://www.jsce.or.jp/committee/eec/index.html	座 長：大村達夫(東北大学工学研究科) 話題提供者：須藤隆一(埼玉県環境科学国際センター) (予定) 盛岡 通(関西大学)
環境工学は幅広い分野から成り立っており、著名な研究者の方々はそれぞれが独自の工夫と努力によって最先端を極められ、若い研究者には学ぶべき点が多々ある。本企画は、長年にわたって第一線で研究を続けてこられた著名な先生をお招きし、環境工学分野での研究に対する取り組み、考え方、将来への展望、若い研究者に望むこと等を話して頂くものであり、これまでに3回同タイトルで企画し、大変好評を得てきた。本年度も著名な二名の講師の招聘し本音のトーク、後輩への熱いメッセージを語っていただくとともに、講演後、会場の参加者と「環境工学分野の将来像」について意見交換を行う。		
【研25】 9月9日(金) 12:40-14:40 共通教育講義棟 講24	土木の広報戦略 ～「知らせる」から「共築」へ～ 社会コミュニケーション委員会 http://committees.jsce.or.jp/publicity/	座 長：緒方英樹(社会コミュニケーション委員会・全国建設研修センター) 話題提供者：岡田昌彰(景観・土木史、近畿大学) 小松 淳(社会コミュニケーション委員会Web部会長、情報利用技術委員会副委員長・日本工営) 高橋 薫(社会コミュニケーション委員会・大成建設) 宮田喜壽(企画委員会副幹事長・防衛大学校) 長町 博(香川用水土地改良区事務局長)
一般社会や市民へ土木の役割や価値を正しく、わかりやすく伝えるために、今まで効果的で戦略的なミッションがなされてきたとは言いがたい。しかし今後、土木に関する事業や土木に関わる技術者の、世の中でのステータスを上げ、一般市民との信頼関係を保ちながら意識と情報を共有していくためには、従来からの土木の啓蒙活動やイベント活動などを行っていくだけでなく、外部への情報発信を効果的な戦略に基づいて実施していき、住民の理解・信頼を得ながら「共に社会を築いていく」方向性が求められる。		
本戦略における土木広報の眼目は、公共の基盤を守り、整えるサービス財の価値、それらを提供する土木技術者の役割を正しく伝達・共有することによって、社会や住民とともに健全で良好な社会づくりを進めていくことにある。		
そのためには、土木学会が土木と社会をつなぐプロデュース的な役割を担って、正確で高品質な情報を発信するだけでなく、土木学会員一人一人が「土木の語り部」となって市民目線の双方向的なコミュニケーション形成を身近なところから積み重ね、「土木」が人々の暮らしを支えている理解と信頼感を醸成していく必要がある。さらに、従来にはない具体的な視点として、他分野で先行する広報手法の応用、歴史資産や土木学習との連携、市民から動き出したコミュニティとの連動、ネット社会への新たな情報発信の活用なども効果的な道筋となるだろう。そして実は、そうした萌芽は、各所で見られ始めていて、既に「新たな土木広報の時代」へ入ろうとしている。		
こうした背景の中で、本テーマは土木学会100周年に向けて、今後3年間にわたり研究討論会で段階的に議論を重ねていきたいと考えている。		
【研27】 9月9日(金) 12:40-14:40 共通教育講義棟 講35	BCP (事業継続計画)を巡る課題と動向 ～安全・安心・安定な社会作りへのアプローチ～ 安全問題研究委員会 http://www.jsce.or.jp/committee/csp/csp1.htm	座 長：白木 渡(香川大学) 話題提供者：井上晋一(東日本旅客鉄道(株)) (予定) 大幡勝利((独)労働安全衛生総合研究所) 須藤英明(鹿島建設(株)) 磯打千雅子(日本ミクニヤ(株)) 日笠一志(国土交通省四国地方整備局)
3月11日に発生したM9.0の巨大地震は、東北から関東に及ぶ広範囲に被害をもたらし、我が国がこれまで経験したことがない大規模広域災害(東北関東大震災)となった。大規模地震・津波災害に、原子力発電所被害が加わり、想定外の未曾有の大惨事となった。災害後1週間経った3月18日現在においても、被害の実態が把握されていない状況である。		
我が国では、さらに東海、東南海、南海地震に近い将来必ず発生するとされている。今度こそ想定外で済ませないように、災害からの「早期復旧」に焦点をあて、「被災地住民の生活を守るBCP」のあり方、組織間連携のあり方について議論を深め、土木学会としての提言等に繋げたいと考えている。		

第66回年次学術講演会会場および座長(予定者)一覧表

月 日			9月7日(水)			
部門	会場	教 室	8:40～10:10	10:25～11:55	12:40～14:10	14:25～15:55
I	I-1	法文学部講義棟101	橋梁床版(1) I-001～I-008 久保圭吾	橋梁床版(2) I-009～I-016 安川義行	橋梁床版(3) I-017～I-024 大田孝二	橋梁床版(4) I-025～I-033 川畑篤敬
	I-2	法文学部講義棟102	橋梁一般(設計)(1) I-073～I-079 野坂克義	橋梁一般(設計)(3) I-080～I-086 岡田 淳	橋梁一般(設計)(4) I-087～I-094 山口栄輝	橋梁一般(設計)(4) I-095～I-101 平山 博
	I-3	法文学部講義棟201	疲労(1) I-140～I-147 穴見健吾	疲労(2) I-148～I-155 中野博文	疲労(3) I-156～I-163 森 猛	疲労(4) I-164～I-171 杉山裕樹
	I-4	法文学部講義棟302		波動・振動 I-209～I-215 中畑和之	計算力学・数値解析(1) I-216～I-222 宇都宮智昭	計算力学・数値解析(2) I-223～I-229 浅井光輝
	I-5	法文学部講義棟303		構造同定 I-268～I-275 宮下 剛	耐風・風工学(1) I-276～I-282 八木知己	耐風・風工学(2) I-283～I-289 山口 敦
	I-6	法文学部講義棟304	耐震設計法(1) I-326～I-331 川西智浩	耐震設計法(2) I-332～I-338 樋口俊一	免震設計(1) I-339～I-345 横川英彰	免震設計(2) I-346～I-352 宇野裕恵
	I-7	法文学部講義棟305		地震防災(1) I-389～I-396 能島暢呂	地震防災(2) I-397～I-403 村地由子	地震防災(3) I-404～I-411 鍛田泰子
	I-8	法文学部講義棟403		地盤振動(観測) I-448～I-455 古川愛子	地盤振動(解析) I-456～I-463 盛川 仁	土構造物の耐震 I-464～I-469 末冢岩雄
	I-9	法文学部講義棟404	維持管理(構造)(1) I-510～I-517 北根英雄	維持管理(構造)(2) I-518～I-525 岩崎正二	維持管理(構造)(3) I-526～I-531 金 裕哲	維持管理(構造)(4) I-532～I-539 谷口 望
	I-10	法文学部講義棟大講義室	維持管理(腐食)(1) I-568～I-575 岩崎英治	維持管理(腐食)(2) I-576～I-583 大屋 誠	維持管理(腐食)(3) I-584～I-591 安波博道	維持管理(腐食)(4) I-592～I-598 貝沼重信
II	II-1	教育学部本館・2号館大講義室	開水路・複合水路 II-001～II-008 音田慎一郎	河道・植生の水理 II-009～II-016 戸田祐嗣	水理構造物 II-017～II-024 高橋正行	構造物周辺の流れ・洗掘 II-025～II-032 内田龍彦
	II-2	教育学部本館・2号館103	水圏の環境(1) II-072～II-079 矢野真一郎	水圏の環境(2) II-080～II-087 梅田 信	物質輸送・循環 II-088～II-095 田村隆雄	閉鎖性水域の水理 II-096～II-103 黒川岳司
	II-3	教育学部本館・2号館402	水理計測・観測手法 II-140～II-146 萬矢敦啓	大気水象 II-147～II-154 大石 哲	都市の水文 II-155～II-162 加藤祐磨	都市の水害 II-163～II-170 手計太一
	II-4	教育学部本館・2号館401	津波の調査と解析 II-210～II-217 小竹康夫	津波と構造物 II-218～II-225 小池信昭	波と構造物(1) II-226～II-233 織田幸伸	波と構造物(2) II-234～II-241 本多和彦
	III-1	工学部講義棟41	土質安定処理・地盤改良(1) III-001～III-009 足立有史	土質安定処理・地盤改良(2) III-010～III-018 平野孝行	土質安定処理・地盤改良(3) III-019～III-025 林健太郎	土質安定処理・地盤改良(4) III-026～III-033 深田 久
III	III-2	工学部講義棟42	トンネル(1) III-075～III-081 小泉直人	トンネル(2) III-082～III-088 山本拓治	トンネル(3) III-089～III-096 福井勝則	トンネル(4) III-097～III-103 真下英人
	III-3	工学部講義棟43	地盤の応力と変形(1) III-143～III-150 前田健一	地盤の応力と変形(2) III-151～III-158 河村健輔	数値解析 III-159～III-167 湯岡良介	土の動的性質 III-168～III-173 原田健二
	III-4	工学部講義棟35	杭(1) III-214～III-221 恒川和久	杭(2) III-222～III-229 富澤幸一	杭(3) III-230～III-236 浦野和彦	杭(4) III-237～III-245 末政直晃
	III-5	工学部講義棟34	斜面(1) III-287～III-294 森伸一郎	斜面(2) III-295～III-301 辻子裕二	斜面(3) III-302～III-310 内田純二	斜面(4) III-311～III-318 齋藤秀樹
	III-6	工学部講義棟33	試験法・調査法(1) III-355～III-363 上野勝利	試験法・調査法(2) III-364～III-372 澤田俊一	試験法・調査法(3) III-373～III-380 ハザリカヘマンタ	現場計測 III-381～III-388 来山尚義
IV	IV-1	工学部講義棟・総合研究棟2の25	測量・リモートセンシング IV-001～IV-008 羽柴秀樹	地域・防災 IV-009～IV-016 後藤 浩	防災・避難 IV-017～IV-024 秦康範	災害対策 IV-025～IV-031 二神 透
	IV-2	工学部講義棟・総合研究棟2の24		バラスト軌道 IV-063～IV-070 白川龍生	省力化軌道・無道床橋梁 IV-071～IV-078 堀池高広	スラブ軌道 IV-079～IV-086 高尾賢一
	IV-3	工学部講義棟・総合研究棟2の23		鉄道橋梁の維持管理(1) IV-129～IV-137 高瀬直輝	鉄道橋梁の維持管理(2) IV-138～IV-146 貝瀬樹樹	鉄道工事 IV-147～IV-154 小野寺孝行
	IV-4	工学部講義棟・総合研究棟2の26		交通ネットワーク・交通流 IV-196～IV-202 中山品一郎	交通事故(1) IV-203～IV-210 鈴木一史	交通事故(2) IV-211～IV-218 寺内義典
	IV-5	工学部講義棟・総合研究棟2の27		土木史 IV-248～IV-254 樋口輝久	景観分析・評価 IV-255～IV-262 岡田昌彰	景観・デザイン IV-263～IV-270 真田純子
V	V-1	共通教育講義棟講11	補修・補強(材料)(1) V-001～V-008 佐々木蔵	補修・補強(材料)(2) V-009～V-016 岸 利治	補修・補強(材料)(3) V-017～V-024 瀬野康弘	補修・補強(材料)(4) V-025～V-032 松村卓郎
	V-2	共通教育講義棟講12	耐火性 V-073～V-080 小澤満津雄	せん断(1) V-081～V-088 松本浩嗣	せん断(2)・プレストレストコンクリート(1) V-089～V-096 渡辺 健	プレストレストコンクリート(2) V-097～V-104 青木圭一
	V-3	共通教育講義棟講13	維持管理 V-142～V-149 日比野誠	構造物調査・診断 V-150～V-157 木村嘉富	劣化予測 V-158～V-165 加藤裕万	破壊力学・数値解析 V-166～V-173 田中泰司
	V-4	共通教育講義棟講21	塩害(1) V-214～V-221 山路 徹	塩害(2) V-222～V-229 上田隆雄	鋼材腐食(1) V-230～V-237 山口明伸	鋼材腐食(2) V-238～V-245 久田 真
	V-5	共通教育講義棟講23	物性(1) V-285～V-292 伊代田岳史	物性(2) V-293～V-300 加藤佳孝	評価・試験方法(1) V-301～V-308 勝木 太	評価・試験方法(2) V-309～V-316 北川真也
	V-6	共通教育講義棟講24	舗装一般 V-356～V-363 鎌田 修	アスファルト系舗装 V-364～V-371 伊藤達也	環境保全(舗装) V-372～V-379 川上篤史	構造設計(舗装) V-380～V-386 前原弘宣
	V-7	共通教育講義棟講31	ひび割れ V-427～V-434 林 和彦	収縮・クリープ(1) V-435～V-441 半井健一郎	収縮・クリープ(2) V-442～V-448 笠井哲郎	収縮・クリープ(3) V-449～V-455 兵頭彦次
	V-8	共通教育講義棟講32		セメント化学・混和剤 V-494～V-501 細川佳史	混和材(1) V-502～V-509 植 康弘	混和材(2) V-510～V-517 福留和人
	V-9	共通教育講義棟講33		プレキャスト・製品 V-556～V-563 加藤卓也	フレッシュコンクリート V-564～V-571 菅俣 匠	高流動・特殊コンクリート V-572～V-579近松竜一
VI	VI-1	共通教育講義棟講35	土留め VI-001～VI-007 田中耕一	シールドトンネル(1) VI-008～VI-015 斉藤正幸	シールドトンネル(2) VI-016～VI-023 久保田泰史	シールドトンネル(3) VI-024～VI-031 中谷武彦
	VI-2	共通教育講義棟講34	測量・計測 VI-066～VI-073 佐田達典	施工計画(1) VI-074～VI-081 小出太朗	施工計画(2) VI-082～VI-089 原田雅弘	施工計画(3) VI-090～VI-098 田中啓之
	VI-3	共通教育講義棟講41	景観設計・設計技術 VI-130～VI-137 山本康之	リニューアル(1) VI-138～VI-145 松崎靖彦	リニューアル(2) VI-146～VI-161 福田 茂	リニューアル(3) VI-146～VI-153 内藤英樹
	VI-4	共通教育講義棟講42	建設環境 VI-193～VI-200 宮田 和	アセットマネジメント(1) VI-201～VI-207 岩城一郎	アセットマネジメント(2) VI-208～VI-214 横田 弘	アセットマネジメント(3) VI-215～VI-221 田中克則
	VI-5	共通教育講義棟講43	橋梁 VI-257～VI-264 熊坂徹也	技術開発(1) VI-265～VI-271 寺澤正人	技術開発(2) VI-272～VI-278 野澤伸一郎	技術開発(3)・各種基礎 VI-279～VI-286 田坂幹雄
	VI-6	共通教育講義棟講44	情報化施工 VI-320～VI-328 古屋 弘	施工技術(1) VI-329～VI-336 森田泰司	施工技術(2) VI-337～VI-344 岡野法之	施工技術(3) VI-345～VI-352 伊藤一教
	VI-7	共通教育講義棟講45		山岳トンネル(1) VI-385～VI-392 安達哲也	山岳トンネル(2) VI-393～VI-399 片山政弘	山岳トンネル(3) VI-400～VI-407 横尾 敦
VII	VII-1	教育学部4号館(共通教育講義棟北別棟)北41	水資源・水需給 VII-001～VII-005 荒井康裕	上下水道管理 VII-006～VII-013 渡辺亮一	水質モニタリング・解析(1) VII-014～VII-021 山西博幸	水質モニタリング・解析(2) VII-022～VII-029 市本敦之
	VII-2	教育学部4号館(共通教育講義棟北別棟)総合授業研究室	地域環境計画・管理 VII-070～VII-077 韓 驥	環境意識・環境経済 VII-078～VII-085 曾根真理	水域・生態(1) VII-086～VII-092 伊豫岡安樹	水域・生態(2) VII-093～VII-100 村上上和仁
	VII-3	教育学部4号館(共通教育講義棟北別棟)北21		埋立処分場管理 VII-137～VII-144 渡谷勝利	循環資源・リサイクル(1) VII-145～VII-152 高橋史武	循環資源・リサイクル(2) VII-153～VII-160 土手 裕
CS	CS-1	愛大ミュージアムM23		土木教育一般(1) CS1-001～CS1-008 道奥康治	土木教育一般(2) CS1-009～CS1-014 末武義崇	土木教育一般(3) CS1-015～CS1-021 藤井 聡
	CS-2	愛大ミュージアムM24		放射性廃棄物の処分技術(1) CS3-001～CS3-008 河西 基	放射性廃棄物の処分技術(2) CS3-009～CS3-016 千々松正和	放射性廃棄物の処分技術(3) CS3-017～CS3-024 山本修一
	CS-3	愛大ミュージアムM32		複合構造物(1) CS2-001～CS2-007 大垣賀津雄	複合構造物(2) CS2-008～CS2-014 池田 学	複合構造物(3) CS2-015～CS2-020 武知 勉
	CS-4	愛大ミュージアムM33		計算力学(1) CS10-001～CS10-008 田中聖三	計算力学(2) CS10-009～CS10-016 石井建樹	計算力学(3) CS10-017～CS10-024 斎藤隆泰
	CS-5	愛大ミュージアム101		土木分野におけるセンサ技術の利用と可能性(1) CS9-001～CS9-007 松谷 治	土木分野におけるセンサ技術の利用と可能性(2) CS9-008～CS9-014 高田知典	土木分野におけるセンサ技術の利用と可能性(3) CS9-015～CS9-021 石間計夫

	9月8日(木)	9月8日(木)	9月9日(金)	9月9日(金)	9月9日(金)
	8:40～10:10	10:25～11:55	8:40～10:10	10:25～11:55	15:00～16:30
	地震応答解析(1) I-034～I-041 室野剛隆	地震応答解析(2) I-042～I-048 小野祐輔	衝撃(1) I-049～I-056 國田佳巨	衝撃(2) I-057～I-064 別府万寿博	衝撃(3) I-065～I-072 三上 浩
	橋梁一般(測定)(1) I-102～I-109 菅沼久忠	橋梁一般(測定)(2) I-110～I-117 鈴木啓悟	橋梁一般(施工) I-118～I-125 青藤展生	安全性・信頼性 I-126～I-133 中村孝明	最適設計 I-134～I-139 須藤敦史
	疲労(5) I-172～I-178 田畑晶子	低サイクル疲労 I-179～I-185 葛 漢彬	橋梁の耐震(1) I-186～I-193 藤田亮一	橋梁の耐震(2) I-194～I-201 小野 潔	橋梁の耐震(3) I-202～I-208 張 広鋒
	溶接・継手 I-230～I-237 南 邦明	継手(1) I-238～I-245 梶 一	継手(2) I-246～I-252 一宮 充	継手(3) I-253～I-259 山口隆司	耐力・変形性能 I-260～I-267 渡邊学歩
	耐風・風工学(3) I-290～I-297 松田一俊	耐風・風工学(4) I-298～I-303 野田 稔	橋梁振動(理論) I-304～I-310 宮下 剛	橋梁振動(実験測定)(1) I-311～I-318 松本泰尚	橋梁振動(実験測定)(2) I-319～I-325 曾我部正道
	免震・制震(1) I-353～I-359 伊津野和行	免震・制震(2) I-360～I-366 豊岡亮洋	免震・制震(3) I-367～I-373 姫野岳彦	免震・制震(4) I-374～I-380 樋口匡隆	耐震実験 I-381～I-388 武田篤史
	震害 I-412～I-417 宮島昌克	地震危険度 I-418～I-424 中島正人	リアルタイム地震工学 I-425～I-432 古川愛子	ライフライン地震防災 I-433～I-439 丸山善久	耐震補強 I-440～I-447 上半文昭
	設計地震動 I-470～I-477 野津 厚	強振動予測 I-478～I-485 坂井公俊	地中構造物の耐震(1) I-486～I-493 松本敏克	地中構造物の耐震(2) I-494～I-501 宮川義範	基礎・処分施設の耐震 I-502～I-509 青藤正人
	維持管理(構造)(5) I-540～I-545 三上修一	維持管理(構造)(6) I-546～I-552 下里哲弘	地盤液化化(1) I-553～I-559 岸田忠大	地盤液化化(2) I-560～I-567 原 忠	
	維持管理(腐食)(5) I-599～I-605 山本 悟	維持管理(腐食)(6) I-606～I-613 野上邦栄	鉄道工学(一般) I-614～I-621 高橋和也	非破壊評価 I-622～I-629 山田真幸	
	ダム・タンクの耐震(1) I-653～I-660 熊崎幾太郎	ダム・タンクの耐震(2) I-661～I-668 木全宏之	診断・補修・補強(1) I-669～I-676 上仙 靖	診断・補修・補強(2) I-677～I-682 小西拓洋	
	流路・河床変動(1) II-033～II-040 長田健吾	流路・河床変動(2) II-041～II-047 神田佳一	土砂生産 II-048～II-055 門田章宏	流砂 II-056～II-063 溝口敦子	ダム堆砂・排砂 II-064～II-071 中谷加奈
	河口の水理 II-104～II-110 安田浩保	河川計画・管理 II-111～II-117 門田章宏	流域計画・管理(1) II-118～II-124 須藤達美	流域計画・管理(2) II-125～II-132 重枝未玲	流域計画・管理(3) II-133～II-139 河原能久
	PUB・水文統計 II-171～II-178 田中賢治	流出・洪水 II-179～II-186 河村 明	地下水理・地下水文 II-187～II-193 中川 啓	地球環境問題 II-194～II-201 森脇 亮	数値流体力学 II-202～II-209 赤堀良介
	波・流れ・高潮 II-242～II-249 田安正茂	海浜変形と海岸環境 II-250～II-257 新美達也	干潟と水質環境 II-258～II-265 島田克也	沿岸環境と海洋エネルギー II-266～II-273 畑田佳男	河川環境・構造物 II-274～II-281 鬼束幸樹
	土質安定処理・地盤改良(5) III-034～III-040 中澤博志	土質安定処理・地盤改良(6) III-041～III-048 山田和弘	補強土(1) III-049～III-056 岡林宏二	補強土(2) III-057～III-065 平川大貴	締固め III-066～III-074 建山和由
	トンネル(5) III-104～III-111 瀬坂博夫	シールドトンネル III-112～III-118 小宮一仁	地下空洞と地下構造物(1) III-119～III-126 畑 浩二	地下空洞と地下構造物(2) III-127～III-134 清水英樹	岩の工学的性質 III-135～III-142 清水隆文
	地盤の動的挙動(1) III-174～III-181 永尾浩一	地盤の動的挙動(2) III-182～III-188 立石 章	透水・浸透(1) III-189～III-196 安原英明	透水・浸透(2) III-197～III-204 小松 満	透水・浸透(3) III-205～III-213 原 忠
	土留め III-246～III-253 古関潤一	地盤防災 III-254～III-261 西村伸一	地盤環境廃棄物 III-262～III-270 荒牧幸隆	リサイクル III-271～III-279 藤川拓朗	土壌・地下水汚染 III-280～III-286 林 泰弘
	斜面(5) III-319～III-326 北 勝利	斜面(6) III-327～III-332 太田直之	洗掘・侵食 III-333～III-338 上田恭平	圧密・圧縮 III-339～III-345 梅崎健夫	フィルドム III-346～III-354 沼田淳紀
	不飽和土 III-389～III-397 加藤正司	凍結・凍土 III-398～III-404 佐藤厚子	粘土の変形強度 III-405～III-410 渡部要一	砂の変形強度 III-411～III-418 中田幸男	
	災害復旧・復興 IV-032～IV-038 大沢昌玄	東日本大震災被害把握・シミュレーション IV-039～IV-046 羽藤英二	鉄道利用 IV-047～IV-054 金子雄一	自動車・歩行者交通 IV-055～IV-062 宇佐美誠史	
	まくらぎ IV-087～IV-095 鈴木常夫	レール締結装置・継目板 IV-096～IV-104 松谷尚嗣	レール探傷・凹凸 IV-105～IV-112 篠脇 諭	レール傷・磨耗 IV-113～IV-120 川崎祐征	分岐器、ロングレール IV-121～IV-128 渡邊康人
	軌道・車両の理論解析 IV-155～IV-161 川口達也	軌道保守 IV-162～IV-170 神津大輔	軌道工事 IV-171～IV-179 川口昭人	防災(1) IV-180～IV-187 深田隆弘	防災(2) IV-188～IV-195 太田直之
	移動環境と情報 IV-219～IV-226 小横山裕之	バス・地域交通 IV-227～IV-234 加藤博和	交通と福祉・健康 IV-235～IV-241 江守 央	駅・駐車場 IV-242～IV-247 柴田宗典	
	地区内交通 IV-271～IV-278 元田良孝	国土・都市分析 IV-279～IV-286 土井健司	中心市街地活性化・市街地整備 IV-287～IV-294 高見公雄	観光・地域活性化 IV-295～IV-302 氏原岳人	
	非破壊試験法(1) V-033～V-040 岩野聡史	非破壊試験法(2) V-041～V-048 大島義信	非破壊試験法(3) V-049～V-056 横田 優	非破壊試験法(4) V-057～V-064 藤部篤史	凍結融解 V-065～V-072 阿波 稔
	品質管理・検査・耐久性 V-105～V-111 呉 承寿	ポンプ圧送・締固め V-112～V-119 細野宏巳	温度応力(1) V-120～V-126 鈴木康範	温度応力(2) V-127～V-133 満洲利明	付着・定着 V-134～V-141 長井宏平
	連続繊維補強コンクリート(1) V-174～V-181 山口浩平	連続繊維補強コンクリート(2)・補修補強(構造) V-182～V-189 古賀裕久	短繊維補強コンクリート(材料)(1) V-190～V-197 内田裕市	短繊維補強コンクリート(材料)(2) V-198～V-205 宮里心一	短繊維補強コンクリート(材料/構造)(3) V-206～V-213 大内 一
	防食 V-246～V-253 斎善良和	複合劣化 V-254～V-261 野島昭二	耐久性一般(1) V-262～V-269 渡辺 博志	耐久性一般(2) V-270～V-277 川端雄一郎	耐久性一般(3) V-278～V-284 谷口秀明
	セメント系舗装 V-317～V-324 中原大磯	路床・路盤 V-325～V-332 石垣 勉	舗装材料 V-333～V-339 岩井茂雄	新材料・新工法(1) V-340～V-347 杉橋直行	新材料・新工法(2) V-348～V-355 宇野洋志城
	構造評価(舗装) V-387～V-394 東本 崇	路面評価(舗装)(1) V-395～V-402 藤原栄吾	路面評価(舗装)(2) V-403～V-410 林 信也	路面評価(舗装)(3) V-411～V-418 前川亮太	維持・修繕(舗装) V-419～V-426 島崎 勝
	新材料・新工法(構造)・曲げ V-456～V-463 田所敏弥	構造設計 V-464～V-471 島 弘	耐震(1) V-472～V-478 牧 剛史	耐震(2) V-479～V-485 瀧口将志	耐震補強 V-486～V-493 木野淳一
	骨材 V-518～V-525 古賀裕久	軽量コンクリート V-526～V-532 角橋政司	アルカリシリカ反応(1) V-533～V-540 林 建佑	アルカリシリカ反応(2) V-541～V-547 岩月栄治	アルカリシリカ反応(3) V-548～V-555 久保善司
	副産物利用・再生材料(1) V-580～V-587 齋田浩章	副産物利用・再生材料(2) V-588～V-595 坂本 守	副産物利用・再生材料(3) /エコ・緑化コンクリート V-596～V-603 綾野克紀	リサイクル V-604～V-611 三方康弘	再生コンクリート V-612～V-619 堀井克章
	シールドトンネル(4) VI-032～VI-039 焼田真司	シールドトンネル(5) VI-040～VI-047 香川 敦	地下構造物 VI-048～VI-056 滝本邦彦	地下構造物・開削トンネル VI-057～VI-065 川村 力	
	安全管理 VI-099～VI-107 辻奈津子	品質管理 VI-108～VI-115 五十嵐寛昌	GPS (1) VI-116～VI-122 熊谷幸樹	GPS (2)・GIS VI-123～VI-129 清水則一	
	リニューアル(4) VI-162～VI-170 大竹吾吾	リニューアル(5) VI-171～VI-178 土井 仁	地盤改良(1) VI-179～VI-185 嶋田洋一	地盤改良(2) VI-186～VI-192 樋口雄一	
	検査技術・診断(1) VI-222～VI-230 国枝 稔	検査技術・診断(2) VI-231～VI-239 遠藤和雄	検査技術・診断(3) VI-240～VI-248 戸田勝哉	検査技術・診断(4) VI-249～VI-256 蔵重 勲	
	PFI・PPP、コスト削減、公共政策、合意形成 VI-287～VI-294 山岸洋一	プロジェクトマネジメント、建設マネジメント VI-295～VI-303 永田尚人	入札・契約(1) VI-304～VI-311 渡邊法美	入札・契約(2) VI-312～VI-319 塚田幸広	
	施工技術(4) VI-353～VI-360 大野俊夫	施工技術(5) VI-361～VI-368 武田 均	施工技術(6) VI-369～VI-377 中出 剛	施工技術(7) VI-378～VI-384 新井 泰	
	山岳トンネル(4) VI-408～VI-415 小島芳之	山岳トンネル(5) VI-416～VI-421 根本浩史	ダム VI-422～VI-428 木梨秀雄	ダム VI-429～VI-436 豊田光雄	
	水質浄化技術 VII-030～VII-037 奈良松範	物理化学処理 VII-038～VII-045 大木 協	嫌気性処理(1) VII-046～VII-053 久保田健吾	嫌気性処理(2) VII-054～VII-061 大久保努	栄養塩除去・下水処理 VII-062～VII-069 池本良子
	森林・植生(1) VII-101～VII-107 田邊大次郎	森林・植生(2) VII-108～VII-114 尾館健一	環境影響評価(1) VII-115～VII-122 千野裕之	環境影響評価(2) VII-123～VII-130 池田和弘	温暖化対策 VII-131～VII-136 井上隆司
	LCA・循環型社会 VII-161～VII-168 米山一幸	熱環境・エネルギー VII-169～VII-175 坂井康人	バイオレメディエーション VII-176～VII-183 奥田信康	土壌・地下水汚染(1) VII-184～VII-190 竹崎 聡	土壌・地下水汚染(2) VII-191～VII-197 藤川陽子
	地下空間の多角的利用(1) CS5-001～CS5-007 中山 学	地下空間の多角的利用(2) CS5-008～CS5-013 岡嶋正樹	新設および大規模改修時における橋梁計画(1) CS7-001～CS7-008 高木千太郎	新設および大規模改修時における橋梁計画(2) CS7-009～CS7-015 坂野昌弘	新設および大規模改修時における橋梁計画(3) CS7-016～CS7-023 坂手道明
	放射性廃棄物の処分技術(4) CS3-025～CS3-032 森 拓雄	放射性廃棄物の処分技術(5) CS3-033～CS3-040 岸田 潔	放射性廃棄物の処分技術(6) CS3-041～CS3-048 藤田朝雄	放射性廃棄物の処分技術(7) CS3-049～CS3-055 庭瀬一仁	放射性廃棄物の処分技術(8) CS3-056～CS3-063 山本武志
	複合構造物(4) CS2-021～CS2-026 渡辺忠朋	複合構造物(5) CS2-027～CS2-032 松本高志	複合構造物(6) CS2-033～CS2-038 山口浩平	土工学発展に向けた資料の収集・保存・提供と利活用 CS11-001～CS11-005 野末道子	
	土木分野における木材利用(1) CS13-001～CS13-007 佐々木貴信	土木分野における木材利用(2) CS13-008～CS13-015 原 忠	土木分野における木材利用(3) CS13-016～CS13-023 村野昭人	水環境における生物多様性評価・保全技術 CS12-001～CS12-008 赤松良久	

第66回 年次学術講演会プログラム

第I部門

応用力学、構造工学、鋼構造、耐震工学、地震工学、風工学など

I-1 (法文学部講義棟101) / 9月7日(水)

■橋梁床版(1) / 8:40~10:10 / 久保 圭吾(宮地エンジニアリング)

- I-001 湿潤状態で高耐久型エポキシ系接着剤を塗布したSFRC上面増厚補強法の耐疲労性の評価 / 鹿島道路 [正] 伊藤 清志・阿部 忠・齋藤 尚
- I-002 繊維補強吹付けモルタルを用いた下面増厚補強に関する実験的研究 / 大林組 [正] 高橋 敏樹・野村 敏雄・伊奈 義直
- I-003 水平ひび割れを考慮した鋼板接着補強RC床版の数値解析 / ショーボンド建設 [正] 山下 幸生・佐野 正・加藤 暢彦
- I-004 西名阪自動車道 御幸大橋(上り線)床版取替(I期)工事報告(その1)―仮設鋼床版を利用した昼間交通解放による床版取替工事(計画編)― / 西日本高速道路 [正] 光田 剛史・木原 通太郎・菱田 智
- I-005 西名阪自動車道 御幸大橋(上り線)床版取替(I期)工事報告(その2)―仮設鋼床版を利用した昼間交通解放による床版取替工事(施工編)― / 横河工事 [正] 白水 晃生・光田 剛史・木原 通太郎
- I-006 西名阪自動車道 御幸大橋(下り線)床版取替II期工事(その1) / 川田工業 [正] 街道 浩・光田 剛史・木原 通太郎
- I-007 西名阪自動車道 御幸大橋(下り線)床版取替II期工事(その2) / 川田工業 [正] 鳥山 裕史・光田 剛史・木原 通太郎
- I-008 プレキャスト合成床版に適用する合理化継手構造の疲労耐久性評価 / 川田工業 [正] 水野 浩・大西 弘志・松井 繁之

■橋梁床版(2) / 10:25~11:55 / 安川 義行(東日本高速道路)

- I-009 旧銚子大橋RC床版を用いた各種補強による耐疲労性の評価 / 日本大学 [正] 高野 真希子・阿部 忠・木田 哲量
- I-010 衝撃振動試験を用いた高速道路供用下における実橋RC床版の健全度評価 / 福山コンサルタント [正] 宮村 正樹・米永 義明・岩崎 正二
- I-011 丸鋼を用いたRC床版の疲労耐久性(その1. 輪荷重走行試験による疲労耐久性の検討) / 室蘭工業大学 [正] 赤代 恵司・三田村 浩・坂口 淳一
- I-012 丸鋼を用いたRC床版の疲労耐久性(その2. 丸鋼鉄筋床版の疲労寿命評価) / 土木研究所 [正] 西 弘明・三田村 浩・赤代 恵司
- I-013 間隙水圧が劣化床版に及ぼす影響の解析的検討 / 国土開発センター [正] 横山 広・関口 幹夫・堀川 都志雄
- I-014 小型起振機を用いたコンクリート部材の縦振動計測 / 東北大学 [学] 黒田 千砂子・齊木 佑介・内藤 英樹
- I-015 疲労損傷を受けた道路橋RC床版の非破壊検査 / 東北大学 [学] 小林 珠祐・内藤 英樹・岩城 一郎
- I-016 衝撃荷重載荷試験による床版剛性の評価 / 国土開発センター [正] 亀田 浩昭・横山 広・関口 幹夫

■橋梁床版(3) / 12:40~14:10 / 大田 孝二(土木研究センター)

- I-017 孔あきT型リブを用いた合成床版の実施工を想定したずれ止め性能に関する実験 / バコーポレーション [正] 遠藤 輝好・藤原 誠・酒井 武志
- I-018 孔あきT型リブを用いた合成床版の連続合成桁としての負曲げ試験 / バコーポレーション [正] 酒井 武志・藤原 誠・雨森 慶一
- I-019 合成床版合成桁のひび割れ性状に関する実験 / 長岡技術科学大学 [学] 工藤 晃也・奥山 雄介・長井 正嗣
- I-020 サンドイッチ型複合床版の最小コンクリート厚に関する検討 / 横河住金ブリッジ [正] 上條 崇・中川 敏之・湯川 雅之
- I-021 鋼管ジベルを用いたずれ止めの押し抜き試験 / 片山ストラテック [正] 山本 将士・大久保 宣人・高林 和生
- I-022 鋼コンクリート合成床版の底鋼板継手部の耐荷挙動 / IHI [正] 塩永 亮介・山口 隆一・鈴木 統
- I-023 Stress Analysis on steel-concrete composite slab using angle shape shear connector / 名古屋大学 [正] 崔 誠珉・館石 和雄・浅野 浩一
- I-024 COM3Dを用いた鋼・コンクリート合成床版の疲労損傷解析 / 日本橋梁建設協会 [正] 松村 寿男・上村 明弘・藤山 知加子

■橋梁床版(4) / 14:25~15:55 / 川畑 篤敬(JFEエンジニアリング)

- I-025 道路橋鋼床版の疲労き裂の進展抑制技術の開発 / 神戸製鋼所 [正] 河本 恭平・山田 岳史・三田村 浩
- I-026 道路橋鋼床版デッキ貫通疲労き裂周辺の熱弾性温度変動分布の有限要素解析 / 千代田アドバンスト・ソリューションズ [正] 小島 浩二・和泉 遊以・阪上 隆英
- I-027 超高強度繊維補強コンクリートとのアスファルト舗装の付着性状に関する検討 / TTES [正] 勝山 真規・竹淵 敏郎・小野 秀一
- I-028 鋼床版上SFRC舗装のFEMを用いた乾燥収縮に関する検討 / 鹿島道路 [正] 一瀬 八洋・加形 護・小林 哲夫
- I-029 鋼床版上ゴムラテックスモルタル舗装の負荷域耐久性検討 / 竹中道路 [正] 国松 俊郎・大垣 賀津雄・大久保 藤和
- I-030 大型航空機を対象とした合成床版の押し抜きせん断耐力 / [学] 山中 翔太・日野 伸一・山口 浩平
- I-031 FRP合成床版を用いた鋼箱桁の夜間一括架設 / 東日本高速道路 [正] 本間 淳史・安原 正幸・久家 隆裕
- I-032 建設時における鋼・コンクリート合成床版の初期値計測 / 福岡北九州高速道路公社 [正] 今吉 計二・下川 清亮・鈴木 統
- I-033 改良型フェルールを用いたスタッドの疲労試験 / 川田工業 [正] 吉田 賢二・稲本 晃士・東山 浩士

I-1 (法文学部講義棟101) / 9月8日(木)

■地震応答解析(1) / 8:40~10:10 / 室野 剛隆(鉄道総合技術研究所)

- I-034 洋上風力発電タワーの風と地震による動的応答計算 / 早稲田大学 [学] 久保田 翔平・清宮 理
- I-035 応答スペクトルの不確実性と風車タワーの高次モードを考慮した地震荷重評価式の提案 / 東京大学 [学] 高本 剛太郎・石原 孟・M.W. Sarwar
- I-036 低温環境下における制震ダンパーを有する単純桁橋梁のサブストラクチャ仮動的実験 / 北見工業大学 [学] 湯村 美紀・宮森 保紀・大島 俊之
- I-037 地震動特性が構造物の応答に及ぼす影響 / 清水建設 [正] 滝本 和志・若原 敏裕・稲田 裕
- I-038 Response of Yokohama-Bay Cable-Stayed Bridge in the 2011 Great East Japan Earthquake / 東京大学 [正] 長山 智則・Siringoringo Dionysius・藤野 陽三
- I-039 橋梁の地震時応答解析における衝突バネ定数の算定式 / 九州工業大学 [学] 山田 啓太・山口 栄輝
- I-040 車両を考慮した曲線橋の地震入力方向変化による地震応答特性 / 神戸大学 [学] 谷口 貴俊・川谷 充郎・金 哲佑
- I-041 NEW SEISMIC ISOLATION APPROACH: THE FOLDED CANTILEVER SHEAR STRUCTURE / Kumamoto University [学] カヤ エルカス セリフ・Katayama Takuro・Yamao Toshitaka

■地震応答解析(2) / 10:25~11:55 / 小野 祐輔(鳥取大学)

- I-042 2方向地震動を受ける鋼片持ち柱の弾塑性地震応答解析 / 和歌山工業高等専門学校 [学] 上野山 拓也・山田 幸・酒造 敏廣
- I-043 鉛直方向地盤ばねの設定法に関する一考察 / 日建設計シビル [正] 川満 逸雄・本田 道誠・國津 博昭
- I-044 杭基礎構造物の振動実験における加振レベルと地盤の非線形特性 / 鉄道総合技術研究所 [正] 本山 紘希・西村 隆義・室野 剛隆
- I-045 護岸近傍に設置された鋼管井筒橋梁基礎の地震時挙動 / 早稲田大学 [学] 高地 亮介・清宮 理・安 同祥
- I-046 分合流部を有する大型道路トンネル全体系を対象とした3次元地震応答解析 / 首都高速道路 [正] 長田 光正・並川 賢治・堀 宗朗
- I-047 鋼板セ式岸壁の遠心場模型実験の3次元地震応答解析によるシミュレーション / パシフィックコンサルタンツ [正] 佐藤 成・清宮 理
- I-048 接触面の剥離を考慮した場合の高層ビルと地下街の地震時の相互影響 / 弘前大学 [F] 有賀 義明・浅賀 裕之

I-1 (法文学部講義棟101) / 9月9日(金)

■衝撃(1) / 8:40~10:10 / 園田 佳巨(九州大学)

- I-049 二層緩衝構造を併用した杭付RC落石防護擁壁に関する数値解析的検討 / 構研エンジニアリング [正] 保木 和弘・今野 久志・牛渡 裕二
- I-050 RC製ロックシェッド模型における二次元骨組モデルを用いた非線形動的解析の検討 / 構研エンジニアリング [正] 牛渡 裕二・岸 徳光・保木 和弘
- I-051 DYNAMIC PERFORMANCE OF H-BEAM UNDER IMPACT LOAD / 0762344603 [学] スリカウ クリッサダー・Hiroshi Masuya・Keisuke Nishida
- I-052 質点パネモデルによるくさび形ゴム緩衝装置の衝撃応答解析 / 防衛大学校 [学] 石橋 和佳・澁谷 一・香月 智
- I-053 重錘落下を受ける四辺単純支持コンクリート矩形床板の弾塑性応答解析 / 専修大学北海道短期大学 [正] 三上 敬司
- I-054 支持条件の異なるRC矩形版の重錘落下衝撃挙動に関する数値解析的検討 / 札幌市役所 [正] 玉木 美帆・岸 徳光・三上 浩
- I-055 敷砂緩衝材を設置した RC 製覆道模型の重錘落下衝撃挙動に関する数値解析的検討 / 札幌市役所 [正] 花岡 健治・岸 徳光・山口 悟
- I-056 繰り返し衝撃荷重を受ける実規模RC桁に関する数値解析手法の妥当性検討 / 室蘭工業大学 [F] 岸 徳光・今野 久志・西 弘明

■衝撃(2) / 10:25~11:55 / 別府 万寿博(防衛大学校)

- I-057 RCロックシェッド模型の耐衝撃挙動と許容応力度法による設計落石エネルギーとの比較 / 土木研究所寒地土木研究所 [正] 山口 悟・岸 徳光・西 弘明
- I-058 ワイヤリング落石防護柵の重錘衝突実験 / 九州大学 [正] 福永 一基・園田 佳巨・畑 芳宏
- I-059 H形鋼はり上クッション材への重錘衝突実験 / 金沢大学 [F] 榎谷 浩・小嶋 太誠・重原 大二郎
- I-060 支持条件が異なる矩形RC版の衝撃荷重実験 / 鹿島建設 [正] 又坂 文章・岸 徳光・三上 浩
- I-061 敷砂緩衝材を設置した支持条件が異なる矩形RC版の衝撃荷重実験 / 室蘭工業大学 [学] 岡田 伸之・岸 徳光・今野 久志
- I-062 締固め度の異なる敷砂緩衝材に関する重錘落下衝撃実験 / 構研エンジニアリング [正] 吉井 康訓・岸 徳光・牛渡 裕二
- I-063 厚さの異なる敷砂緩衝材に関する重錘落下衝撃実験 / 構研エンジニアリング [正] 鈴木 健太郎・岸 徳光・牛渡 裕二
- I-064 落橋防止構造の垂直落下式衝撃実験装置 / 横河ブリッジホールディングス [正] 結城 洋一・池末 和隆・尾下 里治

■衝撃(3) / 15:00~16:30 / 三上 浩(三井住友建設)

- I-065 斜面のラフネスを考慮した落石運動の3次元シミュレーション / 金沢大学 [正] 西川 幸成・榎谷 浩・森口 優子
- I-066 落石防護工に用いる緩衝金具の開発と性能評価に関する研究 / 長岡技術科学大学 [学] 向笠 正洋・岩崎 英治・加規 秀二
- I-067 敷砂緩衝材を設置した二辺支持RC版の重錘落下衝撃実験 / 寒地土木研究所 [正] 今野 久志・岸 徳光・山口 悟
- I-068 落石防護における安全とリスクに関する一考察 / 東京コンサルタンツ [正] 若林 修・榎谷 浩
- I-069 繊維ロープ製車両防護柵の車両衝突シミュレーション解析 / 金沢大学 [学] 遠田 真澄・前川 幸次
- I-070 IMPACT SIMULATION OF SAND FILLED GEOCELLS BY FEM / Kanazawa University [学] ホーシー タム・MASUYA Hiroshi・NISHITA Yoichi
- I-071 地下式火薬庫の内部爆発時における地中連続壁の爆発影響低減効果 / 防衛大学校 [学] 前田 良太・大野 友則・別府 万寿博
- I-072 接触爆発を受けるコンクリート板の裏面剥離に関する基礎的考察 / 防衛大学校 [正] 別府 万寿博・前田 良太

I-2 (法文学部講義棟102) / 9月7日(水)

■橋梁一般(設計)(1) / 8:40~10:10 / 野阪 克義(立命館大学)

- I-073 小松川ジャンクションにおける動的解析による構造検討 / 首都高速道路 [正] 佐藤 歩
- I-074 点検作業性に配慮した鋼桁ダイヤフラム開口形状の検討 / 阪神高速道路 [正] 田畑 晶子・篠原 聖二・金治 英貞
- I-075 圧縮力を受けるガセットプレートのブロックせん断破壊に関する研究 / 早稲田大学 [正] 笠野 英行・依田 照彦・野上 邦栄

- I-076 I桁と箱桁の結合部に関する解析的検討 / 片山ストラテック [正] 大久保 宣人・山野 修・宮下 英明
- I-077 地方部の一般国道におけるデッキプレート貫通き裂の疲労寿命推定 / 橋梁コンサルタント [正] 山田 健之・渡邊 英・内藤 雅喜
- I-078 火災によるトラス橋部材の破壊時温度の推定 / JIPテクノサイエンス [正] 竹原 和夫・大山 理・栗田 章光
- I-079 橋梁への適用に向けた耐火パネルに関する基礎的研究 / 川田工業 [正] 柳澤 則文・長谷 亮介・大山 理

■橋梁一般(設計)(2) / 10:25~11:55 / 岡田 淳(JFEスチール)

- I-080 鋼球式暴露試験法の基本性能 / パシフィックコンサルタンツ [正] 小沼 恵太郎・玉越 隆史・星野 誠
- I-081 緩衝チェーンブラケットにおけるピン孔付近の支圧の実験報告 / ショーボンド建設 [正] 平塚 慶達・安東 祐樹・加藤 暢彦
- I-082 フランジの残留応力分布に対する板厚の影響 / 東京鐵骨橋梁 [正] 平山 繁幸・木村 啓作・宮下 剛
- I-083 極厚鋼板の溶接残留応力が鋼桁の終局曲げ強度に与える影響 / 東京鐵骨橋梁 [正] 木村 啓作・平山 繁幸・三浦 謙介
- I-084 既設鋼鉄桁橋の静載荷実験に関する有限要素解析 / 室蘭工業大学 [学] 石井 めぐみ・岸 徳光・小室 雅人
- I-085 鉄道における列車荷重の作用係数測定とその分布について / 鉄道総研 [正] 谷口 望・堀田 毅
- I-086 支保部に用いるスパイラルアンカーボルトの引抜試験(その2) / [正] 徳富 恭彦・横山 秀喜・南 邦明

■橋梁一般(設計)(3) / 12:40~14:10 / 山口 栄輝(九州工業大学)

- I-087 橋梁用高性能鋼(SBHS)の活用による鋼橋合理化の検討 / 新日本製鐵 [正] 高木 優任・本間 宏二・田中 陸人
- I-088 YP685鋼を用いて塑性設計法を適用した合成補剛I桁の正曲げ実験 / JFEスチール [正] 岡田 淳
- I-089 橋梁用高性能鋼材を用いたハイブリッド桁の曲げ耐荷力とその評価 / 東京工業大学 [正] 鈴木 啓悟・三木 千壽・関屋 英彦
- I-090 ハイブリッド桁の曲げとせん断の相関強度 / 長岡技術科学大学 [正] 劉 翠平・宮下 剛・長井 正嗣
- I-091 Nonlinear Analysis of Composite Beams under Negative Bending Moment / 早稲田大学 [学] 林 偉偉・依田 照彦
- I-092 連続桁の中間支座位の設計曲げモーメントに関する検討 / 日本橋梁建設協会 [正] 佐狐 真一・齋藤 剛・木村 啓作
- I-093 垂直局部荷重を受ける腹板の座屈安全性照査に関する一考察 / 大日本コンサルタント [正] 平山 博・野上 邦栄・清水 茂
- I-094 道路橋合成桁の最小断面積と最適桁高に関する検討 / 北海学園大学 [F] 当麻 庄司・前田 淳哉

■橋梁一般(設計)(4) / 14:25~15:55 / 平山 博(大日本コンサルタント)

- I-095 5径間長大吊橋の弾塑性挙動と終局強度特性 / パシフィックコンサルタンツ [正] 井尾 伸太郎・野上 邦栄・長井 正嗣
- I-097 新形式の連続アーチ橋の提案・検討 / 建設技術研究所 [正] 薄井 正幸・中村 俊一・清水 織恵
- I-098 鉄道を想定した長スパンの急曲線低床式下路トラスに対する解析的検討 / 復建エンジニアリング [正] 江口 聡・柳沼 謙一・荒木 一徳
- I-099 鉄道を想定した急曲線低床式合成床版トラス橋における床組のモデル化手法 / 鉄道総合技術研究所 [正] 吉田 直人・柳沼 ケンイチ・江口 聡
- I-100 鋼トラス橋のリダンダンシー解析法に関する基礎的考察 / 九州工業大学 [正] 山口 栄輝・岡本 亮・山田 啓太
- I-101 鋼・コンクリートの合成作用を考慮したコンクリート充填二重鋼管柱強度の解析的研究 / 東京都市大学 [学] 山極政行・増田 陳紀

I-2 (法文学部講義棟102) / 9月8日(木)

■橋梁一般(測定)(1) / 8:40~10:10 / 菅沼 久忠(TTES)

- I-102 磁気的応力測定法の実橋梁に対する適用性の検証 / 長岡技術科学大学 [学] 三浦 謙介・宮下 剛・稲葉 尚文
- I-103 応力聴診器を用いた補強効果確認手法について / 東京測器研究所 [正] 福田 浩之・古市 亨・佐光 浩継
- I-104 単純PC桁橋の振動測定によるたわみ評価 / 愛媛大学 [学] 鶴久森 潤・森 伸一郎・松村 裕樹
- I-105 ラフ集合における矛盾データからルールを抽出する手法の橋梁点検データへの適用 / [正] 八木 英樹・宮本 文徳・塚本 成昭
- I-106 橋梁振動モニタリングのためのMEMS要素技術を利用し

- I-107 たセンサノード開発／大日本コンサルタント [正] 石崎 覚史・宮下 剛・長井 正嗣
スマートセンサによる橋梁振動の多点計測と詳細分析～耐震補強前後の比較を通して～／東京大学 [学] 漆島 亮彦・長山 智則・藤野 陽三
- I-108 International bridge study on New Jersey reference bridges／東京大学 [正] 蘇 迪・Siringoringo Dionysius・長山 智則
- I-109 列車通過時の残留振動による高架橋健全度評価／東海旅客鉄道 [正] 砂原 啓人・竹村 紗織・齋藤 修

■橋梁一般(測定)(2)／10:25～11:55／鈴木 啓悟(東京工業大学)

- I-110 長大吊橋補剛桁の無載荷状態標高を得る手法の提案／復建調査設計 [正] 梅本 幸男
- I-111 査の変状がけた本体へ及ぼす影響に関する一考察／JR東海 [正] 湯本 愛美・萩原 利行・笠井 亮太
- I-112 経年劣化した鋼鉄道橋BP支承の可動特性に関する調査／JR西日本 [正] 願永 留美子・丹羽 雄一郎・公門 和樹
- I-113 阪神高速道路における活荷重実態調査／阪神高速道路 [正] 関上 直浩・杉山 裕樹・薄井 王尚
- I-114 大型車両のタンデム軸重特性に関する考察／フジエンジニアリング [正] 今川 雄亮・関上 直浩・杉山 裕樹
- I-115 積載率による大型車両の車重分布の検討／フジエンジニアリング [正] 薄井 王尚・関上 直浩・杉山 裕樹
- I-116 橋梁上を通行する車両のタイヤ通過位置計測／フジエンジニアリング [正] 元井 邦彦・関上 直浩・杉山 裕樹
- I-117 阪神高速道路の渋滞時における車間距離調査／フジエンジニアリング [正] 菊池 正庸・関上 直浩・杉山 裕樹

I-2 (法文学部講義棟102)／9月9日(金)

■橋梁一般(施工)／8:40～10:10／齊藤 展生(パシフィックコンサルタンツ)

- I-118 併用継手の溶接によるボルト継手のすべり挙動(その1)ー大型溶接施工試験体におけるボルト継手部のすべり挙動ー／東京鐵骨橋梁 [正] 井上 寛・南 邦明・横山 秀喜
- I-119 併用継手の溶接によるボルト継手のすべり挙動(その2)／宮地エンジニアリング [正] 澁谷 敦・南 邦明・横山 秀喜
- I-120 吊金具の取付け精度が鋼床版のデッキプレートとUリブの溶接部の応力性状に及ぼす影響に関する解析的検討／日本橋梁建設協会 [正] 藤井 基史・内田 大介・井口 進
- I-121 査座にゴム板が設置された鋼橋の修繕工法の改善について／JR西日本 [正] 豊田 隼也・岡 義晃
- I-122 欠円石造アーチ橋の架設時安定性に関する研究／国土工営コンサルタンツ [正] 筒井 光男・水田 洋司・坂田 力
- I-123 TC省力化軌道区間へ直接工事術を施工するための架設方法および工事術の構造／JR東日本 [正] 小林 一也・山田 正人・長嶋 秀幸
- I-124 下路トラス橋縦桁横桁連結部疲労の変状補修に関する一考察／JR東海 [正] 清時 崇公・因田 智博
- I-125 支承部付近の疲労き裂に対する3面当板工法の改良について／西日本旅客鉄道 [正] 大谷 将一郎・西田 寿生

■安全性・信頼性／10:25～11:55／中村 孝明(篠塚研究所)

- I-126 地震と洗掘の組み合わせを考えた橋のリスク分析／東京大学 [学] 宮嶋 瑛・藤野 陽三
- I-127 上水道システムの地震時機能被害評価／東京都市大学 [学] 近野 正彦・中沢 雄太・和田 脩平
- I-128 鋼I桁橋の座屈破壊確率に対する確率分布の影響に関するsubset法とMCMCを用いた検討／長崎大学 [学] 宮田 喜生・中村 聖三・高橋 和雄
- I-129 木橋の限界状態設計における荷重・耐力係数／秋田県立大学 [正] 中村 昇・佐々木 貴信
- I-130 Multi State Systemに基づいた道路橋梁系の耐震性能照査型設計／オリエンタルコンサルタンツ [正] 大川 真一郎・森崎 啓・白木 渡
- I-131 強度のばらつきを考慮した台形CSGガムの構造安定性についての一考察／土木研究所 [正] 切無沢 徹・岩下 友也・山口 嘉一
- I-132 構成要素の性能を考慮した復旧曲線の留意点／篠塚研究所 [正] 中村 孝明・吉川 弘道
- I-133 リスク資産の投資価値評価と道路橋のアセットマネジメントへの応用／中央大学 [学] 青木 優太・佐藤 尚次

■最適設計／15:00～16:30／須藤 敦史(岩田地崎建設)

- I-134 資源ストックを考慮した橋梁の地球温暖化環境負荷における定量的評価手法／大阪府立大学 [正] 小幡 卓司・森若 浩司・中西 宏貴

- I-135 時系列MSS信頼性評価手法によるRC構造物の補修計画最適化／香川大学 [学] 福本 直也・白木 渡・井面 仁志
- I-136 橋梁維持管理計画へのゲーム理論の適用における橋梁重要度の考慮／日本海コンサルタント [正] 喜多 敏春・近田 康夫
- I-137 最適化手法による橋梁長寿命化計画における初期投資に関する一考察／北海学園大学 [学] 澁谷 直隆・齋藤 善之・杉本 博之
- I-138 レベル2地震時の杭基礎の降伏をも考慮した橋梁システムの最小建設費設計／長大 [正] 田中 賢太・谷脇 一弘
- I-139 阪神高速道路における車線規制工事での減収最小化に関する一考察／ニュージェック [正] 保田 敬一・川上 順子・若槻 晃右

I-3 (法文学部講義棟201)／9月7日(水)

■疲労(1)／8:40～10:10／穴見 健吾(芝浦工業大学)

- I-140 溶接止端を仕上げた面外ガセット継手の疲労強度に対する割りこみ深さの影響／法政大学 [学] 佐々木 雄一・森 猛・内田 大介
- I-141 面外ガセット溶接継手部の疲労強度に対する止端仕上げ部粗さの影響／法政大学 [学] 廣戸 一也・森 猛・盧 相坤
- I-142 ハンマーピーニング処理による溶接継手部の変動振幅荷重下の疲労強度改善／東京工業大学 [学] 田井 政行・大西 諒・三木 千壽
- I-143 超音波衝撃処理を施した橋梁の施工時発生応力の測定／新日本製鉄 [正] 富永 知徳・西海 健二・高田 賢一
- I-144 UITによる疲労強度改善効果に及ぼす鋼材強度の影響／新日本製鉄 [正] 島貫 広志・森 猛・田中 睦人
- I-145 超音波ピーニング処理した面外ガセット溶接継手の曲げ疲労強度／岐阜大学 [学] 今村 明登・木下 幸治・渡邊 吉弘
- I-146 レーザピーニングによって生成される残留応力の板厚方向分布に及ぼす照射条件の影響／大阪大学 [正] 崎野 良比呂・吉川 健一・佐野 雄二
- I-147 面外ガセット継手のルート部・ガセット止端部から発生した疲労き裂へのICR 処理／JFEエンジニアリング [正] 柿市 拓巳・山田 健太郎・石川 敏之

■疲労(2)／10:25～11:55／中野 博文(首都高速道路)

- I-148 鋼橋ブラケット基部の疲労に関する研究／名古屋大学 [学] 鶴飼 隼・館石 和雄・判治 剛
- I-149 鋼I桁橋の横構ガセット取付部の構造に関する解析的検討／三井造船 [正] 内田 大介・森 猛
- I-150 板曲げを受ける面外ガセット溶接継手の疲労き裂進展解析／岐阜大学 [学] 荒川 慎平・木下 幸治
- I-151 目違いがある下フランジ横突合せ溶接部の疲労強度／関西大学 [学] 山岡 大輔・船山 晃司・坂野 昌弘
- I-152 鋼管を用いたスペーストラス橋格点部の疲労強度に関する研究／東京工業大学 [学] 滝沢 大輔・三木 千壽・鈴木 啓悟
- I-153 ストップホール施工に積層CFRP板接着を併用した疲労き裂の補修に関する実験的検討／首都大学東京 [学] 林 帆・孫 継光・中村 一史
- I-154 高性能万力をを用いた疲労き裂の応急補修技術開発／京都大学 [学] 穴太 聖哉・杉浦 邦征・山口 隆司
- I-155 800MPa級高強度鋼を用いた荷重伝達型十字すみ肉軟質溶接継手の高応力範囲下の疲労強度／岐阜大学 [学] 水江 大地・木下 幸治

■疲労(3)／12:40～14:10／森 猛(法政大学)

- I-156 吊橋主ケーブルの挙動による管理路取付けボルトの破談要因／本州四国連絡高速道路 [正] 大川 宗男・宮口 典博・小野 秀一
- I-157 緩衝材を不要とした斜材ケーブルの曲げ疲労実験／エスイー [正] 藺田 紘一郎・木部 洋
- I-158 ビード貫通き裂の発生した鋼床版U リブ溶接部の形状について／日本橋梁建設協会 [正] 齊藤 史朗・杉山 裕樹・川畑 篤敬
- I-159 鋼床版Uリブ溶接部近傍の応力状態に関する解析的検討／日本橋梁建設協会 [正] 山内 啓史・杉山 祐樹・内田 大介
- I-160 鋼床版ビード貫通き裂の発生起点に関する解析的検討／日本橋梁建設協会 [正] 松下 裕明・杉山 裕樹・平山 繁幸
- I-161 既設鋼床版のビード貫通き裂の発生要因に関する一考察／阪神高速技術 [正] 高村 義行・杉山 裕樹・徳増 健
- I-162 鋼床版Uリブとデッキ溶接部のビード貫通き裂の再現実験／関西大学 [学] 朝根 健司・関上 直浩・杉山 裕樹
- I-163 既設鋼床版Uリブ溶接部に対するTIG溶接の適用性検討／阪神高速道路管理技術センター [正] 丹波 寛夫・迫田 治行・関上 直浩

■疲労(4)／14:25～15:55／杉山 裕樹(阪神高速道路)

- I-164 横リブ現場継手に開口部を有する鋼床版の疲労損傷(その1)／首都高速道路 [正] 中野 博文・中村 充・溝江 慶久
- I-165 横リブ現場継手に開口部を有する鋼床版の疲労損傷(その2)／首都高速道路 [正] 中村 充・中野 博文・溝江 慶久
- I-166 横リブ現場継手に開口部を有する鋼床版の疲労損傷(その3)／首都高速道路技術センター [正] 渡邊 敏行・中野 博文・中村 充
- I-167 鋼床版バルブ形式の実橋応力計測にもとづく損傷分析／首都高速道路技術センター [正] 仲野 孝洋・中野 博文・中村 充
- I-168 バルブリブを有する鋼床版桁橋の疲労寿命評価に関する研究／西日本高速道路 [正] 豊田 雄介・山口 隆司・高田 佳彦
- I-169 鋼床版垂直スティフナー溶接部に生じる疲労き裂の再現／法政大学 [学] 長田 樹・森 猛・原田 英明
- I-170 既設鋼床版のUリブ突合せ溶接部に発生する疲労き裂と対策工法に関する解析的検討／京都大学 [学] 和田 広之・橋本 国太郎・丹波 寛夫
- I-171 調整桁端補剛材下端部の疲労損傷に対する切欠き工法の解析的検討／関西大学 [学] 長尾 勇太・松本 健太郎・中山 太士

I-3 (法文学部講義棟201)／9月8日(木)

■疲労(5)／8:40～10:10／田畑 晶子(阪神高速道路)

- I-172 鋼床版デッキプレートとトラフリブ溶接部の疲労き裂発生分析／首都高速道路 [正] 上坂 健一郎・中野 博文・村野 益巳
- I-173 デッキプレート貫通型疲労き裂の発生・進展性状／法政大学 [学] 川崎 靖子・原田 英明・森 猛
- I-174 鋼床版デッキプレート・トラフリブ・横リブ交差部の疲労耐久性に対するスカラップとデッキ板厚の影響／法政大学 [学] 原田 英明・川崎 靖子・森 猛
- I-175 内面すみ肉溶接による高耐久Uリブ鋼床版の解析的検討／阪神高速道路 [正] 杉山 裕樹・関上 直浩・奥村 学
- I-176 高耐久Uリブ鋼床版の内面すみ肉溶接装置の開発／片山 ストラテック [正] 奥村 学・関上 直浩・杉山 裕樹
- I-177 合理化鋼床版のUリブ溶接部の局所応力に関する解析的検討／川崎重工業 [正] 大垣 賀津雄・小出 宜央・和内 博樹
- I-178 鋼製橋脚隅角部の追跡点検結果報告／首都高技術 [正] 金山 将人・高坂 健一郎・友清 剛

■低サイクル疲労／10:25～11:55／葛 漢彬(名城大学)

- I-179 Effective Notch Strainによる溶接継手の低サイクル疲労強度評価／名古屋大学 [正] 判治 剛・Saiprasertkit Kawin・三木 千壽
- I-180 LOCAL STRAIN EVALUATION OF LOAD CARRYING CRUCIFORM JOINTS IN LOW AND HIGH CYCLE FATIGUE REGION／東京工業大学 [学] サイプラサートキット カウイン・判治 剛・三木 千壽
- I-181 ソリッドモデルによる未溶着を有する鋼厚肉部材の延性き裂発生の評価に関する検討／不二総合コンサルタント [正] 岩田 勝成・鈴木 俊光・葛 漢彬
- I-182 異なる溶接ビード仕上げ条件を有する鋼製橋脚隅角部の延性き裂発生性状に関する実験的研究／名城大学 [正] 鈴木 俊光・岩田 勝成・速水 景
- I-183 異なる溶接未溶着幅を有する鋼部材の延性き裂発生と進展性状に関する実験的研究／名城大学 [正] 葛 漢彬・鈴木 俊光・速水 景
- I-184 シェルモデルによる未溶着を有する鋼厚肉部材の延性き裂発生に関する検討／名城大学 [学] 速水 景・鈴木 俊光・葛 漢彬
- I-185 エネルギー遷移温度を指標とした高経年鋼材の耐脆性破壊性能評価／土木研究所 寒地土木研究所 [正] 表 真也・金裕哲・廣畑 幹人

I-3 (法文学部講義棟201)／9月9日(金)

■橋梁の耐震(1)／8:40～10:10／藤田 亮一(エイト日本技術開発)

- I-186 レンガアーチ橋の非線形性を考慮した耐震性能評価に関する一検討／関東学院大学 [正] 岸 祐介・野阪 克義・伊津野 和行
- I-187 ダム湛水池内に架橋されている4層ラーメン橋脚の耐震補強について／パシフィックコンサルタンツ [正] 荒木 誠司・鈴木 剛・佐藤 喬

- I-188 埋め込み長が短いあと施工アンカーの挙動に関する実験的研究／首都高速道路 [正] 猪瀬 研一・田中 大介・古屋 知真
- I-189 鋼材の延性破壊に及ぼすすべり履歴の影響／横浜国立大学 [学] 森谷 謙一・佐々木 栄一・山田 均
- I-190 逆断層近傍の上路式鋼アーチ橋の動的応答特性／地震工学研究開発センター [正] 兄玉 喜秀・原田 隆典・野中 哲也
- I-191 損傷した円形鋼製橋脚に対するコンクリート充填補修の充填高さと耐震性能に関する研究／愛知工業大学 [学] 太田 樹・鈴木 森品・嶋口 儀之
- I-192 損傷した円形鋼製橋脚に対する補修方法と耐震性能に関する考察／愛知工業大学 [正] 嶋口 儀之・鈴木 森品・太田 樹
- I-193 橋梁全体系補強による渡河橋の耐震補強設計／パシフィックコンサルタンツ [正] 永田 佳世・松浦 功

■橋梁の耐震(2)／10:25～11:55／小野 潔(大阪大学)

- I-194 Damage Analysis of a RC Rigid-Frame Arch Bridge affected by Sichuan Earthquake, 2008／九州工業大学 [学] 施 鐘洪・SHI Zhongqi・KOSA Kenji
- I-195 充填コンクリートとの相互作用を考慮した水平2方向繰返し荷重を受ける円形断面充填鋼製橋脚のFEM解析と局所応力／新日本製鐵 [正] 関 一優・Ghosh Prosenjit Kumar・後藤 芳顕
- I-196 水平2方向地震動を受けるコンクリート充填鋼製橋脚の耐震性能に関する実験的研究／愛知工業大学 [学] 木下 光・小澤 拓也・党 紀
- I-197 コンクリート充填による鋼製橋脚の耐震性能の向上と2方向載荷実験／愛知工業大学 [学] 小澤 拓也・党 紀・木下 光
- I-198 鋼製橋脚の曲線近似復元力履歴モデルの開発とハイブリッド実験による検証／[学] 袁 輝輝
- I-199 水平2方向地震動を受ける鋼製橋脚のマルチパネモデル非線形応答解析／愛知工業大学 [正] 党 紀・青木 徹彦・袁 輝輝
- I-200 生名橋のRC主搭の設計／長大 [正] 田中 剛・岡村 英樹・岡本 光晴
- I-201 振動台実験による円形断面鋼製橋脚の安全性照査法に関する検討／名古屋工業大学 [正] 海老澤 健正・後藤 芳顕・長田 直也

■橋梁の耐震(3)／15:00～16:30／張 広鋒(土木研究所)

- I-202 鋼製ラーメン橋脚隅角部への当て板補強がその地震時挙動に及ぼす影響／岐阜大学 [正] 木下 幸治
- I-203 補剛箱形変断面鋼製橋脚の耐震性能と設計法に関する研究／名城大学 [学] 中村 佳昭・葛 漢彬
- I-204 鋼製ラーメン橋脚はり部の正負交番載荷実験を対象とした再現解析／大阪大学 [学] 田川 陽一・小野 潔・美島 雄士
- I-205 CFT柱の適用拡大に向けた交番載荷試験に関する一考察／JR東日本 [正] 黒田 智也・坂本 渉・山田 正人
- I-206 振動台を用いた円形断面コンクリート充填鋼製橋脚の2方向加振実験とFEM解析／名古屋工業大学 [学] 長田 直也・後藤 芳顕・海老澤 健正
- I-207 数十回オーダー繰返し荷重を受ける既設鋼製橋脚の耐力低下に関する解析的検討／大成建設 [正] 平口 未帆・北原 武嗣・田中 賢太郎
- I-208 一定鉛直荷重と繰返し水平荷重を受ける鋼トラス構造の破壊実験／名城大学 [学] 今瀬 史晃・舟山 淳起・宇佐美 勉

I-4 (法文学部講義棟302)／9月7日(水)

■波動・振動／10:25～11:55／中畑 和之(愛媛大学)

- I-209 3次元異方性弾性波動解析のための演算子積分時間領域境界要素法／東京工業大学 [正] 斎藤 隆泰・田中 遊雲・廣瀬 壮一
- I-210 高速領域積分方程式法と遺伝的アルゴリズムを組み合わせた半無限弾性波動場における逆散乱解析／開発設計コンサルタント [正] 和嶋 泰亮・東平 光生
- I-211 弾性波動解析のための境界積分方程式と領域積分方程式の統合化にむけた検討／東京理科大学 [学] 倉浪 晃一・東平 光生
- I-212 衝撃荷重を受ける軸対称弾性円盤の主応力分布／明石工業高等専門学校 [正] 石丸 和宏
- I-213 大気望遠鏡の構造形状に関する解析的検討／三井造船 [正] 岩崎 博・山口 為久
- I-214 振動システムのインピーダンス特性を表現するためのLumped Parameter Model の提案／埼玉大学 [正] 齊藤 正人
- I-215 Finite element analysis of post-tensioned brick masonry walls／Tokyo Institute of Technology [正] WIJEYEWICKREMA

ANIL CHRISTOPHER・RYU DONGUN・EIGADAWY MOHAMED

■計算力学・数値解析(1)／12:40～14:10／宇都宮 智昭(京都大学)

- I-216 脱線時の鉄道車輪とPCまくらぎの衝突荷重に関する基礎的研究／九州大学〔学〕和田 直樹・園田 佳巨・後藤 恵一
 I-217 二次元Laplace方程式における混合ハイブリッド有限要素法の基礎的特性／北海道大学〔学〕ヨコイ タカシ・土屋 健司・蟹江 俊仁
 I-218 腐食生成物厚を用いた無塗装耐候性鋼部材の腐食深さの評価・予測手法／九州大学〔学〕山本 悠哉・貝沼 重信・伊藤 義浩
 I-219 背面土を考慮した橋台供試体の静的水平載荷実験とシミュレーション解析／九州大学〔学〕藤吉 祐樹・梶田 幸秀・大塚 久哲
 I-220 Numerical investigation of the performance of Long-span Pocket-type Rock-net at various loading parameters resulting into the same specified impact-energy / Ehime University〔学〕ダカル シャンカル・Bhandary Netra Prakash・Yatabe Ryuichi
 I-221 支持条件と版厚を変化させたRC版の静的耐荷性状／三井住友建設〔F〕三上 浩・岸 徳光・栗橋 祐介
 I-222 針金を用いた衝撃引張実験における脆性破断現象／大鉄工業〔正〕石川 博喜・玉野 富雄・金岡 正信

■計算力学・数値解析(2)／14:25～15:55／浅井 光輝(九州大学)

- I-223 集合要素を用いた個別要素法によるせん断抵抗解析／防衛大学校〔学〕堀口 俊行・澁谷 一・香月 智
 I-224 堆積層に与える衝撃力伝播特性の落体速度依存性／名古屋工業大学〔学〕羽柴 寛文・前田 健一・刈田 圭一
 I-225 個別要素法による応力波を考慮した緩衝砂の衝撃力伝達挙動／構研エンジニアリング〔正〕刈田 圭一・前田 健一・羽柴 寛文
 I-226 流木形状が捕捉工の閉塞過程に及ぼす影響に関する解析的検討／防衛大学校〔学〕渋谷 一・堀口 俊行・香月 智
 I-227 粒子破碎に伴う粒度変化が粒状体の圧縮特性に及ぼす影響／筑波大学〔学〕上田 高生・松島 亘志・山田 恭央
 I-228 3次元個別要素法による敷砂材への落石衝突の挙動解析／構造計画研究所〔正〕渡辺 高志・重原 大二朗・榎谷 浩
 I-229 粒子法の概念を用いたワイヤリング防護柵の衝撃応答特性に関する基礎的考察／九州大学〔学〕畑 芳宏・園田 佳巨・福永 一基

I-4 (法文学部講義棟302)／9月8日(木)

■溶接・継手／8:40～10:10／南 邦明(鉄道建設・運輸施設整備支援機構)

- I-230 光学的手法による鋼部材の加熱および冷却過程におけるひずみ・温度分布計測／長崎大学〔学〕藤野 義裕・出水 享・松田 浩
 I-231 6000系アルミニウム合金材の摩擦撚接接合部の疲労強度に強度低下と残留応力が与える影響／大阪大学〔正〕大倉 一郎・牧山 大祐
 I-232 軟質溶接継手の降伏耐力評価に関する解析的検討／法政大学〔学〕池田 祥吾・森 猛・一宮 充
 I-233 鋼小片を用いたシャルピー衝撃試験に関する研究／芝浦工業大学〔正〕及川 光晴・穴見 健吾・小野 潔
 I-234 異形鉄筋の重ね継手に関する基礎的研究／長岡技術科学大学〔学〕井ノ川 優美・石川 裕一・宮下 剛
 I-235 落橋防止システムの高力ボルト継手の設計法について／石川工業高等専門学校〔正〕三ツ木 幸子・金銅 晃久・山口 隆司
 I-236 橋梁伸縮装置の止水性能とその評価試験法／高速道路総合技術研究所〔正〕松井 隆行・若林 大・浅井 貴幸
 I-237 埋設型伸縮装置の特殊路面舗装材に関する一考察／〔正〕野阪 克義・小田 龍太郎

■継手(1)／10:25～11:55／頼 一(JFEエンジニアリング)

- I-238 目違い継手における一次締めを省略した高力ボルト軸力の変化に関する実験的研究／JR東日本〔正〕吉田 一・後藤 貴士・山田 正人
 I-239 高力ボルト摩擦接合継手の支圧限界状態に関する2、3の考察／大阪市立大学〔学〕戸田 圭彦・山口 隆司
 I-240 高力ボルトの配置による当て板補強効果に関する静的基礎試験／大阪市立大学〔学〕潘 超・山口 隆司・三ツ木 幸子
 I-241 水圧作用時間が高力ボルト摩擦接合へ与える影響に関する実験的研究／日立造船〔正〕山川 善人・仲俣 京一・森井 俊明

- I-242 高力ボルト摩擦接合された鋼トラス橋格点部の力学的挙動とその設計法に関する基礎的研究／京都大学〔正〕橋本 国太郎・吉田 晋介・山口 隆司
 I-243 I桁継手におけるウェブクリアランスの曲げモーメント分配率の検討／大阪〔学〕堀 嗣輔・山口 隆司
 I-244 曲げを受ける鋼I桁高力ボルト支圧接合継手の限界強度に関する解析的研究／JFEエンジニアリング〔正〕吉田 基次・亀井 義典
 I-245 JR東日本における鋼鉄道橋の溶接工について／JR東日本〔正〕高野 幸宏・後藤 貴士・工藤 伸司

I-4 (法文学部講義棟302)／9月9日(金)

■継手(2)／8:40～10:10／一宮 充(横河ブリッジホールディングス)

- I-246 異種接合面処理を有する摩擦接合継手のすべり耐力試験／大阪市立大学〔学〕木村 聡・山口 隆司・丹波 寛夫
 I-247 金属溶射を施した高力ボルト摩擦接合継手のすべり耐力試験／鉄道建設・運輸施設整備支援機構〔正〕齊藤 雅充・南 邦明・横山 秀喜
 I-248 予すべりを受けた高力ボルト摩擦接合継手のすべり耐力／法政大学〔学〕藤野 大地・一宮 充・森 猛
 I-249 半年以上暴露した溶融亜鉛めっき高力ボルト摩擦接合継手のすべり試験報告／JFEエンジニアリング〔正〕頼 一・高須賀 丈広・上村 明弘
 I-250 圧縮力を受ける高力ボルト摩擦継手のすべり耐力に及ぼす多列配置の影響／名城大学〔F〕久保 全弘
 I-251 多列厚板高力ボルト摩擦接合継手のすべり挙動に関する実験的検討／土木研究所〔正〕村越 潤・遠山 直樹・澤田 守
 I-252 多列厚板高力ボルト摩擦接合継手のすべり挙動に関する解析的検討／大阪市立大学〔学〕彭 雪・山口 隆司・村越 潤

■継手(3)／10:25～11:55／山口 隆司(大阪市立大学)

- I-253 設計施工の合理化を目指した金属溶射接合面を有する摩擦接合継手の実験的検討／阪神高速道路〔正〕小坂 崇・金治 英貞・山口 隆司
 I-254 高力ボルト摩擦接合継手の腐食劣化後の残存耐力に関する研究／京都大学〔学〕築地 貴裕・橋本 国太郎・杉浦 邦征
 I-255 高力ワンサイドボルトを用いた遅れ破壊ボルトの取替え施工試験／鋼橋技術研究会〔正〕鈴木 博之・中島 一浩・佐藤 浩明
 I-256 高力ワンサイドボルトを用いた遅れ破壊ボルト取替え工事報告／ロブテックスファスニングシステム〔正〕中島 一浩・大山 貴之・大手 一信
 I-257 縦リブを拘束材として使用する併用継手の検討(その1)ー平板試験体を用いたすべり挙動のひずみ計測および変位計測ー／横河ブリッジホールディングス〔正〕一宮 充・南 邦明・横山 秀喜
 I-258 縦リブを拘束材として使用する併用継手の検討(その2)／東京鐵骨橋梁〔正〕能島 隆男・南 邦明・横山 秀喜
 I-259 縦リブを拘束材として使用する併用継手の検討(その3)ー縦リブを拘束材として使用する施工法の適用性ー／鉄道建設・運輸施設整備支援機構〔正〕南 邦明・横山 秀喜・齊藤 雅充

■耐力・変形性能／15:00～16:30／渡邊 学歩(山口大学)

- I-260 断面力を指標とした箱形断面鋼部材に対する汎用的な耐震性能照査手法の提案／大阪大学〔学〕谷上 裕明・徳永 宗正・小野 潔
 I-261 コンクリート充填鋼製橋脚の耐震性能評価／関西大学〔学〕木野村 宏昭・堂垣 正博
 I-262 RC橋脚の地震時保有水平耐力照査に用いる材料の応力一ひずみ関係に関する解析的研究／名古屋工業大学〔学〕亀田 好洋・水野 英二
 I-263 複合応力作用下における摩擦減衰機構を持つ集合弾性耐震RC柱の弾塑性挙動／京都大学〔学〕中村 英之・澤田 純男・高橋 良和
 I-264 軸方向筋の座屈を考慮したRC柱の耐荷特性に関する実験的研究／愛知工業大学〔正〕鈴木 森晶・亀田 好洋・水野 英二
 I-265 二方向繰り返し曲げを受けるRC柱の経路依存性に関する実験的研究／地建興業〔正〕磯部 友哉・水野 憲司・斎藤 圭史
 I-266 二方向繰り返し曲げを受けるRC柱の吸収エネルギー量に関する実験的研究／愛知工業大学〔学〕水野 憲司・磯部 友哉・斎藤 圭史
 I-267 RC柱振動台実験での非線形地震応答波形からのウェーブレット変換による状態変化の検出／東京大学〔学〕肥田 隆宏・水谷 司・藤野 陽三

I-5 (法文学部講義棟303) / 9月7日(水)

■構造同定 / 10:25~11:55 / 宮下 剛(長岡技術科学大学)

- I-268 鉄筋コンクリート桁橋の振動計測による構造同定 / 新日鉄エンジニアリング [正] 櫻井 信彰・長山 智則・Dinh H.M.
I-269 周波数特性に着目したコンクリートはりの損傷位置の同定 / 東北大学 [学] 岩岸 現・大竹 雄介・内藤 英樹
I-270 スペクトル要素法を用いた高振動数起振による鋼トラス橋の局所損傷同定 / 京都大学 [学] 松尾 卓弥・古川 愛子・西川 晃司
I-271 レーザドップラ速度計とFEM解析を用いた実橋梁の構造同定 / 長崎大学 [正] 牧野 高平・松田 浩・森田 千尋
I-272 精密小型加振機による取得データに対応した振動特性同定手法の開発 / 東京理科大学 [学] 渡邊 和樹・佐伯 昌之
I-273 精密小型加振機と無線加速度センサネットワークを結合した構造センシング手法の基礎的検討 / 東京理科大学 [学] 斎藤 拓馬・日高 ちはる・佐伯 昌之
I-274 振動応答情報に基づいたニューラルネットワークによる橋梁構造物の損傷検知に関する研究 / 京都大学 [学] 松山 卓真・服部 洋・白土 博通
I-275 たわみ特性値を利用した既存橋梁の変状検知手法の開発—解析的検討— / 構造計画研究所 [正] 矢部 明人・磯田 聡史・宮本 文穂

■耐風・風工学(1) / 12:40~14:10 / 八木 知己(京都大学)

- I-276 風車発電時最大風荷重の統計的外挿係数評価式の提案 / [正] 石井 秀和・石原 統
I-277 マルチファン・マルチベーンによるトルネードシミュレーターの開発 / 徳島大学 [学] 二宮 めぐみ・長尾 文明・野田 稔
I-278 6自由度飛行シミュレーションに基づいた平板の飛散速度のモデル式に関する検討 / 徳島大学 [学] 政井 一仁・長尾 文明・野田 稔
I-279 風速変化が正方形柱の非定常空気力特性に及ぼす影響 / 徳島大学 [学] 久延 周平・野田 稔・長尾 文明
I-280 扁平矩形断面に作用する変動揚力と変動圧力に関する検討 / 徳島大学 [学] 國家 逸冬・野田 稔・長尾 文明
I-281 付加物を設置した矩形断面柱に作用する空気力特性の迎角による変化 / 関東学院大学 [正] 中藤 誠二
I-282 矩形断面模型に作用するガスト空気力の空間相関構造のモデル化 / 京都大学 [学] 三次 涼太・白土 博通・八木 知己

■耐風・風工学(2) / 14:25~15:55 / 山口 敦(東京大学)

- I-283 高風速域までを対象とした斜円柱の空力振動の特性 / 東京理科大学 [正] 木村 吉郎・小川 祐介・ローカムサイ チンダー
I-284 表面形状に着目した斜張橋ケーブルのドライステート・ギャロッピングに関する研究 / 京都大学 [学] 新庄 皓平・八木 知己・成田 周平
I-285 レインバイブレーション対策ケーブルの風洞実験 / IHI [正] 山内 邦博・上島 秀作
I-286 並列円柱のウエイクエクスパネーションに対する表面粗度の影響 / 徳島大学 [学] 井上 真尋・野田 稔・谷 義彰
I-287 3本集合円柱の空力振動に対する突起プレートの制振効果について / 日立造船 [正] 和田 浩行・本間 真・畑中 章秀
I-288 近接5本円柱の風速急変時における空力特性に関する研究 / 京都大学 [学] 稲毛 健士・白土 博通・八木 知己
I-289 非対称な張り出し架設が長大吊橋のフラッター限界風速に与える影響 / 横浜国立大学 [正] 勝地 弘・山田 均・佐々木 栄一

I-5 (法文学部講義棟303) / 9月8日(木)

■耐風・風工学(3) / 8:40~10:10 / 松田 俊一(九州工業大学)

- I-290 予報誤差とピークファクタの変動を考慮した瞬間風速予報 / 東京大学 [正] 山口 敦・荒木 隆之・石原 孟
I-291 振動モニタリングデータに見られた吊橋主塔の風向方向調和的振動 / 東京大学 [F] 藤野 陽三・Siringoringo Dionysius・古宇田 剛史
I-292 防風柵による風速低減効果の現地風観測と風洞実験の比較検討 / 鉄道総合技術研究所 [正] 種本 勝二・荒木 啓司・三須 弥生
I-293 地下鉄駅における列車風緩和対策(緩衝塔)の効果について / 東京地下鉄 [正] 沼田 敦・三留 國禎・宇波 邦宣
I-294 実送電用鉄塔を対象とした動態観測(その1)設備の概要と風観測、風応答観測例の紹介 / 電力中央研究所 [正] 佐藤 雄亮・石川 智巳・高島 大輔

- I-295 実送電用鉄塔を対象とした動態観測(その2)部材振動に着目した観測と分析 / 電力中央研究所 [正] 高島 大輔・佐藤 雄亮・石川 智巳
I-296 追尾式太陽光発電システムの時間平均空力特性に関する考察 / 宮崎大学 [正] 小園 茂平・三原 将功
I-297 地上設置型太陽電池アレイにおける円錐渦の影響 / 清水建設 [正] 伊藤 靖晃・野澤 剛二郎・菊池 浩利

■耐風・風工学(4) / 10:25~11:55 / 野田 稔(徳島大学)

- I-298 橋梁まわりの飛来塩分付着分布予測のための可視化実験の画像処理法 / 日本大学 [正] 長谷部 寛・河合 泰斗・中山 駿也
I-299 円筒型飛来塩分捕集器内の流れと海塩粒子付着特性に関する研究 / 京都大学 [学] 倉田 直弥・白土 博通・八木 知己
I-300 構造物表面の海塩粒子付着量の評価に関する基礎的研究 / 京都大学 [学] 姜 詠・白土 博通・八木 知己
I-301 箱桁下面の鉛直板による渦励振応答の低減に関する数値流体解析 / ニチゾウテック [正] 松田 良平・伊津野 和行・畑中 章秀
I-302 数値流体解析を用いた迎角を有する1:4角柱の空力特性の把握 / 中央大学 [学] 栗林 伶二・平野 廣和・佐藤 尚次
I-303 LESモデルを用いた数値流体解析による竜巻状渦内の変動風速の形成メカニズムの解明 / 東京大学 [学] 長坂 陽介・石原 孟

I-5 (法文学部講義棟303) / 9月9日(金)

■橋梁振動(理論) / 8:40~10:10 / 宮下 剛(長岡技術科学大学)

- I-304 水平歩行外力の新たな提案と神経振動子に組み込んだ歩道橋の動的応答解析 / 近畿大学 [F] 米田 昌弘
I-305 異なるレベルの微小振動下における独立橋脚の振動特性 / 宇都宮 [学] 竹嶋 竜司・中島 章典・齋藤 拓哉
I-306 Ambient Vibration Measurement of an Existing CFST Arch Bridge / 長崎大学 [学] 陳 康明・中村 聖三・呉 慶雄
I-307 半雪覆型防音壁の高速列車通過時挙動の推定 / 鉄道総合技術研究所 [正] 曾我部 正道・徳永 宗正・後藤 恵一
I-308 12自由度車両モデルを用いた曲線2主桁橋の振動性状評価 / 北海道大学 [学] 野田 泰英・何 興文・林川 俊郎
I-309 道路橋交通振動に起因する低周波音に関する解析的評価 / 神戸大学 [学] 高見 洋平・川谷 充郎・金 哲佑
I-310 環境振動評価を目的とした木造戸建住宅の固有振動数推定の試み / 埼玉大学 [正] 松本 泰尚・大橋 慶太・山口 宏樹

■橋梁振動(実験測定)(1) / 10:25~11:55 / 松本 泰尚(埼玉大学)

- I-311 年間モニタリングデータに基づく道路橋の固有振動数推定結果に関する研究 / 京都大学 [学] ヘン サルピソット・大島 義信・石川 敏之
I-312 Change in predominant frequency of PC girders during bridge construction / Ehime University [学] トヤナ ラトナ プラサド・森 伸一郎
I-313 外ケーブル併用PC吊床版歩道橋の振動特性 / 金沢大学 [正] 梶川 康男・深田 宰史
I-314 振動している比較的大いすパンを有している門柱型の現地振動計測 / 中井商工 [正] 嶋本 勝・藤田 和也・井田 剛史
I-315 小型起振機による実道路橋の起振実験 / 東北大学 [学] 柏宏樹・大竹 雄介・内藤 英樹
I-316 複合ラーメン橋の構造減衰の振幅依存性に関する研究 / 茨城大学 [学] 清水 大地・横山 功一
I-317 CFCCの減衰自由振動特性とダンパーによる減衰効果に関する基礎的検討 / 首都大学東京 [学] 中川 康治・中村 一史・前田 ケンイチ
I-318 鋼鉄道橋用制振材による騒音・振動の低減効果に関する実験的研究 / JR東日本 [正] 柳沼 謙一・今 裕之・谷口 望

■橋梁振動(実験測定)(2) / 15:00~16:30 / 曾我部 正道(鉄道総合技術研究所)

- I-319 模型実験による橋梁損傷の振動特性変化推定 / 神戸大学 [学] 土井 宏政・川谷 充郎・金 哲佑
I-320 模型橋梁交通振動データを用いた損傷推定 / 神戸大学 [学] 利波 立秋・川谷 充郎・金 哲佑
I-321 健全性診断に向けた実橋梁の損傷と動特性変化の相関把握 / 舞鶴工業高等専門学校 [学] 安田 聖晃・玉田 和也・宮下 剛
I-322 鋼ランガー橋における振動計測を利用した損傷同定の基礎的研究 / 埼玉大学 [学] 佐藤 達也・河原井 耕介・山口 宏樹
I-323 生月大橋の常時微動計測による構造解析モデルの検証 / 長崎大学 [学] 川端 将太郎・高橋 和雄・古賀 智己

- I-324 不可視レーザー光を用いた新しいLDVによる斜張橋ケーブルの振動計測—幸魂大橋での計測事例—/長岡技術科学大学 [正] 宮下 剛・吉岡 勉・羽倉 守人
- I-325 不可視レーザー光を用いたLDVによる斜張橋ケーブルの振動計測—舞鶴クレインブリッジでの計測事例—/長岡技術科学大学 [学] 稲葉 将吾・宮下 剛・玉田 和也

I-6 (法文学部講義棟304) /9月7日(水)

■耐震設計法(1)/8:40~10:10/川西 智浩(京都大学)

- I-326 曲線ラーメン橋の耐震解析に関する検討/ドニー大地 [正] 吉田 直弘・酒井 修平・野口 彰宏
- I-327 3次元非線形有限要素を用いた橋脚のせん断耐力照査例/阪急設計コンサルタント [正] 平塚 和身・岡重 嘉泰・室屋 信彦
- I-328 弾塑性有限変位解析によるSM570材を用いた円形断面鋼製橋脚の耐力および変形性能に関する一検討/大阪大学 [学] 垂井 敬寛・大西 宵平・小野 潔
- I-329 RC橋脚の地震時損傷度推定のための地震入力エネルギー特性に関する検討/長岡工業高等専門学校 [学] 赤原 健太・井林 康
- I-330 斜め方向載荷における鉄筋コンクリート壁式橋脚の破壊過程に関する解析的検討/北海道大学 [正] 京田 英宏・三上 隆・西 弘明
- I-331 箱形ばり中央のせん断崩壊による門形ラーメンの柱基部の履歴エネルギー分担特性/和歌山工業高等専門学校 [正] 山田 幸・酒造 敏廣・戸田 智規

■耐震設計法(2)/10:25~11:55/樋口 俊一(大林組)

- I-332 栈橋式構造の残留水平変位と応力状態の関係について(その2)/ニュージェック [正] 曾根 照人・内田 吉文・本多和彦
- I-333 傾斜式護岸のレベル1地震動を対象とした簡易耐震照査手法の基礎的研究/中央復建コンサルタンツ [正] 栗原 直範・長尾 毅・尾崎 竜三
- I-334 矢板式係船岸の各種タイ材の動的応答の違いについて/東光コンサルタンツ [正] 王 能勇・片淵 信人・上部 達生
- I-335 鉄道盛土の地震時滑動変形量の簡易算定法の構築における基礎的検討/ジェイアール総研エンジニアリング [正] 川野 有祐・坂井 公俊・室野 剛隆
- I-336 非線形動的解析における地盤の弱層のモデル化に関する一考察/ニュージェック [正] 松本 敏克・坂田 勉・八木 悟
- I-337 水管橋伸縮継手の耐震安全性照査と継手設計/京都大学 [学] 森田 遼・小池 武・今井 俊雄
- I-338 盛土の滑動変形量により変化する盛土中橋脚の破壊形態/鉄道総合技術研究所 [正] 田上 和也・坂井 公俊・室野 剛隆

■免震設計(1)/12:40~14:10/横川 英彰(土木研究所)

- I-339 東北地方太平洋沖地震動によるゴム分散支承を有する橋梁の耐震性の一考察/早稲田大学 [正] 安 同祥・清宮 理
- I-340 橋梁の地震応答低減に対する高減衰ゴムダンパーの有効性に関する検討/住友ゴム工業 [正] 丸山 達弥・辻 智宏・川島 一彦
- I-341 変動曲面上を滑る摩擦振子を有する橋梁の開発に関する基礎的研究/早稲田大学 [正] 秋山 充良・青木 直・阿部 遼太
- I-342 免制震すべりシステム(I): 今切川橋の支承部デバイスの機能評価/オイレス工業 [正] 宮崎 貞義・井置 聡・上田 卓司
- I-343 免制震すべりシステム(II-1): 2方向同時入力による耐震性の評価/ドニー大地 [正] 中谷 隆生・五十嵐 晃・古川 愛子
- I-344 免制震すべりシステム(II-2): 標準波一相補直成分波を用いた2方向同時入力の作成/大成建設 [正] 井上 和真・五十嵐 晃・古川 愛子
- I-345 免制震すべりシステム(II-3): 2方向同時入力時の制震ダンパーの挙動/オイレス工業 [正] 宇野 裕恵・五十嵐 晃・古川 愛子

■免震設計(2)/14:25~15:55/宇野 裕恵(オイレス工業)

- I-346 実地震観測波による地盤—杭基礎—免震橋梁全体系のモデル化に関する検討/大林組 [F] 伊奈 義直・長嶋 文雄・松丸 玄至
- I-347 既設単純鋼桁橋の免震化に関する解析検討/ [正] 山崎 伸介・伊勢 典夫・西本 晃治
- I-348 減衰性能の更なる向上を実現した新しい免震ゴム支承の開発/川金コアテック [正] 姫野 岳彦・新名 裕・都築 昭夫
- I-349 免震設計された連続高架橋の長周期地震時応答と性能評価

- /パシフィックコンサルタンツ [正] 竹口 智也・堂垣 正博
- I-350 東北地方太平洋沖地震における芝浦工業大学豊洲校舎の地震記録/芝浦工業大学 [学] 須山 幸太郎・紺野 克昭・西川 貴文
- I-351 エネルギー吸収型チェーン式落橋防止装置の性能試験/川金コアテック [正] 高井 博之・比志島 康久・都築 昭夫
- I-352 摩擦杭の根入長がラーメン高架橋の免震効果に及ぼす影響/清水建設 [正] 出羽 克之・木全 宏之・福武 毅芳

I-6 (法文学部講義棟304) /9月8日(木)

■免震・制震(1)/8:40~10:10/伊津野 和行(立命館大学)

- I-353 変位の絶対値に比例する摩擦力を生成する軸力部材型振動減衰装置の実験/崇城大学 [正] 片山 拓朗・東 康二
- I-354 UPGRADING OF EARTHQUAKE-INDUCED RESPONSES OF AN EXISTING ARCH BRIDGE/kumamoto university [学] カンデミル エリフ チャータ・Mazda Taiji・Nurui Hidenori
- I-355 種々の断面形状を有する鋼製湾曲状ダンパーのエネルギー吸収特性/大阪市立大学 [学] 小谷 洋平・大木 皓平・角掛 久雄
- I-356 大型シリンドラ系粘性ダンパーに関する動的載荷実験/川金コアテック [正] 高井 智康・姫野 岳彦・吉田 雅彦
- I-357 大型振動台を用いた動的ハイブリッド実験システムの構築と検証実験/鉄道総合技術研究所 [正] 豊岡 亮洋
- I-358 トルク・バランス型鉛ダンパーの性能確認試験/東京鐵骨橋梁 [F] 入部 孝夫・平山 繁幸・細見 直史
- I-359 LENS型せん断バネダンパーの寸法効果/日本鑄造 [正] 山崎 信宏・原田 孝志・石山 昌幸

■免震・制震(2)/10:25~11:55/豊岡 亮洋(鉄道総合技術研究所)

- I-360 下部構造への地震力を低減するエネルギー吸収装置の適用性に関する研究/摂南大学 [正] 田中 賢太郎・北原 武嗣・佐藤 伸哉
- I-361 超弾性合金と超塑性合金からなる自己復元型複合構造ダンパーの検討/オリエンタルコンサルタンツ [正] 和田 廣人・後藤 芳顯・海老澤 健正
- I-362 摩擦型ダンパーを設置した橋梁系振動台実験のシミュレーション/大林組 [正] 武田 篤史・田中 浩一・野村 敏雄
- I-363 塔状構造物の制振対策に関する2, 3の研究/大阪産業大学 [学] 住田 智章・飯田 毅・鈴木 大貴
- I-364 反重力すべり支承を用いた道路橋の耐震性評価/熊本大学 [学] 土田 智・松田 泰治・宇野 裕恵
- I-365 反重力すべり支承—制震ダンパー—組合せ系による橋梁の地震応答制御/京都大学 [学] 白石 晴子・五十嵐 晃・足立 幸郎
- I-366 構造物のアクティブ予見制御と予測地震動の算出について/東電設計 [F] 中村 秀治・辻 徳生・鍵村 俊哉

I-6 (法文学部講義棟304) /9月9日(金)

■免震・制震(3)/8:40~10:10/姫野 岳彦(川金コアテック)

- I-367 溶接を用いないアルミニウムBRBの低サイクル疲労実験/名城大学 [学] 舟山 淳起・王 春林・宇佐美 勉
- I-368 エネルギー吸収型桁連結装置の低サイクル疲労寿命予測についての一考察/関東学院大学 [学] 倉持 伸伍・田中 賢太郎・北原 武嗣
- I-369 すべり系支承と制震ダンパーを用いた既設橋の地震被害軽減策に関する基礎的検討/土木研究所 [正] 崔 準ホ・星隈 順一・張 広鋒
- I-370 多点固定方式の道路橋の耐震性能及び損傷規制に関する研究/熊本大学 [学] 西村 健・松田 泰治・篠田 隆作
- I-371 複数回地震動を受けた制震鋼橋の地震時特性に関する研究/名城大学 [学] 渡邊 健斗・大場 孝太・葛 漢彬
- I-372 Numerical Investigation on Performance of Buckling-Restrained Braces/名城大学 [F] 宇佐美 勉・王 春林・舟山 淳起
- I-373 高性能極軟鋼せん断型ダンパーの静的および動的低サイクル疲労実験/愛知工業大学 [学] 山下 友樹

■免震・制震(4)/10:25~11:55/樋口 匡輝(オイレス工業)

- I-374 低温冷却施設を用いた免震ゴム支承の性能検証実験/川金コアテック [正] 高橋 徹・姫野 岳彦・吉田 雅彦
- I-375 エアダンパーを付帯した自動販売機の免震効果その1 エアダンパー単体の要素実験/アイディールブレーン [正] 佐藤 孝典・御子柴 正・寺井 雅和

- I-376 エアダンパーを付帯した自動販売機の免震効果その2 壁際に設置する場合の免震実験／防災科学技術研究所 [正] 御子柴 正・鈴木 利哉・寺井 雅和
- I-377 ノックオフ部材を用いた免震高架橋の地震時挙動に関する小型振動台実験／日立造船 [正] 石原 和之・松村 政秀・山口 隆司
- I-378 鉛直荷重の変動を考慮したピボット支承の曲げ載荷試験／[正] 芝 寛・吉田 直人・池田 学
- I-379 時刻歴応答解析に用いるノックオフ型サイドブロックの非線形パネモデルの検討／明石工業高等専門学校 [正] 越智 内士・松村 政秀
- I-380 橋梁用免震ゴム支承の内部温度に与える日射の影響／名古屋大学 [学] 大倉 慎也・北根 英雄・伊藤 義人

■耐震実験／15:00～16:30／武田 篤史(大林組)

- I-381 丸鋼鉄筋を用いた鉄筋コンクリート橋脚の正負交番載荷試験／土木研究所 寒地土木研究所 [正] 澤松 俊寿・三田村 浩・西 弘明
- I-382 上部構造が非線形化する構造物-杭基礎-地盤システム振動台実験／京都大学 [学] 西村 俊亮・高橋 良和・室野 剛隆
- I-383 載荷実験によるRC円形橋脚の実大モデルと1/2縮小モデルの損傷度比較／JR東海 [正] 岩田 秀治・関 雅樹・上月 隆史
- I-384 面外方向に初期損傷を有するRC柱の繰り返し変形特性に関する実験的研究／安部日鋼工業 [正] 北瀬 昭平・杉山 彰浩・鈴木 森晶
- I-385 大型実大モデルによるRC円形橋脚基部の土被りの拘束効果／JR東海 [正] 上月 隆史・関 雅樹・岩田 秀治
- I-386 異なる横拘束形態を有するRC柱の繰り返し変形特性に関する実験的研究／大成ロテック [正] 杉山 彰浩・北瀬 昭平・亀田 好洋
- I-387 軸方向鉄筋の強度が曲げ破壊型RC橋脚の破壊特性に及ぼす影響に関する一考察／土木研究所 [正] 小森 暢行・堺 淳一・星隈 順一
- I-388 プレストレスト・バラスト軌道の横抵抗力試験／鉄道総合技術研究所 [正] 村本 勝己・櫻井 祐・中村 貴久

I-7 (法文学部講義棟305)／9月7日(水)

■地震防災(1)／10:25～11:55／能島 暢呂(岐阜大学)

- I-389 住宅耐震改修率の推計モデル／香川大学 [学] 橋川 弘・野田 茂
- I-390 地震動のエネルギー指標の構造物被害推定への適用／ニュージェック [正] 井井 俊之・澤田 純男
- I-391 建物の等価周期帯に着目した震度算定法の提案／神戸大学 [学] 齊藤 栄・鉄田 泰子
- I-392 地震動のスペクトル特性と木造建物の振動特性を考慮した地震被害予測手法に関する研究—2007年能登半島地震への適用—／金沢大学 [正] 村田 晶・宮島 昌克・榎波 智仁
- I-393 広域構造物の地震応答値算定を目的とした地盤情報の一次元補間方法に関する検討／ジェイアール東日本コンサルタンツ [正] 桐生 郷史・坂井 公俊・室野 剛隆
- I-394 地盤と入力地震動の周期特性を考慮した表層地盤の地震増幅率の推定式の検証／ジェイアール東日本コンサルタンツ [正] 野上 雄太・坂井 公俊・室野 剛隆
- I-395 道路橋地震応答の可視化と走行実験に基づく自動車運転者の反応特性の評価／千葉大学 [学] 北村 健・丸山 喜久
- I-396 災害時を想定した道路段差走行に関する実験と力学モデルの構築／山梨大学 [学] 瀬尾 浩幸・鈴木 猛康

■地震防災(2)／12:40～14:10／村地 由子(構造計画研究所)

- I-397 ファジィ推論を用いた空撮画像における瓦礫部抽出／ESRIジャパン [正] 中野 敦人・成行 義文・佐藤 弘美
- I-398 K-NETデータを利用した構造物の最大応答速度の推定と車両の通行リスク／九州大学 [正] 梶田 幸秀・大塚 久哲
- I-399 地震動の卓越周期簡易評価に関する検討／中央復建コンサルタンツ [正] 寺師 浩二・坂井 公俊・室野 剛隆
- I-400 計測震度の比較に基づく高速道路地震計の設置環境調査／千葉大学 [学] 大田 肇士・丸山 喜久・山崎 文雄
- I-401 兵庫県南部地震における地震外力指標とライフライン被害との関係の再検証／神戸大学 [学] 渡部 龍正・鉄田 泰子
- I-402 住民の津波避難行動実態調査(インドネシア・メラボー市の事例)／東京大学 [F] 後藤 洋三・Muzailin Affan・Yudha Nurdin
- I-403 地域地震危険度を考慮した基幹交通ネットワークの耐震化優先度の基礎的評価／[正] 久世 益充・井上 公究・杉戸 真太

■地震防災(3)／14:25～15:55／鉄田 泰子(神戸大学)

- I-404 東北地方太平洋沖地震での群集行動から得た二次災害の発生防止に向けた提言／ジェイアール東日本コンサルタンツ [正] イシマ カズオ・林 寛子
- I-405 5年目を迎えた緊急地震速報を用いた大学キャンパスにおける避難訓練／愛知工業大学 [正] 小池 則満・正木 和明
- I-406 個室型娯楽施設での避難防火安全対策シミュレーション／香川大学 [学] 薬師寺 祐也・野田 茂
- I-407 首都圏における東京湾北部地震後の歩行者シミュレーションに向けた基礎検討／日本工営 [正] 胡内 健一・許斐 信亮・丸山 喜久
- I-408 「被災現場、応急救護所、病院、ヘリポート」におけるトリージ情報の広域的共有／東京大学 [正] 沼田 宗純・目黒 公郎
- I-409 高齢者福祉施設の防災対策アンケート調査について／徳島大学 [正] 騎馬 貴子・中野 晋
- I-410 2010年チリ地震津波の際の四国沿岸住民の避難行動調査／愛媛大学 [正] 松浦 尚輝・森 伸一郎
- I-411 「建設従事者の災害緊急対応体験談の聞き取り」の実施／群馬工業高等専門学校 [正] 三上 卓・後藤 洋三・原田 紹臣

I-7 (法文学部講義棟305)／9月8日(木)

■震害／8:40～10:10／宮島 昌克(金沢大学)

- I-412 想定津波高さは土木学会制定の規準によっている／[F] 伯野 元彦
- I-413 2007年新潟県中越沖地震における柏崎市の建物被害分析／千葉大学 [学] 長尾 拓真・山崎 文雄
- I-414 東日本大震災における山手線省力化軌道の被害報告／東日本旅客鉄道 [正] 萩尾 泰弘・嘉嶋 崇志・熊倉 孝雄
- I-415 1999年台湾集集地震の地盤被害における復旧・復興／芙蓉コンサルタント [正] 須賀 幸一・山下 祐一
- I-416 橋梁の地震被害機構と地盤の関係／前・前橋工科大学 [F] 那須 誠
- I-417 原子力発電所等最重要構造物における「残余のリスク」の津波への適用の必要性／九州大学 [F] 大塚 久哲

■地震危険度／10:25～11:55／中島 正人(電力中央研究所)

- I-418 地盤分類別の地盤増幅特性を考慮した地震危険度解析—横浜地区での展開—／中央大学 [学] 中北 英貴・佐藤 尚次
- I-419 J-SHIS公開データに基づく長期地震ハザード評価／千葉大学 [学] 酒本 真先・武田 正紀・丸山 喜久
- I-420 構造物の耐震裕度～地震リスクダイアグラムの提案／電力中央研究所 [正] 中島 正人・大鳥 靖樹・平田 和太
- I-421 新潟県中越沖地震における建物被害分析／長岡技術科学大学 [学] 落合 弘和・大塚 悟・磯部 公一
- I-422 フラジリティカーブを用いた交通ネットワークの地震影響評価／熊本大学 [学] 清田 玲央・藤見 俊夫・松田 泰治
- I-423 地震観測記録と広域地盤データをを用いた東京都地盤増幅率の再評価／千葉大学 [正] 丸山 喜久・伏岡 里志・山崎 文雄
- I-424 緊急地震速報を利用したタンクの各種被害予測システムの開発／地震予知総合研究振興会 [正] 大保 直人・目黒 公郎・座間 信作

I-7 (法文学部講義棟305)／9月9日(金)

■リアルタイム地震工学／8:40～10:10／古川 愛子(京都大学)

- I-425 マグニチュードと強震範囲の関係の検討／JR東海 [正] 他谷 周一・児玉 聡・中嶋 繁
- I-426 揺れの大きさと余裕時間を考慮した早期警報用地震計の設置評価／鉄道総合技術研究所 [正] 岩田 直泰・山本 俊六・是永 将宏
- I-427 緊急地震速報を用いた道路安全即時評価プロトタイプシステムの製作／徳島大学 [正] 浅原 裕・大角 恒雄
- I-428 RC橋脚の固有周期に着目した地震時被害度指標に関する検討／大日本コンサルタント [正] 吉岡 勉・原田 政彦・吉澤 努
- I-429 高密度地震観測情報の活用について／[正] 足立 啓二
- I-430 地震計移設工事に関する検討／JR東海 [正] 児玉 聡・海保 大樹・中嶋 繁
- I-431 耐震性能の異なるRC橋脚の地震リスク解析とPML評価／東京都市大学 [学] 小池 祥史・吉川 弘道・矢部 正明
- I-432 BCP対策の推進課題「設備耐震」に関する考察／徳島大学 [正] 柏淵 義郎

■ライフライン地震防災／10:25～11:55／丸山 喜久(千葉大学)

- I-433 水道施設損傷が水道管路システムの断水率に与える影響評価／京都大学 [学] 村越 雄太・小池 武
- I-434 トポロジカルインデックスを用いた地震動レベルにおける水道管路系強度特性／神戸大学 [学] 岡本 祐・鉄田 泰子
- I-435 都市基盤データに基づく上水道管路延長分布の推定／千葉大学 [学] 小林 朋美・山崎 文雄・永田 茂
- I-436 地震被害想定で用いるライフラインの埋設管延長の予測モデルに関する検討／鹿島研究所 [正] 永田 茂・山本 欣弥
- I-437 バックアップ効果を考慮した地震時ライフライン機能停止の影響評価／岐阜大学 [正] 能島 暢呂
- I-438 配水機能性に着目した農業水利施設の地震対策／篠塚研究所 [正] 静間 俊郎・中嶋 勇・鮫島 貴裕
- I-439 2011年東日本大震災の通信支障と影響／東洋大学 [正] 鈴木 崇伸

■耐震補強／15:00～16:30／上半 文昭(鉄道総合技術研究所)

- I-440 鋼管杭式栈橋への各種耐震補強解析の適用性に関する地震応答解析／ポートコンサルタント [正] 内藤 輝・石田 誠・清宮 理
- I-441 津波波力を受ける水門土木施設の耐震設計／パシフィックコンサルタント [正] 芳賀 亮・黒川 文宏・西村 学
- I-442 長大ゲルバートラス橋の耐震補強概要／首都高速道路 [正] 佐藤 成禎・中村 好伸
- I-443 繰返し軸力を受けるアングルブレース接合部の補強効果／名城 [学] 児玉 佳大・渡辺 孝一
- I-444 PP-band工法による不整形石積み組積造の耐震化に関する実験的研究／東京大学 [正] 目黒 公郎・櫻井 光太郎・Navaratnarajha Sathiparan
- I-445 グラウンドアンカーによるもたれ式擁壁の耐震補強効果について／早稲田大学 [学] 大嶋 佑弥・清宮 理
- I-446 グラインダー処理による鋼製橋脚基部の極低サイクル疲労強度向上効果に関する研究／名古屋大学 [学] 永松 直樹・判治 剛・館石 和雄
- I-447 シートパイル補強工法による道路橋基礎の保護対策／構研エンジニアリング [正] 木村 和之・神田 政幸・西岡 英俊

I-8 (法文学部講義棟403)／9月7日(水)

■地盤振動(観測)／10:25～11:55／古川 愛子(京都大学)

- I-448 フォースバランス型加速度計を用いた簡易重力計開発のためのセンサー特性に関する基礎的検討／東京工業大学 [正] 盛川 仁・松尾 寛子・松田 滋夫
- I-449 常時微動観測による中国蘭州市の表層地盤の動的応答特性と地盤構造の推定／首都大学東京 [F] 岩橋 敏広・車 愛蘭・白 潔
- I-450 Microtremor observations in Kathmandu Valley, Nepal : Analysis of the correlation between local geology and damage by 1934 earthquake／愛媛大学 [学] パウディヤル ユバ ラジュ・Bhandary Netra Prakash・矢田部 龍一
- I-451 常時微動観測に基づく大野盆地の地下構造の推定／福井大学 [学] 戸塚 陽一・小嶋 啓介
- I-452 空間自己相関係数に基づく福井平野のS波速度構造の推定／福井大学 [正] 小嶋 啓介・山本 将史・本 耕大
- I-453 福井平野の微動アレイ地盤モデルの再評価／第一電機工業 [正] 橋本 勇一・安井 謙・野口 竜也
- I-454 重力異常による福井平野および鯖江断層周辺における3次元基盤構造推定／鳥取大学 [正] 野口 竜也・中谷 英史・香川 敬生
- I-455 鯖江盆地の微動アレイ観測／福井工業大学 [正] 安井 謙・野口 竜也・小嶋 啓介

■地盤振動(解析)／12:40～14:10／盛川 仁(東京工業大学)

- I-456 Normalized Energy Densityによる内部減衰の直接推定法の検討／京都大学 [学] 河村 雄一・後藤 浩之・澤田 純男
- I-457 浅部地殻での塑性化を考慮した地表断層と潜在断層の生成メカニズム／鉄道総合技術研究所 [正] 和田 一範・後藤 浩之
- I-458 地震時における不整形地盤の非線形性を考慮した埋設管被害について／京都大学 [正] 清野 純史・井上 佳樹
- I-459 レシーバー関数法を用いた多点同時インバージョンによる愛知県三河地域における地下構造の推定／日本アムスコ [正] 佐口 浩一郎・正木 和明
- I-460 Proposal on attenuation relationship for peak horizontal acceleration of inland earthquakes in northern Vietnam region／Waseda University [正] Tran VietHung・Tran VietHung・Kiyomiya Osamu

- I-461 Convolutional PMLを適用したFEM地盤モデルの表面波入力に対する影響評価／日本大学 [正] 塩尻 弘雄・宇野 州彦・ラヘマン バレハテ
- I-462 鳥取平野における強震動評価のための3次元地盤構造モデルの構築／鳥取大学 [学] 石田 勇介・野口 竜也・香川 敬生
- I-463 不整形地盤構造に着目した甲府盆地の地盤震動特性に関する解析的検討／山梨大学 [学] 齋藤 政治・鈴木 猛康

■土構造物の耐震／14:25～15:55／末富 岩雄(エイト日本技術開発)

- I-464 新しい地山補強土工法の開発／JR東海 [正] 大木 基裕・庄司 朋宏・関 雅樹
- I-465 カルバートを含む盛土の地震時挙動に関する遠心模型実験／京都大学 [学] 荒居 旅人・澤村 康生・岸田 潔
- I-466 連続プレキャストアーチカルバート盛土のユニット間隔と耐震性に関する数値解析／京都大学 [学] 澤村 康生・岸田 潔・木村 亮
- I-467 谷埋め盛土斜面安定における3次元地震動の影響について／基礎地盤コンサルタンツ [正] 大橋 正・杉戸 真太・山本 裕司
- I-468 「地盤応答スペクトル」の提案／大成建設 [F] 志波 由紀夫・畑 明仁
- I-469 地震動波形のばらつきが地盤応答スペクトルに与える影響／大成建設 [正] 畑 明仁・志波 由紀夫

I-8 (法文学部講義棟403)／9月8日(木)

■設計地震動／8:40～10:10／野津 厚(港湾空港技術研究所)

- I-470 空港における常時微動観測結果の有効利用／ニュージェック [正] 山田 雅行・久米 英輝・大吞 智正
- I-471 水道施設の耐震診断用レベル2地震動の設定について／中電技術コンサルタント [正] 片山 吉史・古川 智・嘉村 真二
- I-472 地震動のサイト位相特性簡易評価のための検討／鉄道総合技術研究所 [正] 坂井 公俊・室野 剛隆
- I-473 Quantification of Effectiveness of Indices for Selection of Design Ground Motions by using Mutual Information／The University of Tokyo [学] トウキール アーメッド・本田 利器
- I-474 非線形応答に与える影響の観点に基づく東北地方太平洋沖地震における地震動特性の分析／東京大学 [学] 宮本 崇・本田 利器
- I-475 2011年東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)における地震動分布の推定／エイト日本技術開発 [正] 末富 岩雄・福島 康宏
- I-476 2011年東北地方太平洋沖地震のKiK-net芳賀での地震動と周辺の被害状況／エイト日本技術開発 [正] 福島 康宏・末富 岩雄
- I-477 平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震における北海道の地震動特性／寒地土木研究所 [正] 佐藤 京・西 弘明・池田 隆明

■強振動予測／10:25～11:55／坂井 公俊(鉄道総合技術研究所)

- I-478 わが国の長周期地震動スペクトルの簡易予測法に関する検討／茨城大学 [正] 井上 涼介・中川 拓也・三塚 雅人
- I-479 地震観測記録を用いた地盤の非線形特性の推定／飛鳥建設 [正] 池田 隆明・小長井 一男・釜江 克宏
- I-480 入力波動場に基づく3次元非線形地盤応答解析法(3)／東京大学 [正] 飯田 昌弘
- I-481 早期地震情報の利用を念頭に置いた距離減衰式の提案／鉄道総合技術研究所 [正] 是永 将宏・岩田 直泰・下野 五月
- I-482 利用目的に応じた地震動指標の距離減衰式を作成するための一般化手法の提案／ANET [正] 下野 五月・山本 俊六・岩田 直泰
- I-483 経験式に基づく2011年東北地方太平洋沖地震の長周期地震動の予測／清水建設 [正] 佐藤 智美
- I-484 2011年東北地方太平洋沖地震による震源付近の地震動の特徴／港湾空港技術研究所 [正] 野津 厚
- I-485 極近傍地点における地震動指標の変動に関する基礎的検討—平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震とその余震の事例—／日本工営 [正] 秦 吉弥・野津 厚・一井 康二

I-8 (法文学部講義棟403)／9月9日(金)

■地中構造物の耐震(1)／8:40～10:10／松本 敏克(ニュージェック)

- I-486 開削トンネル隅角部周辺の地盤剛性がトンネルの応答に及ぼす影響／京都大学 [正] 川西 智浩・室野 剛隆・井澤 淳
- I-487 立坑を有するシールドトンネルの地震時挙動に関する研究／

- I-488 京都大学 [正] デュラン フレディ・丸尾 陽平・清野 純史
大深度シールド立坑の地震時挙動と可撓継手の効果に関する基礎的研究—地盤・立坑模型の振動台実験による挙動把握— [学] 安藤 恒平・藤原 康史・志波 由紀夫
- I-489 大深度シールド立坑の地震時挙動と可撓継手の効果に関する基礎的研究—模型振動実験の数値シミュレーションによる考察—/大成建設 [正] 澤田 茉伊・志波 由紀夫・畑 明仁
- I-490 地中ボックスカルバートの地震時挙動とフラジリティ評価(その1)/大林組 [正] 大塚 林菜・副島 紀代・渡辺 伸和
- I-491 地中ボックスカルバートの地震時挙動とフラジリティ評価(その2)/大林組 [正] 副島 紀代・渡辺 伸和・足立 高雄
- I-492 浅く埋設された地下構造物の耐震補強に関する地震応答計算/早稲田大学 [学] 矢部 祐樹・清宮 理
- I-493 地下外壁一体型RC柱の鋼板部分補強に関する解析的検討/日建設計シビル [正] 青木 佑輔・田辺 篤史・西山 誠治

■地中構造物の耐震(2)/10:25~11:55/宮川 義範(電力中央研究所)

- I-494 アーチカルバートにおける構造形式の違いが耐震性能に及ぼす影響/土木研究所 [正] ハツ元 仁・谷口 哲憲・星隈 順一
- I-495 開削トンネルの地震時破壊形態の推定方法に関する検討/日建設計シビル [正] 西山 誠治・井澤 淳・川西 智浩
- I-496 地中構造物における変位照査手法の有効性について/大林組 [正] 渡辺 伸和・伊達 政直・大内 一男
- I-497 変位照査を用いた大規模地震に対する地中構造物の裕度の検討/大林組 [正] 永井 秀樹・大内 一男・伊達 政直
- I-498 地中埋設管の耐震検討における地盤の不均一度係数の検証/金沢大学 [正] 七郎丸 一孝・宮島 昌克・森田 竜成
- I-499 断層変位を受ける地中構造物の耐震継手対策の有効性に関する研究/九州大学 [学] 相部 岳暁・副島 すみれ子・大塚 久哲
- I-500 地盤永久変位推定のためのPE管光ファイバセンサの開発—地盤不均一度の影響評価—/摂南大学 [正] 片桐 信・札幌 大太
- I-501 地盤との滑り現象を考慮した埋設管の地震時変形挙動評価のための数値解析手法/東京ガス [正] 坂上 貴士・鈴木 暢恵

■基礎・処分施設の耐震/15:00~16:30/齊藤 正人(埼玉大学)

- I-502 直接基礎の入力遮断効果に関する実験的研究/鉄道総合技術研究所 [正] 西村 隆義・豊岡 亮洋・井澤 淳
- I-503 液状化地盤における橋梁杭基礎の免震構造を用いた耐震性向上策に関する一考察/五洋建設 [学] 宇野 州彦・大塚 久哲・三藤 正明
- I-504 RC杭基礎構造物の遠心模型振動実験(実験概要)/大林組 [正] 鈴木 正寛・樋口 俊一・大塚 林菜
- I-505 RC杭基礎構造物の遠心模型振動実験(杭の応答に関する検討)/大林組 [正] 樋口 俊一・大塚 林菜・鈴木 正寛
- I-506 周波数依存型地盤ばねを用いた遠心場ハイブリッド地震応答実験の開発/東京電力 [正] 小寺 雅子・高橋 良和
- I-507 地層処分施設の構造的特徴を考慮した地震時挙動特性の把握 立坑と水平坑道の交差部の検討/原子力発電環境整備機構 [正] 玉田 潤一郎・窪田 茂・高橋 鉄一
- I-508 地層処分施設の構造的特徴を考慮した地震時挙動特性の把握 水平坑道に地震動が斜め下方から入射する場合の挙動の検討/清水建設 [正] 小林 望・新美 勝之・窪田 茂
- I-509 地層処分施設における大深度地中構造物の耐震性評価に関する基礎的研究/大成建設 [正] 渡辺 和明・澤田 茉伊・志波 由紀夫

I-9 (法文学部講義棟404) /9月7日(水)

■維持管理(構造)(1)/8:40~10:10/北根 安雄(名古屋大学)

- I-510 コンクリート橋遊間部を鉄筋コンクリートで連結する構造の温度変化における解析的研究/長岡技術科学大学 [学] 市川 貴博・長井 正嗣・宮下 剛
- I-511 コンクリート橋遊間部を鉄筋コンクリートで連結する構造の温度変化による力学挙動/中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋 [正] 石川 裕一・畔柳 昌己・長井 正嗣
- I-512 コンクリート橋遊間部を鉄筋コンクリートで連結する構造の終局実験/長岡技術科学大学 [学] 品田 雅人・石川 裕一・長井 正嗣
- I-513 鋼橋RC床版の補修における24時間動たわみ測定を用いた劣化度評価/東日本高速道路 [正] 金子 健・岩崎 正二・出口 秀明
- I-514 道路橋の舗装表面とRC床版上下面との損傷関連性に関する一考察/東日本高速道路 [正] 加藤 哲・岩崎 正二・出口 秀明

- I-515 地中レーダー (GPR)を用いた橋梁床版コンクリートの健全度探査技術について/応用地質 [正] 香川 紳一郎・山下 善弘・村上 弘行
- I-516 PC単純桁橋の健全度診断に関する基礎的研究/大阪市立大学 [学] 池田 祥宜・山口 隆司・松村 政秀
- I-517 補修PC桁における再劣化損傷の診断と対策/阪神高速技術 [正] 吉田 貴保・八田 吉弘・崎谷 淨

■維持管理(構造)(2)/10:25~11:55/岩崎 正二(岩手大学)

- I-518 鉄道上路プレートガーダー下フランジ山形鋼に生じた疲労き裂発生要因に関する検討/西日本旅客鉄道 [正] 西田 寿生・金 裕哲
- I-519 局所的な損傷による温度変形分布の変化に着目した構造物の変状評価/清水建設 [正] 稲田 裕
- I-520 局部腐食をとまなう鋼部材の簡易な圧縮耐力評価法/広島大学 [学] 植村 俊哉・福田 光央・今福 健一郎
- I-521 荷重偏心に着目した局所腐食鋼板の圧縮強度解析/徳山高専 [学] 中塚 萌・海田 辰将・藤井 堅
- I-522 CFRPを接着した鋼桁のせん断耐力評価方法の提案/長岡技術科学大学 [学] 奥山 雄介・宮下 剛・長井 正嗣
- I-523 腐食劣化した鋼I桁のせん断耐力実験(その1)/琉球大学 [正] 下里 哲弘・玉城 喜章・有住 康則
- I-524 腐食劣化した鋼I桁のせん断耐力実験(その2)/琉球大学 [正] 玉城 喜章・下里 哲弘・有住 康則
- I-525 腐食損傷を有する鋼部材に対するセラミック系材料の引張付着強度に関する基礎的研究/九州大学 [学] 加藤 祐介・貝沼 重信・山上 哲示

■維持管理(構造)(3)/12:40~14:10/金 裕哲(大阪大学)

- I-526 弾塑性解析によるトラス橋の部材破断時のリダンダンシー評価に関する一考察/豊田工業高等専門学校 [正] 川西 直樹・後藤 芳顕
- I-527 Spatial Statistical Simulation for Time-dependent Corrosion Surfaces of Uncoated Steel Plates in Atmospheric Corrosion Environments/九州大学 [学] 鄭 暎樹・鄭 暎樹・貝沼 重信
- I-528 Investigation of Brisk Finite Element Analytical Model for Prediction of Remaining Strength Capacities of Corroded Steel Plates/Ehime University [学] ルワン アップハミ・Mitao Ohga・Pang-jo Chun
- I-529 High and Low Cycle Fatigue Model to Estimate Life of Steel Bridges due to Combined Effect of High and Low Amplitude Loadings/愛媛大学 [学] カマル カルナナンダ・Mitao Ohga・S.A.S.C. Siriwardane
- I-530 腐食損傷を有する鋼床版デッキプレート上の応力集中に関する解析的検討/東京鐵骨橋梁 [正] 細見 直史・貝沼 重信・加藤 祐介
- I-531 模擬腐食を導入したトラス橋斜材の残存耐力/首都大学東京 [学] 小峰 翔一・野上 邦栄・山沢 哲也

■維持管理(構造)(4)/14:25~15:55/谷口 望(鉄道総合技術研究所)

- I-532 光ファイバ分布センサを用いた長大斜張橋モニタリング/清水建設 [正] 岩城 英朗
- I-533 家庭用デジタルビデオカメラを用いた橋梁の継続的な変位計測による橋梁の応答特性/阪急設計コンサルタント [正] 海老原 学・岡重 嘉泰・川谷 充郎
- I-534 デジタルカメラ3次元計測システムVBMを用いた鋼I桁の面外方向変形の計測/琉球大学 [学] 山田 昌樹・下里 哲弘・有住 康則
- I-535 「全方位・多眼撮影システム」による橋梁点検手法の開発(第一報)/計測リサーチコンサルタント [正] 西村 正三・楠原 栄樹・阿部 明弘
- I-536 パッシブ型センサを用いたワイアレスモニタリングの検討/東京工業大学 [正] 佐々木 栄一・三木 千壽
- I-537 圧電素子を用いた疲労損傷度モニタリングシステムの開発/法政大学 [学] 秋山 慎一郎・森 猛・濱田 榮
- I-538 桁端部の水平変位計測による桁および支承機能のモニタリング/京橋メンテック [正] 並木 宏徳・新田 耕司・中山 健
- I-539 超音波板厚計を用いた腐食鋼板の実用的板厚評価法に関する研究/徳山工業高等専門学校 [正] 海田 辰将・中澤 晃治・杉山 泰基

I-9 (法文学部講義棟404) /9月8日(木)

■維持管理(構造)(5)/8:40~10:10/三上 修一(北見工業大学)

- I-540 ARモデルの逐次推計とAICを利用した振動特性の変化点検出/大阪大学 [学] 松岡 弘大・KAITO KIYOYUKI

- I-541 レーザドップラ速度計を用いた固有振動計測とその実橋梁のメンテナンランスへの応用に関する研究／長崎大学 [学] 永山 隼・松田 浩・牧野 高平
- I-542 押込み試験を用いた既設鋼構造物の材料強度特性推定法に関する基礎検討／ニチゾウテック [正] 三谷 欣也・田邊 靖博・畑中 章秀
- I-543 鋼床版Uリブ内側非可視部に発生する疲労き裂のFSMによる検知・進展モニタリング／大阪大学 [学] 柴田 健吾・金 裕哲・廣畑 幹人
- I-544 コンクリート埋設鋼部材のFSMによる腐食減厚モニタリング／大阪大学 [学] 金 春峰・広畑 幹人・金 裕哲
- I-545 FSMによる高力ボルトの緩みモニタリング／名古屋大学 [正] 廣畑 幹人・金 裕哲

■維持管理(構造)(6)／10:25～11:55／下里 哲弘(琉球大学)

- I-546 複合構造化した鋼鉄道橋の静的載荷試験による延命化効果の確認／川崎重工業 [正] 小出 宜央・谷口 望・大久保 藤和
- I-547 鉄道既設橋梁を用いた局部加振法による損傷検出の研究／北見工業大学 [学] 坪川 良太・大島 俊之・三上 修一
- I-548 階層型ニューラルネットワークを用いた構造物の損傷部材推定システムの実験的検討／三菱重工鉄構エンジニアリング [正] 由良 慎弥・中村 秀治・藤井 堅
- I-549 音による伸縮継手の異常箇所検知システムの開発／阪神高速技術 [正] 塚本 成昭・山上 哲示・一ノ瀬 伯子ルイザ
- I-550 進行性と冗長性を考慮した新点検判定に向けた点検手法の改善／阪神高速技術 [正] 杉本 義博・足立 幸郎・坂根 英樹
- I-551 線形システムモデルのパラメータに着目した異常診断／京都大学 [学] 伊勢本 遼・金 哲佑・杉浦 邦征
- I-552 車両応答のみを用いた橋梁モード形状の推定手法／京都大学 [学] 山本 亨輔・大島 義信・杉浦 邦征

I-9 (法文学部講義棟404)／9月9日(金)

■地盤液状化(1)／8:40～10:10／岸田 忠大(千葉大学)

- I-553 東日本大震災における東京湾岸の液状化発生地域の現地調査／[学] 伊能 清貴・安田 進・渡辺 綱
- I-554 東北地方太平洋沖地震による横浜市金沢区の液状化被害／関東学院大学 [学] 山口 恵美・規矩 大義
- I-555 2011年東北地方太平洋沖地震における江戸川区・浦安市の東京湾埋立て地の液状化／飛鳥建設 [正] 大野 孝二・三輪 滋・本山 寛
- I-556 2011年東北地方太平洋沖地震における内陸の埼玉県北東部、千葉県西北部での液状化／飛鳥建設 [正] 筒井 雅行・本山 寛・沼田 淳紀
- I-557 東日本大震災で液状化した東京湾岸の埋立歴史と土層断面図／東京電機大学 [学] 高野 務・安田 進・金丸 功希
- I-558 東北地方太平洋沖地震による浦安市墓地公園の液状化被害／長岡技術科学大学 [正] 豊田 浩史・原 忠・國生 剛治
- I-559 東北地方太平洋沖地震による千葉県浦安市今川団地の液状化被害／高知大学 [正] 原 忠・豊田 浩史・國生 剛治

■地盤液状化(2)／10:25～11:55／原 忠(高知大学)

- I-560 加速度履歴による液状化地震動強度と発生検出法／千葉大学 [正] 岸田 忠大
- I-561 抑止杭による側方流動対策に関する研究／早稲田大学 [学] 孝多 優也・加藤 一紀・津久井 貴大
- I-562 鋼矢板地中連続壁に作用する外力の評価法／早稲田大学 [学] 津久井 貴大・加藤 一紀・孝多 優也
- I-563 不飽和砂質地盤上の重力式岸壁の地震時安定性について／大成建設 [正] 小松本 奈央美・竹村 次朗・関 栄
- I-564 液状化を対象とした河川堤防の耐震性能照査手法に関する比較検討／パシフィックコンサルタンツ [正] 高橋 千明・蔡 飛
- I-565 南海地震に対する国分川周辺地盤の液状化詳細判定／高知工業高等専門学校 [学] 久保井 祐太・岡林 宏二郎・川本 聖
- I-566 液状化被害を考慮した地震リスク分析／九州大学 [学] 稲富 祐太郎・善 功企・陳 光斉
- I-567 沈下量を指標とした確率論的液状化ハザード解析／東電設計 [正] 栗田 哲史・福島 誠一郎

I-10 (法文学部講義棟大講義室)／9月7日(水)

■維持管理(腐食)(1)／8:40～10:10／岩崎 英治(長岡技術科学大学)

- I-568 長崎県外海地区沿岸の鋼アーチ橋における腐食環境調査／長崎大学 [学] 百崎 圭祐・緒方 裕己・中村 聖三
- I-569 海岸環境下に架設された鋼橋梁の腐食劣化状態調査／鉄道

- 総合技術研究所 [正] 坂本 達朗・福島 徹・江成 孝文
- I-570 鋼トラス橋格点部の狭隘な部分の形状計測と腐食損傷状況／首都大学東京 [学] 山本 憲・野上 邦栄・山沢 哲也
- I-571 リベット接合の腐食状況調査／ビーエムシー [正] 岡本 陽介・中山 太士・古寺 貞夫
- I-572 さび安定化補助処理剤を施した耐候性鋼橋梁へのイオン透過抵抗法の適用(その1:イオン透過抵抗法における耐候性鋼実橋梁調査結果)／松江工業高等専門学校 [学] 佐野 大樹・今井 篤実・吉中 智紀
- I-573 さび安定化補助処理剤を施した耐候性鋼橋梁へのイオン透過抵抗法の適用(その2:イオン透過抵抗法を用いた評価基準の提案)／日鉄防蝕 [正] 今井 篤実・佐野 大樹・吉中 智紀
- I-574 松江市の腐食環境と表面処理された耐候性鋼橋梁の初期腐食状況／松江工業高等専門学校 [学] 吉中 智紀・佐野 大樹・大屋 誠
- I-575 耐候性鋼無塗装橋梁の大気マイクロ腐食環境と錆生成状況に関する調査／長崎大学 [学] 吉竹 亮・中村 聖三・高橋 和雄

■維持管理(腐食)(2)／10:25～11:55／大屋 誠(松江工業高等専門学校)

- I-576 凍結防止剤の飛散と耐候性鋼橋の腐食／長岡技術科学大学 [学] 湯浅 昭・西 剛広・岩崎 英治
- I-577 融雪剤の付着が耐候性鋼橋の腐食に与える影響に関する研究／岐阜大学 [学] 清水 隆裕・村上 茂之・畑佐 陽祐
- I-578 橋軸斜め方向から塩分の飛来する橋梁の断面周辺の塩分と暴露試験片のさび厚／長岡技術科学大学 [学] 坂井 龍一・岩崎 英治・佐藤 由利
- I-579 耐候性鋼橋梁の腐食環境及び曝露試験による腐食量予測の検討／長岡技術科学大学 [学] 佐藤 由梨・坂井 龍一・岩崎 英治
- I-580 岐阜県内における耐候性鋼橋の腐食環境簡易評価法に関する研究／オリエンタルコンサルタンツ [正] 畑佐 陽祐・村上 茂之・清水 隆裕
- I-581 飛来塩分量と風向風速の関係／松江工業高等専門学校 [正] 大屋 誠・武邊 勝道・広瀬 望
- I-582 多主桁多径間連続鋼鈑桁橋における飛来塩類・付着塩類調査／山口大学 [学] 横井 俊哉・西村 陽平・麻生 稔彦
- I-583 Zn/Ag対のACM型腐食センサを用いた鋼部材の大気腐食環境評価に関する研究／神戸製鋼所 [学] 伊藤 義浩・貝沼 重信・押川 渡

■維持管理(腐食)(3)／12:40～14:10／安波 博道(土木研究センター)

- I-584 気中塩分計を用いた飛来塩分量の輸送メカニズムの基礎的検討／松江工業高等専門学校 [正] 広瀬 望・武邊 勝道・大屋 誠
- I-585 プレートガーター橋における海塩粒子の飛来塩分特性に関する研究／琉球大学 [正] 淵脇 秀晃・下里 哲弘・有住 康則
- I-586 サーフゾーンを考慮した飛来塩分量予測に関する研究／名古屋工業大学 [学] 横井 俊哉・李 国泰・小畑 誠
- I-587 局所および広域解析を組み合わせた付着塩分量推定法に関する研究／名古屋工業大学 [F] オバタ マコト・渡辺 泰成・横井 俊哉
- I-588 余部橋梁を対象にした海塩粒子の飛来・拡散シミュレーション／川田工業 [正] 山口 詩織・藤井 堅・中村 秀治
- I-589 橋梁の周辺環境を考慮した結露の発生状況に関する考察／名古屋工業大学 [学] 山田 仁・永田 和寿
- I-590 直流電気抵抗による腐食鋼材のぬれ時間測定に関する検討／長岡技術科学大学 [学] 西 剛広・岩崎 英治・三浦 正純
- I-591 鋼橋の延命化に向けた洗浄技術の開発について／ドーコン [正] 菅原 登志也・三田村 ひろし・佐藤 京

■維持管理(腐食)(4)／14:25～15:55／貝沼 重信(九州大学)

- I-592 都市内連続高架橋における桁端部分プラスト工事に関する試験施工／福岡北九州高速道路公社 [正] 片山 英資・青野 守・松山 直紀
- I-593 塗膜下腐食を抑制するSn添加耐食鋼の実鋼橋への適用と施工／住友金属工業 [正] 西尾 大・上村 隆之・米村 英男
- I-594 鋼構造物の塗膜欠陥から進行する腐食の経時特性に関する研究／九州大学 [学] 宇都宮 一浩・貝沼 重信・伊藤 義浩
- I-595 塗膜下腐食を抑制するSn添加耐食鋼の3年暴露試験の調査／住友金属工業 [正] 前田 隆雄・関上 直浩・飛ヶ谷 明人
- I-596 塗装補修を用いた金属被覆鋼板のライフサイクル性能評価／名古屋大学 [学] 細井 章浩・栗田 光二・伊藤 義人
- I-597 ゴムラテックスモルタルによる鋼橋桁端部の補修・補強工法に関する実験／新日鉄エンジニアリング [正] 浮島 文香・櫻井 信彰・中山 逸人
- I-598 ベトロラタム被覆工法におけるチタンカバーとFRPカバー

の耐衝撃性の比較／日鉄防蝕 [正] 齊所 広之・坂本 宏司・今福 健一郎

I-10 (法文学部講義棟大講義室) / 9月8日(木)

■維持管理(腐食) (5) / 8:40~10:10 / 山本 悟(日本防蝕工業)

- I-599 腐食した鋼部材の大気犠牲陽極防食技術に関する基礎的研究(その1)―多孔質焼結板の気孔率が犠牲陽極作用に及ぼす影響― / 三井造船 [正] 石原 修二・貝沼 重信・兼子 彬
- I-600 腐食した鋼部材の大気犠牲陽極防食技術に関する基礎的研究(その2)―多孔質焼結板の配合が犠牲陽極作用に及ぼす影響― / [正] 兼子 彬・貝沼 重信・石原 修二
- I-601 腐食した鋼部材の大気犠牲陽極防食技術に関する基礎的研究(その3)―繊維シートの特性が犠牲陽極作用に及ぼす影響― / 日本エクスラン工業 [正] 山内 孝郎・住谷 龍明・貝沼 重信
- I-602 腐食した鋼部材の大気犠牲陽極防食技術に関する基礎的研究(その4)―腐食生成物が犠牲陽極作用に及ぼす影響― / 九州大学 [学] 松尾 和哉・貝沼 重信・石原 修二
- I-604 まくらぎ下防食工法の試験施工結果の検証 / レールテック [正] 松本 健太郎・正司 誠・中山 太士
- I-605 まくらぎに接する鋼桁上フランジに敷設した繊維シート系防食工法の耐久性 / 近畿大学 [学] 大戸 佑介・東山 浩士・中山 太士

■維持管理(腐食) (6) / 10:25~11:55 / 野上 邦栄(首都大学東京)

- I-606 新旧点検要領データを活用した橋梁部材劣化の検討 / 北見工業大学 [学] 樺山 哲也・大島 俊之・山崎 智之
- I-607 SVMによる橋梁健全度と部材健全度との関係 / 北海学園大学 [正] 杉本 博之・齋藤 善之・澁谷 直隆
- I-608 長崎県における橋長15m以上の橋梁の点検結果に基づく劣化予測曲線 / 長崎大学 [学] 中野 一也・中村 聖三・高橋 和雄
- I-609 補修後の橋梁部材の劣化曲線に関する一考察 / 北海学園大学 [学] 山本 稔晴・齋藤 善之・澁谷 直隆
- I-610 極値統計法を用いた橋梁の余寿命予測に関する研究 / 早稲田大学 [学] 岡 純平・依田 照彦
- I-611 地方自治体の橋梁管理に関する実態調査 / 山口大学 [学] 北原 京・種 翔太郎・麻生 稔彦
- I-612 高経年ビントラス橋の維持管理事例 / ビーエムシー [正] 公門 和樹・中山 太士・藤野 恭平
- I-613 破壊確率を考慮した栈橋下部工のライフサイクルシナリオに関する研究 / 新日鉄エンジニアリング [正] 寺西 翔平・横田 弘・橋本 勝文

I-10 (法文学部講義棟大講義室) / 9月9日(金)

■鉄道工学(一般) / 8:40~10:10 / 高橋 和也(東海旅客鉄道)

- I-614 炭素繊維シートを用いた鋼鉄道橋の疲労き裂補修 / 西日本旅客鉄道 [正] 伊藤 裕規・中瀬 理至・中山 太士
- I-615 半円切欠き工法を用いた鋼鉄道橋の端部剛材の補修 / JR西日本 [正] 喜多 輝・中山 太士・小林 裕介
- I-616 腐食した鋼鉄道橋の鋼板接着による補強の検討 / JR西日本 [正] 松本 英宜・中山 太士・藤井 堅
- I-617 支圧接合による鋼鉄道橋の補修方法の検討 / JR西日本 [正] 中山 太士・岡本 陽介・小芝 明弘
- I-618 3径間連続下路トラス橋の腕材取付部変位の発生機構と補修方法について / 東海旅客鉄道 [正] 長縄 卓夫・大石 裕介・畑中 達彦
- I-619 鋼床版下路鉄桁に発生したき裂について / JR東日本 [正] 小林 亜沙子・大島 博之・高橋 武志
- I-620 実橋測定による詳細な鉄道橋の鋼桁検査について / JR九州 [正] 大橋 正臣・宮本 康弘
- I-621 共振が生じる鉄道橋(ボックスガーター)の現況評価 / 東海旅客鉄道 [正] 佐藤 浩二・植村 潤・増田 勝三

■非破壊評価 / 10:25~11:55 / 山田 真幸(東北大学)

- I-622 超音波アレイ探傷システムを用いた鋼板裏面の損傷の画像化 / 東京工業大学 [学] バドウングスリボウオーン ウォラウット・廣瀬 壮一
- I-623 全波形サンプリング処理(FSAP)方式による固体中の欠陥形状の再構成 / 愛媛大学 [学] 川村 郡・中畑 和之
- I-624 Improved Corrosion NDT Measurements Using Phased Array Ultrasonic Technology / 東京工業大学 [正] 峰沢 ジョージヴルベ・濱野 沙恵里・鈴木 啓悟

- I-625 トラフリップ溶接部の溶け込み量測定を目的とした超音波探傷技術の開発(その5) / 川田工業 [正] 藤田 敏明・湯田 誠・田中 賢治
- I-626 多重反射を用いた生物付着した金属ライニング材の板厚評価 / 東京都市大学 [学] 原 飛鳥・西川 史郎・白旗 弘実
- I-627 塗膜割れが渦流探傷試験のき裂検出特性に及ぼす影響 / 阪神高速技術 [正] 岡本 亮二・高村 義行・徳増 健
- I-628 熱弾性温度変動計測による鋼床版疲労き裂計測における防食塗装膜の影響 / 滋賀県立大学 [正] 和泉 遊以・和泉 遊以・森 直也
- I-629 デジタル画像相関法によるアルミ試験片の動的変位計測に関する基礎的研究 / 長崎大学 [学] 板井 達志・松田 浩・出水 亨

I-11 (法文学部講義棟203) / 9月7日(水)

■板・シェル / 10:25~11:55 / 全 邦釘(愛媛大学)

- I-630 平板の曲げ解析における表面せん断応力の影響に関する一考察 / 足利工業大学 [正] 末武 義崇
- I-631 線材置換による異方性膜構造の大変形解析に関する研究 / [学] 木戸 弘大・井嶋 克志・帯屋 洋之
- I-632 弾性基礎にある厚肉平板の曲げ特性に与える面外荷重の影響について / 大分工業高等専門学校 [学] 大川 茉友子・名木野 晴暢・樋口 理宏
- I-633 固定面と自由面を有する厚肉平板の変形及び応力分布特性 / 大分工業高等専門学校 [正] 名木野 晴暢・水澤 富作・三上 隆
- I-634 斜板の三次元自由振動問題へのB-spline Ritz法の適用性 / 大分工業高等専門学校 [学] 清成 康平・名木野 晴暢・水澤 富作
- I-635 PDS-FEMの亀裂入りシェル要素の開発 / 東京大学 [学] 藤田 航平・堀 宗朗・市村 強
- I-636 円筒シェル理論を用いた弾性体中多層カーボンナノチューブの座屈解析 / 北海道大学 [学] 池田 哲郎・佐藤 太裕・島 弘幸
- I-637 ダイアカット半円筒を用いた折り紙構造の挙動 / 秋田大学 [学] 江村 拓郎・田部井 香月・柴田 勝也

■座屈・耐荷力(1) / 12:40~14:10 / 田辺 篤史(東海旅客鉄道)

- I-638 高強度鋼材を用いた箱断面圧縮部材の耐荷力特性 / 首都大学東京 [学] 山下 洋平・野上 邦栄
- I-639 鋼箱断面圧縮部材の耐荷力に関する一検討 / 土木研究所 [正] 有村 健太郎・村越 潤・遠山 直樹
- I-640 軸方向力が卓越して作用する無補剛箱断面鋼製柱部材の繰返し載荷実験 / 大阪市立大学 [学] 吉山 純平・小野 潔・松村 政秀
- I-641 弾塑性有限変位解析による軸力卓越部材の耐荷力および変形性能に関する一検討 / 大阪大学 [学] 今村 哲平・谷上 裕明・小野 潔
- I-642 円柱を有する鋼製橋脚隅角部の弾塑性挙動に及ぼす梁フランジ構造の影響 / 岐阜大学 [学] 梅田 和幸・木下 幸治
- I-643 接触型リブのすき間間隔が円形断面鋼製橋脚の耐震性能に与える効果 / 国立豊田工業高等専門学校 [正] 忠 和男・川西 直樹
- I-644 腐食損傷を有した鋼製橋脚のねじりを考慮した水平2方向挙動に関する研究 / 名古屋工業大学 [学] 加藤 慶太郎・永田 和寿・杉浦 邦征
- I-645 開閉操作に対するラジアルゲート脚柱の耐荷力実験 / 電力中央研究所 [正] 塩竈 裕三

■座屈・耐荷力(2) / 14:25~15:55 / 高木 優任(新日本製鐵)

- I-646 ステンレス鋼の弾性係数の変化およびRamberg-Osgood曲線の適用性について / 長岡工業高等専門学校 [正] 宮崎 靖大・奈良 敬
- I-647 汎用H形鋼を使用した鉄道用工事桁の構造特性に関する実験的検討 / JR東日本 [正] 今 裕之・柳沼 謙一・後藤 貴士
- I-648 吊橋ケーブルバンド(鞍掛け方式)のすべり安全性に関する検討 / 本州四国連絡高速道路 [正] 池田 秀継・伊藤 進一郎・山口 和範
- I-649 バイケーブル工法を適用した角形鋼管ばりの耐荷力特性 / 東北学院大学 [正] 中沢 正利・本間 邦夫・吉田 昌平
- I-650 中央分離帯に設置する鋼製剛性防護柵の構造検討 / 首都高速道路 [正] 小島 直之・高橋 邦博・井上 治郎
- I-651 橋梁用防護柵の衝突性能に関する実験的・数値解析的研究 / 名古屋大学 [学] 伊藤 誠慈・伊藤 義人・Thanh Huu LE
- I-652 偏心荷重を受ける建わくの座屈実験 / 労働安全衛生総合研

研究所 [正] タカハシ ヒロキ・大幡 勝利・高梨 成次

I-11 (法文学部講義棟203) / 9月8日(木)

■ダム・タンクの耐震(1) / 8:40~10:10 / 熊崎 幾太郎(中部電力)

- I-653 引張軟化特性を考慮した重力式コンクリートダム基礎岩盤の地震時損傷 / 土木研究所 [正] 村山 邦彦・山口 嘉一・岩下 友也
- I-654 重力式コンクリートダムの地震時挙動の再現解析に基づく岩盤引張強度の評価 / 土木研究所 [正] 小堀 俊秀・村山 邦彦・山口 嘉一
- I-655 不連続面を有するダム基礎岩盤の進行性破壊挙動に関する基礎的検討 / 清水建設 [F] 木全 宏之・藤田 豊・YAZDANI Mahmoud
- I-656 アーチダムの耐震性能照査に用いる解析モデルの動特性に関する一検討 / 電力中央研究所 [正] 永田 聖二・金澤 健司・松井 淳
- I-657 非線形性を考慮したアーチダム堤体の常時応力状態(堤体の対称性および非対称性に対する検討) / 熊本大学 [学] 遠藤 洋平・松田 泰治・大熊 信之
- I-658 アーチダムの線形地震応答解析結果に基づく堤体内部応力評価 / 九州電力 [正] 大熊 信之・池田 浩一・松田 泰治
- I-659 重力式ダムの静的および地震時挙動特性に関する三次元有限要素解析 / ドーコン [正] 桑原 知也・岸 徳光・小室 雅人
- I-660 フィルダムの終局限界を考慮した地震リスク評価法について—LHS法による検討事例— / 電力中央研究所 [F] 平田 和太・中島 正人

■ダム・タンクの耐震(2) / 10:25~11:55 / 木全 宏之(清水建設)

- I-661 常時微動・地震動観測による高経年化したアーチダムの動特性(その1)—高密度観測に基づく動特性の同定結果— / 日本大学 [正] 仲村 成貴・上島 照幸・塩尻 弘雄
- I-662 常時微動・地震動観測による高経年化したアーチダムの動特性(その2)—長期継続観測を通じたダムの振動特性変動の検出— / 宮城大学 [正] 上島 照幸・村上 弘太・仲村 成貴
- I-663 3次元シェルモデルによるダムゲートの耐震性能評価 / 水資源機構 [正] 佐野 貴之・岡本 大樹・佐藤 信光
- I-664 地震応答解析における重力式ダムのモデル化と動水圧分布 / 電力中央研究所 [正] 西内 達雄
- I-665 既設LNG貯槽のスロッシング評価 / 大阪ガス [正] 大西 俊輔・西崎 丈能
- I-666 加振方向角を変化させた矩形断面容器のスロッシング挙動 / 中央大学 [学] 遠田 豊・平野 廣和・佐藤 尚次

- I-667 浮屋根式貯蔵タンクにおけるスロッシングの抑制に関する実験的研究(その5) / 勝井建設 [正] 勝井 勇次・勝井 優・原 隆
- I-668 加振角度を変えた矩形型貯槽の寸法比と水深比による液面揺動に関する研究 / 愛知工業大学 [学] 則竹 一輝・鈴木 森晶・田中 直貴

I-11 (法文学部講義棟203) / 9月9日(金)

■診断・補修・補強(1) / 8:40~10:10 / 上仙 靖(土木研究所)

- I-669 東大阪線鋼床版I桁き裂損傷対応検討報告 / 阪神高速道路 [正] 徳増 健・西岡 勉・田中 智之
- I-670 樹脂ブロックによる鋼管柱三角リブの疲労強度改善法 / 川崎重工 [正] 杉浦 江・小出 宜央・澤田 昌克
- I-671 腐食劣化したチャンネルおよびアングル部材の圧縮耐力評価検討(その1) / 新日本製鐵 [正] 今福 健一郎・久積 和正
- I-672 腐食劣化したチャンネルおよびアングル部材の圧縮耐力評価検討(その2) / 新日本製鐵 [正] 久積 和正・今福 健一郎
- I-673 振動測定による既存橋梁の補修工事の効果 / 愛媛 [学] 松村 裕樹・森 伸一郎・吉田 享一
- I-674 大鳴門橋ハンガーロープの補修 / 本州四国連絡高速道路 [正] 光畑 英樹・越野 勝
- I-675 接着剤により当て鋼板補強したプレートガーダーの曲げ耐力実験 / 広島大学 [学] 福田 光央・藤井 堅・中山 太士
- I-676 桁端連結による鋼鉄道橋支承補修における桁端水平変位の影響 / 京橋メンテック [正] 神蘭 卓海・高橋 真矢・大塚 祐一郎

■診断・補修・補強(2) / 10:25~11:55 / 小西 拓洋(首都高速道路技術センター)

- I-677 プレストレス導入CFRP板接着鋼部材のはく離曲げモーメント向上法 / 京都大学 [学] 清水 優・石川 敏之・服部 篤史
- I-678 CFRP板接着補修におけるプレストレス導入方法に関する実験的研究 / 首都大学東京 [学] 山村 勇斗・林 帆・中村 一史
- I-679 動的繰返し荷重下のCFRP補強桁の接着特性に関する実験的研究 / 首都大学東京 [学] 大久保 智・山田 稔・長嶋 文雄
- I-680 動的繰返し荷重下におけるCFRP補強桁の接着剤硬化時の応力状態 / 平設計 [正] 山田 稔・大久保 智・長嶋 文雄
- I-681 鋼I桁継手部のCFRPロッド補強定着部に関する解析的検討 / 立命館大学 [学] 築山 彰・野阪 克義
- I-682 CFRP板が接着された鋼板に生じる熱応力の低減工法の開発 / 京都大学 [正] 石川 敏之・服部 篤史・河野 広隆

第II部門

水理学、水文学、河川工学、水資源工学、港湾工学、海岸工学、海洋工学、環境水理など

II-1 (教育学部本館・2号館大講義室) / 9月7日(水)

■開水路・複合水路 / 8:40~10:10 / 音田 慎一郎(京都大学)

- II-001 開水路における平行合流と小角度合流の流れ構造の相違 / 神戸大学 [学] 戸田 敦士・田中 俊史・藤田 一郎
- II-002 水難危険箇所内に在る複雑な河床地形と流れの様相とに関する調査 / サワコンサルタント [正] 澤田 謙二・阿藤 博基・藤田 裕一郎
- II-003 配置の相違に伴う棧型粗度の水理特性変化に関する実験 / 岐阜大学 [学] 岩田 啓夢・松岡 俊一郎・原田 守啓
- II-004 複断面開水路流れに生じる大規模水平渦挙動の決定要因について / 中央大学 [正] 本永 良樹・山田 正
- II-005 河川における大規模渦運動の実態解明に向けたADCP計測について / 岐阜大学 [F] 藤田 裕一郎・守矢 清一・水上 精榮
- II-006 複断面開水路における流量変化とそれに対しての魚の挙動 / [学] 福島 徹
- II-007 一般座標系底面流速解法による河川合流部の解析 / 中央大学 [学] 奥石 大・内田 龍彦・福岡 捷二
- II-008 高水敷上の植生の配置が流れと物質輸送に及ぼす影響に関する実験的研究 / 広島大学 [学] 山本 拓也・長谷川 史明・河原 能久

■河道・植生の水理 / 10:25~11:55 / 戸田 祐嗣(名古屋大学)

- II-009 河道横断面形状の経年変化が高水敷の樹林化に及ぼす影響 / 神戸大学 [学] 阿河 一穂・道奥 康治・宮本 仁志
- II-010 樹林化した河道における樹林帯の生長段階が流況に及ぼす影響 / 神戸大学 [学] 大地 洋平・道奥 康治・宮本 仁志
- II-011 植生繁茂条件の違いが開水路流れの抵抗に与える影響 / 豊

- 田工業高等専門学校 [学] 田中 良尚・田中 貴幸
- II-012 粒度分布特性が異なる砂礫州上に繁茂した一年生草本の流失条件 / 埼玉大学 [正] 八木澤 順治・田中 規夫
- II-013 加古川中・下流部の複数河道における樹木消長の確率評価 / 神戸大学 [学] 木村 諒・盛岡 淳二・宮本 仁志
- II-014 複断面蛇行流路における流木の挙動に対する面的計測 / 土木研究所 寒地土木研究所 [正] 赤堀 良介・渡邊 康玄
- II-015 河道内樹林の治水効果に関する一考察 / パシフィックコンサルタンツ [正] 阿部 康紀・渡邊 武志・原田 大輔
- II-016 直立性植生群を有する開水路流れの詳細平面2次元解析と空間平均解析の比較検討 / 京都大学 [正] 音田 慎一郎・柴山 慶行・細田 尚

■水理構造物 / 12:40~14:10 / 高橋 正行(日本大学)

- II-017 四万十川橋脚周辺の三次元流況に関する研究 / 愛媛大学 [学] 加藤 雄介・門田 章宏・重松 和恵
- II-018 重信川水衝部護岸のための水制の効果に関する研究 / 愛媛大学 [学] 河端 知佳・門田 章宏・重松 和恵
- II-019 急勾配の中小都市河川の流況景観の創生に関する基礎研究 / 神戸大学 [学] 西浦 彰洋・藤田 一郎
- II-020 低落差構造物下流側の減勢工に関する実験的検討 / [学] 黒川 雪菜・安田 陽一
- II-021 洪水調整堰に設置された提案魚道工における流速場の実験的検討 / 日本大学 [学] 植松 翼・安田 陽一
- II-022 VOF schemeを用いたNavier-Stokes方程式に基づくBingham流体解析に関する研究 / 群馬大学 [学] 阿部 皓平・岡田 崇・松本 健作
- II-023 小型BOXカルバートにおける誘発目地の必要性について / パシフィックコンサルタンツ [正] 渡邊 武志・館川 逸朗・赤塚 芳弘

- II-024 濁水排除のための選択取水設備の改良方策に関する検討—矢作川での選択取水設備の改良方策の一提案—/建設環境研究所 [正] 野村 和弘・松尾 直規・渡邊 守

■構造物周辺の流れ・洗掘/14:25~15:55/内田 龍彦(中央大学)

- II-025 大臣特認制度を利用した堰の改築について/建設技術研究所 [正] 松本 良一・小田 禎彦・村越 重紀
II-026 両岸水制群による蛇行形状の創出/名古屋工業大学 [学] 末次 宏基・富永 晃宏
II-027 階段状水路における不等流区間の空気混入流特性/日本大学 [学] 海上 真吾・高橋 正行・大津 岩夫
II-028 Characteristics of Effect of Bank Erosion Countermeasures/Kyoto University [学] HARSANTO Puji・TAKEBAYASHI Hiroshi・FUJITA Masaharu
II-029 階段を流下する空気混入流中の物体の抗力係数/日本大学 [学] 本田 宗大・高橋 正行・大津 岩夫
II-030 鉄道橋が横過する位置での築堤形状について(構造上の課題解決に向けて)/パシフィックコンサルタンツ [正] 高野 和成・南部 卓也・天野 紀
II-031 ブランチブロック護岸周辺の河床変動と流れの特性/明石工業高等専門学校 [学] 泉 佳甫・神田 佳一
II-032 堤防裏法尻保護工における氾濫流の特性に関する二・三の検討/日本大学 [学] 小川 拓・高橋 迪夫

II-1 (教育学部本館・2号館大講義室) /9月8日(木)

■流路・河床変動(1)/8:40~10:10/長田 健吾(中央大学研究開発機構)

- II-033 粘着性を有する流路の動的安定形状に関する研究/早稲田大学 [学] 岡 幸宏・関根 正人・白川 剛
II-034 鵠川河口域の干潟形成と河道変化に関する研究/室蘭工業大学 [学] 山川 泰明・中津川 誠・五十嵐 徹
II-035 洪水流による砂州の粒度構成と河川横断構造物周辺の局所洗掘に関する研究/東京都建設局 [正] 忠津 哲也・下條 康之・内田 龍彦
II-036 固定床河川における水制を利用した土砂再被覆に関する検討/京都大学 [学] 久加 朋子・藤田 正治・竹林 洋史
II-037 橋梁近傍河道の流水災害の低減に関する実験的検討/土木研究所 [正] 坂野 章
II-038 石礫蛇行河川の洪水流・河床変動解析法に関する研究/日揮 [正] 前嶋 達也・曾山 和宏・長田 健吾
II-039 利根川布川狭窄部の河床低下要因の分析/中央大学 [学] 岩谷 直貴・福岡 捷二・茂呂 康治
II-040 越水破堤初期段階に関する一考察/土木研究所寒地土木研究所 [正] 島田 友典・横山 洋・平井 康幸

■流路・河床変動(2)/10:25~11:55/神田 佳一(明石工業高等専門学校)

- II-041 流路の平面形状が中規模河床波の形成過程に及ぼす影響/新潟大学 [学] 高橋 玄・安田 浩保
II-042 低水路幅が砂州形状及び変動特性へ及ぼす影響~矢田川下流域を例に~/名城大学 [学] 青木 一展・溝口 敦子
II-043 Effect of non cohesive sediment transport on erosion rate of cohesive material/京都大学 [学] ゲエン マン ミントアン・HARSANTO Puji・TAKEBAYASHI Hiroshi
II-044 網状流路河川に形成される止水域の物理環境の評価/京都大学 [学] 上戸 亮典・竹林 洋史・藤田 正治
II-045 天然ダムの決壊に関する実験的研究~天然ダムの下流堆積形状の変化と侵食幅・侵食深さの時間変化について~/日本大学 [学] 石川 彩人・芦川 大樹・小田 晃
II-046 河幅及び断面形状を考慮した漂流砂量式を用いた石狩川河口部昭和56年洪水の河床変動解析/中央大学 [正] 岡村 誠司・岡部 和憲・福岡 捷二
II-047 黒部川における河床変動、河床材料分布、植生の経年変化/東京都稲城市役所 [正] 原田 芳郎・寺崎 賢一・福濱 方哉

II-1 (教育学部本館・2号館大講義室) /9月9日(金)

■土砂生産/8:40~10:10/門田 章宏(愛媛大学)

- II-048 雨滴径の異なる降雨による斜面の侵食過程/早稲田大学 [学] 田中 翔真・関根 正人・鍋島 康大
II-049 多摩川水系におけるウォッシュロード供給源に関する多角的検討/東京理科大学 [学] 武川 一樹・二瓶 泰雄・田中 健太郎
II-050 ダムからの排砂と土砂マネジメントによる河川管理の事業評価/建設環境研究所 [正] 富田 邦裕・角 哲也・渡邊 守
II-051 相対水深が小さい場での河床と粗度の取り扱いに関する実

- 験的検討/名城大学 [学] 後藤 正和・溝口 敦子
II-052 地質の異なる風化基岩の凍結融解による土砂化特性/京都大学 [学] 泉山 寛明・堤 大三・藤田 正治
II-053 パラオ共和国での赤土流出に及ぼす宅地造成の影響について/芝浦工業大学 [学] 佐藤 航太郎・菅 和利・大澤 和敏
II-054 パラオ共和国での濁質輸送量測定の自動観測体制について/芝浦工業大学 [学] 河野 晃寛・菅 和利・大澤 和敏
II-055 タイ王国における豪雨に伴う斜面崩壊ハザード評価/東北大学 [学] 小野 桂介・風間 聡

■流砂/10:25~11:55/溝口 敦子(名城大学)

- II-056 河川における掃流砂の観測と流砂量評価技術に関する研究/大林組 [正] 浅野 文典・曾山 和宏・内田 龍彦
II-057 河床粒度分布調査における画像処理法と全表面抽出法との比較/岐阜大学 [正] 大橋 慶介・安田 真悟・伊原 一樹
II-058 落下礫の接触時間を用いた粒径計測に関する基礎的研究~落下位置・POM板の厚さ・形状係数の変化による接触時間への影響~/日本大学 [学] 渡邊 真矩・落合 実・小田 晃
II-059 高濃度泥流の転波列性サージ波長に関する検討/名城大学 [正] Arai Muneoyuki
II-060 三つの粒径集団の砂礫により構成された河床の静的安定状態/早稲田大学 [学] 平松 裕基・関根 正人・三國 寛正
II-061 扇状地における家屋の土石流の氾濫・堆積へ与える影響に関する検討/京都大学 [正] 中谷 加奈・水山 高久・里深 好文
II-062 H-ADCP計測と数値計算に基づく掃流砂輸送量モニタリングシステムの提案/東京理科大学 [学] 鈴木 大樹・二瓶 泰雄・御厨 純
II-063 植生繁茂・拡大を考慮した砂河川の河道断面変遷に関する数値解析/[学] 酒井 紀誓・戸田 祐嗣・辻本 哲郎

■ダム堆砂・排砂/15:00~16:30/中谷 加奈(京都大学)

- II-064 ダム貯水池堆砂対策として吸引方式排砂工法を適用するための提案/電源開発 [正] 前田 修一・多田 康一郎・矢田 崇恭
II-065 エジェクターポンプによる玉砂利の吸引・輸送試験/ハザマ [正] 天明 敏行・山上 裕也・加来 睦宏
II-066 ダム堆砂の省動力排砂方法の開発/大成建設 [正] 古田 敦史・伊藤 一教・伊東 敏彦
II-067 出水時に河川を流下する微細粒子土砂の粒度分布に関する比較検討/土木研究所 [正] 海野 仁・箱石 憲昭
II-068 堆砂対策と流砂の連続性を達成するためのダムからの土砂供給施設の運用に関する考察/土木研究所 [正] 櫻井 寿之・箱石 憲昭
II-069 湖内輸送に用いる逆転ポンプの輸送能力/土木研究所 [正] 宮脇 千晴・箱石 憲昭
II-070 Estimation of the life span and the relationship between sedimentation and watershed area of Japanese reservoirs/Kyoto University [学] 羅 平平・寶 馨・賀 斌
II-071 エジェクターポンプにおける空気圧送の効果/西日本技術開発 [正] 黒木 修身・山上 裕也・角 哲也

II-2 (教育学部本館・2号館103) /9月7日(水)

■水圏の環境(1)/8:40~10:10/矢野 真一郎(九州大学)

- II-072 既存布製型枠を改良した植生護岸工法の実河川での効果検証/太陽工業国土環境エンジニアリングカンパニー [正] 石川 雅英・山口 勉
II-073 橋上からのデジタル画像を用いた礫付着藻類クロロフィル量の推定法の開発について/電源開発 [正] 向井 伸幸・菅 和利・矢田 崇恭
II-074 種間競争を考慮した砂河川付着藻類の増殖解析/名古屋大学 [学] 山下 貴正・戸田 祐嗣・辻本 哲郎
II-075 海域環境インパクトが河川内干潟の二枚貝生態系に与える影響/東京理科大学 [学] 森 麻緒・二瓶 泰雄
II-076 ヒゲナガカワトビケラの環境因子に応じた抗酸化力変化と成長段階との関係/電力中央研究所 [正] 今村 正裕・中野 大助・山本 亮介
II-077 長良川河口堰下流水域の珪藻プランクトン群集に対する堰建設の影響~局所的混合形態指標の生態学的意義~/東京電機大学 [学] 舟橋 明里・古里 栄一・有田 正光
II-078 分布域南限付近のカジカの生息環境と水利用/土木研究所 [正] 村岡 敬子・山下 慎吾・中山 雅文
II-079 土砂還元がダム下流の河川環境に及ぼす影響に関する研究/山口大学 [正] 赤松 良久・竹林 洋史・湯城 豊勝

■水圏の環境(2)/10:25~11:55/梅田 信(東北大学)

- II-080 現地調査に基づく河川におけるオオカナダモの生育特性の

- II-081 検討／広島大学〔学〕水口 雄介・椿 涼太・中土井 佑輔
袋原旧河道における淡水赤潮の原因プランクトンの検討／
日本大学〔学〕堀川 久仁彦・長林 久夫
- II-082 河床礫上の付着性藻類の生長特性に関する現地調査／広島
大学〔学〕土井 翔悟・河原 能久・椿 涼太
- II-083 海草移植のためのコマモ形態と底質環境に関する現地調
査／大成建設〔正〕高山 百合子・伊藤 一教
- II-084 野生動物自動行動追跡システムを用いた降下期のアユ行動
特性の把握とそのモデル化に関する基礎的検討／土木研究
所〔正〕傳田 正利・額田 渉・佐藤 翔
- II-085 INFLUENCE OF SLUDGE ON WATER QUALITY OF
HORI RIVER DUE TO THE TIDAL BEHAVIOUR／中
部大学〔学〕レグミ ウゲンダ・武田 誠・松尾 直規
- II-086 近年における淀川下流ワンド群の環境管理と生息魚類／大
阪工業大学〔正〕綾 史郎・岩崎 洋・西川 晃平
- II-087 播磨灘流域圏における流域内土地系負荷量の30年間の変化
／香川大学〔学〕矢野 利樹・石塚 正秀

■物質輸送・循環／12:40～14:10／田村 隆雄(徳島大学)

- II-088 都市中小感潮河川における降雨時汚濁負荷特性／清水建
設〔正〕林 秀彦・高坂 信章・守田 優
- II-089 熊本・江津湖における硝酸性窒素と湧水量の関係について
／東海大学〔学〕小島 智佳・市川 勉
- II-090 地下水が農村河川の窒素汚染に及ぼす影響／東京理科大
学〔学〕原田 渉・二瓶 泰雄・佐藤 和博
- II-091 果樹園栽培が盛んな流域を対象としたTN流出負荷量解析
／和歌山大学〔学〕日野 良太・江種 伸之・石塚 正秀
- II-092 頭首工での取水を考慮した渡良瀬川流域のTOCの収支／
足利工業大学〔正〕上岡 充男・長尾 昌朋
- II-093 矢場川の水質特性とTOC負荷量／足利工業大学〔学〕古
谷津 和希・上岡 充男・長尾 昌朋
- II-094 河川における漂流ゴミ輸送量に関するビデオ連続モニタリ
ング／東京理科大学〔学〕前川 俊明・尾ノ井 龍仁・二瓶
泰雄
- II-095 印旛沼・高崎川流域における出水時の汚濁負荷流出特性に
関する数値解析／土木研究所 ICHARM〔正〕宮本 守・
RAJAPAKSE Hemantha・深見 和彦

■閉鎖性水域の水理／14:25～15:55／黒川 岳司(呉工業高等専門学校)

- II-096 三春ダム流域における洪水時と平時の水質特性に関する
検討／日本大学〔学〕池田 宗明・高橋 迪夫・木村 圭介
- II-097 噴流型流動促進装置導入による貯水池内の流況特性と水質
の変化／広島大学〔学〕北 真人・黒川 岳司・平原 裕
- II-098 博多湾内浸漬窪地における埋戻し工法に関する数値解析的
検討／福岡大学〔学〕林 建成・山崎 惟義・北野 義則
- II-099 レクチンがMicrocystis aeruginosaの群体形成に及ぼす影
響／〔学〕八巻 哲也・瀧澤 翔太・今江 泰貴
- II-100 熊本県・江津湖における窒素・リンの消費量／〔学〕熊谷
幸恵・市川 勉
- II-101 諫早湾と調整池における底質の平面分布特性／佐賀大学
〔正〕手塚 公裕・片野 俊也・濱田 孝治
- II-102 2010年に大阪湾で発生した継続時間の長い青潮の観測事例
／東洋建設〔正〕藤原 隆一・山野 貴司
- II-103 閉鎖域における溶存酸素の消費速度と貧酸素水塊のメカニ
ズムに関する調査／東京都市大学〔学〕杉山 聡・村上 和男

II-2 (教育学部本館・2号館103)／9月8日(木)

■河口の水理／8:40～10:10／安田 浩保(新潟大学)

- II-104 複雑な互層構造をなす筑後川感潮域における河床変動と有
明海への土砂流出量／清水建設〔正〕鈴木 健太・福岡 捷二
・島元 尚徳
- II-105 河川水面に存在する氷板が塩水遡上速度に与える影響／寒
地土木研究所〔正〕吉川 泰弘・赤堀 良介
- II-106 都市河川感潮域における浸漬前後での水質変化に関する現
地観測／中央大学〔学〕浅見 龍一・児島 俊弥・山田 正
- II-107 都市河川感潮域における出水時の水質変動特性に関する現
地観測／中央大学〔学〕児島 俊弥・浅見 龍一・山田 正
- II-108 統計解析による波エネルギーと塩水遡上の関連性の解明／
北見工業大学〔学〕加藤 淳子・中山 恵介・崇田 徳彦
- II-109 潮汐流場における植生境界部付近の流れ特性に関する実験的
研究／東京電機大学〔学〕川西 謙太・武村 武・有田 正光
- II-110 ADCPを用いた塩水遡上時の流速分布の観測／富山県立大
学〔正〕手計 太一

■河川計画・管理／10:25～11:55／門田 章宏(愛媛大学)

- II-111 中小多自然河川の河幅、水深に関する考察／中央大学
〔学〕坂口 達哉・福岡 捷二

- II-112 谷底平野を流下する河道の河幅に関する研究／建設技術研
究所〔正〕久保 雄生・福岡 捷二
- II-113 福岡の式の適用による河川改修断面形・河幅等の決め方／
中央大学〔F〕福岡 捷二
- II-114 iRICによる中小河川改修での安定河道の検討方法について
／北海道技術コンサルタント〔正〕山本 太郎・日端 弾・
田中 博美
- II-115 河川護岸の劣化機構と管理指標に関する一考察／〔正〕原
田 大輔・渡邊 武志・阿部 康紀
- II-116 中小河川における効率的な河道管理手法の検討～愛媛県中
山川を対象として～／高知工業高等専門学校〔正〕岡田
将治・岡田 将治・石坂 直希
- II-117 流域治水における河川管理者の責任範囲に関する一考察／
国土技術政策総合研究所〔正〕飯野 光則・伊藤 弘之・小
野田 恵一

II-2 (教育学部本館・2号館103)／9月9日(金)

■流域計画・管理(1)／8:40～10:10／須藤 達美(パシフィックコン サルタンツ)

- II-118 同化手法を用いた山岳域の積雪分布推定／東北大学〔学〕柏
俊輔・朝岡 良浩・風間 聡
- II-119 SCE-UA法を用いたタンクモデルの構築／中電技術コンサル
タント〔正〕杉原 成満・倉本 和正・荒木 義則
- II-120 雨水貯留施設による利水効果の定量的評価／国土技術政策
総合研究所〔正〕豊田 忠宏・三石 真也・天方 匡純
- II-121 模型実験を活用した遊水地事業のコスト縮減／建設技術研
究所〔正〕土屋 大輔・西本 直次郎・松本 良一
- II-122 渡良瀬遊水地の洪水調節に関する検討～平成19年9月洪水
を例として～／中央大学〔学〕中井 隆亮・須藤 純一・福
岡 捷二
- II-123 河道の洪水貯留量が流量ハイドログラフの伝播に及ぼす影
響の評価／中央大学〔学〕竹村 吉晴・福岡 捷二
- II-124 由良川を対象とした洪水解析による洪水伝播時間について
／長岡技術科学大学〔学〕磯部 将吾・川合 茂・神田 佳一

■流域計画・管理(2)／10:25～11:55／重枝 未玲(九州工業大学)

- II-125 氾濫流による鉄道盛土の破壊過程に関する実験的研究／広
島大学〔学〕上田 康弘・椿 涼太・河原 能久
- II-126 校区単位での住民参加型内水ハザードマップ作成に関する
研究／福岡大学〔学〕野田 辰浩・山崎 惟義・渡辺 亮一
- II-127 メコン河洪水氾濫の肥沃化について／東北大学〔学〕天野
文子・風間 聡
- II-128 急勾配な扇状地形における氾濫流の挙動に関する考察／
群馬大学〔学〕新井 勇貴・清水 義彦・松本 健作
- II-129 大和川奈良盆地における分布型流出モデルの同定手法及び
流量低減効果に関する一考察／徳島大学〔正〕小河 健一
郎・今井 真之・田村 隆雄
- II-130 石狩川明治37年洪水氾濫と捷水路事業の評価／北海道大
学〔F〕鈴木 英一・山口 里実・谷 育美
- II-131 防災用三角水のうの技術開発／太陽工業〔正〕榊尾 孝之・
石田 正利・丸井 英一
- II-132 荒川扇状地における自然堤防と集落、交通の発達および治
水の役割／中央大学〔学〕齊藤 滋・福岡 捷二・島田 裕司

■流域計画・管理(3)／15:00～16:30／河原 能久(広島大学)

- II-133 PPPによる流域管理及び地域計画の融合に関する研究(そ
の1)／山梨大学〔正〕市川 温・石田 有三・石野 和男
- II-134 都市河川における親水空間の構造化と親水意識について／
芝浦工業大学〔正〕守田 優
- II-135 排水機場における大規模ポンプゲートの適用事例／パシ
フィックコンサルタンツ〔正〕赤塚 芳弘・渡邊 武志
- II-136 都市部での土砂災害を対象とした住民組織、行政、大学、土
木技術者が連携した取り組みークロスロードゲーム土砂災
害都市部編の試行～／日本ミクニヤ〔正〕磯打 千雅子・
柳原 純夫・加賀 正之
- II-137 気象・地質・土地利用を考慮したリンクマグニチュードに
よる河川流量の推定モデル／神戸大学〔正〕宮本 仁志・
石田 和也・道奥 康治
- II-138 下水道マンホール蓋の浮上・飛散防止対策シミュレーショ
ン・モデル／愛媛大学〔学〕松原 次郎・重田 尚秀・友近
榮治
- II-139 都市河川における汚濁の問題点～熊本市を例として～／崇
城大学〔正〕村田 重之・田代 敬大・服部 達也

II-3 (教育学部本館・2号館402) / 9月7日(水)

■水理計測・観測手法 / 8:40~10:10 / 萬矢 敦啓(土木研究所)

- II-140 水理模型実験による分水路を有する河道の水位変動と流況変化に関する考察 / パシフィックコンサルタンツ [正] 市山 誠
- II-141 石狩川感潮区間における濁度鉛直分布の推定について / 土木研究所 寒地土木研究所 [正] 横山 洋・桃枝 英幸・橋場雅弘
- II-142 「点」から「面」流速・流量を推定可能な力学的内外挿法の構築 / パシフィックコンサルタンツ [正] 柏田 仁・二瓶 泰雄・高島 英二郎
- II-143 河川音響トモグラフィを用いた礫床河川流量の連続モニタリング / 広島大学 [学] 池田 優雄・川西 澄・斉藤 一正
- II-144 水路側壁の影響を考慮した流量算定の試み / シーテック [正] 伊藤 真行・前田 浩伸・土山 茂希
- II-145 複断面河道の流量観測精度向上のためのH-ADCP活用法 / 東京理科大学 [学] 御厨 純・二瓶 泰雄
- II-146 非接触型電波式流速計の流水断面積付与に関する一考察 / 土木研究所寒地土木研究所 [正] 稲垣 達弘・SHIMADA TOMONORI・YOKOYAMA HIROSHI

■大気水象 / 10:25~11:55 / 大石 哲(神戸大学)

- II-147 漏洩同軸ケーブルとそのデジタル信号処理 / 東京大学 [学] 水谷 司・藤野 陽三・猪又 憲治
- II-148 Ybファイバーレーザーを用いた局所流観測システムの基礎検討 / 気象工学研究所 [正] 佐藤 悠・松田 周吾・染川智弘
- II-149 豪雨抑制効果に着目したクラウド・シーディングに関する数値実験 / 法政大学 [正] 鈴木 善晴・田中 聡一郎・郷 祐美子
- II-150 最新型偏波レーダーを用いた雨滴粒径分布の時空間構造の推定 / 京都大学 [学] 金原 知穂・山口 弘誠・中北 英一
- II-151 2008年維多利亞豪雨に対する都市加熱の影響 / 山梨大学 [正] 相馬 一義・砂田 憲吾・末次 忠司
- II-152 松山平野における降水量日変化の時空間特性 / 愛媛大学 [学] 藤本 雅人・森脇 亮・渡部 桂子
- II-153 雷放電モニタリングから積乱雲の降水活動を求めるパッシブレーダーの可能性について / 大阪大学 [正] 河崎 善一郎・吉田 智・池淵 周一
- II-154 気候変動に伴う我が国の集中豪雨の将来変化に関する基礎的検討 / 京都大学 [学] 宮宅 敏哉・中北 英一・木島 梨沙子

■都市の水文 / 12:40~14:10 / 加藤 拓磨(国土技術政策総合研究所)

- II-155 風洞実験を用いた舗装面一大気間の熱交換過程の検討 / 法政大学 [学] 木下 孝介・佐々木 麻・岡 泰道
- II-156 都市流域の水収支に及ぼす雨水浸透マスの設置効果 / 東京理科大学 [学] 安岡 拓也・二瓶 泰雄・吉田 満
- II-157 都市河川と都市域の地表面の違いが周辺の気温に及ぼす影響について / 東京都市大学 [学] 山崎 亮輔・村上 和男
- II-158 松山平野におけるドライアイランド現象に関する研究 / 愛媛大学 [学] 渡部 桂子・森脇 亮・重谷 祐樹
- II-159 松山平野におけるヒートアイランドの特性とメカニズムの解明 / 愛媛大学 [学] 森本 一行・藤森 祥文・森脇 亮
- II-160 河川表面水の消失と河川周辺の温熱環境の関係 / 愛媛大学 [学] 小出 若奈・亀井 祐紀・森脇 亮
- II-161 都市河川のCSO負荷量の観測とそのモデル化について / 大成建設 [正] 中西 祐貴・富永 晃宏
- II-162 建物アスペクト比の変化に伴う都市キャノピー流れの変化に関する数値実験 / 愛媛大学 [学] 岩堂 哲也・森脇 亮

■都市の水害 / 14:25~15:55 / 手計 太一(富山県立大学)

- II-163 九州北部豪雨時の田島地区における内水および外水氾濫の数値解析的検討 / 福岡大学 [学] 嶋田 翔・渡辺 亮一・山崎 惟義
- II-164 下水道管渠における空気流動・空気圧変動解析モデル / 愛媛大学 [学] 松本 健太・重田 尚秀・友近 栄治
- II-165 短時間集中豪雨による大都市水害の特徴~2010年7月堀船水害事例より~ / 徳島大学 [正] 高西 春二・中野 晋・宇野 宏司
- II-166 都市域の内水氾濫解析モデルの検証と適用について / 中部大学 [学] 長尾 佳幸・武田 誠・松尾 直規
- II-167 市街地の地表面浸水氾濫解析モデル / 南海測量設計 [正] 友近 栄治・萩原 雅貴・重田 尚秀
- II-168 2010年7月の豪雨による厚狭川流域で発生した水害の特性について / 山口大学 [正] 永野 博之・羽田野 袈裟義・銭谷 淳

- II-169 壁体起伏方式堤防の提案と可動確認実験 / 太陽工業 [正] 石田 正利・梶尾 孝之・山本 浩二
- II-170 人体が受ける流体力に関する実物大模型実験 / 京都大学 [学] 藤木 峻・三輪 真揮・米山 望

II-3 (教育学部本館・2号館402) / 9月8日(木)

■PUB・水文統計 / 8:40~10:10 / 田中 賢治(京都大学)

- II-171 インダス川全流域を対象とした2次元降雨流出氾濫解析 / 土木研究所 [正] 佐山 敬洋・鍋坂 誠志・深見 和彦
- II-172 Discharge and Parameter Estimation Using 2D Dynamic Wave Model with Particle Filter / Kyoto university [学] 金延洙・TACHIKAWA Yasuto・SHIIBA Michiharu
- II-173 MRI-AM60kmの降水出力に対する統計的ダウンスケーリング / 京都大学 [学] 井上 雅隆・Kim Sunmin・萬 和明
- II-174 GCM20と地域頻度解析による茨城県における極端降水量の将来変化の評価 / 三菱総合研究所 [正] 井上 剛・中房 悟・吉川 桃世
- II-175 関東広域圏における年最大日降水量の非定常頻度分析ー前橋ー / [正] 草刈 智一・寒川 典昭・小尻 利治
- II-176 水文頻度解析モデルの適合度の統計的仮説検定に関する考察 / 京都大学 [学] 林 敬大・立川 康人・萬 和明
- II-177 Levy安定分布と修正SLSCによる日降水量データの解析 / 三重大学 [F] 葛葉 泰久・友杉 邦雄
- II-178 揖保川河川水温の流域変動特性に関する主成分分析 / 神戸大学 [学] 浦野 仁志・前羽 洋・中山 和也

■流出・洪水 / 10:25~11:55 / 河村 明(首都大学東京)

- II-179 WRFによる再現雨量を用いたパキスタン・カブール川洪水シミュレーション / 土木研究所ICHARM [正] 牛山 朋来・佐山 敬洋・深見 和彦
- II-180 XバンドMPレーダーによる洪水再現精度向上効果 / 日立製作所 [正] 山口 悟史・菅 恒・蛇島 伸吾
- II-181 流域の湿潤状態が流出に与える影響についての研究 / 室蘭工業大学 [学] 中澤 辰哉・中津川 誠
- II-182 ニューラルネットワークによる洪水予測の精度向上に関する研究 / 日本工営 [正] 一言 正之・小野寺 勝・桜庭 雅明
- II-183 都市型氾濫・洪水に関する分布型流出モデルによる流出解析 / JR東日本 [正] 外狩 麻子・森島 啓行・坂本 洋二
- II-184 2010年8月豪雨の特徴と忠別ダムの洪水調節効果の検証 / 室蘭工業大学 [学] 井上 峻志・中津川 誠・大橋 和平
- II-185 早明浦ダム流域における流出特性と日単位の長期流出解析 / 明星大学 [正] 藤村 和正・白羽 陽蔵・鼎 信次郎
- II-186 実時間洪水予測システムへのXバンドMPレーダーデータの導入 / 京都大学 [学] 南山 晃一・Kim Sunmin・萬 和明

II-3 (教育学部本館・2号館402) / 9月9日(金)

■地下水理・地下水文 / 8:40~10:10 / 中川 啓(鹿児島大学)

- II-187 ペーパーディスク型地下水流向流速計による地下水流速評価に関する基礎的研究 / 山口大学 [学] 野田 敏雄・山本 浩一・大谷 和也
- II-188 熊本市地下水位時間ごとデータと降水パターン反応特性 / 肥後地質調査 [正] 福田 光治・宇野 誠・西浦 謙二
- II-189 溪流の流量減少に関する工事影響評価における一提案 / エイト日本技術開発 [正] 佐藤 丈晴・高田 正治
- II-190 斜面内の移流分散過程における降雨パターンの影響について / 神戸大学 [学] 本田 貴之・西田 広大・齋藤 雅彦
- II-191 異方性不均一場における巨視的分散長の性質について / 神戸大学 [学] 西村 由紀子・星野 大介・齋藤 雅彦
- II-192 地下水位と地盤高の関係に着目した鉦路湿原の植生生育条件の分析について / 室蘭工業大学 [学] 工藤 俊・中津川 誠
- II-193 ライシメータによる北海道幌延調査流域の蒸発散量測定 / 日本原子力研究開発機構 [正] 山本 陽一・横田 秀晴

■地球環境問題 / 10:25~11:55 / 森脇 亮(愛媛大学)

- II-194 海洋域におけるマルチパイプ放出のCO₂初期希釈特性についてー放出流速及び放出内部フルード数とCO₂濃度の関係ー / 日本大学 [学] 小林 翔・小林 洗貴・中村 倫明
- II-195 GCMを用いた東京湾におけるDO濃度回復に関する将来予測 / 北見工業大学 [学] 丸谷 靖幸・アイヌル アブリズ・中山 恵介
- II-196 CO₂地下貯留時の地表変位測定によるモニタリング可能性の検討 / ハザマ [正] 山下 亮・斎藤 栄一
- II-197 東京湾におけるダイオキシン類の移行解析手法に関する基礎的検討 / [学] 郡 昌平・渡邊 道人・落合 実

- II-198 包蔵水力倍増と夏季省エネの技術提案／山口大学 [F] 羽田野 袈裟義・永野 博之・小金井 真
- II-199 水資源—食糧生産マネジメントのための作物成長モデルの適用可能性／京都大学 [学] 岡本一真・堀 智晴・野原 大督
- II-200 衛星観測情報を用いた地表面温度の年々変動の分析／京都大学 [正] 萬 和明・児玉 隆敏・Kim Sunmin
- II-201 粒子フィルタによるデータ同化手法を用いた蒸発特性の推定／京都大学 [学] 粟津 浩介・萬 和明・Kim Sunmin

■数値流体力学／15:00～16:30／赤堀 良介(土木研究所 寒地土木研究所)

- II-202 データ同化による氾濫計算の精度向上に関する研究／国土技術政策総合研究所 [正] 伊藤 弘之
- II-203 四分木構造格子による局所的な高解像度格子を導入した浅水流方程式の数値解析法／新潟大学 [学] 星野 剛・安田 浩保
- II-204 シンプレクティック時間積分を用いた粒子法による護岸前面碎波・越波の数値計算／神戸製鋼所 [正] 中川 知和・竹鼻 直人・片岡 保人
- II-205 半球粗度粗面上の水面変動に関するパターン分類／神戸大学 [学] 岡西 健史・藤田 一郎・古谷 勇樹
- II-206 燃料貯蔵槽 液体のスロッシング現象の再現／神戸大学 [学] 石井 翔太・中山 昭彦
- II-207 煙型雪崩の流動に対する雪の連行係数の効果／長岡工業高等専門学校 [正] 衛藤 俊彦・菊地 卓郎・大澤 範一
- II-208 実河川を想定した一次元開水路における非定常流解析／東京大学 [学] 山中 悠資・細山田 得三
- II-209 LESによる湾曲開水路乱流の再現／神戸大学 [学] 栗山 貴生・中山 昭彦

II-4 (教育学部本館・2号館401)／9月7日(水)

■津波の調査と解析／8:40～10:10／小竹 康夫(東洋建設)

- II-210 千葉県北部における東北地方太平洋沖地震津波被害調査—砂丘と防潮林に注目して—／埼玉大学 [学] 飯村 耕介・田中 規夫・八木澤 順治
- II-211 津波高さの大きな短周期波成分を有する津波の伝播特性／鹿児島大学 [正] 柿沼 太郎・山下 啓
- II-212 On the Mentawai Tsunami Disaster 2010 and Local Disaster Preparedness／土木研究所 [正] 鍋坂 誠志・DINAR ISTIYANTO・TANAKA SHIGENOBU
- II-213 2010年チリ沖地震津波の須崎港における現象について／国土交通省 [正] 三村 正樹・河合 弘泰・原 信彦
- II-214 和歌山県沿岸部における津波の碎波とその流体力／和歌山工業高等専門学校 [正] 小池 信昭
- II-215 津波による水位低下時の取水路内における流況解析／大成建設 [正] 伊藤 一教・片倉 徳男・大黒 雅之
- II-216 津波の市街地氾濫に関する基礎的実験と数値計算／防衛大学校 [学] 津高 亮太・嶋原 良典・藤間 功司
- II-217 津波避難の定量的安全性評価に関する基礎的研究／国土技術政策総合研究所 [正] 渡邊 祐二・熊谷 兼太郎・根本 貴史

■津波と構造物／10:25～11:55／小池 信昭(和歌山工業高等専門学校)

- II-218 津波による基本的な断面形状に作用する圧力に関する研究／立命館大学 [正] 中尾 尚史・糸永 航・松田 良平
- II-219 橋桁の断面形状の違いが津波作用力に及ぼす影響に関する実験的研究／立命館大学 [学] 糸永 航・中尾 尚史・伊津野 和行
- II-220 波エネルギーを利用して稼動する減災構造物の提案／東洋建設 [正] 小竹 康夫・金澤 剛・松村 章子
- II-221 二軸可倒式防波堤の開発／大成建設 [正] 織田 幸伸・伊藤 一教・本田 隆英
- II-222 津波発生時におけるフラップゲート式防波堤の挙動解析／京都大学 [学] 中島 健輔・米山 望・三輪 真揮
- II-223 陸上設置型フラップゲートの波浪応答特性／日立造船 [正] 木村 雄一郎・乾 真規・仲保 京一
- II-224 津波による防波堤下部の洗掘に関する研究／港湾空港技術研究所 [正] 鷺崎 誠・有川 太郎
- II-225 AIS情報を用いた津波来襲時の船舶の挙動解析／神戸大学 [正] 牧野 秀成・塩谷 茂明・寺田 大介

■波と構造物(1)／12:40～14:10／織田 幸伸(大成建設)

- II-226 消波ブロック被覆上部斜面堤の滑動特性に関する実験的研究／玉野総合コンサルタント [正] 森川 高德・内田 吉文・神藤 明彦
- II-227 水理模型実験結果によるケーソン式混成堤の波浪による変形特性に関する一考察／国土技術政策総合研究所 [正] 橋本 淳・長尾 毅

- II-228 フレア型護岸屈曲部の越波について／宮崎大学 [正] 村上 啓介・真木 大介・竹鼻 直人
- II-229 高波による海岸堤防吸出しに裏込め材の粒径の違いが及ぼす影響とその予測法の改良／東海大学 [学] 五百蔵 政文・山本 吉道
- II-230 支持杭を有するスリット式離岸堤の洗掘特性—作用波の違いが及ぼす影響—／東洋建設 [正] 山野 貴司・藤原 隆一・松島 翔子
- II-231 鉛直混合促進型浮体の効果と動揺特性に関する研究／愛媛大学 [正] 中村 孝幸・山根 広己・川村 善郎
- II-232 背面に壁を有する遊水室内の水面変動特性と入射波の関係／大阪産業大学 [学] 小野 大介・水谷 夏樹・宮島 昌弘
- II-233 遊水室型海水交換防波堤の海水交換量の推定法／安芸建設コンサルタント [正] 河野 徹・中村 孝幸

■波と構造物(2)／14:25～15:55／本多 和彦(国土交通省)

- II-234 仙台塩釜港における『2段タイ材地下施工法』のレベル2耐震性照査(1)(遠心模型振動実験)／日本港湾コンサルタント [正] 星野 正美・松田 修二
- II-235 仙台塩釜港における『2段タイ材地下施工法』のレベル2耐震性照査(2)(動的地震応答解析)／日本港湾コンサルタント [正] 松田 修二・星野 正美・大塚 正和
- II-236 仙台塩釜港における『2段タイ材地下施工法』の施工事例／大林組 [正] 中村 泰・池田 秀文・及川 恵悦
- II-237 地盤反力によるせん断変形の増加を考慮した重力式岸壁の簡易耐震照査法に関する研究／パシフィックコンサルタンツ [正] 宮下 健一郎・長尾 毅
- II-238 ニューマチックケーソン式横桟橋の耐震設計手法に関する一考察／アイテックコンサルタント [正] 茂木 浩二・清宮 理・長尾 毅
- II-239 性能設計体系に対応したプレジャーボート用浮桟橋の設計手法について／大林組 [正] 佐村 維要・高岩 千人・小林 靖治
- II-240 プレキャスト護岸の水理特性に及ぼす表面粗度の効果に関する一考察／名古屋大学 [学] 安藤 康平・水谷 法美・増田 高司
- II-241 液状化を生じる緩傾斜護岸のアンカー補強に関する数値解析／早稲田大学 [学] 橋本 真・清宮 理・佐藤 成

II-4 (教育学部本館・2号館401)／9月8日(木)

■波・流れ・高潮／8:40～10:10／田安 正茂(福井工業高等専門学校)

- II-242 日本の波エネルギー分布と沿岸域の波の特性に関する調査／東海大学 [学] 荷川取 将史・山梨 温・二村 麻那香
- II-243 数値波動水路とブシネスク方程式を活用した越波検討／パシフィックコンサルタンツ [正] 新美 達也・大久保 陽介・奥村 広幸
- II-244 傾斜護岸への相対水深を考慮した不規則波の打ち上げ高さに関する一検討／東北工業大学 [学] 小林 且幸・高橋 敏彦
- II-245 HF Radarの観測結果を用いた東京湾の表層流の特徴とその予測／東京都市大学 [学] 小澤 裕介・村上 和男
- II-246 短波海洋レーダを用いた潮目予測精度向上のための試み／国土交通省 [正] 本多 和彦・内田 吉文・吉村 藤謙
- II-247 局地気象モデルとの相関解析に基づく簡易で高精度な瀬戸内海の風場モデルの開発／広島港湾空港技術調査事務所 [正] 井上 省吾・西野 博史・関 克己
- II-248 地球温暖化時の四国沿岸域における想定台風について／国土交通省 [正] 齊藤 嘉造・河合 弘泰・山本 浩之
- II-249 現在気候において発生し得る伊勢湾台風時を超える高潮について／防災科学技術研究所 [正] 村上 智一・深尾 宏矩・吉野 純

■海浜変形と海岸環境／10:25～11:55／新美 達也(パシフィックコンサルタンツ)

- II-250 波と流れの相互干渉を考慮した3次元海浜変形モデルを用いた人工リーフ周辺の地形変化解析／鳥取大学 [正] 黒岩 正光・松原 雄平・間瀬 肇
- II-251 多段バー地形の平面分布特性と底質密度構造／熊本大学 [学] 末長 清也・多田 裕治・山田 文彦
- II-252 七里御浜井田地区海岸の汀線変化に関する一考察／名古屋大学 [学] ブー フーン・水谷 法美
- II-253 侵食性海岸に対する粗粒材養浜の検討に関する実験的研究／鳥取大学 [学] 八尾 規子・瀧谷 谷子・松原 雄平
- II-254 三里浜海岸における高須川の河口変動について／福井工業高等専門学校 [正] 田安 正茂・加藤 良平
- II-255 淡路島・成ヶ島における底質・植生の時空間変動／神戸市立工業高等専門学校 [正] 宇野 宏司・中西 宏彰・辻本 剛三

- II-256 海岸環境、海岸利用およびサーフスポットに関するアンケート調査／東北工業大学 [学] 小嶋 博明・高橋 敏彦
II-257 人工海浜の利用者特性から見た付加価値の検討／千葉工業大学 [学] 遠藤 広悠・矢内 栄二

II-4 (教育学部本館・2号館401) / 9月9日(金)

■干潟と水質環境 / 8:40~10:10 / 島田 克也(いであ)

- II-258 夏季における東京湾奥部の水質環境特性に関する研究／千葉工業大学 [学] 大塩 隆介・矢内 栄二
II-259 東京港野鳥公園の干潟における海水および付着藻類のクロロフィルaの測定／東京都市大学 [学] 佐々木 奈々・村上 和男・梅田 悠輔
II-260 谷津干潟と三番瀬のアオサの挙動／千葉工業大学 [学] 藤原 誠司・矢内 栄二
II-261 谷津干潟におけるアオサ繁茂に関する研究／千葉工業大学 [学] 深谷 雄司・本永 麻衣子・矢内 栄二
II-262 瀬野川河口干潟へ沈降・堆積する有機泥と海田湾奥部の有機泥の堆積特性／広島大学 [学] 今川 昌孝・日比野 忠史・山本 民次
II-263 堆積物が干潟域における栄養塩挙動に及ぼす影響に関する現地調査／東京都市大学 [学] 梅田 悠輔・村上 和男・佐々木 奈々
II-264 石炭灰造粒物を用いた人工干潟試験に基づく干潟基盤の特性／エネルギー・エコ・マテリア [正] 樋野 和俊・宮國 幸介・柳楽 俊之
II-265 都市干潟の風環境および気温形成に関する研究／千葉工業大学 [学] 大塚 育美・佐々木 史織・小田 僚子

■沿岸環境と海洋エネルギー / 10:25~11:55 / 畑田 佳男(愛媛大学)

- II-266 鉛直管を用いた土砂投入に伴う水塊流動の段差部での挙動について／東洋建設 [正] 金澤 剛・重松 孝昌
II-267 数値解析による循環型クリーン覆砂工法の覆砂装置形状検討／大成建設 [正] 横田 華奈子・織田 幸伸
II-268 製鋼スラグを用いた藻場造成によるCO₂固定化技術の開発

- II-269 について／いであ [正] 島田 克也・松尾 章子・松山 為時
蒲生ラグーン導流堤開口部に付着したカキ殻の除去がラグーン生態系に及ぼす効果／東北学院大学 [学] 佐藤 朋之・上原 忠保
II-270 水位データを用いた新しい漂流ゴミ輸送量推定法の検討／東京理科大学 [学] 尾ノ井 龍仁・二瓶 泰雄
II-271 酒田港における海洋再生可能エネルギー開発の可能性と課題について／国土交通省 [正] 小路 泰広
II-272 釣瓶式波力発電装置の力学の再検討／山口大学 [学] 品川 亮・羽田野 袈婆義・種浦 圭輔
II-273 DYNAMICS OF THE FLOAT-COUNTERWEIGHT WAVE ENERGY CONVERTER WITH THE APPLICATION OF TENSION PULLEY／山口大学 [正] コイララ パラバ・羽田野 袈婆義・濱田 朗久

■河川環境・構造物 / 15:00~16:30 / 鬼束 幸樹(九州工業大学)

- II-274 魚のすみやすい川づくりへの取り組み～鵠波新設魚道の機能評価事例～／復建技術コンサルタント [正] 佐藤 高広・千葉 太介・後藤 淳一
II-275 全断面魚道と部分魚道の音環境に関する現地調査と周辺環境配慮への一考察／共和コンクリート工業 [正] 本田 隆秀・茂木 健一・宮下 哲也
II-276 オオサンショウウオを対象とした遡上施設の計画／パシフィックコンサルタンツ [正] 天野 紀・中山 之穂・安道 明寿
II-277 台形堰下流側に形成される跳水部の流速特性／ [学] 佐藤 麻衣・安田 陽一
II-278 粗石付き斜路式魚道における流れと魚の挙動／東洋大学 [学] 瀬崎 薫貴・青木 宗之・福井 吉孝
II-279 呼び水を有する階段式魚道の流れと魚の遡上について／東洋大学 [学] 小坂 祐樹・青木 宗之・福井 吉孝
II-280 淀川本川下流域におけるイタセンバラ生息水域の水理環境／八千代エンジニアリング [正] 野地 貴弘・中西 史尚・綾 史郎
II-281 ジオシンセティックスを伝統工法に用いた護岸工法による効果検証／太陽工業 [正] 山本 浩二・石田 正利・榊尾 孝之

第Ⅲ部門

土質力学、基礎工学、岩盤工学、土木地質、地盤環境工学など

Ⅲ-1 (工学部講義棟41) / 9月7日(水)

■土質安定処理・地盤改良(1) / 8:40~10:10 / 足立 有史(間組)

- III-001 低混入率短繊維混合補強土の土壌硬度、表面の経年変化／西松建設 [正] 平野 孝行・藤井 二三夫・堀 常男
III-002 高含水比発生泥土に対する袋詰脱水処理効果における基礎試験／太平洋ソイル [正] 堀 常男・藤井 二三夫・平野 孝行
III-003 気泡混合軽量土の単位体積重量と破壊基準の関係／明星大学 [正] 矢島 寿一・竹内 基樹
III-004 流動化処理土を利用したHGS気泡混合土の適用試験／小野田ケミコ [正] 菱沼 一充・加藤 俊二・新舎 博
III-005 気泡混合土の凍結融解特性／五洋建設 [正] 大久保 泰宏・加藤 俊二・新舎 博
III-006 羽田D滑走路における長期耐久性を考慮した気泡混合処理土の設計／東亜建設工業 [正] 永留 健・御手洗 義夫・堺 谷 常廣
III-007 繊維補強固化処理土の曲げ応力分布モデル／香川高等専門学校 [学] 裏山 昌平・小竹 望
III-008 気泡混合流動化処理土の打継ぎ強度の特性／清水建設 [正] 上村 一義・藤田 豊・峯沢 孝永
III-009 Development of Ground Improving Geomaterial Using Recycled Glass Fibers／九州大学 [正] ヘマンタ ハザリカ・Donovan Mujah

■土質安定処理・地盤改良(2) / 10:25~11:55 / 平野 孝行(西松建設)

- III-010 マスキングシリカによるコンクリート保護効果の研究／強化土エンジニアリング [正] 小山 忠雄・島田 俊介・佐々木 隆光
III-011 均等な砂質地盤の逆循環削孔における安定液の性能について／JR東日本 [正] 平林 雅也・渡邊 明之・目時 政紀
III-012 解砕した石炭灰混合処理土の強度特性に寄与する仮置き日数の影響／福岡大学 [学] 久富 優二・佐藤 研一・藤川 拓朗
III-013 海水環境下におけるセメント混合処理した有明粘土の間隙径分布の変化／佐賀大学 [正] 原 弘行・末次 大輔・林 重徳
III-014 Characterizations of Secondary Deformation Behaviors of Cement-Treated Granulate Soil / Yokohama National University [学] ふあん ふいーどん・Kimitoshi Hayano・Yoshiyuki Morikawa

- III-015 10年間にわたって養生したソイルセメントの性状について／大成建設 [正] 藤原 靖・大脇 英司・赤塚 真依子
III-016 石膏とスラグパウダーを用いたまさ土の地盤改良／徳山工業高等専門学校 [正] 桑嶋 啓治・上 俊二・福田 靖
III-017 土の団粒構造が及ぼす蒸発時の土壌水分および温度への影響／中部大学 [学] 方 方・杉井 俊夫・山田 公夫
III-018 気泡を利用した地盤掘削用安定液の基本性状について／早稲田大学 [学] 野口 欣彦・赤木 寛一・下坂 賢二

■土質安定処理・地盤改良(3) / 12:40~14:10 / 林 健太郎(五洋建設)

- III-019 活性シリカコロイドによる微小間隙止水への利用の検討／強化土エンジニアリング [正] 寺島 麗・市川 智史・小山 忠雄
III-020 水ガラス系注入材の強度特性／鉄道総合技術研究所 [正] 牛田 貴士・仲山 貴司・岡野 法之
III-021 高強度恒久グラウトによる液状化対策—その1改良土の材料特性について—／清水建設 [正] 天利 実・社本 康広
III-022 高強度恒久グラウトによる液状化対策—その2部分改良工法の設計法—／清水建設 [正] 石川 明・天利 実・社本 康広
III-023 繊維混合改良土の強度特性に関する基礎的検討／ [正] 木村 誠・三反畑 勇
III-024 高圧噴射攪拌工法による繊維改良地盤の造成／ハザマ [正] 三反畑 勇・木村 誠
III-025 固化改良と鋼矢板を併用した複合型直接基礎の水平抵抗向上効果に関する数値解析／不動テトラ [正] 深田 久・磯部 公一・渡邊 健太

■土質安定処理・地盤改良(4) / 14:25~15:55 / 深田 久(不動テトラ)

- III-026 熊本宇土道路に用いたコラムリンク工法の試験施工動態観測挙動／清水建設 [正] 川崎 廣貴・樋口 尚弘・堤 祥一
III-027 2次元FEM解析によるコラムリンク工法の変位抑制効果の比較検討／大成建設 [正] 松井 秀岳・堀越 研一・堤 祥一
III-028 熊本・宇土道路でのコラムリンク工法試験施工のシミュレーション／竹中土木 [正] 津國 正一・樋口 尚弘・堤 祥一
III-029 コラムリンク工法の液状化による変位抑制効果確認のための遠心模型実験／土木研究所 [正] 堤 祥一・小橋 秀俊・石井 裕泰

- Ⅲ-030 変位低減型深層混合処理工法の攪拌混合効率に関する一考察／清水建設 [正] 遠西 幸男・上村 一義・高橋 強
- Ⅲ-031 浮き型式地盤改良の改良効果に関する検討／土木研究所寒地土木研究所 [正] 橋本 聖・西本 聡・林 宏親
- Ⅲ-032 固化改良体による地下構造物の耐震補強効果に関する検討／間組 [正] 浦野 和彦・足立 有史・西村 毅
- Ⅲ-033 物理探査による地盤改良体の把握手法の検討／応用地質 [正] 江波戸 昌徳・白鷺 卓・伊達 健介

Ⅲ-1 (工学部講義棟41) / 9月8日(木)

■土質安定処理・地盤改良(5) / 8:40~10:10 / 中澤 博志(港湾空港技術研究所)

- Ⅲ-034 浸透性懸濁グラウトのゲル化時間調整検討／三菱レイヨン [正] 瀬谷 昌明・澤田 健司・近藤 一平
- Ⅲ-035 初期せん断弾性係数による薬液の固化過程の評価／東京都大学 [学] 中川 健太郎・末政 直見・山下 直人
- Ⅲ-036 弾性波試験による薬液改良砂の劣化評価について／早稲田大学 [学] 平岡 陽・赤木 寛一・澤田 亮
- Ⅲ-037 超微粒子セメントの基礎物性について／太平洋マテリアル [正] 花田 達雄・中里 保清
- Ⅲ-038 超大型地震に対する超微粒子注入材による液状化対策／鹿島建設 [正] 齋藤 潤・田中 俊行・西垣 誠
- Ⅲ-039 超微粒子注入材の三次元注入特性／鹿島建設 [正] 三上 大道・小泉 悠・西垣 誠
- Ⅲ-040 超微粒子複合シリカの恒久性と浸透固結性の実証研究／[正] 角田 百合花・島田 俊介・小山 忠雄

■土質安定処理・地盤改良(6) / 10:25~11:55 / 山田 和弘(復建調査設計)

- Ⅲ-041 静的圧入締固め工法の隆起抑制効果のある施工方法の検討／三信建設工業 [正] 飯川 聡美・山崎 浩之・小西 武
- Ⅲ-042 静的圧入締固め工法における圧入方法の違いによる改良効果の検証／東興ジオテック [正] 岡見 強・山崎 浩之・新坂 孝志
- Ⅲ-043 曲線ボーリングを併用した静的圧入締固め工法の開発／三信建設工業 [正] 新坂 孝志・渡邊 将美・岡見 強
- Ⅲ-044 砂圧入式静的締固め工法による貫入抵抗値とK0増加に関する一考察／不動テトラ [正] 原田 健二・大林 淳・伊藤 竹史
- Ⅲ-045 空港用地内における地盤改良範囲確認を目的とした物理探査の試み／港湾空港技術研究所 [正] 中澤 博志・菅野 高弘・小濱 英司
- Ⅲ-046 国産バイオマスを使用した環境配慮型プラスチックボードレーン／錦城護謄 [正] 三成 昌也・川鍋 修
- Ⅲ-047 PBD工法の水平排水材としてPBD材を用いた設計方法に関するモデル実験／摂南大学 [学] 根木 沙織・山内 義文・野村 忠明
- Ⅲ-048 コンベンションングラウチングにおける割裂注入形状と地盤沈下補修効果について／千葉工業大学 [学] 涌井 優・小宮 一仁・大橋 祐

Ⅲ-1 (工学部講義棟41) / 9月9日(金)

■補強土(1) / 8:40~10:10 / 岡林 宏二郎(高知工業高等専門学校)

- Ⅲ-049 メッシュパネルを用いた帯鋼補強土壁の壁面挙動抑制について／ヒロセ [正] 尾方 武文・高尾 啓郎・人見 幸太郎
- Ⅲ-050 繊維系ジオグリッドの変形強度特性の経年変化／防衛大学校 [正] 平川 大貴・田村 幸彦・内村 太郎
- Ⅲ-051 2重フローティング矢板壁を用いた堤防補強に関する模型実験／住友金属工業 [正] 乙志 和孝・田中 宏征・永尾 直也
- Ⅲ-052 矢板を用いた堤防補強構造の対策境界部の挙動に関する模型実験／住友金属工業 [正] 永尾 直也・乙志 和孝・田中 宏征
- Ⅲ-053 多数アンカー補強土壁の引抜き破壊モードに対するLRFDキャリブレーション／防衛大学校 [正] 宮田 喜壽・Bathurst Richard・小浪 岳治
- Ⅲ-054 ジオグリッドの促進クリープ試験における時間換算則に関する検討／防衛大学校 [学] 松野 剛・宮田 喜壽・平川 大貴
- Ⅲ-055 鋼矢板による河川堤防の耐震補強法に関する基礎的研究／大阪産業大学 [学] 鈴木 大貴・飯田 毅・太田 充紀
- Ⅲ-056 粒度調整碎石に敷設された補強材の引抜き特性について／鉄道総合技術研究所 [正] 栗山 亮介・須賀 基晃・渡辺 健治

■補強土(2) / 10:25~11:55 / 平川 大貴(防衛大学校)

- Ⅲ-057 補強土壁の壁裏排水層の有効性から見る維持管理上の着目

- 点について／豊田工業高等専門学校 [正] 小林 睦・三浦 均也・松井 俊
- Ⅲ-058 GRS一体橋梁(実大試験橋梁)の長期動態計測／鉄道総合技術研究所 [正] 須賀 基晃・栗山 亮介・渡辺 健治
- Ⅲ-059 浸水および排水の作用を受ける地盤内に設置した各種補強材の引抜き特性／土木研究所 [正] 林 豪人・藤田 智弘・藪 雅行
- Ⅲ-060 粘性土袋詰め潜堤工の安定性に関する遠心模型実験／東洋建設 [正] 鶴ヶ崎 和博・澤田 豊・土田 孝
- Ⅲ-061 敷金網の土中引抜き試験とその評価に関する研究／九州大学 [学] 吉田 昌史・安福 規之・大嶺 聖
- Ⅲ-062 小型起振機を用いたアンカー式補強土壁の非破壊健全度診断実験／岡三リビック [正] 小浪 岳治・中村 洋丈・高木 宗男
- Ⅲ-063 8. 固化処理土からの補強材の引抜き抵抗に及ぼす繰返し載荷条件の影響／宇部興産 [正] 藤井 啓史・田坂 行雄・米田 修
- Ⅲ-064 切土勾配の異なる切土補強土擁壁の地震時挙動に関する研究／鉄道総合技術研究所 [正] 渡辺 健治・坂本 寛章・栗山 亮介
- Ⅲ-065 土中引抜き試験による補強土壁工法におけるクリンカアッシュの適用性の検討／山口大学 [学] 佐藤 登・鈴木 素之・藤井 正規

■締固め / 15:00~16:30 / 建山 和由(立命館大学)

- Ⅲ-066 結晶片岩の締固め特性を考慮した施工方法について／中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋 [正] 林 晋・大橋 健二・今井 巧
- Ⅲ-067 狭隙部に用いる小型締固め機械の特性について／土木研究所 [正] 橋本 毅・藤野 健一・小橋 秀俊
- Ⅲ-068 盛土工事における締固め機械の土の締固め特性について／土木研究所 [正] 岩谷 隆文・藤野 健一・小橋 秀俊
- Ⅲ-069 北海道における盛土の締固め管理／土木研究所寒地土木研究所 [正] 佐藤 厚子・西本 聡・鈴木 輝之
- Ⅲ-070 中型・大型三軸試験による砂礫盛土材の強度・微小変形特性／東京大学 [学] 山本 聖輝・田實 渉・古関 潤一
- Ⅲ-071 改良型FWD装置から得られたFWD係数による盛土の締固め及び維持管理の評価に関する研究／九州大学 [学] 岸本 和雄・安福 規之・大嶺 聖
- Ⅲ-072 Quality of embankment slope based on compaction energy : A case study / 九州大学 [学] Suman Suman・Yasufuku Noriyuki・Omine Kiyoshi
- Ⅲ-073 埋戻し地盤の含水状態が埋設管に作用する地盤拘束力の特性に及ぼす影響の評価／東京ガス [正] 鈴木 暢恵・坂上 貴士
- Ⅲ-074 にがり添加が版築材料の力学的性質に与える影響／東京大学 [学] 荒木 裕行・古関 潤一・佐藤 剛司

Ⅲ-2 (工学部講義棟42) / 9月7日(水)

■トンネル(1) / 8:40~10:10 / 小泉 直人(佐藤工業)

- Ⅲ-075 ショートステップ工法による立坑掘削時の支保応力に関する一考察／大成建設 [正] 小池 真史・井尻 裕二・稲垣 大介
- Ⅲ-076 薬液注入に伴う近接施工影響における数値解析手法に関する研究／中央復建コンサルタンツ [正] 橋 直毅・仲山 貴司・岡野 法之
- Ⅲ-077 鏡ボルトの効果的な配置に関する解析的検討／大林組 [正] 中岡 健一・畑 浩二
- Ⅲ-078 未固結・小土盛り地山でのトンネル掘削における適切な改良深さに関する解析的検討／名城大学 [正] 崔 瑛・岸田 潔・木村 亮
- Ⅲ-079 高付着型鋼管のトンネル補強工への適用に関する解析的評価／ケー・エフ・シー [正] 岡部 正・山本 拓治・横田 泰宏
- Ⅲ-080 GSIシステムを用いた立坑掘削に伴う周辺岩盤挙動解析／大阪工業大学 [学] 林 正寿・吉岡 尚也・青木 一男
- Ⅲ-081 圧力放水路トンネルの覆工設計に用いた岩盤評価手法／北海道電力 [正] 佐藤 渡・小澤 正志

■トンネル(2) / 10:25~11:55 / 山本 拓治(鹿島建設)

- Ⅲ-082 併設トンネルの三次元掘削解析／大成建設 [正] 西谷 友幸・小原 伸高・石田 修
- Ⅲ-083 弾塑性地山の体積ひずみの挙動がトンネル掘削時の地山特性曲線に及ぼす影響について／清水建設 [正] 熊坂 博夫
- Ⅲ-084 ひび割れ幅に基づく変状トンネルの作用外力推定に関する数値解析手法／日本工営 [正] 中野 雅章・師 自海
- Ⅲ-085 押出し性地山におけるトンネル切羽の安定性評価／大阪工業大学 [学] 林 久資・青木 一男・吉岡 尚也

- Ⅲ-086 インバート施工による変状対策工の形状効果／首都大学東京〔学〕松永 拓・土門 剛・西村 和夫
Ⅲ-087 トンネルのFEM解析における領域設定と構成則の影響／首都大学東京〔学〕浅野 達也・土門 剛・西村 和夫
Ⅲ-088 剛塑性有限要素法による粘性土の落し戸土圧発生機構について／東電設計〔正〕金子 俊輔・日下部 治

■トンネル(3)／12:40～14:10／福井 勝則(東京大学)

- Ⅲ-089 山岳トンネル調査における屈折法弾性波探査の高度化／鉄道建設・運輸施設整備支援機構〔正〕赤澤 正彦・相澤 隆生・トンネル物理探査研究委員会
Ⅲ-090 トンネル切羽前方三次元弾性波反射法探査と物性評価／大成建設〔正〕今井 博・工藤 直矢・城 まゆみ
Ⅲ-091 切羽前方探査の精度比較実験／大成建設〔正〕山上 順民・今井 博・青木 智幸
Ⅲ-092 トンネル切羽前方広域三次元弾性波トモグラフィに関する基礎検討／鹿島建設〔正〕横田 泰宏・山本 拓治・小泉 悠
Ⅲ-093 トンネル切羽前方弾性波反射法探査における速度解析について／大成建設〔正〕三谷 一貴・友野 雄士・青木 智幸
Ⅲ-094 切羽前方地山予測を目的とした坑内変位計測結果の分析／大成建設〔正〕工藤 直矢・坂井 一雄・青木 智幸
Ⅲ-095 無線センサを用いたトンネル変状監視のためのデータ中継技術に関する検討／ジェイアール総研情報システム〔正〕蒲地 秀矢・舟橋 TAKAHITO・津野 究
Ⅲ-096 膨張性地山を貫く鉄道トンネルの長期変位計測と対策工法の検討について／JR東日本〔正〕鈴木 和也・上村 俊朗・滝沢 道夫

■トンネル(4)／14:25～15:55／真下 英人(土木研究所)

- Ⅲ-097 液状化結核の粉じん低減効果について／間組〔正〕河邊 信之・湯本 健寛・坂田 和幸
Ⅲ-098 アルミ蒸着気泡シートを用いたトンネル覆工コンクリート養生方法とその効果確認／竹中土木〔正〕藤田 豊彦・市川 晃央・泉澤 洋一
Ⅲ-099 既設導坑内からの事前補強ボルトを補助工法とした本坑拡張掘削／大林組〔正〕渡邊 裕介・大川 了・木梨 秀雄
Ⅲ-100 頁岩地山に対するPC鋼棒ロックボルトのトンネル変形抑制効果について—さがみ縦貫城山八王子トンネル(その1-2)工事—／鹿島建設〔正〕北村 義宜・上南 隆・小野塚 大輔
Ⅲ-101 水抜きボーリングの実績データを活用したSWING法によるトンネルの湧水量予測／鹿島建設〔正〕小泉 悠・川端 淳一・安田 亨
Ⅲ-102 供用中トンネルのインバート施工による変状対策に関する研究／〔正〕宮下 直幸・土門 剛・西村 和夫
Ⅲ-103 グラウト注入孔掘削バレルおよび孔内循環型二重管式バツカーの開発／大成建設〔正〕井尻 裕二・進藤 彰久・三浦 均

Ⅲ-2 (工学部講義棟42)／9月8日(木)

■トンネル(5)／8:40～10:10／熊坂 博夫(清水建設)

- Ⅲ-104 変位未収束対策における繊維補強コンクリート覆工の設計曲げ引張強度に関する検討／鉄道総合技術研究所〔正〕舟橋 孝仁・井浦 智実・岡野 法之
Ⅲ-105 変位未収束対策における繊維補強コンクリート覆工の設計手法に関する検討／鉄道建設・運輸施設整備支援機構〔正〕井浦 智実・丸山 修・岡野 法之
Ⅲ-106 補強したトンネル支保工の全体耐力に関する要素実験／土木研究所〔正〕日下 敦・砂金 伸治・真下 英人
Ⅲ-107 山岳トンネルの断面形状に関する実験的考察／土木研究所つくば中央研究所〔正〕森本 智・日下 敦・角湯 克典
Ⅲ-108 ハンドドリルを応用した掘削体積比エネルギーに基づく坑内岩盤強度測定器の開発／西松建設〔正〕平野 享・山下 雅之・石山 宏二
Ⅲ-109 油圧さく岩機の掘削体積比エネルギーを用いた坑道周辺岩盤の特性評価に関する研究／西松建設〔正〕山下 雅之・福井 勝則・大久保 誠介
Ⅲ-110 走行型計測車両のトンネル点検・調査への適用性／パシフィックコンサルタンツ〔正〕重田 佳幸・田近 宏則・安田 亨
Ⅲ-111 トンネル掘削による地すべり斜面の三次元変位計測挙動に関する考察／〔学〕山口 文司・清水 則一・平野 宏幸

■シールドトンネル／10:25～11:55／小宮 一仁(千葉工業大学)

- Ⅲ-112 都市部の非開削工法に関する試み／長岡工業高等専門学校〔学〕中澤 智博・大澤 拓洋・岩波 基
Ⅲ-113 三次元の幾何学的条件による中折れシールドの制御手法／

- 長岡技術科学大学〔学〕中村 良平・中島 千博・杉本 光隆
Ⅲ-114 シールド急曲線部の推進方向の周辺土中土圧に関する遠心模型実験／清水建設〔正〕内山 伸・吉田 順・杉山 博一
Ⅲ-115 シールドトンネル掘進時の施工時荷重を模擬した覆工模型載荷実験 その2／鉄道総合技術研究所〔正〕木股 浩孝・焼田 真司・津野 究
Ⅲ-116 静止土圧係数のばらつきによるセグメントの危険確率への影響について／長岡工業高等専門学校〔学〕齊藤 良一・矢澤 修一・岩波 基
Ⅲ-117 多リング解析を用いたシールドトンネルの開口影響に関する一考察／パシフィックコンサルタンツ〔正〕木谷 努・増野 正男・細井 秀憲
Ⅲ-118 推進管の継手曲げ実大実験による推進力伝達材が推進管に与える影響の検討／長岡技術科学大学〔学〕瀧瀬 真輝・桜井 俊裕・杉本 光隆

Ⅲ-2 (工学部講義棟42)／9月9日(金)

■地下空洞と地下構造物(1)／8:40～10:10／畑 浩二(大林組)

- Ⅲ-119 アーチカルバートにおける構造形式の違いが地盤変状時の挙動に及ぼす影響／土木研究所〔正〕谷口 哲憲・ハツ元 仁・星隈 順一
Ⅲ-120 大規模地下空洞掘削における情報化施工／北海道電力〔正〕毛馬内 学・西村 哲治・武田 宣孝
Ⅲ-121 地下発電所空洞ベンチ部掘削時の岩盤挙動とその事後解析／大成建設〔正〕市田 雄行・名合 牧人・瀧 治雄
Ⅲ-122 廃止トンネル充填時の充填孔間隔設定方法の提案／前田建設工業〔正〕安井 利彰・伏屋 学・水野 竜也
Ⅲ-123 廃止トンネルの充填モニタリング方法の提案／前田建設工業〔正〕清水 英樹・赤松 佑介・小熊 登
Ⅲ-124 大谷石採石地下空間の砕石時および地震時の安定性の検討／宇都宮大学〔学〕高葉 悠・樋口 大樹・清水 隆文
Ⅲ-125 大規模地下空間が有する冷熱源の有効利用について～大谷石採取場跡地を例にして～／復建調査設計〔正〕来山 尚義・近久 博志・の場 征史
Ⅲ-126 地下水熱を利用した半地下式全天候野外作業場の可能性／中央大学〔F〕太田 秀樹・西田 行宏・森岡 周

■地下空洞と地下構造物(2)／10:25～11:55／清水 英樹(前田建設工業)

- Ⅲ-127 地盤せん断変形遠心実験と連続体モデルによる埋設管の地震時挙動の検討(土圧・曲げモーメントの測定結果と弾性解の比較)／大阪市立大学〔学〕丸吉 克典・東田 淳・吉村 洋
Ⅲ-128 地盤せん断変形遠心実験と連続体モデルによる埋設管の地震時挙動の検討(管剛性・土被り高・せん断変形繰返し回数の影響)／大阪市立大学〔正〕東田 淳・丸吉 克典・吉村 洋
Ⅲ-129 軟弱地盤におけるパイプルーフの裏込め注入に伴う地盤変位について／尼崎築港〔正〕岡部 安治・高橋 博樹・宇井 仁将
Ⅲ-130 開削トンネルの周辺埋戻し土を考慮した動的解析に関する検討／長岡工業高等専門学校〔学〕西 信衛・北村 恭・岩波 基
Ⅲ-131 立坑ショートステップ工法における1覆工長の検討／大成建設〔正〕萩原 健司・小池 真史・関谷 美智
Ⅲ-132 函体推進・けん引工法における施工データ分析／植村技研工業〔正〕船越 宏治・山下 康彦・岡野 法之
Ⅲ-133 函体推進工法における函体推進時の現地計測／鉄道総合技術研究所〔正〕岡野 法之・山下 康彦・角 雄一郎
Ⅲ-134 函体推進工法における現地計測と有限要素法によるシミュレーション／千葉工業大学〔学〕宇井 仁将・高橋 博樹・小宮 一仁

■岩の工学的性質／15:00～16:30／清水 隆文(宇都宮大学)

- Ⅲ-135 グラウチングによる岩盤の力学的改良効果に関する実験的研究／ハザマ〔正〕宇津木 慎司・猪狩 哲夫・菊地 宏吉
Ⅲ-136 岩石の乾湿繰返しによる強度低下と物性値の関係／土木研究所寒地土木研究所〔正〕日下部 祐基・伊東 佳彦・阿南 修司
Ⅲ-137 凝灰岩を用いた加温条件下での三軸せん断—保持—せん断試験／〔学〕荒木 壮則・岸田 潔・細田 尚
Ⅲ-138 軟岩の弾性波・比抵抗同時測定装置の作成とその特性評価／ニュージェック〔正〕中村 真・楠見 晴重・山本 龍
Ⅲ-139 岩盤基質部の変形特性に関する実験的検討／清水建設〔正〕若林 成樹・多田 浩幸・西 琢郎
Ⅲ-140 亀裂面の幾何学情報の取得と応力浸透連成問題に関する研究／埼玉大学〔正〕山辺 正・長田 昌彦・鈴木 篤史
Ⅲ-141 人工岩盤材料の破壊進展挙動の数値解析／電力中央研究所〔正〕澤田 昌孝・石丸 真

- Ⅲ-142 Pitzer式を考慮した力学—化学連成数値モデルによる花崗岩不連続面の溶解機構の検討／愛媛大学〔学〕川下 慧・橋本 克樹・安原 英明

Ⅲ-3 (工学部講義棟43) / 9月7日(水)

■地盤の応力と変形(1) / 8:40~10:10 / 前田 健一(名古屋工業大学)

- Ⅲ-143 関西国際空港における地盤挙動予測のための地質モデル構築／地域地盤環境研究所〔正〕北田 奈緒子・井上 直人・竹村 恵二
Ⅲ-144 海上埋立による傾斜基盤上の更新統互層地盤の応力・変形挙動について／京都大学〔正〕三村 衛・田 炳坤
Ⅲ-145 傾斜基盤上の更新統互層地盤挙動に対する隣接埋立の影響について／京都大学〔学〕田 炳坤・三村 衛
Ⅲ-146 不飽和三軸圧縮試験における供試体内不均一性／神戸大学〔学〕後藤 浩司・河井 克之・門田 美咲
Ⅲ-147 ディープウェル工による周辺地盤への影響に関する検討／浅沼組〔正〕高稲 敏浩・山下 勝司・野田 利弘
Ⅲ-148 裏込めの受働抵抗に関する設計的な考察(その1) / 五洋建設〔正〕新舎 博・菊池 喜昭・河村 健輔
Ⅲ-149 裏込めの受働抵抗に関する設計的な考察(その2) / 五洋建設〔正〕河村 健輔・菊池 喜昭・新舎 博
Ⅲ-150 馬込における泥炭層を有する地盤の1次元地震応答解析／〔学〕小澤 直輝・安田 進

■地盤の応力と変形(2) / 10:25~11:55 / 河村 健輔(五洋建設)

- Ⅲ-151 CSG盛土における材令を考慮した非線形応力変形解析／奥村組〔正〕森田 修二・谷口 知哉・若林 常次
Ⅲ-152 締固めた軟岩の乾湿繰返しによる一面せん断特性の変化／舞鶴工業高等専門学校〔学〕山本 雄基・加登 文学・森尾 敏
Ⅲ-153 Subloading tij モデルを用いた泥岩の弾塑性解析における拘束圧依存性の検討／清水建設〔正〕奥野 哲夫・中谷 篤史・中井 照夫
Ⅲ-154 Modified Cam Clay 型の降伏関数を用いた弾粘塑性構成式／京都大学〔正〕木元 小百合・岡 二三生・Karunawardena Asiri
Ⅲ-155 杭圧入中の地盤の変形に関する基礎的模型実験／技研製作所〔正〕尾川 七瀬・山根 崇史・石原 行博
Ⅲ-156 異なる材料の締固め後のせん断挙動と骨格構造の働きに基づく解釈／名古屋大学〔正〕酒井 崇之・中野 正樹・津本 翔太
Ⅲ-157 鉛直管による土砂投入時の流動と堆積に関する遠心模型実験およびSPH法解析／名古屋工業大学〔正〕前田 健一・今瀬 達也・鶴ヶ崎 和博
Ⅲ-158 海底傾斜地盤における地層変形に関する室内模型実験／清水建設〔F〕荻迫 栄治・西尾 伸也・傳田 篤

■数値解析 / 12:40~14:10 / 渦岡 良介(徳島大学)

- Ⅲ-159 一軸引張試験を用いた粒状体解析のパラメータ決定と亀裂進展破壊の数値シミュレーション／山口大学〔学〕児玉 涼・清水 則一・中島 伸一郎
Ⅲ-160 個別要素法による固結粒状材料の一軸圧縮試験シミュレーション／労働安全衛生総合研究所〔正〕吉川 直孝・堀 智仁・伊藤 和也
Ⅲ-161 個別要素法における接触モデルの改良／東電設計〔正〕中瀬 仁・沼田 淳紀
Ⅲ-162 個別要素法を用いた城郭石垣の安定性解析における栗石と地盤部の入力パラメータの設定に関する一考察／ハザマ〔正〕野間 康隆・西村 毅・山本 浩之
Ⅲ-163 個別要素法を用いた城郭石垣の安定性解析による振動台実験の変形挙動の検討／ハザマ〔正〕西村 毅・野間 康隆・笠 博義
Ⅲ-164 MPS法による地盤構造物の弾塑性変形解析に関する基礎的研究／長岡技術科学大学〔学〕八木 啓介・磯部 公一・大塚 悟
Ⅲ-165 ばらつきと自己相関特性を考慮した盛土の地震時境界状態超過確率／東京大学〔正〕田實 渉・古関 潤一・篠田 昌弘
Ⅲ-166 化学—熱—力学連成解析法を用いたメタンハイドレート海洋産出シミュレーション／京都大学〔学〕北野 貴士・岡 二三生・木元 小百合
Ⅲ-167 FEM-based modeling in soil-bioengineering / Ehime University 〔学〕チワリ ラムチャンラ・Bhandary Netra P.・Yatabe Ryuichi

■土の動的性質 / 14:25~15:55 / 原田 健二(不動テトラ)

- Ⅲ-168 粘着力を有する砂の液状化強度に関する実験的研究／五洋建設〔正〕海野 寿康・仙頭 紀明

- Ⅲ-169 粘土混じり砂のせん断弾性係数の評価／山口大学〔学〕金子 崇・兵動 正幸・石田 純也
Ⅲ-170 盛土の排水条件に注目した火山灰質砂質土の非排水繰返し強度／日本大学〔正〕仙頭 紀明・柴田 剛
Ⅲ-171 砂の液状化特性に与える気泡水の効果に関する研究／鳥取大学〔正〕中村 公一・清水 正喜・橋本 司
Ⅲ-172 低塑性粘土の液状化時の挙動について／日本工営〔正〕尾形 一・横田 尚之・伊藤 圭一
Ⅲ-173 高知高専型一面せん断試験機の開発／高知高専〔学〕常石 晶・岡林 宏二郎・望月 秋利

Ⅲ-3 (工学部講義棟43) / 9月8日(木)

■地盤の動的挙動(1) / 8:40~10:10 / 永尾 浩一(佐藤工業)

- Ⅲ-174 液状化対策された堤防の耐震性再評価に関する動的遠心模型実験(その2 対策効果の比較) / 土木研究所〔正〕中島 進・谷本 俊輔・中田 芳貴
Ⅲ-175 礫質土地盤における杭基礎構造物の遠心力場模型振動実験およびそのシミュレーション／関西電力〔正〕小澤 和弘・大江 一也・吉田 次男
Ⅲ-176 1993年釧路沖地震により被災した河川堤防についての再現解析／東京電機大学〔F〕安田 進・原田 健二・金丸 功希
Ⅲ-177 剛塑性構成式を用いた土構造物の動的有限変形解析の試み／長岡技術科学大学〔学〕保科 隆・大塚 悟・磯部 公一
Ⅲ-178 液状化地盤上の既設盛土耐震補強法に関する遠心模型実験結果の3次元残留変形解析(その2) / 大成建設〔正〕立石 章・青木 智幸・藤原 斉郁
Ⅲ-179 初期含水比及び入力動の異なる不飽和盛土の動的遠心模型実験／京都大学〔学〕衣川 哲平・肥後 陽介・岡 二三生
Ⅲ-180 液状化地盤上の盛土耐震補強効果に関する遠心模型実験—盛土寸法および改良体配置による違い— / 大成建設〔正〕三角 真貴子・藤原 斉郁・立石 章
Ⅲ-181 液状化対策された堤防の耐震性再評価に関する動的遠心模型実験(その1 再評価における課題および実験条件) / 土木研究所〔正〕谷本 俊輔・中島 進・中田 芳貴

■地盤の動的挙動(2) / 10:25~11:55 / 立石 章(大成建設)

- Ⅲ-182 宅地地盤液状化対策のためのマイクロバブル水注入による不飽和化した実地盤の持続性確認実験／佐藤工業〔正〕永尾 浩一・明石 達生・末政 直晃
Ⅲ-183 地震動の長継続時間・長周期化が地盤の液状化に及ぼす影響／鉄道総合技術研究所〔正〕井澤 淳・田上 和也・室野 剛隆
Ⅲ-184 埋戻土の液状化による下水道管の浮上がり対策に関する模型振動実験／東京電機大学〔学〕橋本 尚・田中 智宏・大塚 貴之
Ⅲ-185 パイルスラブ式盛土の模型振動台実験—改良間隔による比較— / 鉄道総合技術研究所〔正〕坂本 寛章・渡辺 健治・米澤 豊司
Ⅲ-186 軽量土とジオグリッドを併用した道路変状防止の地震後残留変位に基づく対策効果／大林組〔正〕伊藤 浩二・正田 喜彦・古屋 弘
Ⅲ-187 セメント系改良による改良形式が液状化抑制効果に与える液状化層厚の影響／ケミカルグラウト〔正〕荒木 一弘・川村 淳・石井 武司
Ⅲ-188 初期せん断応力を受ける谷埋め盛土の地震時挙動について／山口大学〔学〕野田 翔兵・兵動 正幸・古川 智

Ⅲ-3 (工学部講義棟43) / 9月9日(金)

■透水・浸透(1) / 8:40~10:10 / 安原 英明(愛媛大学)

- Ⅲ-189 透水トレンチを用いた河川堤防の揚圧力対策に関する模型実験／土木研究所〔正〕増山 博之・齋藤 由紀子・森 啓年
Ⅲ-190 鋼矢板を用いた強化堤体の浸透に対する安定性評価／長岡技術科学大学〔学〕家坂 佑希・大塚 悟・磯部 公一
Ⅲ-191 鉛直排水材を用いた新たな堤防強化対策工法に関する一考察／パシフィックコンサルタンツ〔正〕新村 卓也・若狭 聡・増山 博之
Ⅲ-192 室内試験で得られる強度定数の違いが河川堤防の安定性評価に及ぼす影響／名城大学〔学〕森 涼香・小高 猛司・牧田 祐輝
Ⅲ-193 Performance of Non-Woven Geotextile againsts Water Infiltration by Numerical Simulation / kyushu university 〔学〕Harya Dananjaya・Yasufuku Noriyuki・Oomine Kiyoshi
Ⅲ-194 拡張有限要素法を用いた浸透流解析システムの実用性検証／清水建設〔正〕山田 俊子・櫻井 英行

- III-195 ゲリラ豪雨時の雨滴粒径を考慮したサンドコラム雨水浸透試験／京都大学〔学〕金 秀娟・小山 倫史・長野 航平
III-196 孔崩れする地盤を想定した筒状織物の排水性能評価試験／鹿島建設〔正〕山本 拓治・岩野 圭太・伊達 健介

■透水・浸透(2)／10:25～11:55／小松 満(岡山大学)

- III-197 自然堆積粘土における透水係数の異方性に関する研究(その2)／呉工業高等専門学校〔学〕佐藤 友彦・森脇 武夫・品本 淳也
III-198 濁水流制御板を設けたろ過型沈砂池の解析／琉球大学〔学〕江戸 孝昭・原 久夫・松原 仁
III-199 火山灰質地盤の原位置透水係数の細粒分含有率依存性／四国ボーリング工業〔正〕木村 充宏・中田 隆文・宮浦 征宏
III-200 火山灰質地盤の凍結融解履歴を考慮した雪堆積場の透水性評価／宮浦興業〔正〕宮浦 征宏・中田 隆文・木村 充宏
III-201 高速気流中衝撃法により表面改質をした超微粒子セメントの室内目詰まり試験／土木研究所〔正〕佐藤 弘行・山口 嘉一
III-202 岩盤における弾性波速度と透水係数の相関／エイト日本技術開発〔正〕木村 隆行・高田 正治・渡辺 俊一
III-203 割目系岩盤を対象とした原位置水理試験の解析的シミュレーション／鹿島建設〔正〕岩野 圭太・戸井田 克・川端 淳一
III-204 マルチトレーサー試験による亀裂内移流・分散とマトリクス拡散パラメータの同定／大成建設〔正〕熊本 創・下茂 道人・山本 肇

■透水・浸透(3)／15:00～16:30／原 忠(高知大学)

- III-205 不飽和土の降雨浸透時における間隙空気挙動の考察／岐阜大学〔学〕白根 岳・神谷 浩二・堀 裕貴
III-206 大気圧変動による水分移動促進効果に関する基礎的研究／岡山大学〔正〕小松 満・佐藤 友哉・榊 利博
III-207 河川堤防模型実験の不飽和浸透・変形連成解析／日建設計シビル〔正〕加藤 亮輔・岡 二三生・木元 小百合
III-208 簡易な不飽和浸透特性の計測法を用いた多種の土中水分計の較正方法の提案／東洋大学〔正〕石田 哲朗・本間 雄介・上田 典孝
III-209 浸潤試験による水分分布推定による不飽和透水特性の評価／中部大学〔学〕山田 雄太・杉井 俊夫・佐々 郁也
III-210 塩クラスト厚と塩クラスト内塩量の関係／福井大学〔学〕草間 政寛・寺崎 寛章・福原 輝幸
III-211 豪雨による砂質堤防内間隙空気の挙動と透気遮水シートの敷設効果／名古屋工業大学〔学〕柴田 賢・今瀬 達也・前田 健一
III-212 等価透水係数を用いた地下水流動保全工法設計の現場適用／清水建設〔正〕高坂 信章・江頭 正州・平林 岳樹
III-213 流末に負荷をかけない浸透側溝の現場浸透率試験による一考察／寒地土木研究所〔正〕アダチ タカユキ・西本 聡・佐藤 厚子

III-4 (工学部講義棟35)／9月7日(水)

■杭(1)／8:40～10:10／恒川 和久(シーテック)

- III-214 タクタイルセンサーおよび地盤断面観察による群杭支持機構の検討／東京大学〔学〕青山 翔吾・後藤 茂・東畑 都生
III-215 敷葉工法を併用した杭付き胴木基礎の沈下抑制効果／〔学〕宮崎 哲生・片田 敏行・小橋 江里
III-216 土一水連成弾塑性有限要素解析によるパイルドラフト基礎の長期挙動の検証／京都大学〔学〕福田 佳典・寺本 俊太郎・木村 亮
III-217 先端プレロード場所打ち杭の支持力向上効果確認模型載荷試験／東日本旅客鉄道〔F〕渡辺 康夫・太田 正彦・三上和久
III-218 アンダーピングを模擬した大型模型による鉛直載荷試験／鉄道総合技術研究所〔正〕手嶋 正和・澤田 亮
III-219 先端部に閉塞断面を設けた鋼矢板の支持力特性評価／新日本製鐵〔正〕中山 裕章・妙中 真治・永津 亮祐
III-220 回転履歴が杭の鉛直支持力に及ぼす影響に関する載荷試験／土木研究所〔正〕桐越 拓也・木村 嘉富・中谷 昌一
III-221 複合地盤中の杭の周面摩擦力評価に関する実験的検討／フジタ〔正〕平野 勝識・渡辺 忠朋・富澤 幸一

■杭(2)／10:25～11:55／富澤 幸一(土木研究所)

- III-222 軟弱粘性土地盤中の杭基礎水平挙動に関する研究／中部電力〔正〕河村 精一・加藤 誠司・恒川 和久
III-223 軟弱粘性土地盤中の杭基礎水平挙動に関する研究その2 模型実験／シーテック〔正〕恒川 和久・河村 精一・加藤 誠司

- III-224 地盤改良併用杭基礎構造を対象とした3次元有限要素解析／鉄道総合技術研究所〔正〕佐名川 太亮・西岡 英俊・神田 政幸
III-225 PC鋼棒により圧着接合した杭頭の正負交番載荷実験／大和小田急建設〔正〕小林 孝行・篠崎 哲也・鈴木 基行
III-226 ボールにねじり荷重が作用する際の砂地盤の土圧分布特性／松江工業高等専門学校〔正〕柴田 俊文・高田 龍一・三代 江里子
III-227 岩盤を主体とした斜面上深礎杭の原位置水平載荷試験／西日本高速道路〔正〕安里 俊則・安部 哲生・下條 和寿
III-228 岩盤斜面上深礎杭の合理的設計に関する基礎的研究／鹿島建設〔正〕松木 聡・田島 新一・安里 俊則
III-229 軟弱粘性土地盤中の杭基礎水平挙動に関する研究(その3:杭周辺地盤の画像解析)／大林組〔正〕渡邊 康司・河村 精一・加藤 誠司

■杭(3)／12:40～14:10／浦野 和彦(間組)

- III-230 杭基礎構造物を対象とした薬液注入による液状化対策の解析的検討／中央復建コンサルタンツ〔正〕北原 満・畔取 良典・室谷 耕輔
III-231 地震動の振動数が地盤一杭系の相互作用に及ぼす影響に関する研究／京都大学〔学〕井上 洋平・井合 進・飛田 哲男
III-232 杭頭半剛接合構法を用いたPC LNG貯槽の地震時挙動／大成建設〔正〕藤田 智明・高木 宏彰・菊地 延斗
III-233 地盤改良工による杭頭拘束効果に期待した液状化対策工／阪神高速道路〔正〕篠原 聖二・茂呂 拓実・金治 英貞
III-234 斜面上における落石防護壁用杭基礎の遠心動的載荷実験／東京都市大学〔学〕比企野 将司・吉川 直孝・伊藤 和也
III-235 液状化地盤におけるパイルドラフト基礎を有する石油タンクの地震時沈下性状／西松建設〔正〕今村 眞一郎・平野 孝行・八木 高志
III-236 泥炭性軟弱地盤における斜杭基礎の耐震性能に関する実験的検討／土木研究所 寒地土木研究所〔正〕富澤 幸一・西本 聡・三浦 清一

■杭(4)／14:25～15:55／末政 直晃(東京都市大学)

- III-237 先端プレロード場所打ち杭における杭先端部での注入圧力の計測結果と考察／〔正〕池本 宏文・永岡 高
III-238 鋼管杭圧入中の杭周辺地盤の間隙水圧挙動に関する考察／技研製作所〔正〕西川 舞・岡田 浩一・石原 行博
III-239 模型多層地盤への杭貫入時の地盤内変形の計測／東京大学〔正〕長井 宏平・鈴木 直樹・白石 琢真
III-240 既設構造物基礎に近接した場所打ち杭施工時の影響解析手法の検討／東日本旅客鉄道〔正〕太田 正彦・渡邊 康夫・石井 武司
III-241 掘削同時孔壁防護機能を有する大口径場所打ち杭の防護機構／東日本旅客鉄道〔正〕大塚 隆人・高崎 秀明・和田 旭弘
III-242 場所打ち杭における表層地盤の安定に対する解析と考察について／東日本旅客鉄道〔正〕鈴木 健一・高崎 秀明・大塚 隆人
III-243 スパイラル杭貫入時の土・杭間相互作用の解明に関する研究／熊本大学〔学〕林 悟史・大谷 順・平田 篤夫
III-244 アンダーピング工法における杭基礎の合理的な受替評価方法の一提案(その1)／中央復建コンサルタンツ〔正〕室谷 耕輔・坂田 智基・畔取 良典
III-245 アンダーピング工法における杭基礎の合理的な受替評価方法の一提案(その2)／中央復建コンサルタンツ〔正〕坂田 智基・室谷 耕輔・畔取 良典

III-4 (工学部講義棟35)／9月8日(木)

■土留め／8:40～10:10／古関 潤一(東京大学)

- III-246 鋼矢板による小口径円形立坑(その1:シールド発進立坑の築造と施工結果)／奥村組〔正〕木下 茂樹・中野 愛之・高瀬 正司
III-247 鋼矢板による小口径円形立坑(その2:立坑変位・支保工応力の計測と検証結果)／東京電力〔正〕前原 健治・高瀬 正司・庄司 和矢
III-248 もたれ壁の動的解析による振動特性の検討／鉄道総合技術研究所〔正〕真井 哲生・大村 寛和・田中 祐二
III-249 大深度円形立坑連壁の計測断面力からの側圧推定に関する試み(その2)／長岡工業高等専門学校〔学〕阿部 広明・板場 建太・岩波 基
III-250 大深度円形立坑連壁の計測断面力からの側圧推定に関する試み(その1)／長岡工業高等専門学校〔学〕板場 建太・阿部 広明・岩波 基
III-251 開削底部地盤の安定性への逆打ち支柱の根入れ効果について

- て／大林組〔正〕杉江 茂彦・高橋 真一・鈴木 和明
 Ⅲ-252 弾粘塑性有限要素法による土留め開削工事における大阪粘土地盤の変形解析／ジェイアール西日本コンサルタンツ〔正〕高田 直明・下野 一行・岡 二三生
 Ⅲ-253 鋼製橋脚を有すケーソン基礎のパラペット部の合理化による径の縮小検討／阪神高速道路〔正〕山本 剛士・高田 佳彦・鈴木 威

■地盤防災／10:25～11:55／西村 伸一(岡山大学)

- Ⅲ-254 堤防の維持管理のための強度分布の推定と安定性評価／岡山大学〔正〕西村 伸一・藤澤 和謙・鈴木 誠
 Ⅲ-255 羽田D滑走路建設工事における地盤リスクの考え方／港湾空港技術研究所〔正〕渡部 要一・野口 孝俊
 Ⅲ-256 地震と洪水確率を考慮した利根川堤防の安定性評価／芝浦工業大学〔学〕香山 智史・岸田 千華・岡本 敏郎
 Ⅲ-257 築堤工事における締固め度のばらつきと自己相関特性の分析／東京大学〔正〕古関 潤一・田實 渉・並河 努
 Ⅲ-258 地盤の不確実性を考慮した杭基礎構造物の年損傷確率／愛媛大学〔学〕江川 典子・小林 範之・吉武 美孝
 Ⅲ-259 MPS法を用いた破壊挙動の不確実性に関する基本的考察／東京都市大学〔学〕大庭 啓輔・吉田 郁政
 Ⅲ-260 くい打機の安定自走に必要な現場地盤の養生条件／労働安全衛生総合研究所〔正〕玉手 聡・堀 智仁・前田 周吾
 Ⅲ-261 江東区・墨田区における液状化危険度詳細マップ／芝浦工業大学〔正〕岡本 敏郎・平田 洗一朗・佐藤 謙紫朗

Ⅲ-4 (工学部講義棟35)／9月9日(金)

■地盤環境廃棄物／8:40～10:10／荒牧 憲隆(崇城大学)

- Ⅲ-262 廃棄物系バイオマスを混合し改良した火山灰質粘性土の圧密非排水せん断特性／九州産業大学〔正〕松尾 雄治・林 泰弘
 Ⅲ-263 堆積廃棄物の原位置せん断強度に関する一考察／九州大学〔学〕宮本 慎太郎・大嶺 聖・安福 規之
 Ⅲ-264 浄水汚泥の排水せん断特性に及ぼす初期乾燥密度の影響／茨城大学〔学〕本橋 悠・渡邊 保貴・小峯 秀雄
 Ⅲ-265 徐冷フェロニッケルスラグの地盤材料についての基礎的特性／八戸工業大学〔学〕佐藤 崇・金子 賢治・熊谷 浩二
 Ⅲ-266 再生半水石膏を用いた軟弱地盤改良材の力学・溶出特性／福岡大学〔学〕吉田 英史・佐藤 研一・藤川 拓朗
 Ⅲ-267 竹廃材を混合した地盤材料の力学特性／日本大学〔学〕山中 光一・峯岸 邦夫・天野 光一
 Ⅲ-268 破碎カキ殻とおか粉を配合した脱水ケーキの改質／木更津工業高等専門学校〔学〕佐々木 優美・塚塚 信弘・金井 太一
 Ⅲ-269 室内CBR試験および試験施工に基づく砂質土と混合した浄水汚泥の路床材としての評価／茨城大学〔学〕磯 秀幸・渡邊 保貴・小峯 秀雄
 Ⅲ-270 プラントで製造した焼却灰固化体の材料評価／九州産業大学〔正〕林 泰弘・松尾 雄治・中道 和徳

■リサイクル／10:25～11:55／藤川 拓朗(福岡大学)

- Ⅲ-271 異なるサンプリング方法によるカルシア改質土の強度特性／東亜建設工業〔正〕西田 浩太・永留 健・田口 博文
 Ⅲ-272 廃石膏ボードを用いた流動化処理土の一軸・三軸圧縮特性／明星大学〔学〕武藤 優・矢島 寿一・亀井 健史
 Ⅲ-273 高含水比底泥の改良に寄与する竹フレークの吸水効果／福岡大学〔学〕西田 麻美・佐藤 研一・藤川 拓朗
 Ⅲ-274 人工干潟の修復を目的とした粘土の圧入工法の隆起効果について／五洋建設〔正〕菊原 紀子・熊谷 隆宏・山田 耕一
 Ⅲ-275 限定充填工法における急勾配端部充填材の開発／飛鳥建設〔正〕坂本 昭夫・杉浦 乾郎・石合 伸幸
 Ⅲ-276 タイヤチップおよびタイヤチップ混合砂の繰返し変形特性に関する検討／九州大学〔学〕新谷 文男・ハザリカ ヘマント・安福 則之
 Ⅲ-277 浄水汚泥に含まれる有機物の組成と好気環境における分解特性／茨城大学〔学〕渡邊 保貴・小峯 秀雄・村上 哲
 Ⅲ-278 モデル廃棄物の密度の違いが沈降・堆積特性に及ぼす影響／福岡大学〔学〕杉山 詠一・佐藤 研一・藤川 拓朗
 Ⅲ-279 海面最終処分場を想定したモデル廃棄物の室内投入実験における沈降現象／日本環境衛生センター〔正〕永岡 修一・佐藤 研一・藤川 拓朗

■土壌・地下水汚染／15:00～16:30／林 泰弘(九州産業大学)

- Ⅲ-280 吸着層工法の合理的設計・施工方法検討のための室内試験／鹿島建設〔正〕田中 真弓・川端 淳一・河合 達司
 Ⅲ-281 酸化マグネシウム系材料のふっ素・ほう素吸着能力に関する基礎的検討／鴻池組〔正〕大山 将・松久 裕之

- Ⅲ-282 細粒分を多く含む油汚染土の洗浄に関する基礎的研究／関西大学〔正〕江川 承和・西形 達明
 Ⅲ-283 透水性の低下における微生物機能の活用に関する研究／長野工業高等専門学校〔学〕横山 珠美・浅野 憲哉・畠 俊郎
 Ⅲ-284 実シアン汚染土壌・地下水を対象とした過硫酸法による浄化特性評価／鹿島建設〔正〕川端 淳一・河合 達司・桐山 久
 Ⅲ-285 数値形態演算による地盤内多相流動シミュレーション手法の提案／熊本大学〔学〕三上 和昭・椋木 俊文
 Ⅲ-286 竹炭を混合した安定処理土からの六価クロム溶出特性／崇城大学〔正〕荒牧 憲隆・天本 徳浩

Ⅲ-5 (工学部講義棟34)／9月7日(水)

■斜面(1)／8:40～10:10／森 伸一郎(愛媛大学)

- Ⅲ-287 すべり発生層の特性に応じた岩盤斜面模型の地震時変形性状に関する検討／原子力安全基盤機構〔正〕中村 英孝・佐名川 太亮・篠田 昌弘
 Ⅲ-288 入力波の相違が岩盤斜面模型の変形性状へ及ぼす影響／鉄道総合技術研究所〔正〕篠田 昌弘・渡辺 健治・佐名川 太亮
 Ⅲ-289 Material Point Methodを用いた岩盤斜面模型の地震時大変形解析／鉄道総合技術研究所〔正〕阿部 慶太・篠田 昌弘・村田 雅明
 Ⅲ-290 2010年の地震による札幌市内での火山灰質土の盛土崩壊事例／北海道大学〔正〕横浜 勝司・三浦 清一・田近 淳
 Ⅲ-291 丸太杭を利用した斜面崩壊対策の検討／飛鳥建設〔正〕三輪 滋・本山 寛・沼田 淳紀
 Ⅲ-292 地震による斜面の不安定化に関する実験的考察／東京都市大学〔学〕三國 智温・末政 直晃・玉手 聡
 Ⅲ-293 北九州市における土砂災害防止法の定量的検討／九州大学〔学〕古賀 泰輔・善 功企・陳 光斉
 Ⅲ-294 まさ土斜面崩壊における土の飽和・不飽和強度研究／呉工業高等専門学校〔正〕小堀 慈久・岡本 有希加・重松 尚久

■斜面(2)／10:25～11:55／辻子 裕二(福井工業高等専門学校)

- Ⅲ-295 地形解析による落石発生源の特定手法の検討／中部大学〔学〕浅野 憲雄・杉井 俊夫・山田 公夫
 Ⅲ-296 源頭部斜面崩壊を対象とした潜在危険箇所広域評価アルゴリズムの提案／東京理科大学〔学〕久松 弘典・小島 尚人・福原 与
 Ⅲ-297 谷密度を用いた渓流危険度評価／西日本高速道路〔正〕内田 純二・長谷川 修一・野々村 敦子
 Ⅲ-298 水分特性曲線からの保水性指標の提案とその広域化／中部大学〔学〕松原 祥平・杉井 俊夫・浅野 憲雄
 Ⅲ-299 広島市における大規模盛土造成地の変動予測調査―第二次スクリーニング計画の作成―／パシフィックコンサルタンツ〔正〕片浦 正雄・門田 浩一・佐々木 克彦
 Ⅲ-300 SH型貫入試験による崩壊深の設定／荒谷建設コンサルタント〔正〕吉村 和司・酒井 一宏
 Ⅲ-301 樹木根による法面の補強効果について／JR東日本〔正〕梶谷 宜弘・森島 啓行・飯塚 敬一

■斜面(3)／12:40～14:10／内田 純二(西日本高速道路)

- Ⅲ-302 数値シミュレーションによる土砂災害対策工の有効性に関する検証／九州大学〔正〕陳 光斉
 Ⅲ-303 DEM(数値標高モデル)を用いた渓流抽出手法の取組み／西日本高速道路〔正〕小島 秀範・長谷川 修一・野々村 敦子
 Ⅲ-304 斜面の安定性に関する水平面(小段)の影響／労働安全衛生総合研究所〔正〕伊藤 和也・豊澤 康男・高橋 章浩
 Ⅲ-305 自己組織化マップ(SOM)を用いた道路のり面の維持・管理手法に関する提案／京都大学〔学〕大加戸 彩香・小山 倫史・丸木 義文
 Ⅲ-306 リアルタイムハザードマップ作成における斜面崩壊危険域に関する研究／九州大学〔学〕平岡 大輝・善 功企・陳 光斉
 Ⅲ-307 遠隔非接触振動計測による岩塊の安定性評価に関する模型実験／応用地質〔正〕斎藤 秀樹・上半 文昭・馬 貴臣
 Ⅲ-308 自己組織化マップを用いた複合物理探査の定量的評価手法に関する研究／ニュージェック〔正〕山本 龍・補見 晴重・中村 真
 Ⅲ-309 年間数mm程度の緩慢な斜面変動に対する安定性評価における課題／電力中央研究所〔正〕小早川 博亮・久野 春彦
 Ⅲ-310 現地調査に基づく高速道路に影響を及ぼす渓流評価手法／西日本高速道路エンジニアリング中国〔正〕村上 豊和・下野 宗彦・櫻谷 慶治

■斜面(4)／14:25～15:55／齋藤 秀樹(応用地質)

- Ⅲ-311 高分解能SAR画像を用いた火山災害調査の可能性／国際航業〔正〕佐々木 寿・阪上 雅之・本田 謙一

- Ⅲ-312 霧島山(新燃岳)噴火後に発生した土砂移動現象について／土木研究所 [正] 山越 隆雄・木佐 洋志・石塚 忠範
- Ⅲ-313 新燃岳噴火災害への地盤工学からの取組み(その1)／鹿児島大学 [学] 川畑 健祐・北村 良介・酒匂 一成
- Ⅲ-314 新燃岳噴火災害への地盤工学からの取組み(その2)／鹿児島大学 [正] 北村 良介・川畑 健祐・酒匂 一成
- Ⅲ-315 超音波土中水分・水位計測における周波数特性の検討／立命館大学 [学] 平岡 伸隆・三品 健・田中 克彦
- Ⅲ-316 表層崩壊対策における部分補強効果に関する実験的検討(その1)／土木研究所 [正] 加藤 俊二・佐々木 哲也・榎本 忠夫
- Ⅲ-317 降雨が小康状態となった後に発生する土砂災害の危険度予測について(第2報)／大阪工業大学 [学] 杉本 和規・日置和昭・中村 聡司
- Ⅲ-318 遠隔振動計測による岩盤安定性評価手法の開発／岐阜大学 [正] 馬 貴臣・斎藤 秀樹・上半 文昭

Ⅲ-5 (工学部講義棟34) / 9月8日(木)

■斜面(5) / 8:40~10:10 / 北 勝利(東海大学)

- Ⅲ-319 落石の到達距離予測に関する一考察／鉄道総合技術研究所 [正] 石川 智史・布川 修・杉山 友康
- Ⅲ-320 鉄道沿線斜面を対象とした落石災害リスク評価とその利用方法／鉄道総合技術研究所 [正] 布川 修・高馬 太一・杉山 友康
- Ⅲ-321 落石災害リスク評価とその利用方法のケーススタディ／鉄道総合技術研究所 [正] 高馬 太一・布川 修・杉山 友康
- Ⅲ-322 表層剥離現象による落石が懸念される斜面の変状対策について／東海旅客鉄道 [正] 木田 友広・馬場 真吾・新海 英昌
- Ⅲ-323 鉄道沿線における落石ハザードマップの試作／西日本旅客鉄道 [正] 深田 隆弘・森 泰樹・棚野 博
- Ⅲ-324 盛土に施工された排水パイプの浸透流解析モデル／鉄道総合技術研究所 [正] 太田 直之・渡邊 諭・高馬 太一
- Ⅲ-325 傾斜基盤上に構築された鉄道盛土の豪雨時の地下水位応答と安全率の経時変化／国士舘大学 [学] 松浦 雄一・岡田勝也・杉山 友康
- Ⅲ-326 河川攻撃地形における地すべりに関する一考察／東海旅客鉄道 [正] 宮島 巧・鳥川 徹・松山 幸太郎

■斜面(6) / 10:25~11:55 / 太田 直之(鉄道総合技術研究所)

- Ⅲ-327 サクションアンカーの把持力特性に関する基礎的実験／東海大学 [正] 北 勝利・関田 欣治
- Ⅲ-328 アダプティブアンカーによる構造物施工時の直接基礎の不同沈下の抑制／名古屋工業大学 [学] 平瀬 秀幸・中井 照夫・菊本 統
- Ⅲ-329 クサビ定着タイプの既設グラウンドアンカーへの荷重計の設置方法について／高速道路総合技術研究所 [正] 藤原 優・横田 聖哉・酒井 俊典
- Ⅲ-330 グラウンドアンカー健全度を考慮したのり面安定性の検討／西日本高速道路 [正] 田久 勉・田山 聡・堅山 哲二
- Ⅲ-331 第二東名長大切土のり面のグラウンドアンカーによるトップリング対策／清水建設 [正] 吉田 幸一・大川 了・川崎 廣貴
- Ⅲ-332 第二東名長大切土のり面の泥岩破砕地山における地すべり対策／清水建設 [正] 岡本 茂・秋山 大輔・川崎 廣貴

Ⅲ-5 (工学部講義棟34) / 9月9日(金)

■洗掘・侵食 / 8:40~10:10 / 上田 恭平(港湾空港技術研究所)

- Ⅲ-333 津波による捨石マウンドー海底地盤への押し波・引き波浸透が及ぼす混成堤の不安定化／名古屋工業大学 [学] 今瀬 達也・前田 健一・三宅 達夫
- Ⅲ-334 地盤情報データベースを活用した河川流域土質材料の侵食特性広域評価法の提案／茨城大学 [学] 藤田 圭介・小峯 秀雄・村上 哲
- Ⅲ-335 ONE-DIMENSIONAL UPWARD SEEPAGE TESTS ON GAP-GRADED COHESIONLESS SOIL／東京工業大学 [学] 柯 琳・高橋 章浩・関 榮
- Ⅲ-336 地盤材料・密度の違いが地下水位上昇による土砂流出・空洞形成に与える影響／東京大学 [学] 佐藤 真理・桑野 玲子
- Ⅲ-337 粒度分布を反映した赤土等の土砂流出量の算出に関する研究／九州大学 [学] 村山 啓太・荒木 功平・安福 規之
- Ⅲ-338 東日本大震災時の津波による道路盛土の被災状況と盛土の疑似津波実験について／九州工業大学 [正] 廣岡 明彦・永瀬 英生・幸左 賢二

■圧密・圧縮 / 10:25~11:55 / 梅崎 健夫(信州大学)

- Ⅲ-339 浸漬粘土の圧密特性の表し方が自重圧密過程に与える影響／大阪市立大学 [正] 大島 昭彦・岡田 広久
- Ⅲ-340 地下水位低下工法を併用したPBD打設の浸漬粘土地盤の沈下予測／神戸市(元大阪市立大学) [正] 岡田 広久・大島 昭彦・山本 卓生
- Ⅲ-341 圧密試験結果に及ぼす供試体寸法と粗粒分の影響／防衛大学校 [正] 正垣 孝晴・野崎 隆志
- Ⅲ-342 沈降堆積した粘土の圧密特性に及ぼす試料調整時の含水比の影響に対する一考察／日建設計シビル [正] 片桐 雅明
- Ⅲ-343 再圧密粘土の小型供試体を用いた急速圧密試験の適用性に関する実験的研究／琉球大学 [学] 酒井 康司・原 久夫
- Ⅲ-344 模型実験による中間土地盤の真空圧密の効果について／竹中工務店 [正] 金田 一広・渡部 要一・渡辺 有
- Ⅲ-345 疑似過圧密領域の一次圧密量と二次圧密挙動／東海大学 [正] 杉山 太宏・鎌田 克郎・赤石 勝

■フィルダム / 15:00~16:30 / 沼田 淳紀(飛鳥建設)

- Ⅲ-346 ロックフィルダムにおける上下流すべり面の違いによる震力係数への影響検討／土木研究所 [正] 大川 孝士・山口 嘉一・坂本 博紀
- Ⅲ-347 修正震度法を用いたロックフィルダムの設計法に関する基礎的研究／土木研究所 [正] 坂本 博紀・大川 孝士・山口 嘉一
- Ⅲ-348 ロックフィルダムへの累積損傷解析の適用性の検討／土木研究所 [正] 下山 顕治・山口 嘉一・佐藤 弘行
- Ⅲ-349 大規模地震による建設中ロックフィルダムの変形挙動の再現解析／土木研究所 [正] 山口 嘉一・佐藤 弘行・下山 顕治
- Ⅲ-350 遠心力模型実験による湛水したアースダムの地震時挙動の検討／電力中央研究所 [正] 河井 正
- Ⅲ-351 砕・転圧盛土工法によるフィルダム堤体改修におけるゾーニングパターン／フジタ [F] 福島 伸二・北島 明・谷 茂
- Ⅲ-352 GPS変位計測システムによるフィルダム堤体変形計測事例とその結果の評価／山口大学 [学] 殿村 奏・中島 伸一郎・川崎 秀明
- Ⅲ-353 ロックフィルダムの動態観測及び室内試験によるコア材の透水係数／水資源機構 [正] 佐藤 信光・曾田 英揮・波多野 圭亮
- Ⅲ-354 トランジション材と粗粒材の粒度分布の組合せによる浸透量低減効果の実験的考察／水資源機構 [正] 波多野 圭亮・佐藤 信光・曾田 英揮

Ⅲ-6 (工学部講義棟33) / 9月7日(水)

■試験法・調査法(1) / 8:40~10:10 / 上野 勝利(徳島大学)

- Ⅲ-355 小型動的貫入試験(ミニラム)による谷田大池の既設堤体調査／フジタ [正] 北島 明・福島 伸二
- Ⅲ-356 水圧式サンプラーを用いたサウンディング試験の貫入抵抗と他試験との比較／大阪市立大学 [学] 鈴木 達也・大島 昭彦・和田 昌大
- Ⅲ-357 高速サウンディング試験機を用いた軟弱粘性土評価事例／東洋建設 [正] 和田 真郷・平井 義人・坂上 敏彦
- Ⅲ-358 電気式コーン貫入試験における温度影響に関する検討／ソイルアンドロックエンジニアリング [正] 吉村 貢・寺尾 庸孝・日野 剛徳
- Ⅲ-359 間隙水圧測定を伴う動的貫入試験法—その14 新しい地下水位設定法—応用地質 [正] 澤田 俊一
- Ⅲ-360 落球探査による支持地盤の地耐力評価／鹿島建設 [正] 吉田 輝・木戸 素子・豊島 正治
- Ⅲ-361 チューブサンプリング貫入による試料攪乱のメカニズム／防衛大学校 [学] 今村 友昭・正垣 孝晴
- Ⅲ-362 GIS-based most influencing parametric classes identification in one of the most landslide prone geology in mid Nepal Himalaya / Ehime University [学] アチャリヤ キラン バラサド
- Ⅲ-363 物理探査による宅地盛土地盤の評価／応用地質 [正] 南部 光広・沖村 孝・柳沢 英雄

■試験法・調査法(2) / 10:25~11:55 / 澤田 俊一(応用地質)

- Ⅲ-364 傾斜データを活用した掘削土留め工の3次元的な変形挙動の評価／鉄道総合技術研究所 [正] 松丸 貴樹・田中 祐二・王寺 秀介
- Ⅲ-365 層別層厚換算法による一次元圧密沈下計算に用いる図表／土木研究所 [F] 阪上 最一・小橋 秀俊・堤 祥一
- Ⅲ-366 簡易・軽量装置によるケーシングボーリング法：寒冷地対応の改良／関西電力 [正] 近藤 悦吉・中村 真・八木澤 正宏
- Ⅲ-367 土中におけるガスの移動特性の推定法について／早稲田大学 [学] 中谷 大樹・赤木 寛一

- Ⅲ-368 2次元表面波探査の全自動化技術の開発／岐阜大学 [正] 村田 芳信・八嶋 厚・沢田 和秀
- Ⅲ-369 有明海北岸低地における沖積層と洪積層の境界区分(その1)／基礎地盤コンサルタンツ [正] 小海 尚文・伊賀屋 豊・日野 剛徳
- Ⅲ-370 有明海北岸低地における沖積層と洪積層の境界区分(その2)／基礎地盤コンサルタンツ [正] 白井 康夫・伊賀屋 豊・日野 剛徳
- Ⅲ-371 P波速度と地盤物性にかかわる模擬砂地盤での基礎実験／地域地盤環境研究所 [正] 明石 健・小山 幸則・山内 淑人
- Ⅲ-372 P波速度を用いた地盤改良効果の評価／地域地盤環境研究所 [正] 山内 淑人・澤田 亮・粥川 幸司

■試験法・調査法(3)／12:40～14:10／ハザリカ ヘマンタ(九州大学)

- Ⅲ-373 土質技能試験結果の評価指標としての α -スコアに関する考察／大阪工業大学 [学] 前田 達也・日置 和昭
- Ⅲ-374 Pre-peak and post-peak creep test using torsional ring shear machine／Ehime University [学] バット ディーバク ラジュ・Bhandary Netra P.・Yatabe Ryuichi
- Ⅲ-375 土質試験結果の不確かさに及ぼす試料の不均質性の影響／関西地盤環境研究センター [正] 澤 孝平・中山 義久・萩家 正次
- Ⅲ-376 混合土の非塑性化メカニズムに関する検討／港湾空港技術研究所 [正] 田中 政典・渡部 要一・中島 美代子
- Ⅲ-377 鋭敏性粘性土の簡易サクシオン測定に関する研究／東京都大学 [学] 池亀 温子・出口 紗帆里・末政 直晃
- Ⅲ-378 アロフェンおよび非晶質成分の含有量測定方法の検討／興亜開発 [正] 中島 美代子・田中 政典・富田 龍三
- Ⅲ-379 引張応力下における岩盤のせん断挙動に関する研究一亀裂性岩盤を対象とした原位置せん断試験装置の開発と試験結果一／東北電力 [正] 伊藤 悟郎・大村 英昭・小林 正典
- Ⅲ-380 引張応力下における岩盤のせん断挙動に関する研究一亀裂性岩盤を対象とした原位置引張試験一／東北電力 [正] 大村 英昭・伊藤 悟郎・小林 正典

■現場計測／14:25～15:55／来山 尚義(復建調査設計)

- Ⅲ-381 比抵抗トモグラフィを併用した恒久薬液注入の出来形確認／奥村組 [正] 清水 智明・小川 渉・高島 哲朗
- Ⅲ-382 PBD打設機の油圧抵抗を用いた地盤強度推定法の検討(その1)～強度推定式の誘導／前田建設工業 [正] 平田 昌史・白神 新一郎・福田 淳
- Ⅲ-383 PBD打設機の油圧抵抗を用いた地盤強度推定法の検討(その2)～強度推定式の適用性／錦城護謨 [正] 白神 新一郎・平田 昌史・川鍋 修
- Ⅲ-384 PBD打設機の油圧抵抗を用いた多次元地質分布の推定事例／前田建設工業 [正] 久保 大輔・平田 昌史・山田 耕一
- Ⅲ-385 史跡「石城山神籠石」保存のための石畳のエッジ処理と計測管理／山口大学 [F] 近久 博志・来山 尚義・太田 隆一
- Ⅲ-386 モンゴル北東部における薬用植物「甘草」自生地の中水分特性について／九州大学 [学] 新開 敦・安福 規之・小林 泰三
- Ⅲ-387 無線式距離計測システムの現地実証実験結果／坂田電機 [正] 永江 祐・樋口 佳意・後藤 知英
- Ⅲ-388 開削トンネル工事における自立土留壁の変位計測／阪神高速道路 [正] 小林 寛・黒須 早智子・林 訓裕

Ⅲ-6 (工学部講義棟33)／9月8日(木)

■不飽和土／8:40～10:10／加藤 正司(神戸大学)

- Ⅲ-389 保水性の異なる不飽和砂質土の静的せん断挙動解析／茨城大学(現パシフィックコンサルタンツ) [学] 西丸 あずさ・村上 哲・小峯 秀雄
- Ⅲ-390 不飽和砂質土の非排気一非排水条件下における繰返し三軸試験／京都大学 [学] 狩野 修志・岡 二三生・木元 小百合
- Ⅲ-391 Study on Hydro-Mechanical Behavior of Unsaturated Soils／九州大学 [学] Handoko Luky・Rifa'i Ahmad・Yasufuku Noriyuki
- Ⅲ-392 不飽和砂質土の非排気一非排水三軸試験のシミュレーション／西日本旅客鉄道 [正] 松本 真明・岡 二三生・木元 小百合
- Ⅲ-393 Experimental study on void ratio characteristics of sand-fines mixture／九州大学 [学] Jidong Teng・Araki Kohei・Yasufuku Noriyuki
- Ⅲ-394 マイクロで作成した不飽和粘土供試体のエレメント性／徳島大学 [学] 岡野 裕平・鈴木 壽・上野 勝利
- Ⅲ-395 破碎した貝殻の水分特性曲線に及ぼす拘束圧の影響／飛鳥建設 [正] 小林 薫・西村 友良・森井 俊広

- Ⅲ-396 臨界レイノルズ数を考慮した不飽和透水係数の算出に関する一考察／九州大学 [正] 荒木 功平・安福 規之・大嶺 聖
- Ⅲ-397 圧密再構成粘性土の含水比低下に伴う体積収縮および飽和度低下特性(その1)／信州大学 [正] 梅崎 健夫・河村 隆

■凍結・凍土／10:25～11:55／佐藤 厚子(土木研究所 寒地土木研究所)

- Ⅲ-398 凍結工法に適用する凍上・解凍沈下予測手法の検討一遠心模型凍上実験一／鹿島建設 [正] 小原 隆志・吉田 輝・川野 健一
- Ⅲ-399 凍結工法に適用する凍上・解凍沈下予測手法の検討一熱・力学・浸透流連成弾塑性FEM解析一／鹿島建設 [正] 大野 進太郎・森川 誠司・吉田 輝
- Ⅲ-400 二次元熱伝導解析によるセメント改良地盤の低温域の予測／土木研究所 寒地土木研究所 [正] 梶取 真一・西本 聡・林 宏親
- Ⅲ-401 構造物と凍土との凍着強度に対する凍着条件の影響評価／北海道大学 [学] 笹 祐也・蟹江 俊仁
- Ⅲ-402 二次元連成凍上解析による地中構造物の挙動評価／北海道大学 [学] 牧村 美智代・蟹江 俊二・横井 崇志
- Ⅲ-403 凍結試験から得られる細粒土の透水係数を表わす指標について／摂南大学 [学] 佛圓 典史・堀家 直也・伊藤 譲
- Ⅲ-404 凍結融解作用が粒状路盤材のCBRに与える影響について／北海道工業大学 [学] 村山 巧・川端 伸一郎・小野 丘

Ⅲ-6 (工学部講義棟33)／9月9日(金)

■粘土の変形強度／8:40～10:10／渡部 要一(港湾空港技術研究所)

- Ⅲ-405 中川低地・東京低地に分布する沖積粘土層の間隙水組成／埼玉大学 [学] 梁瀬 勇太・濱本 昌一郎・川本 健
- Ⅲ-406 中川低地・東京低地に分布する沖積粘土層の鋭敏性及びせん断強度特性に堆積環境が及ぼす影響／埼玉大学 [学] 坪井 浩昭・梁瀬 勇太・濱本 昌一郎
- Ⅲ-407 ベンセン断試験における回転速度と鋭敏比に関する一考察／東亜建設工業 [正] 平林 弘・松岡 達也・五十嵐 ひろ子
- Ⅲ-408 室内ベンセン断強さと回転速度の関係／東亜建設工業 [正] 五十嵐 ひろ子・平林 弘・松岡 達也
- Ⅲ-409 単純せん断モードの試験による不攪乱鋭敏粘土の力学特性の評価／名城大学 [学] 吉田 賢史・三好 直輔・小高 猛司
- Ⅲ-410 尼谷地地区から採取した粘性土材料の非排水繰返し載荷時の過剰間隙水圧の挙動 その2／基礎地盤コンサルタンツ [正] 山田 眞一・丸山 清輝・若杉 護

■砂の変形強度／10:25～11:55／中田 幸男(山口大学)

- Ⅲ-411 不飽和豊浦砂の浸水沈下量に関する実験的検討／芝浦工業大学 [学] 川瀬 貴之・渡邊 僚太・岡本 敏郎
- Ⅲ-412 微生物改良土に与えたせん断履歴とその回復に関する検討／東京大学 [学] 細尾 誠・桑野 玲子
- Ⅲ-413 規格外瓦破碎材シャモットの地盤材料としての物理・力学的特性／名古屋工業大学 [学] 堀 智之・張 鋒・前田 健一
- Ⅲ-414 兵庫県佐用町仁位地区崩壊土のせん断挙動／明石工業高等専門学校 [正] 鍋島 康之・友久 誠司・宇都宮 夢人
- Ⅲ-415 再生半水石膏の粘着力に着目した砂の繰返しせん断特性／福岡大学 [学] 椎名 拓允・佐藤 研一・藤川 拓朗
- Ⅲ-416 μ X線CTを用いた不飽和砂の応力一ひずみ関係と内部構造変化の関係に関する研究／京都大学 [学] 吉田 竜也・肥後 陽介・松島 祥樹
- Ⅲ-417 砂質土の拘束圧・初期間隙比の組合せと三軸試験結果の関係／鹿児島大学 [正] 三隅 浩二・小田原 市典・名和 智彦
- Ⅲ-418 砂の誘導異方性の発達と消散に関する排水三軸試験／名古屋工業大学 [学] 大橋 龍起・伴 旭将・菊本 統

第IV部門

土木計画、地域都市計画、国土計画、交通計画、交通工学、鉄道工学、景観・デザイン、土木史、測量など

IV-1 (工学部講義棟・総合研究棟2の25) / 9月7日(水)

■測量・リモートセンシング / 8:40~10:10 / 羽柴 秀樹(日本大学)

- IV-001 パンシャープン画像による環境評価について / RESTEC [正] 杉村 俊郎
- IV-002 3時期の高分解能衛星画像を用いた植生タイプ分類 / 岐阜大学 [学] 國吉 真司・児島 利治・篠田 成郎
- IV-003 Tuvaluの海岸侵食に対する沿岸植生の寄与 / 茨城大学 [学] 中野 貴聡・桑原 祐史・小柳 武和
- IV-004 分光放射計による野外環境下におけるラコミトリウムの生育評価 / 日本大学 [正] 朝香 智仁・岡村 直利・有山 功一
- IV-005 全球低平地における水没域推定を目的としたDSM補正の検討 / 茨城大学 [学] 岡田 遥平・桑原 祐史・小柳 武和
- IV-006 茨城県北、県南、鹿行地区を対象としたCO₂濃度変動分析 / 茨城大学 [学] 山田 貴弘・桑原 祐史・齋藤 修
- IV-007 BP海底油田事故による浮遊流出油塊抽出のリモートセンシング / 日本大学 [学] 岡田 健一・青山 定敬・岩下 圭之
- IV-008 地上型レーザスキャナーの精度検証 / 復建調査設計 [正] 前田 憲治・織野 祥徳・横手 了

■地域・防災 / 10:25~11:55 / 後藤 浩(日本大学)

- IV-009 防災性能の視点からみた都市のコンパクト性に関する研究 / ドイツ北部の都市構造分析 / 京都大学 [正] 中川 大・石川 永子・長尾 基哉
- IV-010 地域防災力向上のための世帯情報登録・運用の取組みの有効性検証 / 山梨大学 [学] 畠山 修一・鈴木 猛康
- IV-011 防災訓練の定量的評価に対するCPMの適用性に関する研究 / 山梨大学 [学] 津田 哲平・鈴木 猛康
- IV-012 市町村に防災情報システムを適用するための実務者研修の実践と評価 / 山梨大学 [学] 宇野 真矢・鈴木 猛康
- IV-013 地域住民の意見を考慮した防災事業の便益計算に関する一試案 / 九州大学 [学] 牧 浩隆・善 功企・陳 光斉
- IV-014 主成分分析による自然災害リスクを考慮した地価評価の問題点とその考察 / 東京大学 [正] 村前 敏裕・片田 敏行
- IV-015 建設業BCP策定支援システムの構築と利用環境整備に関する研究 / 香川大学 [学] 真野 昂平・白木 渡・井面 仁志
- IV-016 都市高速道路を対象としたBCP構築支援システムの開発 / 香川大学 [学] 山脇 正嗣・白木 渡・井面 仁志

■防災・避難 / 12:40~14:10 / 秦 康範(山梨大学)

- IV-017 斜面住宅地居住者を対象としたコミュニケーションによる防災教育に関する研究 / 呉工業高等専門学校 [正] 山岡 俊一・坂本 淳・小堀 悠久
- IV-018 港北ニュータウンにおけるグリーンマトリックスシステムの避難経路の危険性への影響に関する研究 / 横浜国立大学 [学] 大野 慎也・中村 文彦・岡村 敏之
- IV-019 避難経路に着目した都市構造の脆弱性に関する分析について / 摂南大学 [学] 畑尾 一貴・熊谷 樹一郎・高木 孝文
- IV-020 歴史都市における観光客の避難のための避難誘導経路の特性に関する分析 / 立命館大学 [正] 小川 圭一・松野 真樹・塚口 博司
- IV-021 歴史都市における徒歩による避難行動分析と避難計画に関する研究 / 立命館大学 [学] 松田 有史・塚口 博司・小川 圭一
- IV-022 沿岸災害時に減災効果を向上させる情報伝達法に関する一考察 / 日本大学 [正] 後藤 浩・前野 賀彦・竹澤 三雄
- IV-023 住民の避難行動からみた津波防災の課題—2010年2月沖縄本島近海とチリ中部沿岸の地震による津波警報— / 琉球大学 [正] 神谷 大介・赤松 良久・富山 潤
- IV-024 原子力発電所災害を対象とした大規模避難計画の課題と評価 / 金沢大学 [F] 高山 純一・中山 晶一郎・藤田 雅久

■災害対策 / 14:25~15:55 / 二神 透(愛媛大学)

- IV-025 災害応援協定に基づく災害応急対策の活動の実態調査 / 長崎大学 [学] 永田 拓朗・高橋 和雄・中村 聖三
- IV-026 地震時における救急搬送業務の実態調査分析—能登半島地震と東北地方太平洋沖地震における救急医療活動の比較分析— / 金沢大学 [学] 中野 晃太・高山 純一・中山 晶一郎
- IV-027 局所的な浸水被害に対する危険箇所抽出の検討 / 中央大学 [学] 及川 潤・佐藤 尚次・吉岡 由希子
- IV-028 土砂災害警戒情報の警戒避難への活用促進に関する調査 / 長崎大学 [学] 清水 誠・寺崎 宏章・高橋 和雄
- IV-029 建設業の災害対策への活用に関する調査 / 長崎大学 [F] 高橋 和雄・木下 和則・中村 聖三
- IV-030 熊本市壺川地区の住民組織における防災意識の形成過程 /

- IV-031 東京大学 [正] 本田 利器・小松 高明
ソーシャル・キャピタルと地域特性を考慮した防災対策の検討 / 中央大学 [学] 井上 麻子・佐藤 尚次

IV-1 (工学部講義棟・総合研究棟2の25) / 9月8日(木)

■災害復旧・復興 / 8:40~10:10 / 大沢 昌玄(日本大学)

- IV-032 鉄道路線内における維持補修の優先度と災害時における鉄道施設の点検の効率化—京浜急行電鉄におけるケーススタディ— / 中央大学 [学] 三渡 裕太・佐藤 尚次
- IV-033 岩手・宮城内陸地震が道路ネットワークに及ぼした影響 / 東北工業大学 [正] 村井 貞規
- IV-034 津波災害からの復興過程と地域社会：三陸沿岸部の高地移転 / 土木研究所 [正] 中須 正・田中 茂信・三宅 且仁
- IV-035 本明川の水害復興の災害教訓に関する調査 / 長崎大学 [学] 塙 賢治・高橋 和雄・中村 聖三
- IV-036 木曽三川下流部における堤防復旧に着眼した広域防災ネットワーク形成に関する考察 / 国土交通省 [正] 久保 宜之・吉田 直人・浅井 慎一
- IV-037 地域住民の安全・安心を考慮したがれき処理に関する一考察(その1) / 熊谷組 [正] 永田 尚人・三島 和子・吉澤 一雄
- IV-038 地域住民の安全・安心を考慮したがれき処理に関する一考察(その2) / エンジニアリング協会 [正] 和田 弘・永田 尚人・測上 隆也

■東日本大震災被害把握・シミュレーション / 10:25~11:55 / 羽藤 英二(東京大学)

- IV-039 光学系及びレーダー衛星データによる東北地方太平洋沖地震の災害調査について / 日本キャディック [正] 小西 智久・菅 雄三
- IV-040 ALOS/AVNIR-2衛星画像を用いた東北地方太平洋沖地震津波による防災施設被災状況の判読調査 / 日本大学 [学] 高野 淳・羽柴 秀樹・杉村 俊郎
- IV-041 ALOS衛星画像およびSRTM/DEMによる東日本太平洋沖地震津波災害状況の把握 / 日本大学 [正] 羽柴 秀樹・杉村 俊郎
- IV-042 東日本大震災におけるいわき市の被災について—中心市街地と沿岸地域を対象として— / 福島工業高等専門学校 [正] 齊藤 充弘
- IV-043 計画停電が首都圏の鉄道運行に及ぼした影響の空間的把握 / 東京工業大学 [学] 柳沼 秀樹・瀬尾 亨・石井 良治
- IV-044 マルチエージェント・シミュレーションを用いた広域交通流動に対する津波の被害リスクに関する研究 / 北見工業大学 [学] 二本松 誠司・志鎌 隆・澁谷 健一
- IV-045 高潮災害時の避難シミュレーションデータベースシステムの構築と活用 / 香川大学 [学] 松原 雄三・白木 渡・井面 仁志
- IV-046 道路ネットワークの斜面崩壊によるリスク評価 / 香川大学 [学] 坂田 朗夫・伊藤 則夫・川本 篤志

IV-1 (工学部講義棟・総合研究棟2の25) / 9月9日(金)

■鉄道利用 / 8:40~10:10 / 金子 雄一郎(日本大学)

- IV-047 四国における交通機関分担率推定モデルの構築 / 愛媛大学 [正] 吉井 稔雄・倉内 慎也・高橋 昌幸
- IV-048 東京圏都市鉄道の計画整備期間に対する世論の影響 / 芝浦工業大学 [学] 小野 泰・岩倉 成志
- IV-049 旅客属性を考慮した列車乗降シミュレーションモデルの構築—東急田園都市線を対象に— / 芝浦工業大学 [学] 高橋 郁人・岩倉 成志
- IV-050 大都市圏における効率的な鉄道利用の在り方について / 東京都市大学 [学] 小川 達也・高松 亨
- IV-051 路面電車の乗降データを用いた電停別利用者の変動分析 / 日本大学 [学] 数見 隆宏・轟 朝幸・西内 裕品
- IV-052 第3セクター北条鉄道における自治体や鉄道事業者の取り組みの評価に関する研究 / 横浜国立大学 [学] 遠藤 寛之・中村 文彦・岡村 敏之
- IV-053 三岐鉄道北勢線のリニューアル事業による新規利用者率の算出 / 名城大学 [学] 中嶋 俊介・松本 幸正
- IV-054 優等列車の内装デザインが旅客需要に及ぼす影響の分析手法—小田急ロマンスカーを対象に— / プランニングネットワーク [正] 秋山 岳・岩倉 成志

■自動車・歩行者交通／10:25～11:55／宇佐美 誠史(岩手県立大学)

- IV-055 自転車利用者の注視挙動に関する基礎的研究／法政大学
[学] 小山 裕也・宮下 清栄
- IV-056 交差点部の断面構造を考慮した自転車走行性への影響分析
／名古屋工業大学 [学] 嶋村 峻・藤田 素弘
- IV-057 サインに着目した自転車通行位置の明示に関する一考察—
御池通自転車通行環境実証実験で得られた知見をもとに—
／日建設計シビル [正] 八木 弘毅・澤田 基弘・大森 高樹
- IV-058 広幅員歩道における自転車通行区分のカラー化に伴う効果の
検証／福井工業大学 [学] 吉村 朋矩・三寺 潤・和田 章人
- IV-059 歩道整備における歩行者の快適性・交通安全性評価のため
の群集行動シミュレーション／ニュージェック [正] 生田
智・後藤 仁志・原田 英治
- IV-060 市民の街中周辺物に対する関心事に関する連続行動調査／
修成建設コンサルタント [正] 加地 泰佳・松本 浩和・内
田 敬
- IV-061 高所ビデオ撮影装置を用いた放置自転車の交通流への影響
分析／道路計画 [正] 野間 哲也・土井 元治
- IV-062 自転車の安全利用に関する条例について／岩手県立大学
[F] 元田 良孝

IV-2 (工学部講義棟・総合研究棟2の24)／9月7日(水)

■バラスト軌道／10:25～11:55／白川 龍生(北見工業大学)

- IV-063 武蔵野線北府中・西国分寺間における道床沈下事象につい
て／東日本旅客鉄道 [正] 永井 咲・増井 洋介
- IV-064 実物大模型による道床バラストの沈下抑制物／東洋道路興
業 [正] 長橋 孝次・上野 実・九曜 英雄
- IV-065 道床流れの効果的な整備手法の検討／ [正] 吉村 慎悟・
黒田 昌生
- IV-066 列車の走行に伴うバラスト流動現象に関する対策工の試験
施工／東海旅客鉄道 [正] 中村 格之・渡邊 康人
- IV-067 タイタンバ等による道床つき固め効果の確認試験／仙建工
業 [正] 小野寺 孝行
- IV-068 土路盤に敷設した有道床弾性まくらぎの経年評価／JR東
日本 [正] 佐久間 浩二
- IV-069 左右独立補正型自動沈下補正まくらぎの道床横抵抗力試験／
鉄道総合技術研究所 [正] 櫻井 祐・村本 勝己・中村 貴久
- IV-070 まくらぎ配置間隔の拡大について／JR九州 [正] 志手 江
津夫・津高 守・久楽 博

■省力化軌道・無道床橋梁／12:40～14:10／堀池 高広(鉄道軌材工業)

- IV-071 プレバックドコンクリート道床の若材齢時の強度特性／鉄
道建設 [正] 川又 篤・高橋 貴蔵・伊藤 孝記
- IV-072 プレバックドコンクリートによるバラストレス化軌道の載
荷試験／鉄道総合技術研究所 [正] 伊藤 孝記・高橋 貴蔵・
関根 悦夫
- IV-073 バラスト軌道のプレバックドコンクリート版化に関する施工
試験／東日本旅客鉄道 [正] 泉 宏和・渡邊 康夫・佐野 世
- IV-074 既設線土路盤上省力化軌道における排水設備と軌道変状の
評価／東日本旅客鉄道 [正] 熊倉 孝雄・石井 秀明・堀 雄
一郎
- IV-075 貯雪型バラスト軌道の横圧に関する耐力試験／東日本旅客
鉄道 [正] 石川 省吾・渡邊 明之・佐藤 隆志
- IV-076 弾性バラスト軌道高さ調整コンクリート端部幅縮小に関する
実験的検討／JR東日本 [正] 佐伯 和浩・鈴木 裕隆
- IV-077 プレストレスト・バラスト軌道用アンカーの引き抜き試験／
鉄道総合技術研究所 [正] 中村 貴久・村本 勝己・櫻井 祐
- IV-078 無道床橋梁における騒音低減対策とその効果について／
JR九州 [正] 力武 基樹・久楽 博・志手 江津夫

■スラブ軌道／14:25～15:55／高尾 賢一(JR西日本)

- IV-079 スラブ区間の遊間管理における一考察／JR西日本 [正] 伊
藤 旭・石川 敏明・高田 幸裕
- IV-080 経年軌道スラブの健全性に関する調査報告／西日本旅客鉄
道 [正] 山根 寛史・武山 和生・松本 亮介
- IV-081 スラブ軌道の変状と対策に対する一考察／JR四国 [正] 白
江 雄介・高橋 貴蔵・関根 悦夫
- IV-082 羽田トンネル内スラブ交換について／JR東日本 [正] 斎
藤 輝明・岡 大貴・谷口 翠
- IV-083 景観を重視した老朽化スラブ軌道の経済的な構造改良／京
阪電気鉄道 [正] 田端 光生
- IV-084 軌道スラブこう上工事における施工品質向上の取り組みに
ついて／仙建工業 [正] 鈴木 紀彦
- IV-085 既設軌道スラブにおける埋込栓設置に適用する充填材料の
検討／東日本旅客鉄道 [正] 松本 剛明・堀 雄一郎・村上
祐治

- IV-086 スラブ軌道における突起代替構造の水平耐力に関する検討
／鉄道総合技術研究所 [正] 測上 翔太・高橋 貴蔵・関根
悦夫

IV-2 (工学部講義棟・総合研究棟2の24)／9月8日(木)

■まくらぎ／8:40～10:10／鈴木 常夫(西日本旅客鉄道)

- IV-087 PCまくらぎの振動特性の把握と構造変更による振動低減
効果／鉄道総合技術研究所 [正] 坂井 宏隆・浦川 文寛・
相川 明
- IV-088 ガラス長繊維強化硬質発泡ウレタン材料の力学的性質に関
する一考察／鉄道総合技術研究所 [正] 西宮 裕騎・細田
充・本野 貴志
- IV-089 MTT施工可能な継目部角折れ防止グリッドマクラギの開
発／JR東日本 [正] 緒方 政昭・輪田 朝亮・原田 彰久
- IV-090 冷間成形により製作した鉄まくらぎの断面検討／日本貨物
鉄道 [正] 青島 健・遠藤 康敬・吉田 幸司
- IV-091 鉄まくらぎのフランジの効果に関する検討／日本貨物鉄道
[正] 遠藤 康敬・上浦 正樹
- IV-092 PCまくらぎアンカー引き抜き強度に関する一考察／東海
旅客鉄道 [正] 加藤 渉・渡邊 康人・曾田 祥信
- IV-093 ケミカルアンカー工法を用いた3号マクラギのバンドロー
ル化に関する一考察／ユニオン建設 [正] 佐々木 大・田
中 大輔
- IV-094 PCまくらぎ劣化度評価の一考察／西日本旅客鉄道 [正] 津
田 晃宏・松本 亮介
- IV-095 マクラギにおける発電を利用したモニタリングシステムの
電源の開発／鉄道総合技術研究所 [正] 吉田 善紀・小林
裕介

■レール締結装置、継目板／10:25～11:55／桃谷 尚嗣(鉄道総合技術研究所)

- IV-096 レール継目穴のき裂進展速度の室内試験による検討／鉄道
総合技術研究所 [正] 細田 充・片岡 宏夫・弟子丸 将
- IV-097 常温乾燥型防錆剤を用いたレール締結装置の防錆性能につ
いて／NOFメタルコーティングス [正] 篠原 知行・渡辺
重人・小西 保彦
- IV-098 線ばね形レール締結装置の適正な表面処理法の選定につい
て／鉄道総合技術研究所 [正] 本野 貴志・坂本 達朗
- IV-099 バンドロール形締結装置区間における効果的なレール締結
作業方法について／仙建工業 [正] 三浦 啓幸・小野 公松
- IV-100 線ばねクリップの発生応力の低減方法に関する一考察／鉄
道総合技術研究所 [正] 弟子丸 将・本野 貴志・片岡 宏夫
- IV-101 繊維形状を変えた新幹線スラブ軌道用可変パッドの開発／
JR東日本 [正] 長谷川 真吾・山中 貞男・保坂 信克
- IV-102 軌道パッドの衝撃応答特性の検討／鉄道総合技術研究所
[正] 鈴木 実・弟子丸 将
- IV-103 普通継目板の曲げ応力に関する解析的検討／鉄道総合技術
研究所 [正] 高原 崇・片岡 宏夫・弟子丸 将
- IV-104 継目落ちに対応した段違い用異形継目板の開発／鉄道総合
技術研究所 [正] 西田 博貴・片岡 宏夫・高原 崇

IV-2 (工学部講義棟・総合研究棟2の24)／9月9日(金)

■レール探傷、凹凸／8:40～10:10／篠脇 諭(九州旅客鉄道)

- IV-105 シェリング傷横裂深さ測定精度向上への取り組みについて
／東日本旅客鉄道 [正] 寺島 令・篠田 勝己・魚地 真道
- IV-106 頭側部摩耗レールの横裂傷確認治具の開発／JR西日本
[正] 深田 和宏・富田 敏彦・三津田 祐基
- IV-107 フェイズドアレイ技術を用いたレール横裂探傷の基礎試験
／東日本旅客鉄道 [正] 安藤 洋介・瀧川 光伸・坂代 一郎
- IV-108 レール底部全面探傷の開発に向けた基礎試験／JR西日本
[正] 西村 佳宣・田淵 剛・森 雅司
- IV-109 新たなレール探傷車底部腐食探傷装置の開発／東京地下
鉄 [正] 小林 実・工藤 浩之・星子 遼
- IV-110 波状摩耗測定用の可搬型レール凹凸連続測定装置の開発／
鉄道総合技術研究所 [正] 田中 博文・清水 惇
- IV-111 可搬型レール波状摩耗モニタリング装置の開発／鉄道総合
技術研究所 [正] 猿木 雄三・田中 博文・清水 惇
- IV-112 削正車を用いたレール長波長凹凸低減の取り組み／JR九
州 [正] 西原 敬人・山内 崇・田中 博文

■レール傷、磨耗／10:25～11:55／川崎 祐征(JR東海)

- IV-113 新材質レールの耐磨耗・表面損傷性の評価／JR東日本
[正] 奥村 悠樹・富永 和秀・林 亮輔
- IV-114 シェリングきずの年間横裂進みが大きくなる影響因子の推定

- とそれに基づく管理手法の提案／西日本旅客鉄道〔正〕高亀 恵輔・田淵 剛
- IV-115 レール頭部横裂進展速度の室内試験による検討／鉄道総合技術研究所〔正〕小谷 隼・片岡 宏夫・細田 充
- IV-116 きしみ割れ傷の内部に発生した水平裂の管理について／東海旅客鉄道〔正〕杉岡 祐亮・川越 洋・宮垣 圭吾
- IV-117 踏切内レールの腐食量に関する一考察／鉄道総合技術研究所〔正〕高須 豊・片岡 宏夫・細田 充
- IV-118 無機系防食材によるレール腐食対策／JR九州〔正〕福山 幹康・志手 江津夫・篠脇 諭
- IV-119 可搬式摩耗検査装置の開発／西日本旅客鉄道〔正〕田中 雄大・田淵 剛・小林 紘實
- IV-120 効果的なレール塗油方法の検証／東京地下鉄〔正〕田代 祐徳・武藤 義彦・金川 周平

■分岐器、ロングレール／15:00～16:30／渡邊 康人(東海旅客鉄道)

- IV-121 新幹線用ノーズ可動クロッシングのき裂進展特性の一考察／鉄道総合技術研究所〔正〕吉野 哲也・片岡 宏夫・細田 充
- IV-122 クロッシングの材料状態管理に関する研究／東日本旅客鉄道〔正〕神津 大輔・佐藤 浩司
- IV-123 マンガンクロッシング現場補修法の検討／東日本旅客鉄道〔正〕若月 雅人・谷 隆一郎
- IV-124 分岐器用新型締結ボルトの開発／JR東海〔正〕池田 貴久・島田 秀典・中川 敬二
- IV-125 2台の分岐器を介在させるロングレール化工事／東日本旅客鉄道〔正〕岩崎 康太・萩尾 泰弘・嘉嶋 崇志
- IV-126 分岐器介在ロングレールの維持管理／東日本旅客鉄道〔正〕浦園 剛・萩尾 泰弘・嘉嶋 崇志
- IV-127 温度応力を受ける分岐器介在レールの振動応答解析／新潟大学〔学〕阿久津 友宏・阿部 和久・紅露 一寛
- IV-128 ロングレールふく進検査の装置化の検討／西日本旅客鉄道〔正〕下野 勇希・山口 義信

IV-3 (工学部講義棟・総合研究棟2の23)／9月7日(水)

■鉄道橋梁の維持管理(1)／10:25～11:55／高瀬 直輝(四国旅客鉄道)

- IV-129 ウォータージェット工法による鋼橋の長寿命化に関する研究／東日本旅客鉄道〔正〕内藤 孝和・安部 健・鈴木 周一
- IV-130 エンクローズ溶接継手の性能照査実験の報告／東海旅客鉄道〔正〕日下部 昭彦・吉川 太郎・田中 浩一
- IV-131 鋼直結軌道上路鉸桁橋梁に発生した疲労き裂の補修について／JR北海道〔正〕川村 力・宍戸 真也・小島 俊一
- IV-132 鉄道鋼トラス橋縦桁横桁連結部の補強部材の検討および補強効果の確認／東京地下鉄〔正〕山本 努・関口 琢己・谷 利晃
- IV-133 開床式鋼下路桁の縦桁における疲労き裂の発生原因と対策／JR四国〔正〕安村 勇亮・光中 博彦・宇野 匡和
- IV-134 鉄筋コンクリート橋脚におけるひび割れ対策について／JR東日本〔正〕黒川 聡・佐々木 昭悟・陣川 博朗
- IV-135 鉄道高架橋分割施工におけるひび割れ対策について／東海旅客鉄道〔正〕磯野 純治・三宅 修司・山口 尚久
- IV-136 経年10年程度のメッシュ入り表面被覆工に関する実態調査／JR東日本〔正〕大橋 章・渡辺 富司雄・中村 宏
- IV-137 大村湾沿岸におけるRC単版桁の変状に関する一考察／九州旅客鉄道〔正〕諸橋 真琴・福田 幸治

■鉄道橋梁の維持管理(2)／12:40～14:10／貝瀬 弘樹(JR九州)

- IV-138 東海道新幹線下路トラス橋縦桁端部首溶接部変状の発生原因の推定／JR東海〔正〕中越 正幸・江口 博康・高木 俊介
- IV-139 鉄道構造物へのヘルスマonitoring手法導入に向けた研究／東日本旅客鉄道〔正〕小林 亮司・下山 貴史・長澤 徹
- IV-140 東海道新幹線富士川橋りょう橋脚基礎の健全性評価について／東海旅客鉄道〔正〕有馬 隆介・齋藤 修
- IV-141 地震動による鉄道橋りょうの橋脚の健全度モニタリング／JR東日本〔正〕奥水 聡・杉崎 光一・阿部 雅人
- IV-142 異常動揺が発生した高架橋調整桁の補強効果に関する一考察／JR東日本〔正〕平野 雄大・加藤 正義・奥倉 英世
- IV-143 新幹線高架橋における剛性向上を目的とした調整桁補強／JR東日本〔正〕吉井 恭一朗・篠原 良治・手塚 雅人
- IV-144 赤外線カメラなどを活用した高架橋の維持管理手法について／JR東日本〔正〕今泉 浩明・田中 徹郎・横井 進一
- IV-145 鋼橋における支点部の限定塗装などの効果に関する追跡調査結果について／〔正〕白川 耕平・伊藤 大輔・竹内 瑞希
- IV-146 日本海沿岸の鉄道橋梁における各種検査項目の連動化に関する取り組みについて／〔正〕長谷川 優・堀澤 誠・竹内 照晶

■鉄道工事／14:25～15:55／小野寺 孝行(仙建工業)

- IV-147 東海道新幹線東京駅中部高架橋の大規模改築工事(アンダーピング工法)その2／東海旅客鉄道〔正〕吉川 太郎・日下部 昭彦・小野口 博之
- IV-148 特殊構造を有する複線式下路鉸桁橋の取替え工事について／東日本旅客鉄道〔正〕三浦 弘明・葛岡 武浩・富田 興昌
- IV-149 鉄道高架橋におけるGFRP 高欄の強度特性について／西日本旅客鉄道〔正〕湯浅 康史・山口 善彰・大坪 正行
- IV-150 プレキャストアーチ式ラーメン高架橋の施工について／東海旅客鉄道〔正〕安東 嵩容・上田 清弘・田中 進
- IV-151 鉄道営業線下における凍結工法による軌道影響と対策について／JR西日本〔正〕水谷 哲朗・田中 紀行・山口 善彰
- IV-152 大型クレーンを用いたバリアフリー工事の施工事例について／東日本旅客鉄道〔正〕鈴木 博人・最首 勝・伊藤 光弘
- IV-153 新橋駅改良における課題と改良計画／東日本旅客鉄道〔正〕安川 圭太
- IV-154 PLG方式地上コイルの施工性検証／鉄道総合技術研究所〔正〕高橋 紀之・鈴木 正夫・齋藤 雅之

IV-3 (工学部講義棟・総合研究棟2の23)／9月8日(木)

■軌道・車両の理論解析／8:40～10:10／石川 達也(北海道大学)

- IV-155 道床バラスト層の残留沈下を与えるまくらぎ幅の影響に関する解析的検討／鉄道総研〔正〕河野 昭子・松島 亘志
- IV-156 地震時における構造物上のバラスト軌道の変形挙動解析／鉄道総合技術研究所〔正〕浅沼 潔・関根 悦夫・曾我部 正道
- IV-157 バラスト碎石集合体の有限要素法による衝撃波動伝播解析／鉄道総合技術研究所〔正〕相川 明・浦川 文寛・名村 明
- IV-158 地震動を受けた構造物境界部バラスト軌道の道床横抵抗力に関するFEM解析／ジェイアール総研情報システム〔正〕藤波 潔・大野 和巳・関根 悦夫
- IV-159 回転硬化を考慮した下負荷面モデルを用いたバラスト材の繰返し変形解析における材料パラメータの変動の影響／新潟大学〔学〕間島 朋也・紅露 一寛・阿部 和久
- IV-160 バラスト軌道における設計照査ツールの開発／鉄道総合技術研究所〔正〕須田 正規・三和 雅史
- IV-161 台車のピッチング運動と輪重変動の関係について／JR東海〔正〕川崎 祐征・三輪 昌弘

■軌道保守／10:25～11:55／神津 大輔(JR東日本)

- IV-162 MTTと一頭式レール削正の併用による軌道保守方法の検討／東日本旅客鉄道〔正〕吉田 尚・池田 聡司・佐藤 隆行
- IV-163 レール削正機による継目落ち抑制対策について／四国旅客鉄道〔正〕新居 準也・宇都宮 裕樹・門脇 辰広
- IV-164 レール溶接部削正による軌道状態の改善の取組み／東日本旅客鉄道〔正〕南木 聡明・小田 勉・中山 幻
- IV-165 確認車の軸箱加速度を用いた軌道状態把握手法の精度向上／西日本旅客鉄道〔正〕楠田 将之・下野 勇希・山口 義信
- IV-166 汎用3G携帯電話回線による軌道検測装置遠隔操作システム／鉄道総合技術研究所〔正〕矢澤 英治・小木曾 清高・松田 博之
- IV-167 材料保守計画の適正化による効率的な軌道保守のあり方に関する検討 多頻度軌道変位保守箇所の抽出と軌道変位保守方法の選択モデル／鉄道総合技術研究所〔正〕三和 雅史・木村 寛淳・山中 雅司
- IV-168 材料保守計画の適正化による効率的な軌道保守のあり方に関する検討(軌道整正の多頻度化に与えるレール状態の影響評価)／JR西日本〔正〕山中 雅司・山口 義信・三和 雅史
- IV-169 材料保守計画の適正化による効率的な軌道保守のあり方に関する検討(軌道整正の多頻度化に与える道床状態の影響評価)／鉄道総合技術研究所〔正〕木村 寛淳・三和 雅史・山中 雅司
- IV-170 路面電車の軌道管理に対する聞き取り調査／鉄道総合技術研究所〔正〕清水 惇・古川 敦・矢澤 英治

IV-3 (工学部講義棟・総合研究棟2の23)／9月9日(金)

■軌道工事／8:40～10:10／川口 昭人(JR四国)

- IV-171 マルタイ施工における精度向上について／JR東海〔正〕河合 満大・新原 真一
- IV-172 トンネル区間内における左右動揺の抑制手法の検討について／JR東日本〔正〕石川 裕司・奥戸 出・栗原 伸
- IV-173 利根川橋りょう桁沈下に伴う軌道補修について／ユニオン建設〔正〕山口 賢太郎・須藤 猛・大垣 宏樹
- IV-174 MTTを活用したPCまくらぎ連続更新について／JR東海〔正〕鈴木 貴之・柳川 智史

- IV-175 我孫子駅構内64号(イ)分岐器部分弾性化工事／ユニオン建設 [正] 堀ノ内 謙太・斎藤 典孝・菊池 慶太
 IV-176 新型レール交換機の開発について／大鉄工業 [正] 福井 義弘・木川 浩介・安中 武
 IV-177 効率的なレール溶接仕上げ削正機械の開発／JR東日本 [正] 加藤 章・原田 彰久・齋藤 優輝
 IV-178 酷暑期における除草作業の機械化／仙建工業 [正] 金田 晋一・久慈 真樹
 IV-179 GPS式列車接近警報装置の開発の変遷／JR西日本 [正] 溝口 敦司

■防災(1)／10:25～11:55／深田 隆弘(西日本旅客鉄道)

- IV-180 JR京葉線における強風対策工事計画の策定について／東日本旅客鉄道 [正] 大島 竜二・鈴木 博人・野村 正暁
 IV-181 JR京葉線の風対策の取り組み(第2次対策)について／東日本旅客鉄道 [正] 野村 正暁・東條 将人・小林 義雄
 IV-182 地下鉄における気流の三次元数値解析に関する研究／日本シビックコンサルタント [F] 齊藤 正幸・藤本 育雄・宇波 邦宣
 IV-183 空中写真測量を用いた河川に並行した鉄道護岸の河床変動調査／JR東日本 [正] 加藤 健二・淀 健・近藤 英治
 IV-184 盛土のり肩の防音壁まわりの構造条件が地下水流動に及ぼす影響／鉄道総合技術研究所 [正] 渡邊 諭・太田 直之・高馬 太一
 IV-185 鉄道盛土の震災被害と最大地表面速度との関係／JR東日本 [正] 白崎 広和・谷口 善則・池本 宏文
 IV-186 東北地方太平洋沖地震による京葉線沿線における液状化について／東日本旅客鉄道 [正] 小泉 正人・松本 一人
 IV-187 自然と共存した鉄道獣害(鹿)対策について／東海旅客鉄道 [正] 大山 智・丹間 泰郎・川越 洋

■防災(2)／15:00～16:30／太田 直之(鉄道総合技術研究所)

- IV-188 上越線のトンネル坑口落石対策(その1: 斜面の状況)／ジェイアール東日本コンサルタンツ [正] 羽矢 洋・堀米 政弘・森山 大智
 IV-189 上越線のトンネル坑口落石対策(その2: 対策工概要)／JR東日本 [正] 堀米 政弘・宮島 和彦・岩村 里美
 IV-190 レンガトンネルの面的導水工の試験施工について／東日本旅客鉄道 [正] 古屋 幸司・増井 洋介
 IV-191 老朽レンガトンネルの酸性水を考慮した覆工補修について／JR東日本 [正] 北村 栄治・片山 浩一
 IV-192 飯田線素掘りトンネル側壁部対策について／東海旅客鉄道 [正] 佐野 淳・小幡 安英・大畑 和弘
 IV-193 軟弱地盤上の線路下横断工の施工／東日本旅客鉄道 [正] 関 慎幸・高橋 政善
 IV-194 JR東日本成田エクスプレスルート降雨防災強化に伴う伏び改良工事／東日本旅客鉄道 [正] 保野 聡裕・小林 義雄・座間 澄男
 IV-195 マルチングによる鉄道林保育作業効率化の検討／JR北海道 [正] 佐々木 良・小澤 直正

IV-4 (工学部講義棟・総合研究棟2の26)／9月7日(水)

■交通ネットワーク・交通流／10:25～11:55／中山 晶一郎(金沢大学)

- IV-196 入力条件が時間帯別利用者均衡配分結果のOD内訳に及ぼす影響に関する研究／名城大学 [学] 岩本 留佳・松本 幸正
 IV-197 感度分析による経路集約化法を用いた交通量配分の一解法／金沢大学 [学] 岡本 裕也・中山 晶一郎・高山 純一
 IV-198 テーラーメード型SP調査による都市高速道路利用者の迂回経路分析／京都大学 [学] 中川 貴文・宇野 伸宏・嶋本 寛
 IV-199 高精度走行軌跡データを用いた電気自動車の電費に関する基礎的研究／パスコ [正] 飯塚 恒太・佐田 達典・石坂 哲宏
 IV-200 希望走行速度決定モデルを用いたISAによるドライバー集団の負担推計方法の提案／豊橋技術科学大学 [学] 松尾 幸二郎・廣島 康裕
 IV-201 ベイジアンネットワークを用いた都市間高速道路における速度低下要因分析／京都大学 [学] 谷口 知己・塩見 康博・宇野 伸宏
 IV-202 自然風・交通換気力を考慮したトンネル換気制御方式の効果の検証／土木研究所 [正] 石村 利明・森本 智・角湯 克典

■交通事故(1)／12:40～14:10／鈴木 一史(国土技術政策総合研究所)

- IV-203 都市内高速道路における交通事故発生リスクの要因分析／愛媛大学 [学] 兵頭 知・吉井 稔雄・倉内 慎也
 IV-204 首都高速道路における実走行実験で取得したアイマーク等運転挙動データに基づく既存安全施設の評価について／首都高速道路 [正] 井本 智之・荒川 太郎・山下 大輔

- IV-205 首都高速道路におけるカーブ部施設接触事故の多発・微発区間比較による要因分析／首都高速道路 [正] 荒川 太郎・井本 智之・高橋 恵一
 IV-206 都市間高速道路の事故影響要因に関する統計的分析／京都大学 [学] 藤井 大地・宇野 伸宏・嶋本 寛
 IV-207 工作物衝突事故多発区間の事故発生要因に関する一考察／土木研究所寒地土木研究所 [正] 武本 東・平澤 匡介・渡邊 政義
 IV-208 線形誘導標示板の誘目性に関する研究～設置マニュアル作成に向けて～／北海道工業大学 [正] 石田 眞二・大森 陽一・鈴木 崇之
 IV-209 高速道路安全啓発のためのドライビングシミュレータの活用についての一考察／東日本高速道路 [正] 三石 晃・Xing Jian
 IV-210 交通事故発生リスク算定シミュレーションの構築／愛媛大学 [学] 松本 洋輔・吉井 稔雄

■交通事故(2)／14:25～15:55／寺内 義典(国土館大学)

- IV-211 右直事故多発交差点における交通安全対策の事前事後分析／豊橋技術科学大学 [学] 小松 裕史・廣島 康裕・松尾 幸二郎
 IV-212 信号機と協調する先進運転警告システム(ADAS)の導入効果の推計に関する研究／日本大学 [学] 仲澤 政利・福田 敦・岡村 誠
 IV-213 知覚コストモデルを用いたドライバー視点からの無信号交差点環境の評価／豊橋技術科学大学 [学] 加川 一輝・廣島 康裕・松尾 幸二郎
 IV-214 交差点右折車両に対する横断歩行者の確認行動特性／[正] 浜岡 秀勝・平野 亮介・萩原 亨
 IV-215 信号交差点での歩行者の違法意識について／北海学園大学 [正] 石田 信寿・築瀬 範彦
 IV-216 横浜国立大学学生のバイク利用実態と事故防止に関する研究／横浜国立大学 [学] 原田 慎吾・中村 文彦・岡村 敏之
 IV-217 トルコによるカウントダウン式信号機の発達挙動分析／名古屋工業大学 [学] 于 柯・藤田 素弘・鈴木 弘司
 IV-218 中国によるカウントダウン式信号機の実態評価／名古屋工業大学 [正] 藤田 素弘・于 柯・黄 明霞

IV-4 (工学部講義棟・総合研究棟2の26)／9月8日(木)

■移動環境と情報／8:40～10:10／小根山 裕之(首都大学東京)

- IV-219 車両検知器データを用いた渋滞予測手法の検討／阪神高速道路 [正] 佐藤 美希・萩原 武司・宇野 元浩
 IV-220 蓄積データに基づく都市高速道路における所要時間の予報手法の検討／名城大学 [学] 日比野 亮・松本 幸正
 IV-221 車両検知器データを用いた実所要時間推定手法に関する検証／阪神高速道路 [正] 萩原 武司・Kitazawa Toshihiko・Okada Naoya
 IV-222 阪神高速道路における高齢ドライバーに配慮した道路交通情報提供に関する検討／[正] 吉村 敏志・井上 徹・青木 俊文
 IV-223 主観的評価手法を用いた冬期道路の走行環境に関する研究／土木研究所 寒地土木研究所 [正] 高田 哲哉・徳永 ロベルト・高橋 尚人
 IV-224 道路利用者への冬期道路における走行環境情報の試験提供とその効果／土木研究所寒地土木研究所 [正] 武知 洋太・松澤 勝・川中 敏朗
 IV-225 ICTによる地域活性化を目指したSA・PAにおける情報収集／関西大学 [学] 高橋 亨輔・中津 功一朗・古田 均
 IV-226 SA・PAにおける地域活性化を目指したICTを用いた情報提供コンテンツの提案／関西大学 [学] 梅景 達也・中津 功一朗・古田 均

■バス・地域交通／10:25～11:55／加藤 博和(名古屋大学)

- IV-227 地方自治体の交通関連施策に関する全国調査から見える市町村合併の影響／金沢大学 [学] 上畑 雄太郎・高山 純一・中山 晶一郎
 IV-228 金沢バストリガー方式導入によるバス運行体系の課題に関する研究／金沢大学 [学] 山本 慎之介・高山 純一・中山 晶一郎
 IV-229 バス停間ODデータに基づくコミュニティバスの運行形態の影響分析～愛知県日進市「くるりんばす」をケーススタディとして～／名城大学 [学] 加藤 良介・松本 幸正
 IV-230 バスサービスの実現に向けた協働意識形成のための情報有効性に関する研究／和歌山工業高等専門学校 [正] 伊勢 昇・日野 泰雄・田和 裕
 IV-231 マーケティング手法による地域参加型バスロケーションシ

- システムのニーズに関する研究／〔正〕栗原 一暢・轟 朝幸・西内 裕晶
- IV-232 地域バス情報システム(Chi-Bus)の展開支援に関する研究／日本大学〔学〕遠藤 啓・西内 裕晶・轟 朝幸
- IV-233 雨天時のバス運行実態とサービス改善施策に関する研究／東京大学〔学〕安井 真太郎・高見 淳史・原田 昇
- IV-234 バス・ラピッド・トランジット導入による大気汚染物質等排出量の推計に関する研究〜タイ・バンコクとベトナム・ハノイとの都市圏における比較〜／日本大学〔学〕池下 英典・中村 友哉・福田 敦

IV-4 (工学部講義棟・総合研究棟2の26)／9月9日(金)

■交通と福祉・健康／8:40〜10:10／江守 央(日本大学)

- IV-235 健康問題を考慮した自動車社会のあり方について／関西大学〔正〕井ノ口 弘昭・秋山 孝正
- IV-236 更なる高齢化に配慮した公共交通に関する研究／広島工業大学〔正〕大東 延幸・中村 和成
- IV-237 防火水槽熱を利用した病院のバリアフリー歩道―平成22年度冬期の融雪・凍結防止状況―／福井大学〔正〕藤本 明宏・福原 輝幸・谷口 晴紀
- IV-238 特別支援学校の通学実態からみた知的障害者のための交通施設整備のあり方に関する研究／〔学〕大家 和美・中村 文彦・岡村 敏之
- IV-239 モバイルマッピングシステムを用いた歩道の平坦性評価に関する研究／日本大学〔学〕佐藤 友彦・佐田 達典・石坂 哲宏
- IV-240 日常生活支援マップの作成に関する基礎研究／国際航業〔正〕椎名 主税・長田 哲平・関本 晃平
- IV-241 バンコク中低所得者層地区における救急搬送トリップの実態に関する研究／首都大学東京〔学〕西坂 直子・中村 文彦・岡村 敏之

■駅・駐車場／10:25〜11:55／柴田 宗典(鉄道総合技術研究所)

- IV-242 列車到着時に発生する特徴的な階段の流動特性に関する一考察／JR東日本〔正〕武村 譲・園部 裕樹・市毛 健
- IV-243 多客駅における移動円滑化のための乗客流動解析―大阪市営地下鉄・淀屋橋駅の事例―／大阪市交通局〔正〕酒田 直哉・牧内 奈津子・島 拓造
- IV-244 東京駅八重洲広場基本計画―レイアウト比較検討―／JR東日本〔正〕堀田 大貴・川幡 嘉文
- IV-245 交通ICカードの利用実態とその意識に関する基礎的研究／福岡大学〔学〕渡邊 謙治・松浦 宏明・辰巳 浩
- IV-246 利用目的に着目した駅前広場改善項目の比較分析／名城大学〔学〕宮地 祐麻・松本 幸正・古井 良典
- IV-247 京都の歴史的都心地区における荷さばき駐車実態に関する分析／立命館大学〔学〕大野 孝太・堂本 祐輔・塚口 博司

IV-5 (工学部講義棟・総合研究棟2の27)／9月7日(水)

■土木史／10:25〜11:55／樋口 輝久(岡山大学)

- IV-248 大型振動台実験に基づく城郭石垣の安定性評価手法の一提案／ハザマ〔正〕山本 浩之・笠 博義・西形 達明
- IV-249 3Dスキャナー計測による城郭石垣高さの推定／関西大学〔学〕井上 貴玄・西形 達明・山本 浩之
- IV-250 歴史的鋼橋における耐震補強に関する調査／〔学〕関口 尚希・五十畑 弘・近藤 祐斗
- IV-251 中国の歴史的治水策の日本への影響について―漢代・賈讓三策と明代・東水攻沙論―／神戸大学〔正〕神吉 和夫
- IV-252 日本統治下の台湾における烏山頭ダム建設及び八田與一氏に関する考察／正修科技大学〔正〕柯 武徳・莫 素微
- IV-253 西欧近代工学の成立と工学教育Formation of the modern engineering science／地域開発学研究所〔F〕島崎 武雄
- IV-254 ガラス窓が現れるのはローマ時代からである。35億年前地球に生命が出現したのもその後の進化も量子論的思考によって説明出来る。生命細胞の挙動と生命のホメオスタシスも同断である。生命の未来は未定だ。／井上達明建築事務所〔正〕井上 達明

■景観分析・評価／12:40〜14:10／岡田 昌彰(近畿大学)

- IV-255 β 波を用いた都市公園景観によるストレス変化の評価／東京都市大学〔学〕草柳 満・上金 祐・皆川 勝
- IV-256 唾液アミラーゼを用いて車窓景観によるストレス変化の評価。／東京都市大学〔学〕阿部 哲・皆川 勝・新山 謙
- IV-257 ひたちなか市の4地域を対象とした色彩景観分析／茨城大学〔学〕御園 能弘・小柳 武和

- IV-258 都市景観の変動要因から見た夕暮れ時の抽出と分析／ジョイマン〔正〕杉山 剛・田中 一成・吉川 眞
- IV-259 江戸城外濠周辺地区における景観評価の定量化／法政大学〔学〕林 祐徳・宮下 清栄・新堀 未生
- IV-260 大阪における緑の拠点とシークエンス景観分析／〔正〕荒木 実穂・吉川 眞・田中 一成
- IV-261 MMSデータを用いた建物サーフェイスモデルの構築／大阪工業大学〔正〕天野 貴文・吉川 眞・平尾 公孝
- IV-262 京における路地空間の把握／大阪工業大学〔学〕高岡 光太郎・吉川 眞・田中 一成

■景観・デザイン／14:25〜15:55／真田 純子(徳島大学)

- IV-263 筑波研究学園都市のつくば方式植栽の街路樹について／東京農業大学〔正〕山崎 元也・長山 和未
- IV-264 シーニックバイウェイ北海道ルートの道路景観の保全に関する研究／中央大学〔正〕浅田 拓海・石田 眞二・亀山 修一
- IV-265 ラフ集合とフラクタル次元を用いた橋梁の定量的景観評価に関する研究／高知工業高等専門学校〔正〕勇 秀憲・中越 智紀
- IV-266 新幹線の駅舎デザインが周辺の景観形成に与える影響―駅近傍の建築物を対象に―／芝浦工業大学〔学〕喜多 峻平・秋山 岳・岩倉 成志
- IV-267 水都大阪の時空間分析と変遷景観／〔正〕松村 隆範・吉川 眞・田中 一成
- IV-268 大阪における祭礼空間の分析／〔学〕石田 圭太・吉川 眞・田中 一成
- IV-269 現代大阪における景観資源の再発見／大阪工業大学〔学〕中嶋 俊輔・吉川 眞・田中 一成
- IV-270 近世鎌倉絵図の描写にみる観光対象および旅行者の空間認識の変容に関する研究／日本大学〔正〕押田 佳子・天野 光一・飯塚 陽生

IV-5 (工学部講義棟・総合研究棟2の27)／9月8日(木)

■地区内交通／8:40〜10:10／元田 良孝(岩手県立大学)

- IV-271 保育園利用者を対象とした乳幼児連れの人々の移動の現状に関する基礎的研究／福岡大学〔学〕岡 泰佑・辰巳 浩・堤 香代子
- IV-272 徒歩・自転車に着目した全国地方都市の交通特性の比較分析に関する研究／横浜国立大学〔学〕門倉 孝行・中村 文彦・岡村 敏之
- IV-273 都市における自転車分担率に影響を与える要因に関する研究／〔学〕藤原 磨名夢・吉井 稔雄・麻生 雅之
- IV-274 持続可能なコミュニティサイクル実現のための調査方法／日建設計シビル〔正〕澤田 基弘・大森 高樹・古市 正典
- IV-275 区民意見を踏まえた世田谷区自転車等の利用に関する総合計画の施策展開／日建設計シビル〔正〕佐々木 正義・大森 高樹
- IV-276 大学生を対象としたカーシェアリングの可能性に関する基礎調査／福井大学〔正〕川本 義海・鈴木 勇人・三寺 潤
- IV-277 ネットワークボロノイ図を用いた電気自動車の充電施設配置に関する研究／北見工業大学〔学〕栗栖 嵩・高橋 清・大波 拓也
- IV-278 観光ツアーにおけるパーソナルトランスポーターの導入可能性に関する研究／日本大学〔正〕轟 朝幸・斎藤 和仁・西内 裕晶

■国土・都市分析／10:25〜11:55／土井 健司(香川大学)

- IV-279 国土計画の評価に関する基礎的研究／東京都市大学〔学〕松井 厚一郎・高松 亨
- IV-280 異なる分析スケールでの市街地集積度分析の適用性／摂南大学〔学〕林 優弥・熊谷 樹一郎・森 翔吾
- IV-281 日野市における新たな農地評価指標の検討／法政大学〔学〕岩本 誠史・宮下 清栄・牧野 立平
- IV-282 集約型都市構造への転換に向けた住宅立地の空間分析／〔学〕吉田 知樹・河本 悠至・白井 春光
- IV-283 駅に着目した都市構成の分析と評価／大阪工業大学〔学〕野間田 享平・田中 一成・吉川 眞
- IV-284 商業集積地における街路の接続関係と店舗構成の実証分析／首都大学東京〔正〕小根山 裕之・田中 草平・高松 誠治
- IV-285 最寄品の買物行動を支援するための買物不便地域の抽出に関する研究／日本大学〔正〕長田 哲平・椎名 主税・藤原 康史
- IV-286 路上犯罪の発生と道路構造との関係に関する基礎的研究／日本大学〔学〕仲澤 昇司・小早川 悟

IV-5 (工学部講義棟・総合研究棟2の27) / 9月9日(金)

■中心市街地活性化・市街地整備 / 8:40~10:10 / 高見 公雄(法政大学)

- IV-287 日帰り郊外型観光都市における中心市街地の比較研究 / 法政大学 [学] 外村 剛久・宮下 清栄
- IV-288 地方都市における中心市街地の近年の人口回帰の実態 / 東京都市大学 [学] 前田 元史・中村 隆司
- IV-289 中心市街地の再生—商業機能の面からの検討— / 東京都市大学 [学] 畠山 美紗子・中村 隆司
- IV-290 多摩ニュータウンにおけるセンター計画の事後評価 / 横浜国立大学 [学] 中本 侑香子・中村 文彦・岡村 敏之
- IV-291 上海の郊外ニュータウンの整備実態に関する基礎的研究 / 日本大学 [学] 脇 瑩・大沢 昌玄・岸井 隆幸
- IV-292 地方都市の地区計画に対する住民の意識分析 / 秋田大学 [正] 鈴木 雄・安藤 洋希・日野 智
- IV-293 土地区画整理事業に伴う住民の居住環境意識に関する分析 / 豊田工業高等専門学校 [正] 野田 宏治・井ノ口 弘昭・大森 峰輝
- IV-294 流域下水道施設上部地の有効活用 / 大阪府 茨木土木事務所 [F] 藤村 隆太郎

■観光・地域活性化 / 10:25~11:55 / 氏原 岳人(岡山大学)

- IV-295 観光客からみた余暇時間における観光の重みに関する考察

- IV-296 / 福井工業大学 [学] 喜田 将伍・片柳 澄明・和田 章仁
観光圏における観光客の広域周遊行動に関する研究 / 名城大学 [学] 佐藤 翔太・山岡 優加理・鈴木 温
- IV-297 富士山観光を事例とした訪日観光客の言語バリアフリーに関する一考察 / オリエンタルコンサルタンツ [正] 村山 直輝・五反田 八紘・近藤 浩治
- IV-298 観光地内における職員のためのパーソナルトランスポーターの導入とその利用状況—高知県立のいち動物公園での導入を例に— / 日本大学 [正] 西内 裕晶・永原 三博・轟 朝幸
- IV-299 観光地における駐車場配置に関する基礎的研究—富士宮市を事例として— / 日本大学 [学] 林 由宇
- IV-300 地方部への移住者にみる田舎暮らしの魅力と移住支援の取り組み—鳥取県日南町を事例として— / 八千代エンジニアリング [正] 橋本 亮・神永 希・大橋 幸子
- IV-301 参加型イベントによるソーシャル・キャピタルの醸成に関する研究—宮崎県で開催される杉コレクションを対象として— / 宮崎大学 [学] 石井 豊・吉武 哲信・出口 近士
- IV-302 地方部への移住者にみる田舎暮らしの魅力と移住支援の取り組み—鹿児島県垂水市を事例として— / 八千代エンジニアリング [正] 神永 希・大橋 幸子・湯原 麻子

第V部門

土木材料、舗装工学、コンクリート工学、コンクリート構造など

V-1 (共通教育講義棟講11) / 9月7日(水)

■補修・補強(材料)(1) / 8:40~10:10 / 佐々木 巖(土木研究所)

- V-001 表面の湿潤状態とエポキシ樹脂によるひび割れ補修の遮塩効果との関連について / 電力中央研究所 [正] 松井 淳・堀江 正人・嶋田 隆一
- V-002 損傷と初期欠陥を有する鉄筋コンクリートはり部材の環境・荷重作用負荷実験(その3)環境作用負荷22ヶ月目における塩化物イオン濃度と材料劣化の評価 / 電力中央研究所 [正] 松尾 豊史・松村 卓郎・藤井 隆
- V-003 飛来塩分環境下のPC上部工に予防保全として適用した表面保護工の検証 / ネクスコ・エンジニアリング新潟 [正] 野上 克宏・渡辺 二夫・塚越 光二
- V-004 供用10年を経た新設電気防食橋梁の追跡調査結果 / 日本工営 [正] 松山 公年・吉川 進・以倉 直隆
- V-005 供用10年を経た塩害暴露供試体の追跡調査結果 / 国土交通省 [正] 吉川 進・高井 謙一・柴澤 一嘉
- V-006 ポストテンションPCT桁端部の脱塩工法による補修効果 / 電気化学工業 [正] 松久保 博敬・松井 隆行・野島 昭二
- V-007 LiNO₂を用いたPCグラウト未充てん部の補修方法に関する実験的検討 / ビーエス三菱 [正] 鴨谷 知繁・青山 敏幸・石井 浩司
- V-008 塩害で損傷したトンネル中床版等の補修 / 首都高速道路 [正] 蔵治 賢太郎・吉崎 龍太郎・松田 宏一

■補修・補強(材料)(2) / 10:25~11:55 / 岸 利治(東京大学)

- V-009 けい酸塩系表面含浸材を用いたコンクリートのスケールング抵抗性に関する研究 / 八戸工業大学 [正] 阿波 稔・渡邊 浩平・太田 晃博
- V-010 けい酸塩系表面含浸材の塗布が鋼材の腐食抑制に及ぼす効果 / 金沢工業大学 [学] 黒岩 大地・宮里 心一・高島 達行
- V-011 EPMAを用いたコンクリート表面含浸材の塩化物イオン拡散予測 / 高速道路総合技術研究所 [正] 浅井 貴幸・竈本 武弘・落合 光雄
- V-012 ひび割れを有する鉄筋コンクリートのシラン系含浸材による鉄筋腐食抑制に関する実験 / 電力中央研究所 [正] 松村 卓郎・松尾 豊史
- V-013 シラン系表面含浸材の含浸層の改質効果の評価 / 金沢工業大学 [正] 堀田 稔・久保田 憲・宮里 心一
- V-014 シラン系浸透性吸水防止剤の性能評価 / 日本シーカ [正] 御領園 悠司・戸上 郁英・伊達 重之
- V-015 種々の表面含浸材を用いた含浸材の迅速性能評価に関する検討 / 金沢大学 [学] 橋本 庄一朗・久保 善司・井上 雅喜
- V-016 亜硝酸系補修剤のコンクリートへの浸透性に関する基礎的研究 / 北見工業大学 [正] 井上 真澄・須藤 裕司・鮎田 耕一

■補修・補強(材料)(3) / 12:40~14:10 / 瀬野 康弘(東急建設)

- V-017 補修後の再びひび割れに対応可能な自己治癒する無機系ひび割れ漏水補修工法に関する研究 / 東京大学 [正] 安 浩治・橋本 達朗・森田 卓

- V-018 フライアッシュコンクリートのひび割れ自己治癒効果に関する基礎的研究 / 名古屋大学 [学] 姜 忠賢・国枝 稔・上田 尚史
- V-019 内圧充填接合補強工法による断面欠損を有するRCスラブの補修効果 / 東京工業大学 [学] 渡邊 祥庸・松本 浩嗣・二羽 淳一郎
- V-020 モルタル吹付け法面におけるクラック補修材料を用いた現場実験 / 福井県雪対策・建設技術研究所 [正] 久保 光・荒井 克彦・高市 恭規
- V-021 コンクリートのひび割れ注入材・揺変性中粘度エポキシ樹脂THKの開発 / ハザマ [正] 村上 祐治・堤 知明・久 修
- V-022 高圧注入によるセメント系ひび割れ注入材の充填性に関する実験的検討 / ジオスター [正] 横尾 彰彦・佐藤 智・仁尾 文彦
- V-023 リチウム含有ゼオライト添加ひび割れ注入材のアルカリシリカ反応抑制効果 / 鉄道総合技術研究所 [正] 水野 清・上原 文樹・佐藤 隆恒
- V-024 鉄筋の付着性状に与えるエポキシ樹脂注入ひび割れ補修の影響 / 北海道大学 [学] 山本 健太・古内 仁・張 大偉

■補修・補強(材料)(4) / 14:25~15:55 / 松村 卓郎(電力中央研究所)

- V-025 25年間供用されたクロロブレンゴム系表面被覆工法の塗膜の耐久性 / オリエンタル白石 [正] 二井谷 教治・鬼頭 剛・八木 裕明
- V-026 ゴムラテックスモルタルの収縮特性およびひび割れ抵抗性の評価 / 太平洋マテリアル [正] 杉野 雄亮・大垣 賀津雄・小出 宜央
- V-027 各種表面保護工法の併用が補修効果に与える影響に関する研究 / 福岡大学 [正] 榎原 弘貴・添田 政司・大和 竹史
- V-028 亜硝酸Liがポリマーセメントモルタルに与える影響に関する研究 / 福岡大学 [学] 行徳 圭洋・添田 政司・榎原 弘貴
- V-029 乾式および湿式PCM吹付け工法によるRC橋脚の耐震補強に関する実験的研究 / 住友大阪セメント [正] 若杉 三紀夫・日野 伸一・三上 光司
- V-030 ペーパーラッジ焼却灰を用いたガラス繊維補強セメント複合材料について / 熊本大学 [学] 迫 綾子・重石 光弘・笹原 慎二
- V-031 コンクリート製の鉄道高欄を対象とした表面補強工法の実物大試験 / 大林組 [正] 小松 雄一・松本 光矢・谷村 幸裕
- V-032 ひび割れの発生した既設梁部において下面増圧補強を施した際の破壊形態 / 北海道大学 [学] 島中 悠企・上田 多門・古内 仁

V-1 (共通教育講義棟講11) / 9月8日(木)

■非破壊試験法(1) / 8:40~10:10 / 岩野 聡史(リック)

- V-033 非破壊によるコンクリート強度の推定—ブリネル硬度と機械インピーダンス / [正] 境 友昭・久保 元樹・久保 元

- V-034 弾性波法を用いた施工打継部の性能評価手法の検討／飛鳥建設 [正] 桃木 昌平・寄川 光博・寺澤 正人
- V-035 繊維補強コンクリートの健全性評価への弾性波法の適用性に関する検討／飛鳥建設 [正] 寄川 光博・桃木 昌平・蔡華堅
- V-036 鋼繊維補強モルタルの繊維分布状況の非破壊評価への弾性波法の適用／大阪大学 [学] 岩崎 俊樹・内田 慎哉・鎌田 敏郎
- V-037 電磁パルス法に基づくPCグラウト充填評価手法における評価指標の有効性の解析的検討／大阪大学 [正] 内田 慎哉・鎌田 敏郎・角田 瑠
- V-038 鉄道橋におけるPC横締グラウト充填状況評価のための衝撃弾性波法試験の精度向上／東海旅客鉄道 [正] 金谷 大樹・佐藤 浩二・津田 英朗
- V-039 弾性波によるPCグラウト充填状況調査法に関する実験的研究／施工技術総合研究所 [正] 榎園 正義・谷倉 泉・野島 昭二
- V-040 音響探査法を用いたコンクリート表層欠陥探査技術の開発／佐藤工業 [正] 歌川 紀之・赤松 亮・杉本 恒美

■非破壊試験法(2)／10:25～11:55／大島 義信(京都大学)

- V-041 コンクリート強度の推定—インピーダンス法とリバウンド法—／日東建設 [正] 久保 元樹・久保 元・金田 重夫
- V-042 機械インピーダンス法による劣化コンクリートの省力化強度測定手法の検討／北見工業大学 [正] 岡田 包儀・久保 元・久保 元樹
- V-043 双方向の弾性波速度測定によるコンクリート内部欠陥探査方法の検討／リック技術研究所 [正] 岩野 聡史・堀口 賢一・梁 俊
- V-044 微小欠陥が多重反射の周波数・波形に及ぼす影響／東洋計測リサーチ [正] 山下 健太郎・極禮 邦夫・境 友昭
- V-045 鋼球による打撃応答を用いた鉄筋腐食評価に関する実験的検証／防衛大学校 [学] 遠山 和一郎・山本 佳士・黒田 一郎
- V-046 鋼球径と周波数分析方法がコンクリート版厚推定に与える影響／ジェイアル東海コンサルタンツ [正] 加藤 信二・稲熊 唯史・鎌田 敏郎
- V-047 鋼球による打撃方法がコンクリート版を伝播する弾性波の周波数特性に与える影響／ジェイアル東海コンサルタンツ [正] 稲熊 唯史・加藤 信二・鎌田 敏郎
- V-048 SIBIE法における衝撃入力装置の定量的特性評価／熊本大学 [学] 園田 崇博・山田 雅彦・大津 政康

V-1 (共通教育講義棟講11)／9月9日(金)

■非破壊試験法(3)／8:40～10:10／横田 優(四国総合研究所)

- V-049 電磁波レーダ法スケルカデータによる腐食鉄筋の検知について／ジオ・サーチ [正] 岡本 順平・谷村 佳則
- V-050 電磁波による塩分量推定の実構造物への適用に向けた検討／コンクリート材料実験室 [学] 池田 大樹・村田 和哉・野嶋 潤一郎
- V-051 磁気法片面診断による隅角部鉄筋破断の判断基準に関する研究／京都大学 [学] 長谷川 真侑・服部 篤史・寺澤 広基
- V-052 超音波アレクセンサによるコンクリート内部の欠陥検出／高田機工 [正] 鷹羽 新二・内田 慎哉・鎌田 敏郎
- V-053 導電塗料によるRC構造物の鉄筋腐食検知手法に関する基礎的研究／鉄道総合技術研究所 [正] 大石 健太郎・仁平 達也・曾我部 正道
- V-054 光学的全視野ひずみ計測法を用いた鉄筋腐食モニタリングに関する一実験／佐賀大学 [学] 谷本 健太・伊藤 幸広・原田 耕司
- V-055 格子鉄筋の分極抵抗測定時の電流分布シミュレーション／日鐵テクノロジーサーチ [正] 金田 尚志・松岡 和巳
- V-056 自然電位法による鉄筋腐食推定に関する一考察／鉄道総合技術研究所 [正] 飯島 亨・玉井 譲・上田 洋

■非破壊試験法(4)／10:25～11:55／服部 篤史(京都大学)

- V-057 表面吸水試験における水頭及び試験開始時間の影響／横浜国立大学 [学] 藤原 麻希子・林 和彦・細田 暁
- V-058 表面色によるコンクリート表層部の水分移動特性評価／鉄道総合技術研究所 [正] 西尾 壮平・上田 洋・岸 利治
- V-059 分光分析法による実橋梁の診断システムの開発／IHIインフラシステム [正] 戸田 勝哉・中村 善彦・倉田 孝男
- V-060 携帯型成分分析計によるコンクリート表面の塩化物イオン濃度測定の適用性／中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋 [正] 青山 實伸・北川 勝明
- V-061 ステレオによるコンクリート表面のひび割れ幅計測／芝浦工業大学 [学] 山下 大道・中川 雅史・勝木 太

- V-062 パッシブサーモグラフィ法による降雨後の乾燥過程が及ぼすコンクリート診断／日本大学 [学] 川久保 政亮・柳内 睦人・金光 寿一
- V-063 熱赤外線サーモグラフィを用いたコンクリート構造物内部の欠陥の評価方法に関する基礎的考察／九州大学 [学] 渡邊 達郎・園田 佳巨
- V-064 ハイブリッド非破壊試験法による鉄筋腐食評価の実用化／熊本大学 [学] 小拂 智絵・川崎 佑磨・北浦 美涼

■凍結融解／15:00～16:30／阿波 稔(八戸工業大学)

- V-065 OMRSの置換率がコンクリートの凍結融解抵抗性に与える影響／東北学院大学 [学] 及川 大地・武田 三弘・大友 鉄平
- V-066 フライアッシュコンクリートの曝露試験による耐凍害性について／北海道電力 [正] 安藤 睦・齋藤 敏樹・今井 和宏
- V-067 養生条件がコンクリートの凍結融解抵抗性に及ぼす影響について／土木研究所寒地土木研究所 [正] 吉田 行・田口 史雄
- V-068 鉄筋コンクリートの凍結融解抵抗性に関する基礎的研究／東北大学 [学] 王 倍・内藤 英樹・山洞 晃一
- V-069 凍害環境下におけるコンクリートへの凍結防止剤由来塩分の浸透性状／北海道大学 [学] 大竹 康広・横田 弘・橋本 勝文
- V-070 スケーリングの進行性の簡易判定評価式の提案／寒地土木研究所 [正] 遠藤 裕丈・田口 史雄・名和 豊春
- V-071 凍害劣化を受けたRCはり部材の耐荷力等に関する基礎的研究／土木研究所寒地土木研究所 [正] 林田 宏・佐藤 靖彦
- V-072 補修したコンクリート構造物の凍害による再劣化診断手法に関する検討／土木研究所寒地土木研究所 [正] 内藤 勲・田口 史雄・畠 秀樹

V-2 (共通教育講義棟講12)／9月7日(水)

■耐火性／8:40～10:10／小澤 満雄(岐阜大学)

- V-073 MMSTにおける仕切壁の耐火性能(その1) [小型実験]／首都高速道路 [正] 吉川 直志・浅野 靖・佐藤 充弘
- V-074 MMSTにおける仕切壁の耐火性能(その2) [大型実験]／大成建設 [正] 佐藤 充弘・吉川 直志・浅野 靖
- V-075 耐火板を取付けたトンネルの車両火災による構造部材の損傷に関する一考察／早稲田大学 [学] 小林 康之・清宮 理
- V-076 火災時におけるコンクリートの変形挙動に関する解析的研究／大成建設 [正] 河村 圭亮・福浦 尚之・鈴木 三馨
- V-077 湿式吹付け耐火被覆材を設置したコンクリート充填鋼殻構造の熱伝達解析／JIPテクノサイエンス [正] 中井 章裕・清宮 理
- V-078 熱応力測定によるコンクリートの爆裂評価方法に関する実験的検証／太平洋マテリアル [正] 谷辺 徹・菊地 弘悦・鎌田 亮太
- V-079 ポリプロピレン短繊維を現場添加したコンクリートの耐火性／大林組 [正] 屋代 勉・田坂 幹雄・香川 敦
- V-080 水セメント比とポリプロピレン短繊維の混入率が爆裂抵抗性に及ぼす影響／大林組 [正] 久末 賢一・香川 敦・屋代 勉

■せん断(1)／10:25～11:55／松本 浩嗣(東京工業大学)

- V-081 混和材を高含有した環境配慮型コンクリートの構造特性／大林組 [正] 佐々木 一成・野村 敏雄・阿部 論史
- V-082 鋼管で拘束した無筋コンクリートの押し抜きせん断耐力に関する実験的検討／東日本旅客鉄道 [正] 井口 重信・坂本 真紀
- V-083 縁端部を縮小した組杭の正負交番荷重実験の評価／九州工業大学 [学] 木下 和香・幸左 賢二・清水 英樹
- V-084 直接支持されたフーチングの有効幅がせん断耐力に与える影響について／鉄道・運輸機構 [正] 進藤 良則・玉井 真一・石井 秀和
- V-085 せん断力に対する杭基礎フーチングの有効幅に関する一考察／鉄道総合技術研究所 [正] 田所 敏弥・轟 俊太郎・谷村 幸裕
- V-086 複合荷重下における断面形状の異なるRC柱部材の炭素繊維補強効果に関する実験的研究／九州大学 [学] 田村 康行・大塚 久哲・篠島 隆司
- V-087 ねじりと曲げ・せん断を同時に受けるRC部材の破壊性状と補修に関する一考察／立命館大学 [学] 前田 祐助・加藤 慎介・岡本 享久
- V-088 せん断破壊後の残留ひび割れ幅が補修後の挙動に及ぼす影響／中部大学 [学] 高西 祥幸・伊藤 睦

■せん断(2)・プレストレストコンクリート(1)／12:40～14:10／渡辺 健(鉄道総合技術研究所)

- V-089 地盤に埋め込んだ超高耐力RC杭の正負交番荷重実験／東北大学 [学] 長谷川 俊・荒川 岳・秋山 充良
- V-090 地盤に埋め込んだRC杭の損傷と固有振動数の関係／東北大学 [学] 渡辺 孝和・荒川 岳・長谷川 俊
- V-091 プレストレスを導入した部材の定量的な疲労照査に関する研究／ピーエス三菱 [正] 藤田 知高・玉越 隆史
- V-092 RCはりのせん断強度に及ぼす収縮の影響／広島大学 [学] 中山 紘紀・兵頭 彦次・三谷 昂大
- V-093 ねじりと曲げの相関特性及びねじり非線形を考慮した動的解析手法の提案／九州大学 [学] 服部 匡洋・大塚 久哲
- V-094 上面増厚されたRCディーブビームのせん断耐力に関する荷重試験／鉄道総合技術研究所 [正] 轟 俊太郎・西岡 英俊・田所 敏弥
- V-095 分岐固有値解析に基づくRCはりの斜め引張破壊経路への分岐誘導／清水建設 [正] 長谷川 俊昭
- V-096 ひび割れ面のせん断伝達を考慮した鉄筋コンクリート造梁のマクロモデルの検討／飛鳥建設 [正] 高瀬 裕也・和田 俊良

■プレストレストコンクリート(2)／14:25～15:55／青木 圭一(NEXCO 総研)

- V-097 反力PC鋼棒を一体化したプレストレス力入り中空PC鋼棒を用いたPRC梁の耐力確認試験／ジェイアール東日本コンサルタンツ [正] 岡田 典高・栗原 啓之・原 健悟
- V-098 エッジビームに配置されたシアラグ鋼材のプレストレス計測／川田建設 [正] 今井 平佐・吉松 秀和・稲葉 尚文
- V-099 鋼材腐食の生じたPCはりの曲げ耐荷性状に関する実験的研究／山梨大学 [学] 神津 和太・斉藤 成彦・緒方 紀夫
- V-100 鋼材腐食したプレテンションPCはりの曲げ荷重実験／長岡技術科学大学 [学] 陸 賢・田中 泰司・山口 貴幸
- V-101 ポストテンション方式PCはりの曲げ変形特性に与えるシース腐食の影響／京都大学 [学] 奥野 喜久・近藤 拓也・高谷 哲
- V-102 ESTIMATION FOR EFFECTIVE PRESTRESS IN PC SLABS OF KANMON ROADWAY TUNNEL／九州工業大学 [学] 鄭 玉龍・ZHENG Yulong・KOSA Kenji
- V-103 PC鋼より線の素線1本毎の切断および時間経過によるプレストレス残存割合の評価／ジェイアール東海コンサルタンツ [正] 木全 伯光・大島 義信・高谷 哲
- V-104 PC鋼材が破断したPC桁の曲げ耐力と破壊挙動に関する一考察／鉄道総合技術研究所 [正] 堀 慎一・渡辺 健・田所 敏弥

V-2 (共通教育講義棟講12)／9月8日(木)

■品質管理・検査・耐久性／8:40～10:10／呉 承寧(愛知工業大学)

- V-105 コンクリートの加圧によるブリーディング率の迅速な推定方法に関する基礎的検討／東亜建設工業 [正] 細田 勝也・田中 亮一・羽瀧 貴士
- V-106 新規凝結遅延剤によるコンクリート表面の洗出し可能材齢の延長／グレースケミカルズ [正] 岩城 圭介・吉川 裕明
- V-107 打継処理剤の性能評価に関する各種実験検討／五洋建設 [正] 酒井 貴洋・清宮 理・水谷 征治
- V-108 水平打継ぎ部の耐久性に関する研究／東京理科大学 [学] 染谷 望・斯波 明宏・三田 勝也
- V-109 CCDカメラ併用の自然流下充填方式によるPCグラウト注入／東日本高速道路 [正] 高久 英彰・安川 義行・及川 俊介
- V-110 打音振動法を用いた新設PC橋のグラウト充てん管理について／オリエンタル白石 [正] 渡瀬 博・高木 陽一・永田 健也
- V-111 高強度吹付けコンクリートの耐久性評価／大林組 [正] 三浦 律彦・石関 嘉一・竹田 宣典

■ポンプ圧送・締固め／10:25～11:55／細野 宏巳(三井住友建設)

- V-112 フライアッシュを混和材として用いたコンクリートのポンプ圧送性について／九州電力 [正] 山下 裕司・池田 浩一
- V-113 PVA短繊維混入軽量コンクリートのポンプ圧送性と耐凍害性／土木研究所寒地土木研究所 [正] 中村 拓郎・遠藤 裕丈・田口 史雄
- V-114 トンネル内配管基礎コンクリートにおける長距離圧送の実績について／戸田建設 [正] 松本 浩一郎・横山 晃弘・遠藤 武彦
- V-115 1,500級の超長距離圧送性に向けたコンクリートの実験的検討と施工実績／鹿島建設 [正] 渡邊 有寿・中園 直志・柿崎 智

- V-116 かぶりコンクリートへの内部振動機による振動の影響について／東亜建設工業 [正] 田中 亮一・清宮 理・酒井 貴洋
- V-117 フレッシュコンクリート中における振動加速度の測定方法に関する研究／大成建設 [正] 梁 俊・丸屋 剛・坂本 淳
- V-118 再振動締固め適用時間がコンクリート耐久性改善に与える影響／西武建設 [正] 白川 順菜・伊代田 岳史・成島 誠一
- V-119 パネ系減衰振動の特性を利用した再振動締固めに関する定量的モニタリング／西武建設 [正] 成島 誠一・伊代田 岳史・白川 順菜

V-2 (共通教育講義棟講12)／9月9日(金)

■温度応力(1)／8:40～10:10／鈴木 康範(住友大阪セメント)

- V-120 アーチ式コンクリートダムの変位挙動に関する解析的検討／東北学院大学 [正] 石川 雅美・柏谷 稔・安食 健志
- V-121 仕事量一定則に基づき膨張材の効果を考慮したFEM温度応力解析／名城大学 [学] 山口 将太・石川 靖晃
- V-122 膨張コンクリートの温度ひび割れ指数に関する解析的検討／太平洋コンサルタント [正] 倉内 英敏・谷村 充・丸山 一平
- V-123 仕事量一定則に基づいたCP法による膨張コンクリートの温度応力解析／名城大学 [学] 羽田 和香予・石川 靖晃
- V-124 マスコンクリート構造物の水和発熱に関する研究／長崎大学 [学] 上里 尚也・松田 浩・牧野 高平
- V-125 実測データを用いたマスコンクリートの温度応力解析の高精度化／東日本高速道路 [正] 青木 直・丸山 純一・阿部 泰典
- V-126 高炉スラグ微粉末の多量添加による温度ひび割れ抑制効果に関する検討／法政大学 [学] 竹内 直也・室野井 敏之・満木 泰郎

■温度応力(2)／10:25～11:55／溝渕 利明(法政大学)

- V-127 マスコンクリートへのブレイキング温度制御システムの適用／大成建設 [正] 角崎 義生・文村 賢一・坂本 淳
- V-128 低発熱・収縮抑制型高炉セメントにおける初期材齢の膨張を含む自己収縮予測に関する検討／デイ・シイ [正] 谷田 貝 敦・二戸 信和・宮澤 伸吾
- V-129 温度履歴を受ける各種ボルトランドセメントの温度ひずみの影響／名古屋大学 [学] 寺本 篤史・丸山 一平
- V-130 水和熱抑制剤を用いたコンクリートの基礎的性状／フローリック [正] 高田 良章・松沢 友弘・隅田 孝弘
- V-131 水和熱抑制剤を用いたコンクリートの温度応力解析の一考察／安藤建設 [正] 川中 政美・立山 創一・安部 弘康
- V-132 水力発電所バレルコンクリートの中性化と内部拘束温度ひび割れの関連の研究／開発設計コンサルタント [正] 野嶋 潤一郎・佐藤 孝史・篠原 雄一郎
- V-133 メッシュ分割が湿気移動解析の精度に及ぼす影響／仙建工業 [正] 二瓶 健太・石川 雅美

■付着・定着／15:00～16:30／長井 宏平(東京大学)

- V-134 縮尺鉄筋を用いたRCの付着特性に関する基礎実験／法政大学 [学] 橋本 亮良・細川 大介・満木 泰郎
- V-135 鉄筋の節性状がコンクリートとの付着に及ぼす影響／鉄道総合技術研究所 [正] 渡辺 健・高橋 健・田所 敏弥
- V-136 直角方向の補強筋および拘束圧がコンクリート中の異形鉄筋の付着性状に及ぼす影響／東京工業大学 [学] 森 誠・松本 浩嗣・二羽 淳一郎
- V-137 PREDICTED METHOD FOR BOND STRESS DEPENDED ON CRACK WIDTH IN CORRODED REINFORCED CONCRETE／中央大学 [学] 董 衛・大下 英吉・鈴木 修一
- V-138 繰返し荷重を受ける鉄筋とコンクリートの付着性状に及ぼす鉄筋腐食の影響に関する研究／中央大学 [学] 鈴木 綾・直 兼司・大下 英吉
- V-139 腐食した鉄筋とコンクリート間の繰返し荷重下における付着挙動に関する実験的研究／神戸大学 [学] 塩見 拓也・三木 朋広・近藤 克大
- V-140 後施工アンカー工法の削孔壁処理が孔壁面付着強度に与える影響の基礎的検討／ジェイアール東日本コンサルタンツ [正] 山下 修史・小林 薫・鈴木 雄大
- V-141 多軸繊維シートとコンクリートの付着性状の定量評価／金沢工業大学 [学] 村崎 通彦・宮里 心一・堀本 歴

V-3 (共通教育講義棟講13)／9月7日(水)

■維持管理／8:40～10:10／日比野 誠(九州工業大学)

- V-142 積雪寒冷地における打継ぎ補修コンクリートの付着性能に

- ついて／土木研究所 寒地土木研究所 [正] 宮川 智史・三田村 浩・西 弘明
- V-143 鉄筋コンクリート構造物の鉄筋の発錆に関する基礎検討／東日本旅客鉄道 [正] 佐々木 尚美・小林 薫・山下 修史
- V-144 コンクリートコア採取による塩分浸透性状評価とその信頼性向上に関する研究／北海道大学 [学] 中村 一貴・横田 弘・橋本 勝文
- V-145 内部腐食を有する鋼管部材の残存耐力評価／東レ [正] 松井 孝洋・山田 聖志・松本 幸大
- V-146 無筋コンクリート構造物の性能評価に関する数値解析／北海道大学 [学] 山本 優里子・横田 弘・橋本 勝文
- V-147 コンクリート構造物に対する評点法の実務への適用に向けた検討／阪神高速道路管理技術センター [正] 前川 敬彦・久利 良夫・新名 勉
- V-148 損傷したPC箱桁橋プレキャストセグメント継目部の計測／首都高技術 [正] 布施 光弘・山本 泰幹・佐藤 あすみ
- V-149 プレストレストコンクリート道路橋の振動計測(一般国道8号能生大橋)／プレストレスト・コンクリート建設業協会 [正] 北野 勇一・北野 ユウイチ・酒井 崇行

■構造物調査・診断／10:25～11:55／木村 嘉富(土木研究所)

- V-150 既設RC共同溝の復元設計に関する基礎的研究／芝浦工業大学 [学] 毛塚 貴洋・勝木 太・魚本 健人
- V-151 建造後82年経過した神戸環のコンクリート試験／島根県コンクリート診断士会 [正] 松崎 靖彦・金村 誠・井田 豊
- V-152 残留ひび割れ幅に基づく鉄筋コンクリート構造物の地震応答変位の推定／電力中央研究所 [正] 宮川 義範・松村 卓郎・堀江 正人
- V-153 老朽化した昭和29年架設RC橋の現有耐荷力照査／建設技術研究所 [正] 岸村 和守・黒岩 伸年・大塚 弘之
- V-154 長年月経過したPCT桁橋の各種調査／長崎大学 [学] 里輝紀・松田 浩・出水 享
- V-155 衝撃弾性波法を用いた既設PC橋のグラウト充填評価／中央コンサルタンツ [正] 神谷 建寛・鈴木 正樹・田中 誠一
- V-156 スケルカ技術を活用した橋梁床版劣化診断システムの開発と適用／ジオ・サーチ [正] 森田 英明・大野 敦弘
- V-157 コンクリート構造物の塩化物イオン濃度測定における近赤外分光法の適用／フジタ建設コンサルタント [F] 郡 政人・山本 晃臣・上田 隆雄

■劣化予測／12:40～14:10／加藤 絵乃(港湾空港技術研究所)

- V-158 電位拡散を考慮した腐食ひび割れ統合解析手法の構築に関する基礎的研究／名古屋大学 [学] 青山 達彦・中村 光・国枝 稔
- V-159 一般構造用鋼材と耐食性鋼材の腐食劣化特性に関する実験的研究／名古屋大学 [学] 森 達也・伊藤 義人・北根 安雄
- V-160 コンクリート中鉄筋の腐食検知センサの適用性の評価と活用法の提案／金沢工業大学 [学] 永井 一徳・宮里 心一・江里口 玲
- V-161 飛沫帯に位置するRC 部材の曲げ耐力に関する劣化予測手法とその妥当性の検証／大阪大学 [学] 木下 真一・内田 慎哉・鎌田 敏郎
- V-162 塩害劣化を受ける構造物の劣化モードを推定する確率論的手法の構築／東電設計 [正] 金谷 誠也・松島 学・横田 優
- V-163 既存RC構造物の変状から同定した中性化による鋼材の腐食速度／パシフィックコンサルタンツ [正] 松橋 宏治・松枝 修平・轟 俊太郎
- V-164 硫酸塩の浸入と硫酸イオンの拡散係数の変化／大成建設 [正] 大脇 英司
- V-165 トンネル覆工コンクリート中の水酸化カルシウムの溶脱に関する一考察／金沢工業大学 [学] 辻本 剛士・木村 定雄

■破壊力学・数値解析／14:25～15:55／田中 泰司(長岡技術科学大学)

- V-166 三角形分布の強制変形を受けるモルタル面の圧縮耐力に関する実験的検討／東日本旅客鉄道 [正] 鈴木 裕隆・渡辺 勉・渡部 太郎
- V-167 薄肉鉄筋コンクリート部材の曲げひび割れ耐力算定法のための引張軟化特性の把握／首都大学東京 [学] 川瀬 麻人・宇治 公隆・大野 健太郎
- V-168 高収縮骨材を用いたコンクリートの破壊エネルギー特性について／広島大学 [学] マチャリア マーティン・ムワンギ・太田 光貴
- V-169 破壊の局所化を伴う腐食RCはりの曲げ挙動FEM解析／山梨大学 [正] 高橋 良輔
- V-170 AFRP シート緊張接着RC梁の耐荷挙動に関する数値解析的研究／室蘭工業大学 [学] 氏家 友哉・岸 徳光・三上 浩
- V-171 支持条件の異なるRC版の静的耐荷挙動に関する弾塑性解析／室蘭工業大学 [正] 小室 雅人・岸 徳光・三上 浩

- V-172 鉄筋腐食の生じたRC床版に関する有限要素解析／弘前大学 [正] 上原子 晶久・子田 康弘・岩城 一郎
- V-173 メゾスケール解析による短繊維補強コンクリートの曲げ破壊挙動の検討／清水建設 [正] 小倉 大季・吉武 謙二・国枝 稔

V-3 (共通教育講義棟講13) /9月8日(木)

■連続繊維補強コンクリート(1)／8:40～10:10／山口 浩平(九州大学)

- V-174 波型CFRP板による定着工法の定着耐力に関する研究／三菱樹脂 [正] 長谷川 泰聰・久部 修弘・加藤 貴久
- V-175 CFRPプレートを付いた床版の疲労耐久性向上に関する研究／三菱樹脂 [正] 加藤 貴久・久部 修弘・三田村 浩
- V-176 ウレタン樹脂を有するストランドシート補強RCはりの曲げ挙動／北海学園大学 [正] 高橋 義裕・小林 朗・佐藤 靖彦
- V-177 CFRPストランドシートおよび高強度PPによるRC梁のせん断補強に関する実験／新日鉄マテリアルズ [正] 荒添 正棋・小林 朗・高橋 義裕
- V-178 シート目付量および導入緊張率の異なるAFRPシート緊張接着曲げ補強RC梁に関する実験的研究／室蘭工業大学 [学] 土佐 亮允・岸 徳光・三上 浩
- V-179 シート目付量および導入緊張率の異なるAFRPシート緊張接着曲げ補強PC梁の曲げ耐荷性状／室蘭工業大学 [正] 栗橋 祐介・岸 徳光・三上 浩
- V-180 表面処理の異なるAFRP板を用いた水中接着曲げ補強RC梁に関する静載荷実験／室蘭工業大学 [学] 池下 雄哉・岸 徳光・三上 浩
- V-181 板幅を変化させたAFRP板水中接着補強RC梁の曲げ耐荷性状に関する実験的研究／室蘭工業大学 [正] 工藤 雅史・岸 徳光・三上 浩

■連続繊維補強コンクリート(2)・補修補強(構造)／10:25～11:55／古賀 裕久(土木研究所)

- V-182 各種接着剤を用いた積層したCFRPストランドシートとコンクリートの付着特性／仲田建設 [正] 大野 智恵・日野 伸一・山口 浩平
- V-183 各種接着剤とCFRPストランドシートにより積層補強したRCはりの曲げ補強効果／さとうベネック [正] 中村 智・日野 伸一・山口 浩平
- V-184 長期屋外暴露試験における連続繊維補強材の見かけのリラクゼーション／土木研究所 [正] 佐々木 巖・西崎 到
- V-185 組紐状GFRPロッドの材料特性に関する考察／西松建設 [F] 小林 正典・椎名 貴快
- V-186 組紐状GFRPロッドを用いたコンクリートはりの重ね継手性能／西松建設 [正] 椎名 貴快・小林 正典
- V-187 CFGとアンカー筋を併用した補強におけるCFGの定着長の影響／福山大学 [正] 宮内 克之・秋田 政人・下枝 博之
- V-188 高靱性セメントボードによる既設高欄補修時のボード付着面積減少の影響／大林組 [正] 橋本 学・轟 俊太郎・曾我部 正道
- V-189 劣化した鋼板接着補強RC桁の耐荷力試験／土木研究所 [正] 吉田 英二・村越 潤・木村 嘉富

V-3 (共通教育講義棟講13) /9月9日(金)

■短繊維補強コンクリート(材料)(1)／8:40～10:10／内田 裕市(岐阜大学)

- V-190 RC床版上面増厚工法へ適用する高じん性繊維補強セメント複合材料の開発／トクヤマ [正] 古城 誠・加藤 弘義・青木 茂
- V-191 高じん性繊維補強セメント複合材料によるRC床版上面増厚工法の施工性確認試験／大林道路 [正] 小関 裕二・伊奈 義直・高橋 敏樹
- V-192 短繊維の後添加および振動締固めがコンクリート中の繊維の分散性に及ぼす影響／大林組 [正] 川西 貴士・近松 竜一・屋代 勉
- V-193 繊維の小さいポリプロピレン短繊維を少量添加した耐火コンクリートのはく落抵抗性／大林組 [正] 富井 孝喜・川西 貴士・三浦 律彦
- V-194 繊維補強コンクリートの剥落防止性能の検証／高速道路総合技術研究所 [正] 野島 昭二・浅井 貴幸・落合 光雄
- V-195 法面吹付の補修補強へのポリプロピレン繊維の現場施工試験／日特建設 [正] 池田 淳・窪塚 大輔・尾村 倫基
- V-196 法面吹付の補修補強へのポリプロピレン繊維の使用検討／ニューテック [正] 笹倉 博行・池田 淳・窪塚 大輔
- V-197 乾式吹付け工法による短繊維補強モルタルの力学的性能に

関する実験的研究／鹿児島大学〔学〕湯地 輝・山口 明伸・武若 耕司

■短繊維補強コンクリート(材料)(2)／10:25～11:55／宮里 心一(金沢工業大学)

- V-198 常温硬化型UFCのポンプ圧送試験および現場施工／大林組〔正〕石関 嘉一・平田 隆祥・淵田 安浩
V-199 常温硬化型超高強度繊維補強コンクリートの諸物性について／宇部興産〔正〕桐山 宏和・吉田 浩一郎・丸屋 英二
V-200 集束PBO繊維を使用した超高強度繊維補強コンクリートの基本性状／太平洋セメント〔正〕森 香奈子・河野 克哉・田中 敏嗣
V-201 UFCへの鋼繊維配合量に関する基礎研究／大成建設〔正〕武者 浩透・大熊 光・大島 邦裕
V-202 高靱性セメント材料による耐震補強法の検討／九州工業大学〔学〕尾崎 奨太
V-203 高靱性セメント複合材料に発生する微細ひび割れ開口挙動／東京都市大学〔学〕柴谷 勇貴・和田 綾香・栗原 哲彦
V-204 超高強度短繊維補強モルタルの曲げ疲労破壊性状／大阪市立大学〔学〕川上 順史・上田 真彦・角掛 久雄
V-205 繊維架橋力に着目したメゾスケール解析手法の高精度化／〔学〕杉本 勝哉・国枝 稔・中村 光

■短繊維補強コンクリート(材料／構造)(3)／15:00～16:30／大内 一(大阪市立大学)

- V-206 繊維補強コンクリート製楽器の基礎的研究／立命館大学〔正〕竹内 正喜・平尾 一樹・岡本 享久
V-207 超高強度繊維補強コンクリートによる大型部材製造(その1製造方法の検討)／宇部興産〔正〕玉滝 浩司・吉田 浩一郎・石関 嘉一
V-208 超高強度繊維補強コンクリートによる大型部材製造(その2実機プラントでの製造)／宇部興産〔正〕吉田 浩一郎・玉滝 浩司・石関 嘉一
V-209 鋼繊維補強RCはりの曲げ・せん断破壊挙動に関する研究／長崎大学〔学〕御舟 研二・松田 浩・板井 達志
V-210 収縮低減剤を添加した超高強度繊維補強コンクリートはり部材のせん断特性／太平洋セメント〔正〕河野 克哉・川口 哲生・森 香奈子
V-211 鋼繊維補強コンクリートRC部材の曲げ耐力に及ぼす鉄筋比の影響に関する研究／岐阜大学〔学〕大森 慎也・井口 裕介・内田 裕市
V-212 多量繊維補強コンクリート(HVFC)の圧縮破壊挙動評価／神戸大学〔学〕伊藤 司・三木 朋広
V-213 鉄道橋リニューアルにおける超高強度繊維補強コンクリートの世界初適用とその検証／大成建設〔正〕相浦 聡・森川 陽平・谷村 幸裕

V-4 (共通教育講義棟講21)／9月7日(水)

■塩害(1)／8:40～10:10／山路 徹(港湾空港技術研究所)

- V-214 コンクリート中の塩化物イオンの拡散に関する検討／法政大学〔学〕村田 和哉・池田 大樹・溝渕 利明
V-215 塩化物イオンの浸透に影響を与える要因の検討／立命館大学〔学〕豊田 亮太・池田 唯順・佐野 慶成
V-216 高炉スラグ微粉末の置換率および水結合材比が塩化物イオンの拡散性状に与える影響／JR東海(元芝浦工業大学)〔正〕松崎 晋一朗・伊代田 岳史
V-217 既存の高炉セメントコンクリート港湾構造物における塩化物イオンの浸透性状／東京工業大学〔学〕福永 隆之・斎藤 豪・大即 信明
V-218 コンクリートの見かけの塩化物イオン拡散係数と表面塩化物イオン濃度の関係に関する一考察／鹿児島大学〔学〕壽祐太郎・山口 明伸・武若 耕司
V-219 高強度領域のコンクリートの塩化物イオン実効拡散係数に関する実験的検討／九州大学〔学〕山時 翔・佐川 康貴・濱田 秀則
V-220 最大粗骨材寸法と浸漬期間がコンクリートへの塩分浸透のばらつきに与える影響／立命館大学〔学〕佐野 慶成・豊田 亮太・池田 唯順
V-221 イオン交換樹脂を混入したモルタルの塩化物イオン吸着性／埼玉大学〔学〕井上 喜仁・睦好 宏史・真田 修

■塩害(2)／10:25～11:55／上田 隆雄(徳島大学)

- V-222 実構造物におけるコンクリート表面塩分濃度の空間分布に関する検討／長岡技術科学大学〔正〕下村 匠・福地 大樹
V-223 海洋環境下におけるRC柱の鉛直方向の鉄筋腐食傾向／港湾空港技術研究所〔正〕審良 善和・山路 徹・小林 浩之

- V-224 海生物の付着によるコンクリートへの塩化物イオンの長期的な侵入抑制効果の検証／〔学〕内田 康平・下村 匠・岩波 光保
V-225 コンクリートと鋼矢板の境界面における塩化物イオン浸透性について／丸栄コンクリート工業〔正〕須藤 榮治・福手 勤・福田 道也
V-226 鉄筋界面の塩化物イオン浸透性に及ぼすブリーディングの影響／東京理科大学〔学〕荒木 大智・日浦 望・小林 莊太
V-227 長期暴露実験による中流動コンクリートの塩分浸透抵抗性および鋼材腐食抵抗性に関する検討／東亜建設工業〔正〕村松 道雄・佐野 清史・内藤 英晴
V-228 定期点検データから見た初期ひびわれが塩害損傷の発生及び進行に及ぼす影響／国土交通省〔正〕野村 文彦・玉越 隆史・星野 誠
V-229 長期間海洋暴露したエポキシ樹脂塗装鉄筋コンクリートの塗膜の性状に関する検討／東京大学〔正〕星野 富夫・上久保 通夫・岸 利治

■鋼材腐食(1)／12:40～14:10／山口 明伸(鹿児島大学)

- V-230 部分腐食が腐食ひび割れ発生腐食量に与える影響に関する研究／京都大学〔学〕齊藤 亮介・高谷 哲・山本 貴士
V-231 腐食ひび割れ発生限界腐食量の推定方法の評価／大成建設〔正〕松元 淳一・堀口 賢一・丸屋 剛
V-232 塩害加速期における鉄筋コンクリートの腐食速度の評価／大成建設〔正〕堀口 賢一・丸屋 剛
V-233 鉄筋腐食率に基づく腐食ひび割れ幅推定手法に関する研究／中央大学〔学〕足助 美岐子・大下 英吉・鈴木 修一
V-234 塩分を含むモルタル中に埋め込まれたPC鋼材の種類による腐食形態に関する検討／京都大学〔学〕多田 達弥・近藤 拓也・大島 義信
V-235 コンクリート中におけるステンレス鉄筋の腐食に関する研究／日本建設機械化協会〔正〕渡邊 晋也・谷倉 泉
V-236 腐食生成物の微視的観察による腐食環境評価に関する実験的検討／九州大学〔学〕池田 隆徳・濱田 秀則・佐川 康貴
V-237 部分断面修復を施した暴露供試体での鉄筋の腐食評価指標と鉄筋腐食の関係／若築建設〔正〕秋山 哲治・森 晴夫

■鋼材腐食(2)／14:25～15:55／久田 真(東北大学)

- V-238 軌道用コンクリート部材に与える鉄筋腐食の影響／鉄道総合技術研究所〔正〕高橋 貴蔵・測上 翔太・関根 悦夫
V-239 電食により鉄筋断面が半減したコンクリート梁の力学性状／金沢工業大学〔学〕佃 善彦・宮里 心一
V-240 腐食を有するコンクリート中の鉄筋の定着性能と補修方法に関する基礎研究／東京工業大学〔正〕松本 浩嗣・酒井 舞
V-241 施工後5年を経過した遮蔽型マクロセル腐食対策の効果／西日本高速道路〔正〕高橋 章・宮里 心一・梨本 竜太郎
V-242 高濃度シラン系浸透性吸水防止材の鉄筋腐食抑制性能に関する一実験／日本国土開発〔正〕佐原 晴也・宮内 克之・下枝 博之
V-243 PC部材中のシース腐食とコンクリート表面のひび割れに関する実験的検討／京都大学〔学〕鈴木 佑典・近藤 拓也・高谷 哲
V-244 腐食が生じたPC鋼材へのグラウト再注入効果による腐食抑制効果に関する検討／JR西日本〔正〕近藤 拓也・多田 達弥・山本 貴士
V-245 鋼3径間連続トラス橋コンクリート床版下面の剥落調査／本州四国連絡高速道路〔正〕龍池 利弘・貴志 友基・山根 彰

V-4 (共通教育講義棟講21)／9月8日(木)

■防食／8:40～10:10／審良 善和(港湾空港技術研究所)

- V-246 鉄筋コンクリートの暴露環境が内部鋼材の分極・復極特性に与える影響に関する基礎的検討／東洋大学〔学〕岡本 理沙・小野田 洋佑・福手 勤
V-247 電気防食における線状陽極の配置合理化に関する検討／ピーエス三菱〔正〕青山 敏幸・鴨谷 知繁・石井 浩司
V-248 犠牲陽極材による鉄筋腐食抑制範囲の検討／西日本旅客鉄道〔正〕吉田 隆浩・内田 康大・渡辺 佳彦
V-249 コンクリート構造物の諸条件が金属溶射型流電陽極方式電気防食法の防食効果に与える影響／住友大阪セメント〔正〕山本 誠・入江 隼輝・大窪 彰子
V-250 アルミニウム系流電陽極パネル方式電気防食工法の鉄道橋への適用試験における防食効果と温度変化の影響について／ナカボーテック〔正〕布田 仁美・篠田 吉央・大谷 俊介
V-251 道路橋に適用したアルミニウム系流電陽極パネル方式電気防食工法の防食効果について／ナカボーテック〔正〕田中 一弘・岩崎 隆

- V-252 電着防食を施工した鋼ケーソンへの電気防食の適用／本州
四国連絡高速道路 [正] 坂本 佳也・大川 宗男・宮口 典博
V-253 電気防食工法を適用して約20年経過した擁壁の追跡調査報告
／住友大阪セメント [正] 鈴木 康弘・山本 誠・鹿島 篤志

■複合劣化／10:25～11:55／野島 昭二(高速道路総合技術研究所)

- V-254 塩害と中性化の複合劣化を受けるコンクリート中の鉄筋腐
食速度の予測／香川大学 [学] 河井 勇樹・松島 学・松田
耕作
V-255 鋼橋RC床版における中性化と塩害の複合劣化の発生メカニ
ズム／中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋 [正] 有
馬 直秀・藤本 一成・石川 裕一
V-256 コンクリートの塩化物イオン移動性に及ぼす凍結融解の影
響／ [学] 太田 晃博・佐藤 宇泰・渡邊 浩平
V-257 複合劣化を受けたRCはりの曲げ耐荷性能に関する研究／
八戸工業大学 [正] 迫井 裕樹・阿波 稔・上原子 晶久
V-258 凍結防止剤散布環境下における実橋RC床版のコンクリ
ート性状の変化／ネクスコ・エンジニアリング東北 [正] 早
坂 洋平・羽原 俊祐・加藤 哲
V-259 融雪剤による塩害を受けた道路橋RC床版の疲労耐久性評
価／日本大学 [学] 前島 拓・子田 康弘・岩城 一郎
V-260 ASRと鋼材腐食による複合劣化が生じたRCはりの曲げ曲
げ耐荷挙動に関する研究／中日本ハイウェイ・エンジニア
リング東京 [正] 島津 祥徳・田中 秀明・三方 康弘
V-261 薬液注入材に含まれる硫酸塩による歩床コンクリートの劣
化調査／NTTインフラネット [正] 館野 哲・渡辺 龍一

V-4 (共通教育講義棟講21)／9月9日(金)

■耐久性一般(1)／8:40～10:10／渡辺 博志(土木研究所)

- V-262 高炉スラグ微粉末とフライアッシュを併用した三成分系コ
ンクリートの収縮特性および耐久性に関する実験的検討／
鹿児島大学 [学] 江口 康平・武若 耕司・山口 明伸
V-263 高炉スラグ微粉末やフライアッシュを高含有させたコンク
リートの中性化に関する一実験／大林組 [正] 近松 竜一・
阿部 論史・小林 利充
V-264 プレストレストコンクリート部材への高炉スラグ微粉末の
適用性検討(中性化抵抗性)／川田建設 [正] 鈴木 聡・北
野 勇一・堀池 一男
V-265 大気中または酸性河川中の実構造物におけるコンクリート
の中性化の性質の違い／東北大学 [学] 宮本 慎太郎・皆
川 浩・久田 真
V-266 PCT橋のグラウト充填不良部における鋼線腐食メカニ
ズムに関する実験的検討／神戸大学 [学] 白川 祐太・森川
英典・鴨谷 知繁
V-267 再アルカリ化後に施工した表面被覆工法の経年調査結果／
西日本旅客鉄道 [正] ノムラ ノリカズ・山田 卓司・荒木
弘祐
V-268 中性化状態が表面含浸材塗布による劣化進行抑制効果に及
ぼす影響／金沢工業大学 [学] 村谷 賢佑・宮里 心一・畔
柳 昌己
V-269 けい酸塩系表面含浸材を塗布したモルタルの耐酸性に関す
る化学的基礎検討／金沢工業大学 [正] 大嶋 俊一・大西
由人・東 美緒

■耐久性一般(2)／10:25～11:55／川端 雄一郎(港湾空港技術研究所)

- V-270 寸法の異なるスラグ細骨材を用いたコンクリートの物質移
動抵抗性に関する一考察／名古屋工業大学 [学] 鶴飼 貴
史・佐藤 寛之・吉田 亮
V-271 常温・高圧のCO₂環境下におけるセメント系材料の変質／
大成建設 [正] 宮原 茂樹・武田 均・丸屋 剛
V-272 コンクリート中の液状水浸潤および空隙構造が果たす塩化
物イオン拡散への影響／愛媛大学 [正] 岡崎 慎一郎・氏
家 勲
V-273 プリーディング水が鉄筋コンクリート中の鉄筋界面性状に
及ぼす影響／東京理科大学 [学] 小林 莊太・荒木 大智・
三田 勝也
V-274 コンクリートの乾燥収縮と透気係数の関係について／錢高
組 [正] 栗塚 一範・角田 晋相・原田 尚幸
V-275 透水型型枠を用いたコンクリートの物質移動抵抗性に関す
る一考察／前田工織 [正] 内田 明・中村 敏夫・松井 芳彦
V-276 コンクリートの塩分浸透性および表層透気性に及ぼす砂竈
の影響／東京理科大学 [正] 三田 勝也・加藤 佳孝・中島
裕幸
V-277 屋内外に1年間曝露したコンクリートの反発度と表層透気
係数の推移／メイテック [正] 行平 訓規・蔵重 勲・廣永
道彦

■耐久性一般(3)／15:00～16:30／谷口 秀明(三井住友建設)

- V-278 コンクリートの垂直面に対する湿潤養生手法に関する実験
的検討／東亜建設工業 [正] 宮沢 明良・田中 秀周・羽瀨
貴士
V-279 浸水養生の実施方法とその養生効果に関する考察／ハザマ
[正] 庄野 昭・齋藤 淳
V-280 実構造物に対する養生効果の実用的評価手法の提案／ハザマ
[正] 白岩 誠史・齋藤 淳
V-281 水セメント比および養生条件がコンクリート内部の含水状
態に与える影響／鉄道総合技術研究所 [正] 玉井 謙・上
田 洋
V-282 養生期間や養生方法がコンクリートの強度発現性と水密性
に及ぼす影響／オリエンタル白石 [正] 原 健悟・二井谷
教治・佐竹 敬吉
V-283 コンクリートの表層透気係数に対する養生条件および打設
時季の影響／東京大学 [学] 家辺 麻里子・秋山 仁志・蔵
重 勲
V-284 養生方法およびその期間を考慮した中性化速度式に関する
一検討／芝浦工業大学 [学] 豊村 恵理・松崎 晋一郎・伊
代田 岳史

V-5 (共通教育講義棟講23)／9月7日(水)

■物性(1)／8:40～10:10／加藤 佳孝(東京理科大学)

- V-285 コンクリートの浸水養生効果に与える水セメント比の影響
／ハザマ [正] 林 俊斉・齋藤 淳
V-286 湿潤養生条件がコンクリートの細孔構造に及ぼす影響／間
組 [正] 坂本 守・福留 和人・古川 幸則
V-287 各種ポルトランドセメントを用いたコンクリートの強度発
現に及ぼす湿潤養生条件の影響／間組 [正] 福留 和人・
古川 幸則・庄野 昭
V-288 水中・封かん・浸水養生したコンクリート円柱供試体圧縮
強度の比較／ハザマ [正] 齋藤 淳・庄野 昭
V-289 中熱セメントに低ブレン高炉スラグ微粉末を混合した
コンクリートの物性／大林組 [正] 片野 啓三郎・富井 孝
喜・近松 竜一
V-290 石灰石骨材の微粒分量が高強度コンクリートの基本性能に
及ぼす影響／太平洋セメント [正] 早川 隆之・吉本 稔・
河野 広隆
V-291 海水を使用したコンクリートの強度および水密性の向上効
果／大林組 [F] 竹田 宣典・石関 嘉一・青木 茂
V-292 多孔質型鉄鋼スラグ水和固化体の強度改善に関する研究／
宮崎大学 [学] 松岡 史也・尾上 幸造・中澤 隆雄

■物性(2)／10:25～11:55／伊代田 岳史(芝浦工業大学)

- V-293 炭酸化したOPCペースト硬化体の空隙構造に関する一考
察／名古屋工業大学 [正] 吉田 亮・岸 利治・浅賀 喜与志
V-294 セメントおよび消石灰ペーストの中性化にともなう組織変
化に関する基礎的研究／金沢大学 [学] 石田 聡史・五十
嵐 心一
V-295 超速硬セメントの長期材齢における空隙径分布に関する研
究／日本大学 [正] 伊藤 義也・越川 茂雄・山口 晋
V-296 若材齢時コンクリートの引張特性に関する実験的検討／法
政大学 [学] 浅井 壮・網島 隆将・溝渕 利明
V-297 粗骨材粒子のサイズが若材齢コンクリートの超音波速度に
及ぼす影響／函館工業高等専門学校 [学] 村上 紘稀・澤
村 寿治・永島 裕二
V-298 若材齢コンクリートの超音波速度計測を応用したモルタル
凝結試験法の検討／函館工業高等専門学校 [正] 澤村 秀
治・高坂 将太
V-299 施工性能が異なるコンクリートの超音波伝播特性に関する
実験的検討／土木研究所 [正] 天谷 公彦・古賀 裕久・山
田 宏
V-300 モルタル部の物性がパルス放電によるコンクリート破碎過
程に及ぼす影響／熊本大学 [学] 石松 宏一・重石 光弘・
飯笹 真也

■評価・試験方法(1)／12:40～14:10／勝木 太(芝浦工業大学)

- V-301 微破壊試験に使用する小径コア最適サイズの検証／松江工
業高等専門学校 [正] 渡海 雅信・内容 友也
V-302 小径コアの圧縮強度の変動要因に関する実験的考察／九州
大学 [学] 坂井 俊海・濱田 秀則・佐川 康貴
V-303 けい酸塩系表面含浸材のトレント法による効果確認に関す
る研究／福岡大学 [学] 内野 貴博・檀原 弘貴・添田 政司
V-304 コンクリート強度の簡易測定手法に関する研究／施工技術
総合研究所 [正] 三浦 康治・松井 隆行・林 秀和
V-305 中性子ラジオグラフィを用いたCTによるセメント硬化体

- の含有水量の測定／茨城大学〔正〕舟川 勲・沼尾 達弥・井上 貴博
 V-306 加圧熱水を用いたアスファルト混合物のはく離促進評価に関する基礎検討／日本大学〔学〕原 延基・菅野 伸一・秋葉 正一
 V-307 コンクリートと補修材料のせん断付着強度評価法に関する実験的考察／首都大学東京〔学〕黒原 創・宇治 公隆・大野 健太郎
 V-308 硬化コンクリートの塩化物イオン量に及ぼす切断方法等の影響／太平洋コンサルタント〔正〕田中 秀和・田中 敦・後藤 年芳

■評価・試験方法(2)／14:25～15:55／北川 真也(佐藤工業)

- V-309 電気抵抗式水分計を用いたコンクリート表面含浸材検討方法の検討／高速道路総合技術研究所〔正〕竈本 武弘・浅井 貴幸
 V-310 X線造影撮影法によるコンクリート強度評価に関する研究／東北学院大学〔学〕杉本 多聞・武田 三弘・大塚 浩司
 V-311 ゴムの圧縮試験方法の検討／日本大学〔正〕村田 守・西恭一
 V-312 解放時期の相違がコンクリート表層から深さ方向への吸水性に与える影響／芝浦工業大学〔学〕井ノ口 公寛・伊代田 岳史
 V-313 コンクリートの圧縮強度に及ぼすキャッピング仕上げの問題点に関する検討／足利工業大学〔正〕松村 仁夫・黒井 登起雄
 V-314 鋼製軽量モールドを用いた簡易膨張性能と仕事量一定則／群馬大学〔学〕栗原 勇典・半井 健一郎・橋田 浩
 V-315 温度応力解析に用いる設計用値取得のための簡易物性評価試験法／東京工業大学〔学〕赤熊 宏哉・竹内 直也・溝渕 利明
 V-316 比抵抗に着目したフライアッシュの活性度指数の推定方法／電源開発〔正〕佐藤 道生・橋本 敦美・安田 幸弘

V-5 (共通教育講義棟講23)／9月8日(木)

■セメント系舗装／8:40～10:10／中原 大磯(日本道路)

- V-317 コンクリート舗装目地部段差量の推定精度向上／佐藤渡辺〔正〕源 厚・坂本 康文・七五三野 茂
 V-318 コンクリート舗装の構造設計におけるたわみ照査／石川工業高等専門学校〔正〕西澤 辰男
 V-319 早期交通開放可能な舗装コンクリートの実用配合／立命館大学〔学〕増山 直樹・瀧井 秀一・岡本 享久
 V-320 早期交通開放可能な舗装コンクリートの実施工／立命館大学〔学〕瀧井 秀一・増山 直樹・岡本 享久
 V-321 コンクリート舗装の鉄網の効果について／セメント協会〔正〕吉本 徹・堀内 智司・小梁川 雅
 V-322 簡易処理ダム堆砂を使用した生コン舗装に関する研究／住友大阪セメント〔正〕前田 恵佑・鈴木 徹・山田 優
 V-323 ダム堆砂を用いた早期交通開放型コンクリート舗装の河川堤防天端舗装試験施工／住友大阪セメント〔正〕安藤 豊・鈴木 徹・黒川 明博
 V-324 コンクリート舗装の理論的設計法の温度差に関する一検討／前田道路〔正〕畠山 慶吾・久保 和幸・堀内 智司

■路床・路盤／10:25～11:55／石垣 勉(NIPPO)

- V-325 再生路盤材を用いた中央混合方式CAE混合物に関する検討／前田道路〔正〕谷口 博・齋藤 啓大・越 健太郎
 V-326 再生路盤材を用いたCAE混合物の等値換算係数に関する検討／前田道路〔正〕清水 泰成・吉村 啓之・江向 俊文
 V-327 再生路盤材の疲労耐力に関する一考察／土木研究所〔正〕堀内 智司・井谷 雅司・寺田 剛
 V-328 徐冷スラグ入り路盤材の長期供用性／大有建設〔正〕大河内 宝・堀口 悟・浅野 耕司
 V-329 再生路盤材料からの六価クロム溶出における粒度に関する一検討／土木研究所〔正〕新田 弘之・西崎 到
 V-330 アスファルト表面遮水壁の施工基盤層に採用した土工フォームドアスファルト混合物の性状／北海道電力〔正〕田中 宣嗣・渡辺 浩明・若本 貴宏
 V-331 繰返し三軸圧縮試験に基づく未固結粒状路盤材の塑性変形予測モデルについて／神戸大学〔学〕宮根 正充・吉田 信之・中村 渡
 V-332 砂質土中の水分・熱移動カラム試験と熱解析に関する考察／法政大学〔学〕遠藤 智嗣・草深 守人・橋本 保

V-5 (共通教育講義棟講23)／9月9日(金)

■舗装材料／8:40～10:10／岩井 茂雄(日本大学)

- V-333 中温化混合物の室内試験による品質の検討／東京都土木技術支援・人材育成センター〔正〕峰岸 順一・上野 慎一郎
 V-334 中温化混合物中の残留水分に関する検討／世紀東急工業〔正〕藤田 浩成・新田 弘之
 V-335 ポーラスアスファルト混合物の中温化に関する一検討／福田道路〔正〕渡辺 直利・清水 忠昭・佐藤 慶彦
 V-336 アスファルトの気象劣化が混合物の疲労特性に及ぼす影響／NIPPO〔正〕山本 晃大・前川 亮太・姫野 賢治
 V-337 熱により劣化したアスファルト混合物の一軸繰返し载荷状態における疲労挙動／中央大学〔学〕小林 祐介・姫野 賢治・前川 亮太
 V-338 実現場から見たPFBC灰と竹チップ混入型歩行者系舗装材料の適用性評価／福岡大学〔正〕藤川 拓朗・佐藤 研一・松本 重夫
 V-339 大型航空機荷重に対するグルーピングの変形抵抗性に関する検討／港湾空港技術研究所〔正〕河村 直哉・川名 太・前川 亮太

■新材料・新工法(1)／10:25～11:55／杉橋 直行(清水建設)

- V-340 透明かつ弾性を有するコンクリート表面被覆材の開発／四国電力〔正〕米澤 和宏・中廣 政之・西森 修次
 V-341 新しい発想による特殊セパレータコーンの開発について／中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋〔正〕鈴木 正幸
 V-342 通常の10倍の耐硫酸性を有するコンクリートの実下水環境暴露試験／宇部興産〔正〕佐々木 彰・佐野 勝実・新藤 竹文
 V-343 速硬コンクリートの製造方法検討／太平洋マテリアル〔正〕浜中 昭徳・長塩 靖祐・中島 裕
 V-344 速硬性混和材を用いたコンクリートの強度発現性に関する検討／太平洋マテリアル〔正〕長塩 靖祐・浜中 昭徳・中島 裕
 V-345 生分解性吸水高分子ゲルを用いた養生効果に関する検討／東洋建設〔正〕竹中 寛・末岡 英二・安田 正雪
 V-346 湿式吹付け耐火被覆材を適用したコンクリート充填鋼殻構造の耐火試験／太平洋マテリアル〔正〕菊地 弘悦・鎌田 亮太・谷辺 徹
 V-347 火災時におけるコンクリート充填鋼殻構造の温度上昇抑制対策の検討／太平洋マテリアル〔正〕鎌田 亮太・菊地 弘悦・谷辺 徹

■新材料・新工法(2)／15:00～16:30／宇野 洋志城(佐藤工業)

- V-348 早強ポルトランドセメントに対する水和抑制剤の効果検証試験／飛鳥建設〔正〕川里 麻莉子・佐藤 友厚・田畑 美紀
 V-349 ナノカーボンの添加がセメントモルタルのマイクロ波吸収性能に及ぼす影響／北見工業大学〔正〕白川 龍生・多田 旭男・岡崎 文保
 V-350 コンクリートのひび割れ自己治癒材料の造粒技術に関する基礎研究／住友大阪セメント〔正〕小出 貴夫・森田 卓・安 台浩
 V-351 造粒によるひび割れ自己治癒性能を有する無機系材料の性能向上に関する基礎研究／(元)東京大学〔正〕森田 卓・小出 貴夫・安 台浩
 V-352 フライアッシュを主材料としたジオポリマーモルタルの耐久性に関する研究／〔正〕原田 耕司・一宮 一夫・井上 裕之
 V-353 亜鉛メッキ処理した鋼繊維の防錆効果に関する検討／飛鳥建設〔正〕岡田 朋道・吉田 良勝・平間 昭信
 V-354 親水性ポリウレタンモルタルの流水摩耗性および耐流水摩耗性向上の検討／名城大学〔学〕小坂 智映・岩下 健太郎・呉 智深
 V-355 γ-C2Sを混和しオートクレーブ養生したセメント系材料の耐硫酸性に関する研究／東京工業大学〔学〕園谷 百合子・斎藤 豪・Khamhou Saphouvong

V-6 (共通教育講義棟講24)／9月7日(水)

■舗装一般／8:40～10:10／鎌田 修(鹿島道路技術研究所)

- V-356 飽和・不飽和ポーラスアスファルト混合物の熱伝導率評価／福井大学〔正〕田中 貴子・Kabir Md.HUMAYUN・藤本 明宏
 V-357 ILブロック舗装における目地砂、敷砂のフィルタースタビリティに関する基礎的検討／〔学〕林 寛親・青柳 義雄・竹内 康

- V-358 鋼床舗装における基層混合物の違いが舗装の損傷に及ぼす影響／阪神高速道路管理技術センター [正] 横田 慎也・久利 良夫・関上 直浩
- V-359 橋面舗装における基層混合物と床版との接着が損傷に及ぼす影響／阪神高速道路管理技術センター [正] 久利 良夫・横田 慎也・飛ヶ谷 明人
- V-360 圧雪路面における物理系凍結抑制舗装の効果に関する研究／北海学園大学 [学] 岡田 康・田中 俊輔・武市 靖
- V-361 圧雪路面における物理系凍結抑制舗装の効果に関する現地調査／北海学園大学 [学] 田中 俊輔・岡田 康・武市 靖
- V-362 ミキシング負荷による中温化アスファルト混合物のワーカビリティ評価／日本道路 [正] 工藤 朗・遠藤 桂・川上 聖
- V-363 合材ダンプの荷台などに塗布する付着防止剤に関する規格値の検討／首都高速道路 [正] 田中 大介・鈴木 寛久・永田 佳文

■アスファルト系舗装／10:25～11:55／伊藤 達也(ニチレキ)

- V-364 再生用添加剤によるアスファルトの針入度の調整／福井県雪対策・建設技術研究所 [正] 三田村 文寛・小宮 正俊・米村 豊志
- V-365 ダム堆砂を使用した再生アスファルト混合物の実路適用について／世紀東急工業 [正] 藤村 顕司・下野 公仁・佐野 正典
- V-366 再生石膏のアスファルト混合物への有効利用性の検討／福岡大学 [学] 松永 岳・佐藤 研一・藤川 拓朗
- V-367 高柔軟性アスファルトモルタルを用いた氷板破碎舗装の実用化に関する一検討／福田道路 [正] 清水 忠昭・渡辺 直利・佐藤 慶彦
- V-368 珪砂を用いたポリマー改質アスファルトのはく離抵抗性に関する評価方法の検討(第二報)／東亜道路工業 [正] 平戸 利明・新田 弘之
- V-369 アスファルト舗装の耐水性に関する評価方法の検討／鹿島道路 [正] 西島 克治・寺田 剛・久保 和幸
- V-370 X線CTを用いた配合の異なるアスファルト混合物の新しい評価手法に関する研究／熊本大学 [学] 小川 慧一郎・大谷 順・谷口 聡
- V-371 高機能舗装Ⅱ型用混合物のダレに関する一検討／大成ロテック [正] 加納 孝志・本松 資朗・板清 弘

■環境保全(舗装)／12:40～14:10／川上 篤史(土木研究所)

- V-372 遮熱性舗装の再帰反射特性に関する一検討／鹿島道路 [正] 五傳木 一・坂本 康文・津島 宏
- V-373 歩道舗装における舗装材料の夏季温度低減に関する検討／首都大学東京 [学] 代田 哲朗・上野 敦・宇治 公隆
- V-374 碎石マスタック舗装のタイヤ／路面騒音の発生抑制効果の測定方法に関する一検討／大成ロテック [正] 水野 孝浩・阿部 隆二・布施 浩司
- V-375 芳香機能を付与した保水性舗装の芳香効果とその持続性に関する一考察／大成ロテック [正] 青木 政樹・武藤 一伸・小坂井 ひろ美
- V-376 ホタテ貝殻粉末の基層用アスファルト混合物への適用検討について／東日本高速道路 [正] 川島 正人・坂上 弘至・初山 諭
- V-377 アスファルトプラントにおけるエマルジョン燃料の適用／三井住建道路 [正] 金子 和雄・伏谷 謙
- V-378 多孔質石板の天然石舗装への適用性に関する研究／日本大学 [学] 横尾 拓・秋葉 正一・加納 陽輔
- V-379 舗装用発電床の適用性評価／日本道路 [正] 常松 直志・中原 大蔵・美馬 孝之

■構造設計(舗装)／14:25～15:55／前原 弘宣(東亜道路工業)

- V-380 空港アスファルト舗装の理論的設計法パラメータの感度分析／日本空港コンサルタンツ [正] 高橋 真一・坪川 将丈・水上 純一
- V-381 空港コンクリート舗装版の温度応力特性と疲労度設計への適用／大成建設 [正] 広重 敬嗣・下村 泰造・天野 喜勝
- V-382 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ路盤層の疲労破壊を考慮したアスファルト舗装の構造設計法について／神戸大学 [学] 古谷 卓也・田中 大樹・吉田 信之
- V-383 積雪寒冷地における融解期の支持力特性に関する一考察／土木研究所寒地土木研究所 [正] 安倍 隆二・熊谷 政行・久保 裕一
- V-384 タイヤ接地圧測定装置開発に向けた基礎的研究／東京電機大学 [F] 松井 邦人・相田 達也・里見 忠篤
- V-385 超高強度コンクリート舗装の舗装構造設計方法に関する解析的検討／太平洋セメント [正] 上田 宣人・梶尾 聡・石田 征男
- V-386 FWDデータのピーク値だけをを用いた動的逆解析の検討／

東京電機大学 [学] 祁 相輝・小澤 良明・松井 邦人

V-6 (共通教育講義棟講24)／9月8日(木)

■構造評価(舗装)／8:40～10:10／東本 崇(大林道路)

- V-387 FWDによる載荷荷重と舗装表面と内部におけるひずみの関係／東亜道路工業 [F] 阿部 長門・前原 弘宣・水上 純一
- V-388 小型FWDゴムバッファの温度依存性の検討／[学] 斎藤 唯・上浦 正樹・細谷 賢志郎
- V-389 衝撃荷重に対する栈橋上の舗装の応答性状について／港湾空港技術研究所 [正] 川名 太・前川 亮太・板倉 新
- V-390 インターロッキングブロック舗装における目地砂の荷重伝達効果に関する基礎的研究／東京農業大学 [学] 青柳 義雄・林 寛親・竹内 康
- V-391 繰返し間接引張試験によるアスファルト混合物の疲労破壊回数／国土技術政策総合研究所 [正] 坪川 将丈・水上 純一・斉藤 泰
- V-392 空洞の安定性評価に対する解析的取り組み／日本工営 [正] 太田 敬一・スレン ソッキアン
- V-393 加熱アスファルト混合物の施工性能の定量的評価に関する一検討／港湾空港建設技術サービスセンター [正] 北落 謙太郎・八谷 好高・渡邊 隆
- V-394 耐流動性評価指標とわだち掘れ量の関係／佐藤渡辺 [正] 坂本 寿信・下野 祥一・寺田 剛

■路面評価(舗装)(1)／10:25～11:55／藤原 栄吾(大林道路)

- V-395 大型車ドライバーをモニターとした高速道路の路面評価／金沢大学 [正] 深田 幸史・樺山 好幸・松本 剛也
- V-396 衝撃力による路面管理に関する一考察／大成工務 [F] 山本 武夫
- V-397 非線形モデルを用いた簡易路面診断システム(VIMS)のキャリブレーション精度向上／長崎大学 [正] 西川 貴文・高橋 興介・長山 智則
- V-398 路面性状を考慮したDS背景の再現性に関する研究／中央大学 [学] 常塚 将樹・姫野 賢治・郭 慶煥
- V-399 路面プロファイルを用いた乗り心地の評価に関する研究／中央大学 [学] 小野沢 英也・姫野 賢治・郭 慶煥
- V-400 標準タイヤを用いたタイヤ／路面騒音測定方法に関する検討／土木研究所 [正] 寺田 剛・久保 和幸・遠藤 哲雄
- V-401 ブロック舗装走行時の各種車いすの振動と乗り心地に関する研究／山梨大学 [正] 岡村 美好・清水 拓大
- V-402 歩行者系舗装の段差および平坦性に関する検討／土木研究所 [正] 川上 篤史・井谷 雅司・寺田 剛

V-6 (共通教育講義棟講24)／9月9日(金)

■路面評価(舗装)(2)／8:40～10:10／林 信也(鹿島道路)

- V-403 道路舗装におけるひび割れの局部的損傷箇所の抽出方法／パスコ [正] 土屋 善靖・岡部 哲久・南 健志
- V-404 大島大橋における橋面舗装の変状原因調査／本州四国連絡高速道路 [正] 横井 芳輝・中村 哲也・石倉 健治
- V-405 IRI測定装置の一般道への適用に関する検討／大成ロテック [正] 城本 政一・川村 彰・坂田 光児
- V-406 多機能路面測定システムの標準化に関する検討(その1)ー加速速度の速度補正方法の確立ー／鹿島道路 [正] 冨澤 健・高宮 浩介・金井 利浩
- V-407 多機能路面測定システムの標準化に関する検討(その2)ー路面の段差量の推定方法の考案ー／鹿島道路 [正] 遠藤 哲雄・鬼倉 一展・金井 利浩
- V-408 地方自治体の舗装維持管理実態と市街地道路の簡易平坦性モニタリング／北見工業大学 [正] 富山 和也・川村 彰・石田 樹
- V-409 空港舗装の補修必要性判定における巡回点検結果の利用／港湾空港建設技術サービスセンター [F] 八谷 好高・渡邊 隆・北落 謙太郎
- V-410 運転行動に着目した路面評価用データベースに関する研究／北見工業大学 [学] 石樽 大二・川村 彰・富山 和也

■路面評価(舗装)(3)／10:25～11:55／前川 亮太(港湾空港技術研究所)

- V-411 路面のきめと転がり抵抗に関する一考察／土木研究所 [正] 渡邊 一弘・井谷 雅司・久保 和幸
- V-412 簡易な試験法による低騒音舗装の評価に関する一考察／土木研究所 [正] 井谷 雅司・川上 篤史・久保 和幸
- V-413 粗面系凍結抑制舗装の効果に関する一検討／土木研究所寒地土木研究所 [正] 吉井 昭博・熊谷 政行・安倍 隆二
- V-414 遮熱性舗装を適用する既設舗装の評価について／大有建

- V-415 設〔正〕前田 英和・広瀬 大吾・堀口 悟
ばね振動子の軌跡を利用した路面プロファイルの生成手法
の検討(第2報)／鹿島道路〔正〕金井 利浩・富澤 健・姫
野 賢治
- V-416 脳波を用いた舗装路面の走行快適性評価に関する研究／中
央大学〔学〕磯崎 大輔・姫野 賢治・郭 慶煥
- V-417 繰返しねじりせん断試験に基づく3種類のアスファルト混
合物の耐久性について／神戸大学〔学〕足立 健・泓 敦大・
吉田 信之
- V-418 アンケート調査に基づいたSB・GB試験による歩行者系舗
装の弾力性評価方法／東京農業大学〔学〕樋口 三恵・竹
内 康・青木 政樹

■維持・修繕(舗装)／15:00～16:30／島崎 勝(大成ロテック)

- V-419 赤外線検査法(その1)―舗装の走行観測診断／パスコ〔正〕黒
須 秀明・内間 満明・前田 近邦
- V-420 赤外線検査法(その2)―大型実験供試体を用いた舗装内部
損傷の評価検討／パスコ〔正〕前田 近邦・内間 満明・黒
須 秀明
- V-421 赤外線検査法(その3)―損傷の検出と分類／パスコ〔正〕内
間 満明・黒須 秀明・前田 近邦
- V-422 舗装区間の階層分類による劣化リスク評価と重点管理区
間の選定／パスコ〔正〕青木 一也・岡部 哲久・南 健志
- V-423 劣化速度の相対評価に基づく舗装の中長期補修計画の立案
／パスコ〔正〕南澤 輝雄・山谷 光幸・渡邊 一弘
- V-424 床版上面増厚工法の寒冷地適用に関する検討／NIPPO〔正〕石
垣 勉・安藤 政浩・須賀 康行
- V-425 床版上面増厚工法に用いるエポキシ樹脂接着剤に関する検
討／ショーボンド建設〔正〕寺尾 暁・石垣 勉・藤田 仁
- V-426 床版上面増厚工法に用いる鋼繊維補強コンクリートに関
する検討／太平洋セメント〔正〕藤田 仁・久我 比呂氏・石
垣 勉

V-7 (共通教育講義棟講31)／9月7日(水)

■ひび割れ／8:40～10:10／林 和彦(横浜国立大学)

- V-427 遠心成形コンクリートのひび割れ分散性に関する実験的研
究／富山県立大学〔正〕伊藤 始・松井 淳史・馬淵 裕之
- V-428 膨張材による超高強度RC柱部材の初期ひび割れ制御／太
平洋セメント〔正〕三谷 裕二・谷村 充・丸山 一平
- V-429 収縮低減剤による超高強度RC柱部材の初期ひび割れ制御
／太平洋セメント〔正〕谷村 充・三谷 裕二・丸山 一平
- V-430 尿素を用いたひび割れ低減コンクリートの配合選定試験／
清水建設〔正〕田中 博一・野田 宏昭・綾野 克紀
- V-431 尿素を用いたひび割れ低減コンクリートの実構造物への適
用／清水建設〔正〕石本 晴義・野田 宏昭・綾野 克紀
- V-432 各種ひび割れ低減材料を用いたひび割れ抵抗性の評価／太
平洋マテリアル〔正〕郭 度連・中出 陸・佐々木 豊
- V-433 ひび割れの拡大を検知するFRP製センサの開発に関する実
験的研究／倉敷紡績〔正〕平石 陽一・堀本 歴・小出 宜央
- V-434 RC構造物のひび割れ深さの測定精度の改善／きんでん
〔正〕白井 晋一郎・茨田 匠

■収縮・クリープ(1)／10:25～11:55／半井 健一郎(群馬大学)

- V-435 低熱高炉セメントを用いたコンクリートの乾燥収縮ひず
みに関する研究／岡山大学〔正〕藤井 隆史・檀 康弘・細谷
多慶
- V-436 高炉セメントB種とフライアッシュを用いた円環状コン
クリートの乾燥収縮ひび割れ特性に関する研究／福岡大学
〔学〕崔 林・大和 竹史・添田 政司
- V-437 水セメント比、温度、養生条件が膨張材の効果に及ぼす影響
／土木研究所〔正〕片平 博・松本 健一・天谷 公彦
- V-438 乾燥収縮に及ぼす骨材および混和材料の影響／山口大学
〔学〕浦山 智臣・川崎 秀明・松尾 栄治
- V-439 養生温度に着目した混和材混入モルタルの収縮ひび割れ抵
抗性の検討／埼玉大学〔学〕辻 貴大・浅本 晋吾・牧 剛史
- V-440 100N/mm²超級超高強度コンクリートの自己収縮評価／太
平洋セメント〔正〕前堀 伸平・宮澤 伸吾・中崎 豪士
- V-441 天然繊維を用いた内部養生によるセメント系材料の自己収
縮低減効果／岐阜大学〔正〕小澤 満洋雄・大橋 一樹・森
本 博昭

■収縮・クリープ(2)／12:40～14:10／笠井 哲郎(東海大学)

- V-442 湿度変化に伴うセメントペーストの長さ変化と脱水量の相
関性に関する研究／中央大学〔学〕小泉 諒・藤倉 裕介・
横山 隼佑
- V-443 異なる湿度環境下における粗骨材ヤング係数およびコン

- リート体積変化に関する一考察／名古屋工業大学〔正〕小
幡 雄一郎・石黒 憲司・吉田 亮
- V-444 乾燥収縮評価のための粗骨材の弾塑性係数測定に関する検
討／太平洋セメント〔正〕兵頭 彦次・杉山 真悟・谷村 充
- V-445 粗骨材の乾燥収縮測定に関する検討／太平洋セメント
〔正〕杉山 真悟・兵頭 彦次・谷村 充
- V-446 フラットベッドスキャナによる長さ変化供試体の収縮ひず
み測定に関する検討／木更津工業高等専門学校〔学〕小川
哲史・青木 優介・嶋野 慶次
- V-447 AE法によるコンクリート乾燥収縮機構の解明／熊本大学
〔学〕松尾 拓也・川崎 佑磨・野崎 渉太
- V-448 耐アルカリ性ガラス繊維ネットを用いたコンクリートのひ
び割れ抑制メカニズムに関する検討／太平洋マテリアル
〔正〕竹下 永造・大塚 久哲

■収縮・クリープ(3)／14:25～15:55／兵頭 彦次(太平洋セメント)

- V-449 コンクリート中の相対湿度変化が乾燥収縮ひび割れに及ぼす
影響／前田建設工業〔正〕白根 勇二・松林 卓・舟橋 政司
- V-450 覆工コンクリートの内部湿度と乾燥収縮ひずみの進行の研
究／奥村組〔F〕東 邦和・三澤 孝史・白石 祐彰
- V-451 薄板形状供試体を用いた収縮特性試験結果を解析定数とす
る乾燥収縮応力解析／飛鳥建設〔正〕寺澤 正人・田畑 美
紀・鈴木 基行
- V-452 梁付スラブコンクリートの収縮ひずみに関する基礎研究／
東日本旅客鉄道〔正〕鈴木 雄大・小林 薫
- V-453 コンクリート乾燥収縮低減策のひび割れ抑制効果に関する
解析の評価／飛鳥建設〔正〕田畑 美紀・寺澤 正人・川里
麻莉子
- V-454 収縮低減型高性能減水剤を使用した超高強度コンクリート
の自己収縮特性／太平洋セメント〔正〕中崎 豪士・前堀
伸平・三谷 裕二
- V-455 遠心成形されたコンクリートの乾燥収縮およびクリープ特
性について／東洋建設〔正〕水谷 征治・宮田 真人・馬淵
裕之

V-7 (共通教育講義棟講31)／9月8日(木)

■新材料・新工法(構造)・曲げ／8:40～10:10／田所 敏弥(鉄道総合技術研究所)

- V-456 マンホール側壁部における補強技術の検討／日本電信電話
〔正〕岩崎 英樹・酒井 悟・戸田 研吾
- V-457 テーパー型定着体を用いた後施工アンカーの先端定着効
果に関する基礎検討／JR東日本〔F〕小林 薫・鈴木 雄大
- V-458 ステンレス鉄筋を補強材としたPCA埋設型枠の開発／日本
コンクリート技術〔正〕河野 一徳・篠田 佳男・安 同様
- V-459 小部材を集成した構造部材の開発に関する基礎的研究／鉄
道総合技術研究所〔正〕大屋 理明・仁平 達也・村田 修
- V-460 ステンレス鉄筋を使用した高強度・高耐久RC部材の開
発／日本コンクリート技術〔正〕篠田 佳男・河野 一徳・
清宮 理
- V-461 鉄筋付鋼製型枠床版の変形挙動に関する研究／岡山大学
〔学〕古澤 貴治・佐野 洋次・藤井 隆史
- V-462 軸力と曲げが同時に作用する鉄筋コンクリート部材の変形
解析／岡山大学〔正〕宇志呂 裕一・村山 八洲雄
- V-463 引張主筋の腐食分布を考慮したRC曲げ部材の曲げ耐荷力
評価／京都大学〔学〕中元 佑一・山本 貴士・高谷 哲

■構造設計／10:25～11:55／島 弘(高知工科大学)

- V-464 鉄道高架橋上の防音壁の地震時安全性の評価／鉄道総合技
術研究所〔正〕徳永 宗正・曾我部 正道・松本 光矢
- V-465 脱線後の鉄道車両の締結装置上走行を模擬するための簡易
力学モデル／鉄道総合技術研究所〔正〕後藤 恵一・曾我
部 正道・浅沼 潔
- V-466 高密度RC柱の途中継手構造に関する実験的検討／東日本
旅客鉄道〔正〕渡辺 勉・鈴木 裕隆・渡部 太一郎
- V-467 縮小率を大きくした段落し部を有するRC橋脚試験体の破
壊性状に関する実験／東日本旅客鉄道〔正〕小林 寿子・
小林 薫
- V-468 段落しを有するRC橋脚の動的応答解析／山梨大学〔学〕篠
原 聖治・斉藤 成彦・小林 寿子
- V-469 パイルベント形式RCラーメン高架橋の線形解析における
一考察／東日本旅客鉄道〔正〕高橋 範明・伊吹 真一
- V-470 せん断補強鉄筋が密に配置されたディーブビームのせん断
耐力に関する実験的研究／東日本旅客鉄道〔正〕水野 光
一朗・関 玲子・小林 将志
- V-471 下水道管渠更生における複合管の設計と設計支援ソフトの
開発／日本工営〔正〕中村 ゆかり・中野 雅章・師 自海

V-7 (共通教育講義棟講31) / 9月9日(金)

■耐震(1) / 8:40~10:10 / 牧 剛史(埼玉大学)

- V-472 軸方向鉄筋の配置がRC部材の変形性能に及ぼす影響／鉄道総合技術研究所 [正] 中田 裕喜・田所 敏弥・谷村 幸裕
V-473 高密度軸方向鉄筋をスパイラル鉄筋で補強したRC円形柱の静的正負交番載荷実験／東日本旅客鉄道 [正] 佐藤 亜希子・大庭 光商
V-474 はり主鉄筋の定着仕様が柱はり接合部の構造性能に及ぼす影響／清水建設 [正] 吉武 謙二・小倉 大季・小川 晃
V-475 円形RC柱における帯鉄筋の拘束と損傷状況に関する研究／東日本旅客鉄道 [正] 渡辺 一功・伊吹 真一・大庭 光商
V-476 軸力と軸方向鉄筋量がRC柱部材のポストピーク耐力低下に及ぼす影響／JR九州 [正] 瀧口 将志・大塚 久哲
V-477 ダンピングリングトンネルの横断方向耐震設計／オリエンタルコンサルタンツ [正] 福岡 雅俊・梅林 福太郎・若林 賢一
V-478 ダンピングリングトンネルの縦断方向耐震設計／オリエンタルコンサルタンツ [正] 久木留 貴裕・大竹 省吾・若林 賢一

■耐震(2) / 10:25~11:55 / 瀧口 将志(九州旅客鉄道)

- V-479 大規模地震により被災したRCラーメン高架橋の損傷状況／東日本旅客鉄道 [正] 小林 将志・水野 光一朗・今井 勉
V-480 実大鉄道高架橋RC柱載荷実験による高強度帯鉄筋の適用性に関する検討／鉄道総合技術研究所 [正] 高橋 健・谷村 幸裕・岡本 大
V-481 RC柱部材の圧縮軟化特性に関する数値解析的検討／大阪市立大学 [学] 高井 由喜・鬼頭 宏明
V-482 耐震補強されたRC橋脚における杭基礎の地震応答性状に関する研究／埼玉大学 [学] 竹本 雄一郎・陸好 宏史・牧 剛史
V-483 場所打ちRC杭の鉄筋の途中定着部での変形性能に関する載荷試験／鉄道総合技術研究所 [正] 西岡 英俊・轟 俊太郎・田所 敏弥
V-484 主筋に高強度鉄筋を適用した円形断面柱の正負交番載荷試験結果と一考察／東京鉄鋼 [正] 後藤 隆臣
V-485 隣接するラーメン高架橋を連結した構造の動的応答特性について／東日本旅客鉄道 [正] 渡部 太一郎・堀田 智弘・有光 武

■耐震補強 / 15:00~16:30 / 木野 淳一(東日本旅客鉄道)

- V-486 12径間連続ラーメン高架橋の耐震診断および耐震補強方法の検討／鉄道建設・運輸施設整備支援機構 [正] 西 恭彦・玉井 真一・鈴木 喜弥
V-487 無筋コンクリート橋脚を有する鉄道橋梁の耐震補強—鋼棒後挿入工法の適用—／熊谷組 [正] 大本 晋士郎・永井 伸吾・矢島 学
V-488 複数個の機械式定着を有するPC鋼棒による靱性補強効果／ [正] 田中 浩一・江尻 譲嗣
V-489 壁付きRC柱の3面補強の交番載荷試験による耐震補強効果の確認／鉄道総合技術研究所 [正] 京野 光男・岡本 大・羅 休
V-490 柱側面の一部分に補強鋼板を設置した円形RC柱の正負交番載荷試験／JR東日本 [正] 倉岡 希樹・小林 将志・今井 勉
V-491 壁式橋脚のRC巻立て工法における貫通鉄筋効果の検討／西日本旅客鉄道 [正] 鈴木 秀門・松田 好史・鳥巢 陽平
V-492 柱補強主鉄筋のフーチング内定着に関する載荷実験／大日本コンサルタント [正] 清水 英樹・幸左 賢二・合田 寛基
V-493 CFRPシートによるI型断面フレキシブルRC橋脚模型の補強実験／九州大学 [正] 山崎 智彦・大塚 久哲・高 文君

V-8 (共通教育講義棟講32) / 9月7日(水)

■セメント化学・混和剤 / 10:25~11:55 / 細川 佳史(太平洋セメント)

- V-494 高温養生下におけるセメントペーストの空隙構造モデルに関する研究／中央大学 [学] 森田 顕資・藤倉 祐介・大下 英吉
V-495 セメントキャラクターの違いがセメント硬化体の収縮に及ぼす影響評価／太平洋セメント中央研究所 [正] 林 建佑・大野 麻衣子・黒川 大亮
V-496 水蒸気吸着等温線に基づくC-S-Hの比表面積に関する基礎的検討／名古屋大学 [学] 五十嵐 豪・丸山 一平
V-497 超高強度繊維補強コンクリートの流動性及び強度に及ぼすセメントの鉱物組成の影響／宇部興産 [正] 丸屋 英二・歳谷 一雄・高橋 俊之

- V-498 AE剤の混和がセメントペーストの細孔径分布および透気性に及ぼす影響／東京大学 [学] 秋山 仁志・岸 利治・吉田 亮
V-499 塗布型収縮低減剤の浸透モデルと諸特性 その1浸透モデル／フローリック [正] 西 祐宜・熊本 光弘
V-500 塗布型収縮低減剤の浸透モデルと諸特性 その2コンクリート試験による性能評価／フローリック [正] 熊本 光弘・西 祐宜
V-501 各環境条件下収縮低減タイプAE減水剤の収縮低減効果に関する検討／オリエンタル白石 [正] 俵 道和・呉 承寧・齊藤 和秀

■混和材(1) / 12:40~14:10 / 檀 康弘(新日鐵高炉セメント)

- V-502 高炉スラグ微粉末の硬化性状に及ぼす各種アルカリ刺激剤の効果／大成建設 [正] 武田 均・岡本 礼子・宮原 茂樹
V-503 高炉スラグ微粉末を結合材とした環境配慮型コンクリートの強度特性および耐久性／大成建設 [正] 岡本 礼子・武田 均・宮原 茂樹
V-504 高炉スラグ骨材および高炉スラグ微粉末を用いた環境配慮型コンクリートの基礎的性質／大林組 [正] 半田 敬二・近松 竜一・竹田 宣典
V-505 湿度条件を考慮した高炉スラグ微粉末を用いたコンクリートの力学的特性／法政大学 [学] 小菅 望・竹内 直也・満木 泰郎
V-506 高炉セメントの水和反応-相組成と強度発現／日鐵セメント [正] 佐川 孝広・名和 豊春
V-507 シリカフュームの品質が高強度セメント硬化体の圧縮強度発現性と水和反応に及ぼす影響／日本大学 [学] 後藤 健太・佐藤 正己・梅村 靖弘
V-508 各種結合材を用いた蒸気養生コンクリートの力学的特性と水分逸散性／長崎大学 [正] 佐々木 謙二・片山 強・岡野 耕大
V-509 副産物高含有コンクリートの施工試験／大林組 [正] 新村 亮・谷田部 勝博・伊藤 智章

■混和材(2) / 14:25~15:55 / 福留 和人(間組)

- V-510 フライアッシュコンクリートの凝結過程における空気量の変化に関する検討／鹿島建設 [正] 小川 雄一郎・橋本 学・林 大介
V-511 フライアッシュコンクリートの耐凍害性向上に関する検討／鹿島建設 [正] 橋本 学・坂田 昇・林 大介
V-512 フライアッシュ混和コンクリートの耐塩性能評価のための塩水浸漬試験結果について／四国総合研究所 [正] 横田 優・石井 光裕・武知 隆男
V-513 PFB灰を用いた補修用モルタルの耐塩性に関する研究／福岡大学 [学] 丸田 浩・添田 政司・檀原 弘貴
V-514 ペースト供試体を用いた膨張作用に起因する微細不連続面の性質の検討／東京大学 [学] 酒井 雄也・岸 利治
V-515 水結合材比の小さい膨張コンクリートの膨張特性／電気化学工業 [正] 栖原 健太郎・吉野 亮悦・庄司 慎
V-516 単位セメント量の少ない膨張コンクリートの圧縮強度特性／電気化学工業 [正] 庄司 慎・栖原 健太郎・平井 吉彦
V-517 バイオナノファイバー混入モルタルの基本特性に関する研究／京都大学 [学] 吉川 豪・大島 義信・服部 篤史

V-8 (共通教育講義棟講32) / 9月8日(木)

■骨材 / 8:40~10:10 / 古賀 裕久(土木研究所)

- V-518 粗骨材の破砕値がコンクリートの乾燥収縮ひずみに及ぼす影響／ [正] 林 大祐・上野 敦・宇治 公隆
V-519 骨材の弾性係数および乾燥収縮ひずみの評価に関する一検討／摂南大学 [学] 陰山 恵子・熊野 知司・高見 新一
V-520 微粒分をフライアッシュで補填した石炭溶融スラグを用いたコンクリートの基本性状／電源開発 [正] 石川 嘉崇・有蘭 大樹・木下 茂
V-521 粗粒高炉スラグ細骨材を使用したコンクリートの特性／竹本油脂 [正] 齊藤 和秀・木之下 光男・小林 竜平
V-522 粗粒高炉スラグ細骨材を使用した高強度コンクリートの特性／JFEミネラル [正] 吉澤 千秋・齊藤 和秀・露木 尚光
V-523 高炉スラグ細骨材を使用したコンクリートの収縮低減メカニズムの考察／竹本油脂 [正] 木之下 光男・露木 尚光・吉澤 千秋
V-524 電気炉酸化急冷スラグ細骨材を用いたコンクリートの基本性状／日本コンクリート技術 [正] 野島 省吾・迫田 貴秀・藤原 浩巳
V-525 ステンレス鋼酸化スラグ骨材を用いたコンクリートの基礎的特性／八戸工業大学 [学] 佐藤 宇泰・渡邊 浩平・太田 晃博

■軽量コンクリート／10:25～11:55／舟橋 政司(前田建設工業)

- V-526 鋼繊維補強軽量2種コンクリートRC床版の押抜きせん断耐力評価／九州大学 [学] 崔 智宣・日野 伸一・山口 浩平
- V-527 切欠きはりを有いたEPSモルタルの破壊エネルギー試験／山口大学 [正] 松尾 栄治・川崎 秀明・藤井 太成
- V-528 発泡スチロール廃材を細骨材とした軽量モルタルの耐凍害性に関する実験／山口大学 [正] 牧原 貴之・松尾 栄治・川崎 秀明
- V-529 膨張材を多量添加した軽量Ⅱ種コンクリートの性状把握／太平洋セメント [正] 保坂 綱鎮・津野 和弘・磯部 龍太郎
- V-530 膨張材添加軽量コンクリートの力学的性能／太平洋セメント [正] 杉山 彰徳・津野 和宏・磯部 龍太郎
- V-531 膨張材併用軽量RC床版の疲労耐久性検討(その1)／首都高速道路 [正] 加藤 恭介・津野 和宏・岸 利治
- V-532 膨張材併用軽量RC床版の疲労耐久性検討(その2)／首都高速道路 [正] 磯部 龍太郎・津野 和宏・岩城 一郎

V-8 (共通教育講義棟講32)／9月9日(金)

■アルカリシリカ反応(1)／8:40～10:10／林 建佑(太平洋セメント)

- V-533 PC部材に使用する早強コンクリートのASR促進膨張に及ぼす要因／三井住友建設 [正] 佐々木 亘・谷口 秀明・樋口 正典
- V-534 JR東日本におけるアルカリシリカ反応(ASR)抑制対策について／JR東日本 [正] 隈部 佳・松田 芳範・岩田 道敏
- V-535 モルタルへの塩水作用条件とナトリウムイオン侵入特性／土木研究所 [正] 松本 健一・古賀 裕久・渡辺 博志
- V-536 石川県内産骨材のASR試験結果(化学法、モルタルバー法)の整理／金沢大学 [正] 山戸 博見・蟹谷 真生・鳥居 和之
- V-537 フライアッシュを用いた新潟地区のASR抑制対策について／東日本旅客鉄道 [正] 坂本 真紀・井口 重信・小林 和行
- V-538 ASR抑制対策に天然ゼオライトを用いたコンクリートの諸性質／吹上工業 [正] 竹下 孝徳・牧角 龍憲・高山 俊一
- V-539 各種リチウム塩によるASR抑制効果に関する検討／徳島大学 [正] 上田 隆雄・新田 建也・松本 義章
- V-540 NaOH溶液に浸漬したプロピオン酸カルシウム添加モルタルのASR膨張に関する研究／愛知工業大学 [正] 岩月 栄治

■アルカリシリカ反応(2)／10:25～11:55／岩月 栄治(愛知工業大学)

- V-541 XAFS測定による膨張性ASRゲルの化学状態分析／立命館大学 [学] 吉田 貴彦・太田 航介・中西 康次
- V-542 光学的全視野非接触計測によるASR膨張を生じたコンクリートのひずみ解放挙動の評価／九州工業大学 [正] 合田 寛基・川端 雄一郎・岩波 光保
- V-543 ニッケル被覆炭素繊維シートを用いた電気防食のASRに及ぼす影響／オリエンタル白石 [正] 小林 俊秋・大谷 俊介・曾根 幸宏
- V-544 ASR構造物に施した撥水系表面保護塗装の再劣化抑制効果／阪神高速技術 [正] 宇都宮 光治・崎谷 淨・新名 勉
- V-545 アルカリ反応性骨材を用いたポーラスコンクリートの性能評価／群馬大学 [学] 阿部 和宏・半井 健一郎
- V-546 反応性骨材種類がASR劣化コンクリートの圧縮強度および変形特性に与える影響／金沢大学 [学] 中田 正文・久保 善司・宮野 暢紘
- V-547 実橋脚梁部を模擬したASR鉄筋破断検出実験／阪神高速道路 [正] 新名 勉・佐々木 一則・久利 良夫

■アルカリシリカ反応(3)／15:00～16:30／久保 善司(金沢大学)

- V-548 ASR供試体を用いた鉄筋亀裂進展度の評価／住友大阪セメント [正] 草野 昌夫・幸左 賢二・合田 寛基
- V-549 大型模擬供試体によるASR鉄筋破断再現実験／九州工業大学 [学] 柴田 綾野・幸左 賢二・合田 寛基
- V-550 ASR劣化を想定したひび割れおよび膨張が鉄筋とコンクリートの付着特性に与える影響／京都大学 [学] 小林 梨沙・石川 貴士・高谷 哲
- V-551 アルカリ骨材反応によりひび割れが生じたコンクリートの引張軟化挙動に関する実験的研究／神戸大学 [学] 松谷 幸一郎・三木 朋広・小林 秀恵
- V-552 コンクリートの膨張がRC梁の曲げ耐荷性能に与える影響について／立命館大学 [学] IGUSTIMADE SHOTA-SATTWA・西部 徳人・葛目 和弘
- V-553 ASR劣化したプレテンションPC桁の耐荷性能に関する数値解析的研究／琉球大学 [学] 金城 和久・富山 潤・山田 将人
- V-554 アルカリ骨材反応を受けるプレストレストコンクリート構造物の劣化予測／香川大学 [学] 村田 勇樹・松島 学・吉田 秀典

- V-555 CFRPシート補強したASR劣化RC部材のせん断耐荷機構に関する解析的評価／神戸大学 [学] 王 健・森川 英典

V-9 (共通教育講義棟講33)／9月7日(水)

■プレキャスト・製品／10:25～11:55／加藤 卓也(ピーエス三菱)

- V-556 フライアッシュモルタルの圧縮強度発現性に及ぼす蒸気温度履歴の影響／日本大学 [学] 白田 康平・鏡 健太・梅村 靖弘
- V-557 フライアッシュセメントペーストの水和反応と圧縮強度に及ぼす蒸気養生履歴の影響／日本大学 [学] 鏡 健太・佐藤 正己・梅村 靖弘
- V-558 普通ポルトランドセメントの圧縮強度発現性に及ぼす蒸気温度履歴の影響／日本大学 [学] 尾畑 展宏・鏡 健太・梅村 靖弘
- V-559 残存型枠を用いた壁高欄の合成効果の評価／IHI [正] 山口 隆一・中村 善彦・小守 正文
- V-560 複雑な形状のプレキャストブロックを使用した構造物の簡易設計法について／平和コンクリート工業 [正] 柳澤 あすか・松原 伸之・中村 光
- V-561 SSBの性能試験及びカメルーンにおける普及活動／京都大学 [学] 寺本 俊太郎・荒居 旅人・平坂 友里恵
- V-562 蒸気養生を行ったプレキャストコンクリート部材の初期応力に関する研究／丸栄コンクリート工業 [正] 阪口 裕紀・齋藤 寛泰・小澤 満津雄
- V-563 多孔質ポリマーモルタルを下地材に用いた保水性ブロック舗装の研究／ [正] 若林 伸介・池尾 陽作・小島 倫直

■フレッシュコンクリート／12:40～14:10／菅俣 匠(BASFボゾリス)

- V-564 多孔質材料を用いたモルタルに関する練混ぜ方法の検討／苫小牧工業高等専門学校 [学] 渡辺 晋吾・廣川 一巳・渡辺 曉央
- V-565 増粘型高性能AE減水剤によるコンクリートのワーカビリティ改善効果に関する検討／大林組 [正] 桜井 邦昭・近松 竜一
- V-566 ゼオライトを混入したセメントペーストのフレッシュ性状に関する基礎的研究／五洋建設 [正] 保木本 智史・内藤 英晴・石田 積
- V-567 加振下での間隙通過性と単位セメント量の照査の関係に関する一考察／清水建設 [正] 浦野 真次・根本 浩史・高橋 圭一
- V-568 暑中コンクリートの運搬時における温度降下方法に関する研究／立命館大学 [学] 湊 翔太・増山 直樹・岡本 享久
- V-569 FA混入量が中流動コンクリートのフレッシュ性状に及ぼす影響／福岡大学 [学] 黒木 賢一・橋本 紳一郎・江本 幸雄
- V-570 表面粗さ指標としてのフラクタル次元の算出方法およびその適用性の検討／東京都市大学 [学] 風間 健太郎・栗原 哲彦
- V-571 細骨材の粒度分布が異なるコンクリートのボックス形装置を用いた加振充てん性評価／太平洋セメント [正] 石井 祐輔・三谷 裕二・谷村 充

■高流動・特殊コンクリート／14:25～15:55／近松 竜一(大林組)

- V-572 新規な増粘剤一液型高性能AE減水剤を使用した低粘性高流動コンクリートの基本特性／BASFボゾリス [正] 馬場 勇介・菅俣 匠・松倉 隼人
- V-573 新規な増粘剤一液型高性能AE減水剤を使用した低粘性高流動コンクリートの自己充てん性／BASFボゾリス [正] 小泉 信一・馬場 勇介・鈴木 哲郎
- V-574 新規な増粘剤一液型高性能AE減水剤を使用した低粘性高流動コンクリートの実規模試験／BASFボゾリス [正] 小山 広光・作榮 二郎・本田 亮
- V-575 膨張材を用いた高流動コンクリートによる逆打施工部の止水性能検討／首都高速道路 [正] 下西 勝・数本 篤・西嶋 徹
- V-576 高流動コンクリートのO漏斗流下時間に関する一考察／日本大学 [正] 山口 晋・越川 茂雄・鶴澤 正美
- V-577 21年間暴露した併用系高流動コンクリートの耐久性に関する研究／鹿島建設 [正] 関 健吾・芦澤 良一・横関 康祐
- V-578 重晶石を使用した重量コンクリートの諸物性／太平洋セメント [正] 肥後 康秀・吉本 稔・早川 隆之
- V-579 黄土の種類がクリンカーフォームモルタルの基本性状へ及ぼす影響に関する研究／宇都宮大学 [学] 岩田 正幸・藤原 浩巳・丸岡 正知

V-9 (共通教育講義棟講33) / 9月8日(木)

■副産物利用・再生材料(1) / 8:40~10:10 / 鶴田 浩章(関西大学)

- V-580 多孔質型鉄鋼スラグ水和固化体に関する基礎的研究 / 宮崎大学 [学] 小川 雅・尾上 幸造・中澤 隆雄
- V-581 鉄鋼スラグ水和固化体のアルカリ溶出性と圧縮強度に及ぼすポゾラン材の添加率および養生条件の影響 / 宮崎大学 [学] 本田 寛樹・尾上 幸造・中澤 隆雄
- V-582 宮崎県で製造されるごみ溶融スラグを用いたコンクリートの耐久性および長さ変化に関する検討 / 宮崎大学 [学] 工藤 剛・中澤 隆雄・尾上 幸造
- V-583 都市ゴミ溶融スラグを細骨材の一部として用いたコンクリートの性状に関する研究 / 豊田工業高等専門学校 [正] 河野 伊知郎・中嶋 清実・鈴木 雅也
- V-584 再資源化した材料を用いたコンクリートの強度及び乾燥収縮 / 立命館大学 [学] 八木 翔吾・Aquino Carlos・岡本 享久
- V-585 シリカフェームコンクリートの塩化物イオンの見掛けの拡散係数に関する検討 / 新潟大学 [学] 川原 真一・佐伯 竜彦
- V-586 石灰石微粉末を添加したコンクリートの硬化物性に関する研究 / 名古屋工業大学 [学] 太田 健司・斉藤 和秀・吉田 亮
- V-587 導電性の高い炭素粒子を添加したモルタルに関する基礎的研究 / 村本建設 [正] 高井 伸一郎・熊野 知司・陰山 恵子

■副産物利用・再生材料(2) / 10:25~11:55 / 坂本 守(間組)

- V-588 現地混合型フライアッシュスラリーの諸特性について / 北海道電力 [正] 山上 光憲・安藤 陸・高橋 昌之
- V-589 石炭灰を利用した人工捨石の製作について / エネルギア・エコ・マテリア [正] 柳楽 俊之・齊藤 直・樋野 和俊
- V-590 分割練混ぜ方法がフライアッシュコンクリートの自己治癒に及ぼす影響 / 東京理科大学 [学] 松本 泰季・児玉 総一郎・三田 勝也
- V-591 クリンカーフリーモルタルへのポゾラン物質の適用に関する検討 / 日本シーカ [正] 齋藤 賢・藤原 浩巳・丸岡 正知
- V-592 廃棄資源コンクリートの耐薬品性と耐凍害性に対する永久型枠の利用効果 / 阿南工業高等専門学校 [正] 堀井 克章
- V-593 生コンスラッジ乾燥微粉末のソイルセメント材料としての性能について / 三和石産 [正] 大川 憲・川名 正嗣・八木 文明
- V-594 浚渫土を用いた人工石材の製造技術 / JFEスチール [正] 本田 秀樹・出路 康夫・谷敷 多穂
- V-595 製紙スラッジ灰造粒砂を用いたモルタルの乾燥収縮特性について / 予州興業 [正] 松尾 暁・木下 尚樹・川口 隆

V-9 (共通教育講義棟講33) / 9月9日(金)

■副産物利用・再生材料(3) / エコ・緑化コンクリート / 8:40~10:10 / 綾野 克紀(岡山大学)

- V-596 環境教育におけるコンクリートの教材としての有効性 / 立命館大学 [学] 林 洋輔・竹内 正喜・岡本 享久
- V-597 Analytic hierarchy process : a useful tool for assessing sustainability in the concrete industry / 東京大学 [正] Michael Henry
- V-598 竹繊維を用いた環境負荷低減型コンクリートの開発 / 明石工業高等専門学校 [学] 生田 麻実・武田 字浦

第VI部門

建設事業計画、設計技術、積算・契約・労務・調達、施工技術、環境影響対応技術、維持・補修・保全技術、建設マネジメントなど

VI-1 (共通教育講義棟講35) / 9月7日(水)

■土留め / 8:40~10:10 / 田中 耕一(鹿島建設)

- VI-001 テーパカッティング量の大きい大深度地中連続壁の施工 / 大成建設 [正] 近藤 智人・寛 信忠・松永 浩
- VI-002 GSS工法を用いた地中連続壁工事における排泥発生量抑制 / 大林組 [正] 宮本 裕・橋岡 衛・上月 健司
- VI-003 狭隘箇所における効率的な柱列式仮土留工の試験施工 / JR東日本 [正] 木戸 素子・井上 信夫・中村 征史
- VI-004 光るアンカーの開発と現場適用事例 / エスイー [正] 竹家 宏治・野澤 忠明・芥川 真一
- VI-005 火力発電所取水管路設置における鋼矢板自立斜め土留め工法の適用事例 / 大林組 [正] 貫井 孝治・坂平 佳久・今村 正陽
- VI-006 鋼矢板斜め自立土留め工法の設計法に関する一考察 / 大林組 [正] 前田 知就・照井 太一・原田 文隆

- V-599 竹繊維を用いた繊維補強コンクリートの強度特性 / 明石工業高等専門学校 [正] 武田 字浦・生田 麻実
- V-600 エコセメントと再生粗骨材の超硬練りコンクリートへの適用性に関する検討 / 首都大学東京 [学] 藤野 祐樹・上野 敦・宇治 公隆
- V-601 再生骨材を用いたポーラスコンクリートの蒸発冷却効果 / 群馬大学 [学] 篠崎 真澄・半井 健一郎
- V-602 乾燥湿潤繰り返し作用によって発生したポーラスコンクリートの微細ひび割れに関する研究 / 東北学院大学 [正] 大友 鉄平・武田 三弘
- V-603 ポーラスコンクリートを用いた水質浄化理論に関する一考察 / 立命館大学 [学] 野上 翔平・竹内 正喜・岡本 享久

■リサイクル / 10:25~11:55 / 三方 康弘(大阪工業大学)

- V-604 リサイクル煉瓦によるアーチ橋の計画から完工まで / 鹿児島大学 [正] 吉原 進・駒走 健一・阿久根 芳徳
- V-605 鹿児島県湧水町に新設した煉瓦アーチ橋の構造特性 / 大福コンサルタント [正] 阿久根 芳徳・駒走 健一・吉原 進
- V-606 パルスパワーによる再生骨材製造における最適放電パラメータの検討 / 熊本大学 [学] 酒井 啓旭・重石 光弘・飯笹 真也
- V-607 再生細骨材L中の細粒分量がモルタルのフレッシュ性状及び硬化性状に及ぼす影響 / 金沢工業大学 [学] 田端 辰伍・宮里 心一・羽瀧 貴士
- V-608 家屋解体後の廃瓦を粗骨材に用いたコンクリートの物性 / 名古屋工業大学 [正] 平原 英樹・上原 匠・亀井 則幸
- V-609 乳酸を用いて製造したコンクリート用再生骨材の品質調査 / 東京都市大学 [学] 千葉 卓飛・栗原 哲彦・香川 裕幸
- V-610 色つきガラスびんを活用した保水性フロンブロックの開発 / 板橋区役所 [正] 小宮山 洋平・柳沼 宏始
- V-611 ボット試験による再生材からの6価クロム溶出及び抑制に関する検討 / 土木研究所 [正] 森濱 和正・渡辺 博志・片平 博

■再生コンクリート / 15:00~16:30 / 堀井 克章(阿南工業高等専門学校)

- V-612 一次破砕を主体とした再生粗骨材の有効利用に関する基礎的研究 / 前田建設工業 [正] 南 浩輔・佐藤 文則・笹倉 伸晃
- V-613 水力発電所水車基礎への再生骨材コンクリートの利用検討について / 北海道電力 [正] 石黒 忠雄・橋井 和也・峯田 稔
- V-614 再生骨材コンクリートLの用途拡大に関する研究 / 福岡大学 [学] 趙 東奇・江本 幸雄・橋本 紳一郎
- V-615 再生骨材L級コンクリートの簡易長さ変化量特性と急速凍結融解特性に影響を及ぼすフライアッシュの効果 / 徳島大学 [学] 青井 洋規・橋本 親典・渡辺 健
- V-616 再生骨材の種類や乾湿状態の違いがRCはり部材の曲げ・せん断耐荷特性に及ぼす影響 / 京都市役所 [正] 井林 大輔・三方 康弘・井上 晋
- V-617 蛍光X線装置を用いた海洋コンクリート製再生骨材中の塩化物含有率測定に関する基礎的研究 / 東亜建設工業 [正] 田中 秀周・網野 貴彦・羽瀧 貴士
- V-618 再生コンクリートにおける引張軟化曲線の推定に関する基礎的研究 / 東北工業大学 [学] 古仲 勇作・秋田 宏・小出 英夫
- V-619 安定化剤と活性化剤を用いた残コンの有効活用に関する実験的検討 / 金沢工業大学 [学] 福田 真輔・宮里 心一・大島 正記

- VI-007 鋼矢板斜め自立土留め工法の実施工を模擬した遠心模型実験 / 大林組 [正] 嶋田 洋一・高橋 真一・前田 知就

■シールドトンネル(1) / 10:25~11:55 / 齊藤 正幸(日本シビックコンサルタント)

- VI-008 大断面シールドにおける遮水壁を用いた鏡切時の防護工について / 大林・奥村・西武JV [正] 小林 晃・川田 成彦・松原 健太
- VI-009 大断面シールドにおける移動式反力壁を用いた発進方法について / 大林・奥村・西武JV [正] 高浜 達矢・川田 成彦・松原 健太
- VI-010 シールドの地上発進とその対策 / 大林組 [正] 後藤 義宜・後藤 広治・水内 満寿美
- VI-011 小土被り・営業線直下の泥土圧シールド到達掘進について / 清水建設 [正] 磯部 哲・寺田 雄一郎・岩村 忠之
- VI-012 太径NOMST部材によるシールド発進到達の施工実績 / 前

- 田建設工業 [正] 藤竹 洋季・田坂 秀博・北村 昌文
 VI-013 新型プレキャスト部材を用いた仮壁切削による大断面シールドの発進施工実績/間組 [正] 井上 隆広・中西 禎之・前川 敦
 VI-014 営業線地下鉄との長距離近接施工のための施工管理/西松建設 [正] 神谷 拓生・安村 秀樹・大江 郁夫
 VI-015 併設大断面泥土圧シールドと地下鉄トンネルとの近接施工/首都高速道路 [正] 川田 成彦・松原 健太・新井 直人

■シールドトンネル(2)/12:40~14:10/久保田 泰史(熊谷組)

- VI-016 駅築造に伴うシールドトンネルセグメント切り開き工事の施工実績/大林組 [正] 安岡 大輔・寺田 雄一郎・岩村 忠之
 VI-017 掘削途中で実施したメタンガス対策工の実績/戸田建設 [正] 榎波 敏昭・原 昌広・曾原 直樹
 VI-018 シールド掘進における掘削土量管理について/清水建設 [正] 西田 充・寺田 雄一郎・岩村 忠之
 VI-019 チャンバー内土圧計測から掘削土の塑性流動性を評価する方法の検討(その2)/清水建設 [正] 小瀧 伸也・杉山 博一・安部 透
 VI-020 水生環境負荷を1/25に低減した特殊起泡剤「エコムース」の開発/清水建設 [正] 安井 克豊・迫野 涼・渡邊 洋輔
 VI-021 環境影響の小さい新しいシールド工用気泡剤の開発/大林組 [正] 三浦 俊彦・千野 裕之・高橋 寛
 VI-022 連続ベルコン稼動状況監視システムの開発/大成建設 [正] 片山 三郎・宮崎 裕道・松本 三千緒
 VI-023 海底横断ガス導管シールドへのURUP工法の適用/大林組 [正] 丹沢 淳一・中村 成利・矢野 慎二

■シールドトンネル(3)/14:25~15:55/中谷 武彦(清水建設)

- VI-024 シールド路線内の支障物探査方法/大林組 [正] 日野 義嗣・志農 和啓・江原 豊
 VI-025 シールド路線内の支障物撤去方法/大林組 [正] 迫田 史顕・志農 和啓・江原 豊
 VI-026 大断面シールドのUターン施工における工期短縮/大林組 [正] 河口 琢哉・五十嵐 央・潮田 知史
 VI-027 ハーモニカ工法によるアンダーパス施工/大成建設 [正] 宮地 孝・安本 宣興
 VI-029 大断面泥土圧シールド掘進時の軟弱地盤の挙動について/[正] 瀧本 紅美・後藤 広治・水内 満寿美
 VI-030 シールドトンネルにおけるコンボジット型セグメント区間の漏水対策について/JR東日本 [正] 平野 光孝・吉田 聖浩・堀込 順一
 VI-031 3Sセグメントの硬化材充填時の課題と対策/戸田建設 [正] 梅原 勉

VI-1 (共通教育講義棟講35)/9月8日(木)

■シールドトンネル(4)/8:40~10:10/焼田 真司(鉄道総合技術研究所)

- VI-032 都市部における長距離・小断面・急曲線シールドの高速施工/大成建設 [正] 金森 研二・佐藤 克典
 VI-033 大断面(φ10.3m)シールドによる急曲線下水道トンネル工事/前田建設工業 [正] 増田 昌昭・有留 孝之・森 芳樹
 VI-034 非円形断面シールドトンネル用セグメント組立装置の開発と導入/大林組 [正] 横井 康人・蛭子 延彦・久田 英貴
 VI-035 シールドトンネルの鋼製セグメントにおける推力仮受部材の施工適用事例/大林組 [正] 中村 哲・志農 和啓・江原 豊
 VI-036 シールドトンネルと換気所接続部の可とう構造の施工事例/大林組 [正] 村上 真也・五十嵐 央・潮田 知史
 VI-037 要素実験によるグリスの流動抵抗特性の把握/長岡技術科学大学 [学] 平井 祐貴・山内 郁人・杉本 光隆
 VI-038 3D-CADを用いたシールド工法用プロダクトモデルの可視化/熊本大学 [学] 寺中 愛瑛・小林 一郎・古屋 弘
 VI-039 シールドとセグメントの相互作用を評価する解析モデルの開発/長岡技術科学大学 [学] 垣内 祐輝・杉本 光隆・稲田 匠吾

■シールドトンネル(5)/10:25~11:55/香川 敦(大林組)

- VI-040 合成セグメントの開発その1(本体構造)/石川島建材工業 [正] 山田 晃司・國藤 崇・浅野 裕輔
 VI-041 合成セグメントの開発その2(セグメント継手)/石川島建材工業 [正] 國藤 崇・山田 晃司・浅野 裕輔
 VI-042 スライドロックジョイントの構造簡素化/西松建設 [正] 大江 郁夫・三戸 憲二・小林 正典
 VI-043 スクリューボルト継手の引張試験およびせん断試験/早稲田大学 [学] 山田 陽介・田中 篤史・藤木 育雄
 VI-044 せん断強化型スクリューボルト継手の開発/大成ユレー

- ク [正] 田中 篤史・沼澤 憲二郎・藤木 育雄
 VI-045 SB継手の曲線半径100Rでの施工実績について一日進捗引排水区下水道工事(北建-21-3)工事/佐藤工業 [正] 早川 淳一・武藤 圭太・上地 勇
 VI-046 大断面道路トンネルにおけるセグメント掘進同時組立システムの採用/大成建設 [正] 足立 英明・後藤 広治・水内 満寿美
 VI-047 コンクリート一体型鋼製セグメントの実施工への採用/大成建設 [正] 石田 聖一・五十嵐 央・築取 優丞

VI-1 (共通教育講義棟講35)/9月9日(金)

■地下構造物/8:40~10:10/滝本 邦彦(鹿島建設)

- VI-048 外殻先行トンネル構築法におけるボルト拘束型モルタル充てん継手の開発/戸田建設 [正] 請川 誠・浅野 均・下坂 賢二
 VI-049 高速道路で非開削工法を行う際の 適正な路面沈下管理を目指して/中日本高速道路 [正] 市川 博康・中田 雅博
 VI-050 URT工法における推進精度及び軌道変状管理について/西日本旅客鉄道 [正] 武部 啓吾・内田 慶一
 VI-051 玉石混じり地盤におけるHEP&JES工法の工期短縮と軌道変状対策に関する一考察/西日本旅客鉄道 [正] 福本 守・中橋 寛明・出向井 雄一
 VI-052 JES工法による鋼殻コンクリートの変形性能に関する実物大試験/鉄建建設 [正] 柳 博文・松岡 茂
 VI-053 双設シールドトンネル間の小口径推進工の計画と施工/大成建設 [正] 尾関 孝人・長崎 浩・富岡 和隆
 VI-054 推進時に推進管に発生する軸方向ひずみ、応力の現場計測/長岡技術科学大学 [学] 東川 正和・CHANTHAVONG THANONGDETH・石塚 千司
 VI-055 アーバンリング工法による大深度避難出口立坑の掘削圧入管理/間組 [正] 岩倉 孝幸・前川 敦・井上 隆広
 VI-056 土木工事における簡易空気浄化方法の開発/大成建設 [正] 伊賀崎 圭・高倉 克彦・森田 泰司

■地下構造物・開削トンネル/10:25~11:55/川村 力(北海道旅客鉄道)

- VI-057 逆巻き中床版による営業線仮受と計測管理について—その1計画概要—/大成建設 [正] 村上 達也・小川 司・上野 修彦
 VI-058 逆巻き中床版による営業線仮受と計測管理について—その2計測管理—/大成建設 [正] 日高 直俊・小川 司・上野 修彦
 VI-059 大断面4連アーチカルバートの現場計測/地域地盤環境研究所 [正] 長屋 淳一・田口 敬介・中野 計
 VI-060 地下構造物における鋼殻セグメント構造を用いた合理化施工の計画・施工/大成建設 [正] 山田 紀之・兜 俊彦・佐藤 賢一郎
 VI-061 狭隘箇所における効率的な掘削工法及び既設出入口通路の受桁設置の検討について/東京地下鉄 [正] 村松 泰・奈須 秀人・本村 高志
 VI-062 営業中の地下鉄函体内における永久アンカーの施工/大林組 [正] 島谷 竜一・村田 豊喜・坪内 雅嗣
 VI-063 調布駅地下化工事における逆巻き接合部の高流動コンクリート施工実績/鹿島建設 [正] 森 暢典・寺田 雄一郎・岩村 忠之
 VI-064 鉄道営業線における既設開削トンネルの耐震補強(その1)—補強計画と工法選定—/東京急行電鉄 [正] 高倉 鉄也・小里 好臣・井上 善広
 VI-065 鉄道営業線における既設開削トンネルの耐震補強(その2)—鋼製パネル組立工法の適用拡大—/大林組 [正] 佐藤 清・高倉 鉄也・小里 好臣

VI-2 (共通教育講義棟講34)/9月7日(水)

■測量・計測/8:40~10:10/佐田 達典(日本大学)

- VI-066 無線LAN通信電波を利用した測位技術の測位精度に関する研究/飛鳥建設 [正] 松田 浩朗・松元 和伸・小林 薫
 VI-067 ノンプリズム型トータルステーションに同心円レチクルを用いた計測技術の開発/九州共立大学 [正] 牧角 龍憲・中庭 和秀
 VI-068 三次元形状計測システムによる山岳トンネルの出来形計測/東急建設 [正] 池野谷 尚史・遠藤 健・倉爪 亮
 VI-069 ヘリカルスキャナを併用した走行型連続画像計測システム/計測リサーチコンサルタント [正] 皆川 哲也・西村 正三・渡邊 弘行

- VI-070 リンク型軌道変状システムを用いた工事術の自動計測／戸田建設 [正] 新谷 岳・木村 安孝・岩井 隆志
- VI-071 鏡を用いた変状検知及び特異観測ポイントにおける表示手法／神戸大学 [学] 岩崎 健二・田井 克昌・芥川 真一
- VI-072 デリー地下鉄工事におけるOn Site Visualizationの適用例／神戸大学 [正] 芥川 真一・楠井 彩子・阿部 玲子
- VI-073 汎用建設機械を用いた土の強度に関する実務的簡易推定手法の開発(その2)／長崎大学 [学] 後田 一実・杉本 知史・辻 大志

■施工計画(1)／10:25～11:55／小出 太郎(清水建設)

- VI-074 HEP&JES工法におけるエレメントけん引力に関する一考察について／東海旅客鉄道 [正] 佐藤 大・日下部 昭彦・藤原 隆
- VI-075 高架橋段階施工におけるRC高架橋ジャッキアップ工事の施工実施報告について／東日本旅客鉄道 [正] 丸山 史人・石山 大祐・青木 千里
- VI-076 東海道新幹線3線橋の撤去に関する計画と施工／ [正] 良川 一斗・石井 雅樹・石井 拡一
- VI-077 東北縦貫線建設に伴う東北新幹線既設鋼ラーメン柱部材の耐震補強／JR東日本 [正] 木澤 友輔・山口 慎・宗石 努
- VI-078 盛土式ホームにおける可動式ホーム柵基礎の施工方法／東鉄工業 [正] 上澤 繁樹・立花 信夫・渡辺 拓
- VI-079 ラディッシュアンカーを用いた線路近接部における鉛直土留めの計画・施工／東日本旅客鉄道 [正] 松田 俊一・松本 浩一
- VI-080 鉄道直上におけるボックスカルバート上部改築工事の施工検討／東京急行電鉄 [正] 日黒 邦夫・金田 昭次・松下 和晴
- VI-081 軟弱地盤における高規格堤防の施工とJR構造物への影響／東鉄工業 [正] 丸田 正博・平山 信夫・中垣 宏隆

■施工計画(2)／12:40～14:10／原田 雅弘(熊谷組)

- VI-082 逆突きスラブ工法における鋼管柱設置実績について／大成建設 [正] 関口 知也・亀元 邦英・茅野 秀徳
- VI-083 既設高架橋近傍での地下連続壁施工時の施行計画／JR東日本 [正] 遊座 啓史・菅野 貴浩・櫻井 照信
- VI-084 首都高速道路橋脚に近接した大規模掘削の施工報告／大成建設 [正] 平川 智也・吉田 真悟・亀元 邦英
- VI-085 鋼管杭圧入工法による地下駐車場のアンダーピニング工事について／清水建設 [正] 関根 裕子・両角 幸範・坂口 淳一
- VI-086 火力発電所取水設備更新工事におけるケーソン躯体製作および施工計画／東日本旅客鉄道 [正] 箱田 達也・小島 淳史
- VI-087 火力発電所取水設備新設工事における大深度ソイルセメント柱列壁の施工計画／東日本旅客鉄道 [正] 小島 淳史・縄田 晃樹・白石 浩三
- VI-088 河川内玉石混じり砂礫地盤でのニューマチックケーソンに伴う築島の施工／大林組 [正] 平井 泰樹・相澤 毅・野田 淳
- VI-089 LEC(光るデータコンバータ)を用いたのり面補強工事における施工管理手法／鴻池組 [正] 若林 宏彰・田丸 浩行・酒井 康至

■施工計画(3)／14:25～15:55／田中 啓之(鹿島建設)

- VI-090 擁壁モデルを用いたひび割れ抑制技術の比較試験／大林組 [正] 谷田部 勝博・新村 亮・納 弘
- VI-091 コンクリート用防水材料の力学的性能／清水建設 [正] 高橋 圭一・滝本 和志・田中 孝典
- VI-092 砂地盤におけるH鋼杭の振動圧入と打撃圧入による支持力評価について／JR東日本 [正] 永井 新悟
- VI-093 トンネル工事における濁水対策および環境保全対策／大林組 [正] 桑高 崇・和崎 宏一・林 圭一
- VI-095 供用中路線ランプのジャンクション化工事に関する報告／阪神高速道路 [正] 宮田 亮・平井 正剛・栗原 利治
- VI-096 大断面シールドの通過を想定した中間立坑設計／阪神高速道路 [正] 藤原 勝也・志村 敦・岩住 知一
- VI-097 型枠の概念を用いたコンクリートモデルに対する提案／前田建設工業 [正] 城古 雅典・有賀 貴志・矢吹 信喜
- VI-098 利水運用を考慮した管路切替工事に係る仮設備計画／開発設計コンサルタント [正] 向井 法嗣・木村 忠則・平野 靖

VI-2 (共通教育講義棟講34)／9月8日(木)

■安全管理／8:40～10:10／辻 奈津子(大林組)

- VI-099 建設現場用安全管理サポートシステムの開発／技研興業 [正] 河野 茂樹・三軒家 俊二・大井 邦昭
- VI-100 建設現場における労働災害損失コストの計測／労働安全衛生総合研究所 [正] 高木 元也
- VI-101 新潟県中越地震・新潟県中越沖地震による災害復旧工事中

- の労働災害に関する調査・分析／東京都市大学 [学] 野田 昌志・吉川 直孝・伊藤 和也
- VI-102 テキストマイニングによる掘削用機械の労働災害分析の試み／労働安全衛生総合研究所 [正] 堀 智仁・吉川 直孝・大幡 勝利
- VI-103 碎石場跡の崖面を含む岩盤斜面における切土工事の安全対策／竹中土木 [正] 市川 晃央・一井 博文・畑 茂雄
- VI-104 メッシュシートを利用した足場からの墜落防止方法の安全性の評価／労働安全衛生総合研究所 [正] 大幡 勝利・高梨 成次・日野 泰道
- VI-105 手すり先行工法など新たな墜落防止機材導入時の問題点に関するアンケート調査／労働安全衛生総合研究所 [正] 高梨 成次・大幡 勝利・豊澤 康男
- VI-106 既設架道橋撤去に伴うHEP&JES工法による架道橋新設／東海旅客鉄道 [正] 保田 将彦・大野 亜季奈・大野 善考
- VI-107 営業線近接箇所におけるノンスレージングによる仮土留施工／東鉄工業 [正] 岸 智久・陣川 博朗・鈴木 庸孝

■品質管理／10:25～11:55／五十嵐 寛昌(鹿島建設)

- VI-108 トレーサビリティ実現のためのUHF帯RFIDを用いた基礎実験／飛鳥建設 [正] 松元 和伸・阿保 寿郎・松田 浩朗
- VI-109 法肩締固め時間管理システムの開発／大成建設 [正] 宮崎 裕道・松本 三千緒・近藤 高弘
- VI-110 CSG材料トレスシステムの開発／大成建設 [正] 松本 三千緒・宮崎 裕道・近藤 高弘
- VI-111 盛土の施工規定による管理について／東日本旅客鉄道 [正] 井上 健典・渡邊 明之
- VI-112 泥水式シールド工法における調整槽へのガンマ線泥水密度計の適用／フィールドテック [正] 好村 耕次・柴田 富雄
- VI-113 超速硬セメントコンクリートの初期強度確認方法／首都高速道路 [正] 鈴木 寛久・田中 大介・永田 佳文
- VI-114 再振動締固めによるコンクリートの均一性の確保に関する考察／佐藤工業 [正] 三坂 岳広・宇野 洋志城・守山 亨
- VI-115 全方位撮影技術の開発とそれを活用した設備管理の事例／NTTインフラネット [正] 山田 利勝・福井 豊一・長谷川 光正

VI-2 (共通教育講義棟講34)／9月9日(金)

■GPS(1)／8:40～10:10／熊谷 幸樹(飛鳥建設)

- VI-116 ダムサイトにおけるGPS計測の実証試験(その1)／開発設計コンサルタント [正] 佐藤 孝史・喜多 佑介・野嶋 潤一郎
- VI-117 重機情報化施工へのVRS-GPSの適用性についてー移動観測実験ー／ハザマ [正] 黒台 昌弘・武石 学・鈴木 敏之
- VI-118 長大斜面におけるGPS変位計測と大気遅延補正の効果(その2)／山口大学 [学] 難波 辰弥・清水 則一・小野 雅和
- VI-119 GPS無線センサネットワークを用いた変位モニタリングにおけるセグメント化の検討／ [学] 今村 俊毅・本橋 瞳・佐伯 昌之
- VI-120 GPS静的測位解析におけるアンテナノイズの時間安定性に関する基礎的検討／東京理科大学 [学] 大澤 慎太郎・佐伯 昌之
- VI-121 電波遮蔽環境におけるGPSとGLONASSを併用したRTK測位の精度検証実験／フィールドテック [正] 村山 盛行・佐田 達典・池田 隆博
- VI-122 電波遮蔽環境におけるRTK測位のGLONASS利用条件に関する研究／日本大学 [学] 池田 隆博・佐田 達典

■GPS(2)・GIS／10:25～11:55／清水 則一(山口大学)

- VI-123 モバイルマッピングシステムを用いた細密な道路の洪水ハザードマップ作成に関する研究／日本大学 [学] 白井 美由貴・佐田 達典・石坂 哲宏
- VI-124 リモートセンシングデータと地理情報を用いた斜面崩壊形態広域推定図の提案／東京理科大学 [学] 野崎 亮・小島 尚人・久松 弘典
- VI-125 走行車両の位置取得におけるRTK測位の精度検証／日本大学 [学] 千葉 史隆・佐田 達典・石坂 哲宏
- VI-126 重力異常検出のためのラジコンヘリコプター姿勢計測装置の基礎的検討／東京理科大学 [学] 大澤 英里・佐伯 昌之・盛川 仁
- VI-127 準天頂衛星のLEX信号受信による低速移動時のRTK測位実験／日本大学 [学] 棚橋 知世・佐田 達典・石坂 哲宏
- VI-128 準天頂衛星のLEX信号受信によるRTK測位精度に関する実験／日本大学 [学] 水野 雄一・佐田 達典・石坂 哲宏
- VI-129 3次元点群データを用いた天空図による衛星の可視性評価／フィールドテック [正] 福森 秀晃・佐田 達典・村山 盛行

VI-3 (共通教育講義棟講41) / 9月7日(水)

■景観設計・設計技術 / 8:40~10:10 / 山本 康之(清水建設)

- VI-130 鋼橋—コンクリート橋 掛け違い部の景観設計—阪神高速道路 三宝ジャンクション—阪神高速道路 [正] 茂呂 拓実・木暮 雄一・金澤 宏明
- VI-131 ハイブリッド重力式橋の地震時安定性に関する模型振動実験 / 五洋建設 [正] 原 基久・菅野 高弘・小濱 英司
- VI-132 温度応力解析によるひび割れ照査に基づいたPC橋梁上部工の設計事例 / 大林組 [正] 玉井 礼子・野田 翼・齋藤 隆
- VI-133 土木構造物を対象とした情報流通のあり方 / 八千代エンジニアリング [正] 吉野 博之・藤澤 泰雄
- VI-134 建設生産システムにおける3次元モデル導入に関する研究 / 東日本旅客鉄道 [正] 田原 孝・柳沼 謙一・小林 三昭
- VI-135 土木構造物設計への3次元モデル導入の検討 / ジェイアール東日本コンサルタンツ [正] 小林 三昭・池田 美紀・田原 孝
- VI-136 3次元配筋モデルにおける干渉箇所の効率的な特定方法について—モデル属性(鉄筋に関する属性データ)を活用した干渉箇所の特定— / 奥村組 [正] 五十嵐 善一
- VI-137 鉄道営業線に近接して施工されるケーソン基礎影響遮断壁の3次元FEM解析による設計 / 阪急設計コンサルタント [正] 室屋 信彦・岡重 嘉泰

■リニューアル(1) / 10:25~11:55 / 松崎 靖彦(ウエスコ)

- VI-138 鋼橋の疲労損傷事例および補修方法事例の分類からの補修方法の研究 / 石川工業高等専門学校 [学] 倉田 真麻・三ツ木 幸子・山口 隆司
- VI-139 疲労亀裂のグラインダーによる除去方法に関する研究 / 石川工業高等専門学校 [学] 住吉 信哉・三ツ木 幸子・山口 隆司
- VI-140 鋼桁添接部腐食損傷の補修設計 / 首都高速道路 [正] 菊地 勇気・染谷 厚徳・増井 隆
- VI-141 鋼製門型ラーメン橋脚隅角部の変状に関する調査検討—その1— / 東京地下鉄 [正] 菅原 孝男・松川 俊介・杉本 一朗
- VI-142 鋼製門型ラーメン橋脚隅角部の変状に関する調査検討—その2— / 東京地下鉄 [正] 坂田 聡・松川 俊介・杉本 一朗
- VI-143 鋼桁・橋台・盛土の一体化補強工法における鋼桁・橋台の施工方法 / 鉄道総合技術研究所 [正] 野中 隆博・神田 政幸・館山 勝
- VI-144 鋼桁・橋台・盛土の一体化橋梁(実大試験橋梁)の動的計測 / 鉄道総合技術研究所 [正] 横山 知昭・神田 政幸・小林 裕介
- VI-145 吊橋ハンガーロープ塗替塗装における素地調整の機械化 / 本州四国連絡高速道路 [正] 貴志 友基・東 秀樹・梶尾 治郎

■リニューアル(2) / 12:40~14:10 / 福田 茂(四国建設コンサルタント)

- VI-154 高齢橋における木杭の健全性に関する考察 / 大阪市立大学 [正] 山口 隆司・小松 靖朋・柚本 真介
- VI-155 橋梁伸縮装置の漏水防止材の開発 / 山口大学 [正] 高海 克彦・麻生 稔彦・佐藤 貴大
- VI-156 ゴム製伸縮装置の点検管理手法に関する一考察 / 中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京 [正] 衣笠 泰広・高橋 徹・佐藤 寿美
- VI-157 ゴム支承のオゾン劣化に関する研究 / 横浜ゴム [正] 兼子 一弘・柴山 聡
- VI-158 樹脂注入補修を行った上面増厚床版の追跡調査 / 日本建設機械化協会 [正] 松本 政徳・後藤 昭彦・長谷 俊彦
- VI-159 FRPロッドの外接着補強法に関する基礎的検討 / 茨城大学 [学] 磯貝 暢宏・呉 智深
- VI-160 浸透型亜硝酸塩系防錆剤による中性化コンクリート中鉄筋の防食試験 / ntt [正] 本多 文夫・吉岡 直史・椎名 久男
- VI-161 ゴムスポンジとゴムチューブを用いた水中部の仮設ドライアップ工法の開発 / 東亜建設工業 [正] 土屋 武史・宮沢 明良・羽瀧 貴士

■リニューアル(3) / 14:25~15:55 / 内藤 英樹(東北大学)

- VI-146 高速道路ランプにおけるRC中空床版への電気防食工の適用 / 大林組 [正] 小山 宏人・宮田 亮・大供 和男
- VI-147 RC巻立て補強部に発生した初期ひびわれに関する調査と設計での留意事項 / 八千代エンジニアリング [正] 安藤 友美・永富 大亮・日隈 善則
- VI-148 高速道路ランプにおける渡河部RC床版橋撤去工事 / 大林組 [正] 岡崎 清徳・大西 和行・平井 正剛
- VI-149 組立て式補強鋼材と吹付けモルタルによる高架橋柱の耐震補強工法の開発と施工について / 東京急行電鉄 [正] 宮蔭 和人・小里 好臣・伊藤 正憲

- VI-150 組立て式補強鋼材と吹付けモルタルで補強したRC柱のせん断耐力および変形性能 / 東急建設 [正] 黒岩 俊之・小里 好臣・谷村 幸裕
- VI-151 分布型センシング技術の安定性評価に関する研究 / 茨城大学 [学] 宮田 実・呉 智深
- VI-152 土木構造物の維持管理のための画像計測法の研究 / 京都大学 [学] 金澤 彬・西山 哲・矢野 隆夫
- VI-153 橋梁点検手法に関する実態と必要技術 / 土木研究所 [正] 茂木 正晴・藤野 健一

VI-3 (共通教育講義棟講41) / 9月8日(木)

■リニューアル(4) / 8:40~10:10 / 大竹 省吾(オリエンタルコンサルタンツ)

- VI-162 トンネル覆工変状分析のための移動体3次元レーザースキャナの情報処理について / 地層科学研究所 [正] 遠藤 太嘉志・里 優・岩永 昇二
- VI-163 トンネル覆工の損傷成長モデルの提案 / 東京都市大学 [正] 丸山 収・須藤 敦史・田中 泰明
- VI-164 PCL工法によるトンネルの補修 / 大林組 [正] 小西 敬・下田 正人・加古藤 高朗
- VI-165 導水路トンネルにおいて後悔しない維持管理を実現するための方策 / 日本工営 [正] 小谷 拓・松田 貞則・森崎 泰隆
- VI-166 共同溝狭隘部におけるウォータージェットを用いた耐震補強工法の開発と施工 / 東急建設 [正] 前田 欣昌・吉村 幸丞・山田 雅彦
- VI-167 プラズマモール工法のダクトイル鑄鉄製水道本管への適用性確認実験報告 / 南野建設 [正] 脇 登志夫・田中 大三・千々岩 利栄
- VI-168 後施工プレート定着型せん断補強鉄筋を用いた耐震補強工法の下水道施設への適用 / 成和リニューアルワークス [正] 岡本 晋・新藤 竹文・福浦 尚之
- VI-169 ライフサイクルコストを考慮した継足樋門設計の一考察 / パシフィックコンサルタンツ [正] 菊地 圭介・若狭 聡・太田 貴史
- VI-170 大型研削機を用いた走行路路面整正(新交通ゆりかもめ) / ゆりかもめ [正] 穴沢 秀昭・有安 信裕

■リニューアル(5) / 10:25~11:55 / 土井 仁(大成基礎設計)

- VI-171 東京国際空港D滑走路における維持管理システム(webシステム)の開発 / 東亜建設工業 [正] 浅沼 丈夫・岡本 達也・鈴木 紀慶
- VI-172 東京国際空港D滑走路における維持管理システム(モバイル点検システム)の開発 / 鹿島建設 [正] 岡本 達也・浅沼 丈夫・鈴木 紀慶
- VI-173 コンクリートダムにおけるクラック等の劣化が堤体の安定性に与える影響 / 土木研究所 [正] 大館 渉・岩下 友也
- VI-174 効率的な道路管理に関する一考察—橋梁の管理を例として— / 日本大学 [正] 佐藤 弘史・秋葉 正一
- VI-175 既設橋梁の長寿命化に向けた点検・補修時の留意点 / オリエンタルコンサルタンツ [正] 坂口 浩昭・広瀬 知晃・木村 淳
- VI-176 山口県における道路施設維持管理支援システムの開発と適用例 / 山口県土木建築部 [正] 山根 智・吉村 崇・宮本文穂
- VI-177 点検業務における情報の有効活用に関する一考察 / 東京大学 [正] 石川 雄章・市川 暢之・二宮 利江
- VI-178 情報技術活用による現場作業の支援方策の体系化 / 東京大学 [正] 市川 ノブユキ・石川 雄章・二宮 利江

VI-3 (共通教育講義棟講41) / 9月9日(金)

■地盤改良(1) / 8:40~10:10 / 嶋田 洋一(大林組)

- VI-179 溶液型グラウトの岩盤亀裂内での高水圧抵抗性に関する室内模型実験 / 清水建設 [正] 杉山 博一・延藤 遵
- VI-180 耐久性に優れた溶液型グラウトの水圧抵抗性に関する原位試験 / 清水建設 [正] 延藤 遵・杉山 博一・辻 正邦
- VI-181 可塑性グラウトの空洞・間隙充填に関する実大規模実験 / 大成建設 [正] 石井 裕泰・檜垣 貴司・立川 貴重
- VI-182 水平薬液注入の長尺施工による液状化対策 / 奥村組 [正] 高島 哲朗・倉田 和彦・小川 渉
- VI-183 水平薬液注入の長尺施工における改良品質確保に向けた取り組み / 奥村組 [正] 倉田 和彦・高島 哲朗・小川 渉
- VI-184 薬液注入工における都市部幹線道路変状管理技術 / 鹿島建設 [正] 森 泰宏・土井 雄司・伊藤 健治
- VI-185 河川及び既存構造物に近接した箇所における薬液注入の施工について / JR東日本 [正] 中野 涼子・新田 昭彦・柴田 幸廣

■地盤改良(2)／10:25～11:55／樋口 雄一(大成建設)

- VI-186 道路トンネル基礎地盤液状化対策の施工実績／鹿島建設
[正] 深澤 哲也・山中 一男
- VI-187 大阪港北港南地区港湾工事における高圧噴射攪拌工法
(GEOPASTA工法)の改良体特性／ケミカルグラウト
[正] 玉野 亮人・大西 正夫・諸田 隆行
- VI-188 供用中岸壁の大規模地盤改良工事について(その1設計・施
工管理)／大林組 [正] 上月 健司・善田 好信・栗原 保弘
- VI-189 供用中岸壁の大規模地盤改良工事について(その2品質管
理)／日本基礎技術 [正] 岡田 和成・山本 慎一郎・辻中
孝信
- VI-190 大径礫を使用した埋立地盤の液状化対策工法の開発実験報
告その2—大型屋外実験—／清水建設 [正] 久保 正顕・横
山 勝彦・五領田 修
- VI-191 大径礫を使用した埋立地盤の液状化対策工法の開発実験報
告その1—室内実験—／清水建設 [正] 宮下 剛幸・伊勢
寿一・吉原 到
- VI-192 供用中岸壁における高圧噴射攪拌工法による岸壁背面の地
盤改良対策例／東亜建設工業 [正] 稲木 信之・野澤 良一・
一坪 慎吾

VI-4 (共通教育講義棟講42)／9月7日(水)

■建設環境／8:40～10:10／宮田 和(清水建設)

- VI-193 環境に優しい工事濁水処理システムの開発／西松建設
[正] 西田 秀紀・伊藤 忠彦・丸井 敦尚
- VI-194 粉体凝集材を利用した省スペース型濁水処理工法の開発
(その1)／前田建設工業 [正] 福田 淳・山本 達生・清水
英樹
- VI-195 粉体凝集材を利用した省スペース型濁水処理工法の開発
(その2)～コンクリート切削排水での実証結果～／前田建
設工業 [正] 山本 達生・福田 淳・清水 英樹
- VI-196 キトサン凝集剤による濁水処理において脱水ケーキの法面
緑化への適用を考慮したLCCO₂／大成建設 [正] 大野 剛・
大脇 英司・藤原 靖
- VI-197 石炭ガス化溶融スラグのコンクリート用骨材としての有効
利用に関する研究／間組 [正] 齊藤 栄一・福留 和人・坂
口 隆彦
- VI-198 模擬汚染土壌を用いた植物体への重金属吸収能と生育反応
に関する実験／熊谷組 [正] 土路生 修三・横塚 享・菅野
裕一
- VI-199 ヨモギを用いたファイトレメディエーションの基礎的研究
／熊谷組 [正] 伊藤 達也・横塚 享・土路生 修三
- VI-200 大山ダムホタルビオトープのモニタリング結果／熊谷組
[正] 門倉 伸行・岡本 弾・丸山 真弘

■アセットマネジメント(1)／10:25～11:55／岩城 一郎(日本大学)

- VI-201 香川県内橋梁における劣化の経年変化に関する調査研究／
香川高専 [学] 齊藤 暖・太田 貞次
- VI-202 橋梁マネジメントシステムのデータ相互利用に関する一考
察／金沢大学 [学] 塚原 直幸・中田 克哉・町口 敦志
- VI-203 広島県内の市町の橋梁アセットマネジメントに関する取り
組みについて／広島県土木協会 [正] 川西 利治・新田 勉
- VI-204 統計的手法を用いた橋梁点検データベースに基づく橋梁健
全度評価：予備解析／岐阜大学 [学] 流石 亮・本城 勇介・
大竹 雄
- VI-205 維持管理のための橋梁長寿命化修繕計画の策定／建設技術
研究所 [正] 神島 涼佑・青井 裕昭・梅本 春菜
- VI-206 診断結果(病気の特定結果)を用いた橋梁の健全度評価に関
する検討／パシフィックコンサルタンツ [正] 田原 和久・
横山 正樹・鈴木 啓司
- VI-207 福岡北九州高速道路公社のアセットマネジメントの取り組
みについて／福岡北九州高速道路公社 [正] 藤木 修・片
山 英資・桂 謙吾

■アセットマネジメント(2)／12:40～14:10／横田 弘(北海道大学)

- VI-208 塩害橋梁マネジメントシステムの開発／大日本コンサルタ
ント [正] 龍田 齊・藤本 直也
- VI-209 橋梁マネジメントシステム(NEXCO-BMS)を活用した維
持管理計画検討／高速道路総合技術 [正] 後藤 昭彦・大
澤 誠司
- VI-210 橋梁の維持補修におけるLCCに基づく最適予算額決定に関
する事例研究／高島テクノロジーセンター [F] 和久 昭
正・古中 仁
- VI-211 地下鉄構造物のアセットマネジメントのための評価モデル
の確立／交通サービス [正] 豆谷 美津二・上新原 公治・
部 直樹

- VI-212 地下鉄構造物のアセットマネジメントにおける具体的プロ
セスについて／復建エンジニアリング [正] 荒 勲・伊藤
正弘・木村 幸貴
- VI-213 寒冷地のトンネル覆工における劣化評価値と補修・補強の
関係について／東京都市大学 [学] 糸井 謙介・須藤 敦史・
佐藤 京
- VI-214 中長期的な維持管理戦略との整合性を考慮した長寿命化計
画の立案手法／成和コンサルタント [正] 鶴田 知己・堀
倫裕

■アセットマネジメント(3)／14:25～15:55／田中 克則(西日本高速道路)

- VI-215 RC床版の劣化速度に関する統計的分析に基づく補修優先
順位の決定／大阪大学 [学] 福田 泰樹・貝戸 清之・橋爪
謙治
- VI-216 道路舗装の劣化要因分析に関する一考察／パスコ [正] 森
悠・岡田 貢一・青木 一也
- VI-217 道路舗装の施工範囲の設定が管理水準と施工回数に与える
影響／パスコ [正] 岡田 貢一・星野 司・張戸 祐典
- VI-218 山口県におけるハイビジョン走行映像及び道路台帳閲覧共
有化システムの開発／山口大学 [学] 吉武 俊章・宮本文穂
- VI-219 3Dモデルを用いた橋りょう維持管理用展開図作成・管理
システムの開発／西日本旅客鉄道 [正] 近藤 健一・坂本
保彦・中山 忠雅
- VI-220 LCCを考慮した港湾施設の維持管理計画に関する検討／建
設技術研究所 [正] 下峠 康宏・魚住 研司・北村 隆理
- VI-221 治水施設の耐用年数と延命化方策に関する一考察／日本工
営 [正] 松田 貞則・舟橋 修徳

VI-4 (共通教育講義棟講42)／9月8日(木)

■検査技術・診断(1)／8:40～10:10／国枝 稔(名古屋大学)

- VI-222 電磁誘導法による鉄筋かぶり厚さ推定に関する実験的研究
—近接鉄筋および直交鉄筋の影響—／熊谷組 [正] 野中
英・大沼 薫春
- VI-223 電磁誘導法による鉄筋かぶり厚さ測定精度に関する実験的
検証／RECOエンジニアリング [正] 大沼 薫春・野中 英
- VI-224 鉄筋自然電位の測定温度に伴う照合電極間の電位換算につ
いて／ナカボーテック [正] 篠田 吉央・望月 紀保
- VI-225 塩害損傷を受けたRCT桁橋(御幸橋)の耐荷力検討／香川
高専 [学] 薬師 佑祐・石床 健太・太田 貞次
- VI-226 コンクリートコア試験を利用した撤去橋梁の余寿命推定結
果の検証／電気化学工業 [正] 高橋 順・宮本文穂・江本
久雄
- VI-227 専門家による近接目視点検データを利用した撤去橋梁の健
康診断と余寿命推定／山口大学 [F] 宮本文穂・江本 久
雄・高橋 順
- VI-228 土木構造物保守管理システム(トンネル、橋梁他)の構築／
ジェイアール西日本コンサルタンツ [正] 瀧浪 秀元・正
田 奈緒也・中山 忠雅
- VI-229 VRを利用した目視点検支援システムの開発と橋梁損傷体
験への適用／山口県県庁 [正] 澤村 修司・内村 俊二・宮
本文穂
- VI-230 過去に修繕された橋台の挙動調査による健全度把握／JR
東海 [正] 齋藤 拓也・中西 巧・山崎 秀介

■検査技術・診断(2)／10:25～11:55／遠藤 和雄(清水建設)

- VI-231 道路附属物支柱基部の腐食発生傾向に関する検討／国土技
術政策総合研究所 [正] 星野 誠・玉越 隆史
- VI-232 道路盛土法面における各種物理探査の適用性に関する研究
／国土交通省 [正] 山本 剛・楠見 晴重・松岡 俊文
- VI-233 2値化処理を用いた吹付けのり面の健全度診断アルゴリ
ズム／大和小田急建設 [正] 篠崎 哲也・小林 孝行
- VI-234 パッシブサーモグラフィ法を利用した産業廃棄造粒物の締
固め管理／中央工学校 [正] 金光 寿一・柳内 睦人・桐生
竜治
- VI-235 コンクリート構造物検査に用いる画像処理手法の開発／西
日本旅客鉄道 [正] 坂本 保彦・御崎 哲一・鶴飼 正人
- VI-236 宇宙線ミュオン粒子を利用したマルチ計測器と三次元トモグ
ラフィ技術の開発／川崎地質 [正] 鈴木 敬一・大沼 寛・
奥村 忠彦
- VI-237 ブロック積壁の健全度評価手法構築のための模型実験／鉄
道総合技術研究所 [正] 田中 祐二・大村 寛和・阿部 慶太
- VI-238 被災した鋼箱桁橋の亀裂進展モニタリング事例の紹介とリ
モートアクセスに向けた一検討／大日本コンサルタント
[正] 田代 大樹・吉岡 勉・笠井 利貴
- VI-239 磁気異方性センサによる曲管部の応力測定におけるセンサ

感度の影響について／キャプティ [正] 飯村 正一・境 禎明

検討／清水建設 [正] 高島 英一・長谷川 達也・三尾 寿治

VI-4 (共通教育講義棟講42) / 9月9日(金)

■検査技術・診断(3) / 8:40~10:10 / 戸田 勝哉 (IHI)

- VI-240 路面診断のための多目的画像処理と簡易路面診断システム (VIMS)の統合／東京大学 [学] 三輪 陽彦・西川 貴文・長山 智則
- VI-241 橋梁床版ひび割れ調査へのウェーブレット変換画像解析技術の適用／大成建設 [正] 福田 慎治・神谷 誠・堀口 賢一
上塗り塗膜の透けに着目した塗膜評価に関する一考察／本州四国連絡高速道路 [正] 森下 尊久・荻原 勝也・阿部 明弘
- VI-242 維持管理合理化を目指した長大トラス橋の部材腐食に対する橋梁全体系解析／阪神高速道路 [正] 杉岡 弘一・松本 茂・大石 秀雄
- VI-243 長大橋フィンガージョイントのき裂損傷原因調査／首都高速道路技術センター [正] 友清 剛・小西 拓洋・阿部 紀征
- VI-244 超音波による伸縮装置フィンガープレートのき裂検出性能確認試験／首都高速道路技術センター [正] 村野 益巳・阿部 紀征・友清 剛
- VI-245 レーザリモートセンシングを用いたコンクリート欠陥探傷技術の検討・開発(1) レーザリモートセンシング装置の概要／レーザー技術総合研究所 [正] 島田 義則・Kotyaev Oleg・渡辺 英世
- VI-246 レーザリモートセンシングを用いたコンクリート欠陥探傷技術の検討・開発(2) コンクリート欠陥検知・健全度判定アルゴリズムの構築／大和小田急建設 [正] 大村 寛和・篠田 昌弘・阿部 慶太
- VI-247 レーザリモートセンシングを用いたコンクリート欠陥探傷技術の検討・開発(3) 振動低減手法の確立および試験報告／西日本旅客鉄道 [正] 御崎 哲一・坂本 保彦・島田 義則

■検査技術・診断(4) / 10:25~11:55 / 蔵重 勲 (電力中央研究所)

- VI-249 光ファイバを用いた常時監視システムの実現場導入／NTTインフラネット [正] 福井 豊一・長谷川 光正・森光 雅之
- VI-250 光学ストランドを用いたひび割れコンクリート壁の長期モニタリングと地震応答／日揮 [正] 門 万寿男・加藤 佳孝・勝木 太
- VI-251 MEMS加速度センサICタグを用いた災害時対応型橋梁モニタリングの検討／福山コンサルタント [正] 齋藤 修・原田 隆郎・掛札 龍太
- VI-252 固有振動数を用いた橋梁の健全性試験方法／日東建設 [正] 中野 泰宏・久保 元樹・久保 元
- VI-253 民生用デジタルカメラを利用した簡易型非接触式たわみ測定器の実用化／ズームスケープ [正] 小野 徹・近藤 健一・坂本 保彦
- VI-254 テラヘルツ波を用いた非破壊検査技術の鋼構造物の塗膜劣化調査への適用性に関する基礎調査／中日本高速道路 [正] 酒井 修平・藤野 和雄・若林 大
- VI-255 モアレ縞を用いたひずみ可視化シートの開発／計測リサーチコンサルタント [正] 梅本 秀二・高木 健・藤井 堅
- VI-256 FBG-BOTDR統合技術における高精度ひずみ分布の解析手法の提案／飛鳥建設 [正] 上明戸 昇・田村 琢之・熊谷 幸樹

VI-5 (共通教育講義棟講43) / 9月7日(水)

■橋梁 / 8:40~10:10 / 熊坂 徹也 (オリエンタルコンサルタンツ)

- VI-257 特殊横取り装置を用いた市街地での大径間PC桁架設／大林組 [正] 花岡 真也・秋元 邦雄・吉川 宏
- VI-258 第二東名高速道路青木川橋工事における高橋脚の施工／大成建設 [正] 藤本 大輔・近藤 康紀・田中 朝一
- VI-259 第二東名高速道路青木川橋工事における直径17m大口径深礎の施工／大成建設 [正] 阿部 祐規・近藤 康紀・田中 朝一
- VI-260 急峻な山岳橋梁現場における大規模仮橋の施工と安全管理／大成建設 [正] 田中 朝一・近藤 康紀・大谷 英夫
- VI-261 JR吾妻線・第三吾妻川橋りょうのポストテンション場所打下路桁(補剛桁)の施工／JR東日本 [正] 白神 亮・鈴木 啓之・森井 慶行
- VI-262 都市景観を改善する高速道路の高架橋外壁側部の緑化工事「施工」と「維持管理」の課題への対応について／大林組 [正] 井出 一貴・大古殿 利直・岸野 亨
- VI-263 超重量物輸送用自走ドーリーを使用したPC桁運搬直接架設について／大林組 [正] 岩名 信之・木下 孝治・井上 淳
- VI-264 (仮称)各務原大橋上部工事に適用したコンクリートの配合

■技術開発(1) / 10:25~11:55 / 寺澤 正人 (飛鳥建設)

- VI-265 簡易装葉ホルダーを使用したコンクリート躯体の動的破断面制御技術／熊本高等専門学校 [正] 中村 裕一・加藤 政利・緒方 雄二
- VI-266 JES工法に用いる排土装置の土質に応じた検討と改良／東日本旅客鉄道 [正] 水石 舞衣子・杉崎 向秀・西村 知晃
- VI-267 圧電素子を用いた簡易振動計とトンネル坑内の安全装置などの開発について／岩田地崎建設 [正] 河村 巧・須藤 敦史・荒井 洋
- VI-268 玉石を有する洪積砂礫層地盤における回転圧入鋼管杭の打止め管理／施工技術総合研究所 [正] 設楽 和久・谷倉 泉・大城 剛
- VI-269 大口径高耐力場所打ちコンクリート杭による地すべり抑止杭の施工／清水建設 [正] 近江 健吾・大川 了・岡本 茂
- VI-270 高耐力場所打ち杭コンクリートの施工性能評価に関する実験的検討／清水建設 [正] 根本 浩史・大川 了・岡本 茂
- VI-271 環境配慮型中性系可塑性充填材の各種性状に関する考察／戸田建設 [正] 田中 徹・小林 修・守屋 政彦

■技術開発(2) / 12:40~14:10 / 野澤 伸一郎 (東日本旅客鉄道)

- VI-272 土留め壁通水工法の開発(その1: 切削性能確認試験・施工試験)／清水建設 [正] 西村 晋一・江頭 正州・高坂 信章
- VI-273 土留め壁通水工法の開発(その2: モルタル切削実験)／清水建設 [正] 江頭 正州・平林 岳樹・西村 晋一
- VI-274 AWC工法を適用した地下水流動保全計画(その1: 現場条件を考慮した施工計画)／清水建設 [正] 東海林 達弘・平林 岳樹・小出 太朗
- VI-275 AWC工法を適用した地下水流動保全計画(その2: 現場における試験施工計画)／清水建設 [正] 平林 岳樹・小出 太朗・東海林 達弘
- VI-276 帯水砂質地盤におけるシールド地上発進実験—実験概要および施工—／大成建設 [正] 高倉 克彦・飯島 知哉・濱本 健一
- VI-277 帯水砂質地盤におけるシールド地上発進実験—地盤変状等の計測結果—／大成建設 [正] 川北 潤・飯島 知哉・濱本 健一
- VI-278 帯水砂質地盤におけるシールド地上発進実験—影響評価手法の開発—／大成建設 [正] 坂井 一雄・青木 智幸・工藤 直矢

■技術開発(3)・各種基礎 / 14:25~15:55 / 田坂 幹雄 (大林組)

- VI-279 砂および砂礫地盤におけるグラウト注入型回転貫入杭の施工性能試験／ケー・エフ・シー [正] 奥野 稔・渡邊 直人・井上 武
- VI-280 改良体造成を加えた回転貫入杭の載荷試験及び支持力特性／ケー・エフ・シー [正] 渡邊 直人・奥野 稔・ハザリカヘマンタ
- VI-281 改良体造成を加えた回転貫入杭の支持力特性に関する3次元FE解析／五大開発 [正] 鱈 洋一・渡邊 直人・奥野 稔
- VI-282 小口径杭とプレキャストコンクリート部材の結合構造における杭頭結合部の小型化／極東興和 [正] 稲富 芳寿・直野 和人・吉武 勇
- VI-283 SENTANパイル工法の適用による場所打ち杭先端支持特性の改善事例／熊谷組 [正] 中出 剛・奥村 文直・西垣 和弘
- VI-284 横引き方式遮水シート壁構築工法(ラテナビウォール工法)の高速施工／清水建設 [正] 河田 雅也・柏 剛史・鈴木 大輔
- VI-285 下水道施設におけるCRフォーム工法の開発／戸田建設 [正] 小林 修・齊藤 正朗・有田 淳一
- VI-286 照明の陰影を利用したコンクリートひび割れの連続検出手法に関する研究／ [正] 高橋 邦輝・佐田 達典・石坂 哲宏

VI-5 (共通教育講義棟講43) / 9月8日(木)

■PFI・PPP、コスト縮減、公共政策、合意形成 / 8:40~10:10 / 金山 洋一 (鉄道建設・運輸施設整備支援機構)

- VI-287 市民が発想する魅力ある「水の都 ひろしま」を実現するために／中国電力 [正] 斉藤 直・日比野 忠史・中本 勝
- VI-288 アジア諸国の多様な調達手法についての一考察—インドネシア、フィリピンの道路事業における多段階を通じた調達方式を対象として—／国際建設技術協会 [正] 檜山 浩孝・安谷 寛・宮武 一郎
- VI-289 維持管理へのVEの適用／パシフィックコンサルタンツ [正] 齊藤 浩治・木守 岳広
- VI-290 胆沢ダムCM業務とCM方式の課題／大林組 [正] 松田 誠治・太田 親・木下 靖

- VI-291 道州制時代の基礎自治体のインフラ整備に関する研究／高知工科大学 [正] 角崎 巧・草柳 俊二・五艘 隆志
- VI-292 公共事業に対する市民意識構造分析—公共事業における無駄とは何か—／北海道大学 [学] 戸田 一志・高野 伸榮
- VI-293 合意形成における第三者に対する行政実務者の意識に関する考察／国土技術政策総合研究所 [正] 小嶋 文・笹田 俊治・森田 康夫
- VI-294 利害調整教育プログラム(案)開発のための基礎的調査に関する一考察／エヌエス環境 [正] 畑中 謙吾・笹田 俊治・森田 康夫

■プロジェクトマネジメント、建設マネジメント／10:25～11:55／永田 尚人(熊谷組)

- VI-295 発注者支援型CM方式におけるCM等の役割について／建設技術研究所 [正] 遠藤 健司・毛利 淳二・多田 寛
- VI-296 CM方式の導入効果の計測・評価手法の一提案／建設技術研究所 [正] 安食 典彦・笹田 俊治・多田 寛
- VI-297 「コンクリートから人への時代」再考とインフラ信頼性と復興・ODA・輸出等論点考察／北見工大 [正] 桜井 宏・岡田 包儀・佐伯 昇
- VI-298 建設事業における多様性マネジメントに関する研究／フジタ [正] 宇田川 義夫
- VI-299 建設業界における中小企業の現状と新規異業種事業についての研究／名古屋工業大学 [学] 中野 宏俊・藤田 素弘
- VI-300 「建設の五大原則」による建設工法の科学的評価方法／技研製作所 [正] 中山 知大・安岡 博之・北村 精男
- VI-301 被災可能性に対する不安尺度作成の提案—防災事業心理的效果の便益推計—／愛媛大学 [正] 松本 美紀・笹田 俊治
- VI-302 公共工事におけるリスク顕在化状況に関するアンケート結果について／建設技術研究所 [正] 馬場 一人・笹田 俊治・宮武 一郎
- VI-303 海外の建設競争における工期の考え方と「time at large」の概念／前田建設工業 [F] 酒井 照夫・税所 陽一

VI-5 (共通教育講義棟講43)／9月9日(金)

■入札・契約(1)／8:40～10:10／渡邊 法美(高知工科大学)

- VI-304 NEXCO中日本名古屋支社での契約状況と課題／中日本高速道路 [正] 片寄 学・八木 弘・今井 巧
- VI-305 地方中小自治体における総合評価方式導入に適する工種および工事規模に関する分析／足利工業大学 [正] 藤島 博英・築瀬 範彦
- VI-306 米国カリフォルニア州交通局の工期設定を競争対象とした総合評価落札方式について／日本 [正] 鈴木 信行
- VI-307 総合評価落札方式(業務)評価項目に関する一考察／港湾空港建設技術サービスセンター [正] 吉田 秀樹・入部 忠道
- VI-308 国土交通省直轄工事における総合評価方式の実施状況について／パシフィックコンサルタンツ [正] 鈴木 達也・多田 寛・工藤 匡貴
- VI-309 調査・設計等分野における平成21年度の総合評価落札方式の実施状況について／国土技術政策総合研究所 [正] 大橋 幸子・森田 康夫・深澤 竜介
- VI-310 調査・設計等分野における総合評価落札方式の履行確実性評価の効果について／国土技術研究センター [正] 小宮 朋弓・榎 陽一・森田 康夫
- VI-311 入札・契約制度等の透明性確保に関するアンケート調査について／ [正] 塚原 隆夫・工藤 匡貴・多田 寛

■入札・契約(2)／10:25～11:55／塚田 幸広(国土技術政策総合研究所)

- VI-312 国内の公共工事における第三者技術者の活用に関する検討／国土技術政策総合研究所 [正] 安谷 寛・森田 康夫・笹田 俊治
- VI-313 大手建設企業の工種別差異による経営状況指標分析の試み／徳島大学 [正] 滑川 達・森本 恵美・川村 竜功
- VI-314 質問紙調査の自由回答からみえる日本建設企業の価格決定プロセスの実態と特徴／徳島大学 [正] 森本 恵美・滑川 達
- VI-315 維持管理調達の円滑化に関する課題について／国土技術政策総合研究所 [正] 駒田 達広・岩塚 浩二
- VI-316 維持管理調達の制度改善に向けた課題に関する調査／八千代エンジニアリング [正] 野田 一弘・駒田 達広・岩塚 浩二
- VI-317 高度技術提案型における設計・施工一括発注方式の実施状況について／国土技術政策総合研究所 [正] 工藤 匡貴・宮武 一郎・笹田 俊治
- VI-318 設計・施工一括発注方式におけるコンソーシアム方式の活用についての一考察／国土技術政策総合研究所 [正] 宮武 一郎・工藤 匡貴・笹田 俊治
- VI-319 設計・施工一括発注方式の適用効果とその要因に関する一

考察／国土技術政策総合研究所 [正] 横井 宏行・笹田 俊治・宮武 一郎

VI-6 (共通教育講義棟講44)／9月7日(水)

■情報化施工／8:40～10:10／古屋 弘(大林組)

- VI-320 携帯電話による車両トータル運行管理システムの開発／大林組 [正] 岡本 寿春・古屋 弘・正田 喜彦
- VI-321 通信インフラを有効利用した計測システム／計測リサーチコンサルタント [正] 巽 敏彦・渡邊 弘行
- VI-322 ICTを用いたダム施工監理のあり方について(殿ダムでの事例)／日本建設機械化協会 [正] 柴藤 勝也・日下 雅史・伊藤 文夫
- VI-323 環境対策工事における3次元面データの利活用に関する一提案／日本建設機械化協会 [正] 椎葉 祐士
- VI-324 情報化施工技術を活用した工事の総合評価方式における技術評価と工事成績について／パシフィックコンサルタンツ [正] 伊藤 元・宮武 一郎・坂本 俊英
- VI-325 大規模開削工事における地下水位制御技術の適用実績／鹿島建設 [正] 永谷 英基・伊藤 健治・山野 泰弘
- VI-326 長スパン連続径間高架橋のアンダーピーニング工法／東京地下鉄 [正] 廣元 勝志・水島 明彦・斉藤 陽一
- VI-327 切羽安全監視システムの開発と不良地山での試験適用／飛鳥建設 [正] 熊谷 幸樹・寺島 佳宏・吉田 良勝
- VI-328 切羽観察における地質構造の合理的な走向傾斜評価法／川崎地質 [正] 川久保 昌平・森口 安宏

■施工技術(1)／10:25～11:55／森田 泰司(大成建設)

- VI-329 鉄道連続立体交差事業における新しい直上高架化工法の開発(その1)／戸田建設 [正] 小林 修・浅野 均・佐藤 郁
- VI-330 鉄道連続立体交差事業における新しい直上高架化工法の開発(その2)／戸田建設 [正] 小川 伸也・浅野 均・小林 修
- VI-331 阪神本線連続立体交差事業における軌道内での土留杭施工実績について／大林組 [正] 二神 崇・桑島 元信・矢野 伸男
- VI-332 [京急蒲田駅付近連続立体交差事業]上り線高架切替えにともなうクレビス付き油圧ジャッキアップによる供用中の既設高架橋の嵩上工事／京急建設 [正] 横溝 晃利・吉住 陽行・菊池 幸治
- VI-333 超低空頭場所打ち杭工法の開発(1)／東日本旅客鉄道 [正] 和田 旭弘・池本 宏文・竹田 茂嗣
- VI-334 超低空頭場所打ち杭工法の開発(2)／鉄建建設 [正] 小野 玄治・小池 明・永野 匡敏
- VI-335 ホーム桁架設工事における大ストローク降下装置の使用について／東海旅客鉄道 [正] 和仁 大二郎・野村 英一・音部 広樹
- VI-336 銀座線渋谷駅移設工事に伴う渋谷駅～表参道駅間軌道仮受け工事桁の構造について／東京地下鉄 [正] 西川 祐・末富 裕二・沼上 寿

■施工技術(2)／12:40～14:10／岡野 法之(鉄道総合技術研究所)

- VI-337 地盤切削装置を用いたJES工法における小口径導坑の充填方法／東日本旅客鉄道 [正] 米井 智・菅野 貴浩・櫻井 照信
- VI-338 地盤切削JES 工法の実施工適用における報告／東日本旅客鉄道 [正] 高橋 保裕・桑原 清・齋藤 貴
- VI-339 長期強度抑制型路盤・路床材の検討／JR東日本 [正] 富田 直幹・桑原 清・高崎 秀明
- VI-340 既設地下構造物における鉛直式多層層受替え施工に関する一考察／東京地下鉄 [正] 一寸木 朋也・丸山 茂・尾田 龍三
- VI-341 トンネル坑門に近接した橋台(深礎杭)施工／大成建設 [正] 新田 直司・利波 宗典・天野 元輝
- VI-342 光る傾斜計によるデリメトロ橋脚工事安全管理システム／曙ブレーキ工業 [正] 増子 実・芳賀 博文・国見 敬
- VI-343 宮津線門山川橋りょう取付部における気泡モルタル盛土の適用／ジェイアール西日本コンサルタンツ [正] 鶴嶋 俊行・川下 光仁・佐藤 文男
- VI-344 モノレール新線切替における延長53m合成軌道桁の架設／大成建設 [正] 片山 理志・高木 博司・大川 真佐雄

■施工技術(3)／14:25～15:55／伊藤 一教(大成建設)

- VI-345 ベトナム沈埋トンネル工事における函体製作／大林組 [正] 荒牧 洋二・今里 敏也・岡田 康
- VI-346 ベトナム沈埋トンネル工事における函体引出し及び曳航・沈設／大林組 [正] 黒坂 敏正・今里 敏也・荒牧 洋二
- VI-347 グレーダー船による備瀬瀬戸航路の航路整備に役立つ均し実験／日本海洋コンサルタンツ [正] 添田 洋・瀬戸 康浩・中川 一良
- VI-348 葦地下茎混り塊状粘性土から葦の除去を目的とした回転式

破碎混合工法の適用性／日本国土開発 [正] 角脇 三師・石鉢 盛一郎・中島 典昭
 VI-349 カルシア改質土の埋込材としての利用検討／五洋建設 [正] 田中 裕一・大久保 泰宏・山田 耕一
 VI-350 フラップ式津波防護施設の水路模型実験と数値解析／早稲田大学 [学] 川田 晃大・清宮 理・仲安 京一
 VI-351 斜杭を使用した海上構造物の施工事例／大林組 [正] 西村 貴志・猪熊 一秀・北郷 徳久
 VI-352 捨石形式護岸の劣化に伴う被害事例と対策について／トヨタ自動車 [正] 左合 靖樹・河合 高志・古賀 剛

VI-6 (共通教育講義棟講44) / 9月8日(木)

■施工技術(4) / 8:40~10:10 / 大野 俊夫(鹿島建設)

VI-353 はく落対策工事へのシラン・シロキサン系浸透性吸水防止材の適用に関する検討／清水建設 [正] 佐倉 政光・野村 朋宏・上村 信一
 VI-354 電気伝導率を用いた新たな凝結管理手法の提案／芝浦工業大学 [学] 村上 拓・阿保 寿郎・伊代田 岳史
 VI-355 モルタル増厚施工の品質と作業環境について／徳倉建設 [正] 宮口 博孝・三ツ井 達也・伊藤 祐二
 VI-356 保温・湿潤養生台車を用いた覆工コンクリートの品質向上についての一考察(その2)／熊谷組 [正] 中村 滋・松浦 正典・佐藤 渡
 VI-357 保温・湿潤養生台車を用いた覆工コンクリートの品質向上についての一考察(その1)／熊谷組 [正] 緒方 明彦・松浦 正典・佐藤 渡
 VI-358 鋼板巻き高密度RC 柱の施工性確認について／JR東日本 [正] 山田 啓介・黒田 智也・竹市 八重子
 VI-359 プラグコンクリートの施工における打込み温度低減対策／大林組 [正] 市川 雅之・前島 俊雄・小川 智広
 VI-360 河川水理構造物の耐摩耗工法の試験施工とモニタリング中間報告／徳倉建設 [正] 和泉 彰彦・新井 宗之・三ツ井 達也

■施工技術(5) / 10:25~11:55 / 武田 均(大成建設)

VI-361 鉛直パイプクーリングの模擬試験体実験と実施工への適用／飛鳥建設 [正] 佐藤 友厚・寺澤 正人・越後 卓也
 VI-362 防波堤ケーソン隔室内送風によるコンクリートの温度ひび割れ抑制対策／東洋建設 [正] 實久 和彦・八尋 順司・黒木 義春
 VI-363 高断熱性湿潤養生シートによるコンクリート表層の品質改善効果／大林組 [正] 阿部 諭史・川西 貴士・近松 竜一
 VI-364 ボックスカルバートの側壁に適用した膨張材のひび割れ抑制効果に関する報告／清水建設 [正] 佐々木 直之・竹原 昭雄・緩詰 尚樹
 VI-365 トンネル覆工コンクリートの温度ひび割れ照査の簡易評価式の検討／清水建設 [正] 伊藤 健一・松本 政治・江渡 正満
 VI-366 ダム湖内における水中不分離性コンクリートの大規模施工／鹿島建設 [正] 森田 真幸・芦田 徹也・秋山 真吾
 VI-367 大口径場所打ち杭を模擬したコンクリート打設実験／鉄建建設 [正] 山内 真也・上田 学・池本 宏文
 VI-368 大口径場所打ち杭の打設時間短縮方法に関する実大打設実験／鉄建建設 [正] 西脇 敬一・關 豊・大塚 隆人

VI-6 (共通教育講義棟講44) / 9月9日(金)

■施工技術(6) / 8:40~10:10 / 中出 剛(熊谷組)

VI-369 営業線近接箇所における1基礎1柱式高架橋根巻鋼管の施工／大林組 [正] 福田 裕之・鈴木 孝之・齊木 美由紀
 VI-370 山岳トンネル工法を適用した都心部での非開削工法／東京地下鉄 [正] 西野 健・瀧賀 昇太・高橋 信二
 VI-371 圧入ケーソン工法によるエレベーターシャフトへの応用／東京地下鉄 [正] 藤沼 愛・沼澤 憲二郎・佐藤 隆弘
 VI-372 アクティブ・ノイズ・コントロールを用いた建設機械騒音の低減／戸田建設 [正] 柳楽 毅・小林 正明・松岡 明彦
 VI-373 東京メトロ新大塚駅における営業線直下でのPC-ボックス通路の建設について／東京地下鉄 [正] 大石 敬司・首藤 彰芳・亀山 博通
 VI-374 建設機械振動を対象とした空溝対策工の効果／清水建設 [正] 清水 省吾・大川了・岡本 茂
 VI-375 水蒸気膨張圧＜非火薬破砕剤＞による岩盤掘削／佐藤工業 [正] 河野 興・馬場 芳男・矢須田 生市
 VI-376 荷重制御方式による花崗岩の掘削性能に関する研究／呉工業高等専門学校 [学] 河村 倫太郎・重松 尚久・室 達朗
 VI-377 GPS式列車接近警報装置の警報音に関する考察／西日本旅客鉄道 [正] 井上 淳太

■施工技術(7) / 10:25~11:55 / 新井 泰(鉄道総合技術研究所)

VI-378 RC構造物の部分解体への放電衝撃破砕工法の適用性に関する基礎的研究／防衛大学校 [学] 福田 貴志・藤掛 一典・阪本 良
 VI-379 放電衝撃による生体遮へい壁模擬試験体の解体実験とFEM解析／大成建設 [正] 小尾 博俊・伊東 章・平 治
 VI-380 本設構造物直近における仮設部材の効率的な撤去工法の開発／JR東日本 [正] 中村 征史・桑原 清・山村 康夫
 VI-381 河川内鉄道橋梁の既設橋脚撤去の施工について／大林組 [正] 鈴木 敏重・織田 博之・森原 勲
 VI-382 仮設工撤去における膨潤性摩擦低減材の特性／京都大学 [正] 稲積 真哉・若月 正・加藤 研二
 VI-383 端面掘削方式を用いた多段型掘削機の開発に関する研究／佐藤建設工業 [正] 北岡 一成・重松 尚久・河村 進一
 VI-384 ウォータージェットを用いた伸縮継手工事の低騒音工法の開発／阪神高速技術 [正] 甲元 克明・藤永 大樹

VI-7 (共通教育講義棟講45) / 9月7日(水)

■山岳トンネル(1) / 10:25~11:55 / 安達 哲也(大成建設)

VI-385 周辺環境に配慮したトンネル坑口付近における発破掘削について／大林組 [正] 中戸 敬明・阪口 雅信・倉光 健太郎
 VI-386 防音扉が設置されたトンネルにおける発破音の坑内伝播特性の把握とその予測手法／[学] 柿木 寛也・石田 滋樹・進士 正人
 VI-387 民家直下における心抜き自由面発破の振動低減効果／福田組 [正] 若月 和人・木村 能隆・多田 芳葉
 VI-388 バルーンを用いた発破騒音低減効果に関する基礎的実験／[正] 辻村 幸治・中村 聡磯・小林 雅彦
 VI-389 トンネル発破低周波音の坑内伝搬に関する検討／飛鳥建設 [正] 小林 真人・筒井 隆規・渡邊 博
 VI-390 特殊スパーサを用いた粒状爆薬発破掘削のスムーズブラスティングと岩石細粒化効果の検証／大林組 [正] 秋山 剛史・中戸 敬明・末谷 吉宗
 VI-391 携帯電話のカメラ機能を用いたトンネル坑内での簡易粉じん濃度測定方法／[学] 佐々木 雄紀・岸田 展明・筒井 隆規
 VI-392 300kw級ブーム式掘削機械における掘削性能について／岩田地崎建設 [正] 須藤 敦史・大山 宏・鈴木 康雅

■山岳トンネル(2) / 12:40~14:10 / 片山 政弘(熊谷組)

VI-393 強変質塑性地山におけるトンネル掘削時のインバート変状と対策／飛鳥建設 [正] 寺島 佳宏・熊谷 幸樹・吉田 良勝
 VI-394 早期断面閉合における一次インバート施工管理システム／西松建設 [正] 石山 宏二・山下 雅之・千々和 辰訓
 VI-395 早期閉合トンネル力学パラメータに関する考察／清水建設 [正] 楠本 太・西村 和夫・城間 博通
 VI-396 早期閉合トンネル構造半径に関する考察／清水建設 [正] 東 楽・佐藤 淳・楠本 太
 VI-397 切羽形状が山岳トンネルの変形挙動に及ぼす影響／中日本高速道路 [正] 佐藤 淳・細野 泰生・楠本 太
 VI-398 切羽形状が山岳トンネルの力学的安定性に及ぼす影響／中日本高速道路 [正] 中須 誠・佐藤 淳・楠本 太
 VI-399 早期閉合トンネルの変形特性に関する考察／高速道路総合技術研究所 [正] 小川 澄・中野 清人・楠本 太

■山岳トンネル(3) / 14:25~15:55 / 横尾 敦(鹿島建設)

VI-400 切羽評価に基づく補助工法選定システムへのSVMの適用／[学] 丸山 健太・岸田 展明・進士 正人
 VI-401 高耐力鏡ボルトの支保効果に関する解析的検討／大林組 [正] 高橋 佳孝・木梨 秀雄
 VI-402 トンネル掘削が斜面の安定に与える影響範囲について／間組 [正] 福田 雅司・辰巳 順一・北村 徹雄
 VI-403 山岳トンネルの新しい脚部補強工の開発／戸田建設 [F] 岡村 光政・三上 英明・柳川 尚吾
 VI-404 改良地盤における小土被りトンネルの切羽の安定性に関する実験／京都大学 [学] 平坂 友里恵・木村 亮・岸田 潔
 VI-405 脆弱な土砂地山トンネル掘削時における地山挙動解析について／戸田建設 [正] 山口 礼介・齋藤 勇作・南原 晃隆
 VI-406 三次元解析による想定地滑り土塊の挙動予測／大林組 [正] 下村 哲雄・保科 孝雄・松本 暢史
 VI-407 土被りが大きい蛇紋岩地山での避難坑変状対策／鴻池組 [正] 長沼 諭・高橋 俊長・増田 丑太郎

VI-7 (共通教育講義棟講45) / 9月8日(木)

- 山岳トンネル(4) / 8:40~10:10 / 小島 芳之(鉄道総合技術研究所)
- VI-408 山岳トンネル工事における施工サイドからみた地質リスク / 熊谷組 [正] 片山 政弘
- VI-409 高周波サンプリング削孔検査システムを用いたトンネル切羽前方探査 / 奥村組 [正] 塚本 耕治・今泉 和俊
- VI-410 坑内軸方向変位を用いた前方地質予測手法の提案 / [学] 竹村 いずみ・進士 正人・千々和 辰訓
- VI-411 切羽の形状が安定に及ぼす効果 / 首都大学東京 [学] 正島 大彰・西村 和夫・土門 剛
- VI-412 II期線トンネル近接施工時のI期線トンネルにおけるリアルタイム計測監視 / 大林組 [正] 伊藤 哲・黒川 尚義・宮本 弘毅
- VI-413 国道3号線直下の土被り8mでのトンネル掘削について / 大林組 [正] 鈴木 拓也・竹下 卓宏・諏訪蘭 和彦
- VI-414 検査実績を活用した帯金トンネル変状対策工について / JR東海 [正] 岩井 聡・川越 洋・加藤 千典
- VI-415 仮排水路トンネル工事における出水対策と河川環境保全への配慮 / 大林組 [正] 玉野 達・山田 雅勝・御園 憲治
- 山岳トンネル(5) / 10:25~11:55 / 根本 浩史(清水建設)
- VI-416 積算温度管理による脱型時期判定(T-JUDG)システムの提案 / 佐藤工業 [正] 京免 継彦・宇野 洋志城・草信 元春
- VI-417 積算温度管理による脱型時期判定(T-JUDG)システムの導入 / 佐藤工業 [正] 宇野 洋志城・京免 継彦・上村 佑介
- VI-418 トンネル覆工コンクリートの品質向上 / 三井住友建設 [正] 仲 哲路・黒見 正彦・中込 正貴
- VI-419 覆工コンクリートの養生判定に対するトンネル内温湿度の予測方法について / 清水建設 [正] 鈴木 圭一・今津 雅紀・藏重 幹夫
- VI-420 温度制御噴霧式覆工コンクリート養生工法によるひび割れ抑制について / 鴻池組 [正] 為石 昌宏・斎藤 泰信・大槻 文彦
- VI-421 トンネル二次覆工への膨張コンクリートの部分使用 / 西松建設 [正] 千々和 辰訓・佐藤 幸三・石垣 純一

VI-7 (共通教育講義棟講45) / 9月9日(金)

- 山岳トンネル(6) / 8:40~10:10 / 木梨 秀雄(大林組)
- VI-422 増粘剤を用いた中流動コンクリートのトンネル覆工への適

- 用検討(その3 天端部模擬型枠実験) / 大林組 [正] 藤見 晶・秋好 賢治・磐田 五郎
- VI-423 中流動コンクリートにおけるフレッシュ性状の品質安定に関する検討 / 飛鳥建設 [正] 平間 昭信・柳森 豊・筒井 隆規
- VI-424 メタルフォームを使用した中流動繊維補強コンクリートの施工について / 清水建設 [正] 藏重 幹夫・楠本 太・根本 浩史
- VI-425 押出し性地山の山岳トンネル覆工構造 / 清水建設 [正] 垣見 康介・高橋 俊長・楠本 太
- VI-426 トンネル覆工コンクリート端部補強の実績および施工歩掛りに関する考察 / 佐藤工業 [正] 片岡 大知・宇野 洋志城・藤川 拓
- VI-427 外力が作用するトンネルの健全度に関する解析的考察 / 土木研究所 [正] 砂金 伸治・角湯 克典・真下 英人
- VI-428 防水シートに関する研究 / 日本建設機械化協会 [正] 鈴木 健之・高橋 俊明・稲川 雪久

- ダム / 10:25~11:55 / 豊田 光雄(建設技術研究所)
- VI-429 CRTミキサシステムの能力向上 / 西松建設 [F] 佐藤 幸三・小海 和哉
- VI-430 画像解析技術を用いた粒状材料の粒度解析システム / 鹿島建設 [正] 川野 健一・藤崎 勝利・黒沼 出
- VI-431 ダムにおける低品質原石の有効利用と1系統骨材製造方式 / 大林組 [正] 古川 新太郎・高橋 孝広・玉田 信二
- VI-432 デジタルカメラ画像の濃度測定による骨材用原石の泥質含有量判定法 / 大林組 [正] 玉田 信二・今野 浩二・古川 新太郎
- VI-433 ダム基礎岩盤のスレーキング対策 / 戸田建設 [正] 野地 祐史・佐藤 小次郎・西田 哲哉
- VI-434 強制排水を利用した細骨材の水切り時間の短縮について / 大成建設 [正] 原山 之克・黒木 博・黒羽 陽一郎
- VI-435 コンクリートの耐摩耗性向上に関する配合の検討 / 竹中土木 [正] 金子 みゆき・鎌田 英志・安藤 慎一郎
- VI-436 堤内仮排水路のないコンクリートダムにおける試験湛水時維持流量の確保 / 大林組 [正] 宮入 斎・中根 亘・土橋 武夫

第VII部門

環境計画・管理、環境システム、用排水システム、廃棄物、環境保全など

VII-1 (教育学部4号館(共通教育講義棟北別棟)北41) / 9月7日(水)

- 水資源・水需給 / 8:40~10:10 / 荒井 康裕(首都大学東京)
- VII-001 流域治水を目的とした家庭用雨水貯留タンクの利用実態把握 / 福岡大学 [正] 渡辺 亮一・皆川 朋子・山崎 惟義
- VII-002 矩形型TSSを用いた造水特性に関する基礎的研究 / 広島工業大学 [正] 石井 義裕・福原 輝幸
- VII-003 アラブ首長国連邦における円筒型太陽熱淡水化装置(TSS)の造水性能評価 / 福井大学 [正] 寺崎 寛章・山路 昂央・草間 政寛
- VII-004 ダムの尊厳死に関する便益計測 / 豊橋技術科学大学 [正] 平松 登志樹
- VII-005 気候変動が筑後川流域の水利用に及ぼす影響に関する基礎的研究 / 佐賀大学 [学] 矢野 和也・松浦 郁斗・荒木 宏之
- 上下水道管理 / 10:25~11:55 / 渡辺 亮一(福岡大学)
- VII-006 XAFS測定による水道水中のFe酸化形態の解析 / 埼玉県環境科学国際センター [正] 見島 伊織・石渡 恭之・宇津野 典彦
- VII-007 配水区域内の残塩濃度分布の評価に関する一考察 / 首都大学東京 [学] 和田 賢太郎・稲貝 とよの・小泉 明
- VII-008 広域下水管網の劣化予測と予防保全システムの開発 / [学] 赤崎 友亮・宮本 文徳・弘中 淳一
- VII-009 マンガン濃度に着目した水道原水の特性分析 / 首都大学東京 [学] ミン ビョンデ・山崎 公子・武田 宗太郎
- VII-010 フィルターろ過による濁質濃縮法とXRF及びFT-IR分析を用いた配水管老朽度診断手法の検討 / 東京都市大学 [学] 小佐野 洋樹・長岡 裕・浅野 光
- VII-011 炭酸カルシウム混合セメントペーストの耐硫酸効果について / 日本大学 [正] 保坂 成司・河合 紘茲・亀田 瞬

- VII-012 水道管路の修繕とその財政的負担に関する一考察 / 首都大学東京 [正] 荒井 康裕・小泉 明・中村 友也
- VII-013 送水管の維持管理について / JR東日本 [正] 新飼 拓人・原田 雄介・山本 隆雄

- 水質モニタリング・解析(1) / 12:40~14:10 / 山西 博幸(佐賀大学)
- VII-014 台風Ketsanaによる洪水試料からの病原性レプトスピラの検出 / 東北大学 [学] 沼澤 聡・真砂 佳史・大村 達夫
- VII-015 伊豆沼畔人工池における水鳥の入込と水質との関係 / 東北大学 [正] 佐藤 歩・小浜 暁子・有田 康一
- VII-016 出水時一時貯留池における汚濁物流出の抑制効果に関する検討 / 立命館大学 [学] 澤田 育則・市木 敦之・浅野 匡洋
- VII-017 流域土壌への物質吸着特性と河川水質に与える影響 ~ 京都府野田川を対象として ~ / 立命館大学 [学] 佐藤 浩一・佐藤 圭輔・清水 芳久
- VII-018 梅田川における栄養塩年間流出負荷量の算出 / 豊橋技術科学大学 [正] 横田 久里子・井上 隆信・下山 諒
- VII-019 汚濁負荷量と流量の空間分布を考慮した河川水質モデルの構築 / 香川大学 [学] 宇野 裕太・石塚 正秀・溝口 大介
- VII-020 ミャンマーの水域環境の調査研究 / 三重大学 / 大阪成蹊短大 [正] 千田 真喜子・葛葉 泰久・Kay Thwe Hlaing
- VII-021 筑後川感潮域におけるリンの挙動に関する基礎的研究 / 佐賀大学 [正] 三樹 祐太・古賀 憲一・藤原 拓真

- 水質モニタリング・解析(2) / 14:25~15:55 / 市木 敦之(立命館大学)
- VII-022 Water Quality Model in the Reservoir of the Chikugo Barrage / Institute of Lowland and Marine Research, Saga University [正] VONGTHANASUNTHORN NARUMOL・KOGA KENICHI・ARAKI HIROYUKI
- VII-023 有明海における溶存態ケイ素の挙動に関する研究 / 佐賀大

- 学 [学] 浜崎 佑貴・古賀 憲一・Vongthanasunthorn Narumol
 VII-024 有限容積モデルを用いた伊万里湾の水質解析／佐賀大学 [学] 永瀬 真豪・古賀 憲一・Vongthanasunthorn Narumol
 VII-025 釜房湖における異臭原因物質濃度の変動解析／東北大学 [正] 梅田 信・鈴木 淳士
 VII-026 固定堰が堰直上湛水域の水質環境に与える影響／香川大学 [学] 岩田 圭佑・石塚 正秀・野口 真央
 VII-027 2010/11年インフルエンザシーズンにおける河川中のタミフルおよびタミフル代謝物濃度について／大阪産業大学 [正] 高浪 龍平・尾崎 博明・谷口 省吾
 VII-028 コアマモ生育場における懸濁態有機物の輸送解析／東北大学 [正] 野村 宗弘・中山 亮・長濱 祐美
 VII-029 環境サンプル測定のためのリン酸マイクロセンサーの開発／北海道大学 [学] 宮崎 悠爾・押木 守・佐藤 久

VII-1 (教育学部4号館(共通教育講義棟北別棟)北41) / 9月8日(木)

■水質浄化技術 / 8:40~10:10 / 奈良 松範(諏訪東京理科大学)

- VII-030 太湖の水質浄化を目的とした水生植物の栄養塩除去能に関する検討／九州大学 [学] 黒川 俊輔・久嶋 隆広・井芹 寧
 VII-031 竹炭を用いた河川水の水質浄化に関する実験的研究／明石工業高等専門学校 [学] 藤本 浩輔・神田 佳一
 VII-032 潮汐差を利用した隙間接触法による海水浄化岸壁の屋内外での模型実験／明石 [正] 檀 和秀・野田 希・松尾 友翔
 VII-033 ペットボトルキャップを用いた上向流浄化の効果について／京都学園大学 [学] 戸阪 優美・石本 弘治
 VII-034 複数連結したh型気体溶解装置の水頭損失を考慮した処理流量の評価方法／山口大学 [正] 大木 協・羽田野 袈裟義・中野 陽一
 VII-035 活性炭を用いた界面活性剤の吸着に関する試験／大林組 [正] 千野 裕之・三浦 俊彦・木村 志照
 VII-036 フライアッシュを主材としたリサイクル品からのケイ酸イオン溶出特性／エネルギー・エコ・マテリア [正] 福岡 晴美・植野 和俊
 VII-037 ウッドチップ混入ポーラスモルタルの重金属吸着に関する研究／群馬大学 [学] 関根 良将・半井 健一郎・森 勝伸

■物理化学処理 / 10:25~11:55 / 大木 協(山口大学)

- VII-038 アルミニウム系凝集剤の高塩基化によるウイルスの効果的除去／北海道大学 [正] 白崎 伸隆・佐藤 翔太・大芝 淳
 VII-039 チタニア・マグネタイトを用いた環境配慮型水処理法の研究／諏訪東京理科大学 [正] 奈良 松範
 VII-040 キトサン凝集剤を用いた濁水処理における無機塩の添加効果／大成建設 [正] 赤塚 真依子・大脇 英司・川又 睦
 VII-041 グルコマンナンへのホウ素吸着能におよぼすpHと金属陽イオンの影響／九州大学 [学] 前畑 有吾・大石 京子
 VII-042 リン酸イオン吸着材としての竹炭の利用に関する検討／九州大学 [学] 首藤 悠歩・久嶋 隆広・市川 瞬平
 VII-043 電気化学的処理法における下水二次処理水中のペルフルオロスルホン酸類の除去特性／大阪産業大学 [学] 橋口 亜由未・谷口 省吾・尾崎 博明
 VII-044 水酸化鉄を用いた廃水中アンチモンの吸着除去法に関する実験的検討／大同大学 [学] 稲山 琢也・齋藤 知一・堀内 将人
 VII-045 凝集沈澱プロセスにおける原水水質とPAC注入率の関連分析／首都大学東京 [学] 橋田 一貴・稲貝 とよの・小泉 明

VII-1 (教育学部4号館(共通教育講義棟北別棟)北41) / 9月9日(金)

■嫌気性処理(1) / 8:40~10:10 / 久保田 健吾(東北大学)

- VII-046 2槽式UASB-DHSシステムによる油脂含有厨房廃水の処理性能／高知工業高等専門学校 [学] 浅野 健二・山崎 慎一・山口 隆司
 VII-047 省エネ型嫌気好気法(UASB-DHSシステム)による人工下水の処理性能／長岡技術科学大学 [学] 宮地 賢一・山崎 慎一・山口 隆司
 VII-048 海水魚の飼育水槽における脱窒システムの実証試験／大成建設 [正] 川又 睦・森 正人・濱口 威真
 VII-049 醬油製造廃水を対象とした新規嫌気性処理プロセスの適応性評価／長岡技術科学大学 [学] 出演 和弥・片沼 拓士・松原 三郎
 VII-050 嫌気／無酸素回文式リアクターを用いた実下水UASB/DHSシステム処理水からの窒素・リン除去性能評価／長岡技術科学大学 [学] 小野 心也・幡本 将史・高橋 優信
 VII-051 中温UASB―無加温DHSプロセスによるフェノール廃水の連続処理性能／鹿児島工業高等専門学校 [学] 平賀 祐朝・山田 真義・山内 正仁

- VII-052 多点分散供給方式による高温及び中温UASB反応器のアルカリ度削減運転の性能調査／鹿児島工業高等専門学校 [学] 小丸 哲斉・山田 真義・山内 正仁
 VII-053 DHSを用いたアンモニア性窒素とフェノールの同時除去／木更津工業高等専門学校 [学] 池田 直生・上村 繁樹・大久保 努

■嫌気性処理(2) / 10:25~11:55 / 大久保 努(木更津工業高等専門学校)

- VII-054 高濃度デンプン含有排水の嫌気性処理／金沢大学 [正] 池本 良子・高橋 佑輔・中木原 江利
 VII-055 セルロース系バイオマスのメタン発酵特性評価／長岡技術科学大学 [学] 宮内 大樹・中村 明靖・若山 樹
 VII-056 バイオエタノール製造工程廃水を処理する生物処理・膜処理システムの処理特性／長岡技術科学大学 [学] 山下 拓也・Pattananuwat Narin・田中 秀治
 VII-057 嫌気のメタン酸化脱窒反応を担う微生物群集の集積培養／長岡技術科学大学 [学] 木村 晶典・幡本 将史・川上 周司
 VII-058 HCR法を用いた新規高感度FISH法の開発／長岡技術科学大学 [学] 山口 剛士・川上 周司・幡本 将史
 VII-059 密閉型嫌気性消化槽によるパームオイル圧搾廃液の処理特性／東北大学 [学] 渋谷 幸子・久保田 健吾・原田 秀樹
 VII-060 微生物群集構造から診る高級脂肪酸阻害耐性メカニズム／東北大学 [正] 久保田 健吾・射手園 章吾・谷川 大輔
 VII-061 甘露糖耐蒸留粕からの高温乳酸菌の分離の試みと特性評価／長岡技術科学大学 [学] 黒田 恭平・山田 真義・川上 周司

■栄養塩除去・下水処理 / 15:00~16:30 / 池本 良子(金沢大学)

- VII-062 低BOD・高DO条件下における硝酸態窒素除去性能の基礎実験その1／加藤建設 [正] 石浜 謙一・鈴木 則志・小倉 康弘
 VII-063 低BOD・高DO条件下における硝酸態窒素除去性能の基礎実験その2／加藤建設 [正] 鈴木 則志・石浜 謙一・鳥野 見 暢哉
 VII-064 水素徐放剤を用いた廃棄物処分場浸出水の脱窒促進に関する定量評価／神戸大学 [学] 田中 健治・和田 有朗・道奥 康治
 VII-065 ハイドロタルサイトとゼオライトを併用したHT/Zeリン回収法の開発／佐賀大学 [正] 三島 悠一郎・荒木 宏之・中原 健太
 VII-066 オゾンと生物処理による消化汚泥処理水の水耕栽培への検討／宮崎大学 [学] 山口 大吾・増田 純雄・山内 正仁
 VII-067 膜分離活性汚泥法において膜ファウリングを引き起こしているタンパク質のメタプロテオーム解析／北海道大学 [正] 三好 太郎・相沢 智康・木村 克輝
 VII-068 実規模DHSリアクターにおける無機態窒素の処理性能とKLaの評価／木更津工業高等専門学校 [正] 大久保 努・久保田 健吾・原田 秀樹
 VII-069 食品系工場廃水を連続処理するDHSリアクターによる有機物除去性能の検討／岐阜工業高等専門学校 [学] 馬島 孝治・角野 晴彦・高石 有希子

VII-2 (教育学部4号館(共通教育講義棟北別棟)総合授業研究室) / 9月7日(水)

■地域環境計画・管理 / 8:40~10:10 / 韓 驥(名古屋大学)

- VII-070 地球温暖化による水戸偕楽園の梅への影響分析／明石工業高等専門学校 [正] 石内 鉄平・小柳 武和・桑原 祐史
 VII-071 散策場所の違いによるストレス緩和効果の計測評価(その1)／国士館大学 [学] 茂原 卓哉・北川 善廣・大久保 光祐
 VII-072 散策場所の違いによるストレス緩和効果の計測評価(その2)／北京市水利企画設計研究院 [正] 于 士韜・北川 善廣・秋山 由美子
 VII-073 東京国際空港国際線地区における緑地の設計及び維持管理／大成建設 [正] 渡辺 洋子・土方 遍・神谷 誠
 VII-074 高速道路の環境対策史(環境影響評価)／日特建設 [F] 中村 真
 VII-075 ガス主体方式地域熱供給施設の総合エネルギー効率に及ぼす要因分析／関西大学 [学] 山口 徹也・盛岡 通・尾崎 平
 VII-076 唾液アミラーゼを用いた都市景観のストレス軽減効果の評価／東京都市大学 [正] 皆川 勝・林 倫子・佐藤 安雄
 VII-077 マーシャル諸島共和国マジュロ環礁を対象とした沿岸域の対策優先地区選定プロセス／茨城大学 [正] 桑原 祐史・江田 雄樹・佐藤 大作

■環境意識・環境経済 / 10:25~11:55 / 曾根 真理(国土技術政策総合研究所)

- VII-078 よこかんみなみグリーンプロジェクト～地域とのパート

- ナーシップを目指して～／東日本高速道路〔正〕本多 裕・小谷 充宏・渡辺 陽太
- Ⅶ-079 グリーン調達を進める上での重点検討課題について／国土技術政策総合研究所〔正〕市村 靖光・金銅 将史
- Ⅶ-080 ICTの活用により施工現場でのCO₂削減を一元管理(その1)／清水建設〔正〕大友 信悦・高畑 研・鈴木 正憲
- Ⅶ-081 ICTの活用により施工現場でのCO₂削減を一元管理(その2)／清水建設〔正〕宇野 昌利・高畑 研・鈴木 正憲
- Ⅶ-082 ICTの活用により施工現場でのCO₂削減を一元管理(その3)／清水建設〔正〕横山 勝彦・高畑 研・鈴木 正憲
- Ⅶ-083 Human Economic Activity and Material Stock Analysis based on Nighttime Lights Imagery in Java Island.／名古屋大学〔学〕スヌ ハディ プラボウォ・Han Ji・谷川 寛樹
- Ⅶ-084 NEXCO中日本におけるCO₂排出削減目標について／中日本高速道路〔正〕柳原 和成・中井 俊雄・谷野 知伸
- Ⅶ-085 費用便益を考慮したリサイクル材の最適価格形成／福岡大学〔学〕森 康彦・佐藤 研一・藤川 拓朗

■水域・生態(1)／12:40～14:10／伊豫岡 宏樹(福岡大学)

- Ⅶ-086 調整池における植生と希少植物の経年的動態／清水建設〔正〕米村 惣太郎・中武 禎典
- Ⅶ-087 市街地に残された湿原の保全 ―北海道登別市キウシト湿原―／室蘭工業大学〔正〕河内 邦夫・矢部 和夫・浦野 慎一
- Ⅶ-088 環境配慮型農業と生物種類数の関係に関する一考察／関西大学〔学〕松浦 芳典・盛岡 通・尾崎 平
- Ⅶ-089 集水域特性が河川生物の群集構造およびその相互作用に及ぼす影響／愛媛大学〔学〕潮見 礼也・上田 竜士・井上 幹生
- Ⅶ-090 愛媛県50河川の調査による集水域特性が底生動物に及ぼす影響の解明／愛媛大学〔学〕上田 竜士・岩井 昇平・三宅 洋
- Ⅶ-091 干上がり河川におけるベントスおよびハイボレオスの流程分布／愛媛大学〔学〕酒井 亨・林 悠允・三宅 洋
- Ⅶ-092 河川の流量減少は外来性底生動物の侵入を促進するか？／愛媛大学〔学〕山根 直也・酒井 亨・三宅 洋

■水域・生態(2)／14:25～15:55／村上 和仁(千葉工業大学)

- Ⅶ-093 有限容積モデルを用いた有明海の溶存酸素の変動機構解明に関する研究／佐賀大学〔学〕澤田 大樹・永瀬 真豪・Vongthanasunthorn Narumol
- Ⅶ-094 気候変動に伴う河川水際環境への影響に関する基礎的研究／佐賀大学〔学〕北岡 嵩規・山西 博幸・白濱 祐樹
- Ⅶ-095 北川感潮域におけるカスナガニ稚ガニの着定環境／福岡大学〔正〕伊豫岡 宏樹・楠田 哲也・島谷 幸宏
- Ⅶ-096 河川改修に伴う北川感潮域での水環境変化と生息空間への影響に関する研究／佐賀大学〔正〕山西 博幸・山下 拓・北岡 嵩規
- Ⅶ-097 神戸港六甲アイランド南地区における海藻移植の試み／東亜建設工業〔正〕田中 ゆう子・小西 孝治・保坂 嘉彦
- Ⅶ-098 室見川の白骨化とその再生―河道管理にありかた―／福岡大学〔正〕山崎 惟義・渡辺 亮一・伊豫岡 宏樹
- Ⅶ-099 水環境健全性指標の持つ客観性・主観性特性に関する検討／日本大学〔学〕杉浦 将平・小沼 晋・齋藤 利晃
- Ⅶ-100 分子量分画膜を用いた迅速・簡便な配列特異的核酸定量法の開発／東北大学〔学〕竹村 泰幸・久保田 健吾・関口 勇地

Ⅶ-2 (教育学部4号館(共通教育講義棟北別棟)総合授業研究室)／9月8日(木)

■森林・植生(1)／8:40～10:10／田邊 大次郎(熊谷組)

- Ⅶ-101 帯鋼補強土壁における無灌水の樹木対応型壁面緑化システム構築への基礎的研究／ヒロセ〔正〕志村 直紀・村谷 優・高尾 浩司郎
- Ⅶ-102 裸地駐車場緑化の実用化に向けての実験的研究／千葉工業大学〔正〕五十嵐 直人・篠田 裕
- Ⅶ-103 切土のり面における既設植生工の経年変化モニタリング調査(その1)―植生工の適用条件が異なるケースの検討―／山口大学〔学〕伊東 耕輔・鈴木 素之・横矢 直道
- Ⅶ-104 切土のり面における既設植生工の経年変化モニタリング調査(その2)―植生工の導入植物が異なるケースの検討―／山口大学〔学〕河野 雄哉
- Ⅶ-105 一般国道40号名寄バイパスにおける自生種による自然再生の取り組みについて／パシフィックコンサルタンツ〔正〕尾籠 健一・池田 幸資・館山 孝利
- Ⅶ-106 伐り株による道路緑化に関する事例報告／パシフィックコンサルタンツ〔正〕漆原 強・池田 幸資・小林 功
- Ⅶ-107 道路環境影響評価における事後調査事例と環境保全措置の追加実施状況／国土技術政策総合研究所〔正〕井上 隆司・山本 裕一郎・曾根 真理

■森林・植生(2)／10:25～11:55／尾籠 健一(パシフィックコンサルタンツ)

- Ⅶ-108 薬用植物「甘草(カンゾウ)」自生地の地盤調査結果とその薬用成分分析／九州大学〔学〕清塘 悠・大嶺 聖・安福 規之
- Ⅶ-109 筒栽培による薬用植物「カンゾウ」を用いた乾燥地緑化への適用に関する考察／九州大学〔学〕古川 全太郎・大嶺 聖・安福 規之
- Ⅶ-110 屋上緑化に適したリサイクル土壌の開発／熊谷組〔正〕田邊 大次郎・測上 隆也・横塚 享
- Ⅶ-111 廃棄物利用した屋上緑化の熱環境緩和に関する研究／〔学〕鈴木 紀裕・大木 宜章・高橋 岩仁
- Ⅶ-112 とび粉を粘着材として用いた法面緑化基盤材の性能評価／第一地研開発〔正〕下田代 知憲・石田 哲朗
- Ⅶ-113 スペクトルメータによるのり面植生の色彩変化把握に関する研究／日本大学〔正〕大木 高公・大木 宜章・高橋 岩仁
- Ⅶ-114 高分解能衛星WorldView-2衛星による植生域の抽出効果についての検討／日本大学〔学〕佐藤 真央・羽柴 秀樹

Ⅶ-2 (教育学部4号館(共通教育講義棟北別棟)総合授業研究室)／9月9日(金)

■環境影響評価(1)／8:40～10:10／千野 裕之(大林組)

- Ⅶ-115 海岸漂着ゴミと有害物質―プラスチック片と発泡スチロール―／防衛大学校〔学〕岡山 伸吾・山口 晴幸
- Ⅶ-116 漂着ゴミと有害物質―被服放置の負荷効果―／防衛大学校〔正〕山口 晴幸・岡山 伸吾
- Ⅶ-117 マイクロコズムによるNiの生態系リスク評価／千葉工業大学〔正〕村上 和仁・林 秀明・稲森 悠平
- Ⅶ-118 P/R比および生物相に着目した各種マイクロコズムの生態系機能特性／千葉工業大学〔学〕林 秀明・村上 和仁
- Ⅶ-119 微量有機汚染物質の細胞膜への分配特性 ―市販モデル細胞膜の利用―／埼玉県環境科学国際センター〔正〕池田 和弘・清水 芳久
- Ⅶ-120 次亜塩素酸ナトリウムによる大型海藻類の成長阻害に関する実験的研究／香川県園芸部環境技術センター〔正〕後藤 益滋・合屋 知彦・城田 久岳
- Ⅶ-122 浄化槽放流水が放流先の水質と藻類生長に及ぼす影響／〔正〕西村 修・武田 文彦・高橋 直樹

■環境影響評価(2)／10:25～11:55／池田 和弘(埼玉県環境科学国際センター)

- Ⅶ-123 道路事業における環境影響評価書分量の概略／国土技術政策総合研究所〔正〕安東 新吾・曾根 真理・井上 隆司
- Ⅶ-124 道路事業の構想段階における自然環境への配慮の充実に向けて／国土技術政策総合研究所〔正〕山本 裕一郎・井上 隆司・曾根 真理
- Ⅶ-125 Is Regional Disparity of Material Stock widening in China?／名古屋大学〔学〕鄭 立成・韓 驥・谷川 寛樹
- Ⅶ-126 亜熱帯気候域の気象データを利用した気温変化と降雨の関係性に関する研究／福島大学〔正〕川越 清樹・江坂 悠里
- Ⅶ-127 大阪平野北部地域に流入する冷気流の観測／大阪大学〔学〕鳥山 仁・太田 晋一・玉井 昌宏
- Ⅶ-128 大阪平野北部地域における冷気流の発生条件と夜間ヒートアイランドに及ぼす影響分析／大阪大学〔学〕太田 晋一
- Ⅶ-129 気象シナリオ日を用いた大気環境リスク評価／大阪大学〔学〕日比 俊輔・玉井 昌宏
- Ⅶ-130 飛散性石綿およびスレートからの石綿繊維の排出係数取得をめざした実験的検討／京都大学〔正〕藤川 陽子・中坪 良平・平木 隆年

■温暖化対策／15:00～16:30／井上 隆司(国土交通省)

- Ⅶ-131 東京都江東区の緑と水がもたらすヒートアイランド緩和効果の実証／法政大学〔学〕鈴木 俊也・宮下 清栄・牧野 立平
- Ⅶ-132 都市圏における二酸化炭素排出量推計ツールの作成―地域特性と人口配分に応じた仮想都市モデル―／名古屋大学〔学〕奥岡 桂次郎・大西 暁生・谷川 寛樹
- Ⅶ-133 開発途上国における廃棄物処理システムの環境影響評価／京都大学〔学〕磯田 隆行・谷澤 勇気・稲積 真哉
- Ⅶ-134 土壌中CO₂濃度のダイレクト測定に関する基礎実験／松尾 設計〔正〕平島 公生・伊藤 洋・大川 清和
- Ⅶ-135 車載型排出ガス計測システム及び簡易燃費計で計測した自動車実走行時CO₂排出量比較／国土技術政策総合研究所〔正〕土肥 学・曾根 真理
- Ⅶ-136 プローブ調査による渋滞時高速道路走行車両からの二酸化炭素排出量推計の可能性／建設技術研究所〔正〕柴田 学・谷野 知伸・松嶋 健太

VII-3 (教育学部4号館(共通教育講義棟北別棟)北21) / 9月7日(水)

■埋立処分場管理 / 10:25~11:55 / 渋谷 勝利(清水建設)

- VII-137 空気圧を利用した遮水シートの品質管理 / 太陽工業 [正] 山本 実・石田 正利・赤井 智幸
- VII-138 廃棄物海面処分場における鉛直遮水工と遮水シートの接合部強度 / 太陽工業 [正] 松隈 啓介・井上 温人・和木 多克
- VII-139 漏洩電流式漏水検知システムの検知精度に関する研究1 / 大林組 [正] 柴田 健司・黒岩 正夫・小林 剛
- VII-140 一般廃棄物焼却灰由来の腐植物質と重金属の錯体形成に関する研究 / 九州大学 [学] 横畑 一也・高橋 史武・島岡 隆行
- VII-141 掘り起こし廃棄物を再転圧する際の重機の選定と品質管理手法の検討 / 大林組 [正] 小竹 茂夫・柴田 健司・小口 忠史
- VII-142 建設汚泥の中間処理における工程管理について / 早稲田大学 [学] 野元 亮太・赤木 寛一・畠山 潤
- VII-143 高圧噴射攪拌工法による発生排泥の粒状固化による有効利用~川内原子力発電所構内地盤改良工事において~ / 大成建設 [正] 池谷 清次・鐘ヶ江 英樹・石井 稔之
- VII-144 一般廃棄物焼却残渣の風化作用に対する地質学的風化指標の適用性 / 九州大学 [正] 高橋 史武・島岡 隆行

■循環資源・リサイクル(1) / 12:40~14:10 / 高橋 史武(九州大学)

- VII-145 鶏ふん焼却灰からのリン回収における硫酸除去剤の影響 / 宮崎大学 [正] 土手 裕・関戸 知雄・矢野 浩司
- VII-146 ナトリウム法による下水汚泥焼却灰からのリン回収に関する実験的検討 / 大同大学 [学] 葉 妹燦・安田 光宏・堀内 将人
- VII-147 一般廃棄物焼却残渣中のTiO₂が紫外線照射に伴う鉛不溶化効果に与える影響 / 福岡大学 [学] 隈本 祥多・佐藤 研一・藤川 拓朗
- VII-148 石炭灰造粒物の海域暴露による重金属の溶出量等の変化について / エネルギア・エコ・マテリア [正] 宮國 幸介・福岡 晴美
- VII-149 真珠貝殻粉末による土壌の酸度矯正能評価 / 福井大学 [学] 村松 宏樹・寺崎 寛章・草間 政寛
- VII-150 木質バイオマス発電で生じた木灰を主原料とする混合セメントの開発 / 鹿児島工業高等専門学校 [学] 竹井 遼・前野 祐二・長山 昭夫
- VII-151 カラム通気試験装置を用いた廃棄物の二酸化炭素固定化特性に関する実験的調査 / 茨城大学 [学] 海野 円・小峯 秀雄・村上 哲
- VII-152 圧縮型スクラップタイヤ振動遮断壁のアンカリング効果 / オーク [正] 榎本 裕輔・榎本 孝彦・早川 清

■循環資源・リサイクル(2) / 14:25~15:55 / 土手 裕(宮崎大学)

- VII-153 微細藻類培養における各種有機系廃液の利用に関する基礎的検討 / 大林組 [正] 山本 緑・千野 裕之・青木 雄二
- VII-154 ムラサキイガいの養鶏飼料化 / 東洋建設 [正] 山崎 智弘・大橋 正典
- VII-155 亜臨界処理による有機酸生成特性の検討 / NPO法人環境文明21 [正] 木科 大介・大木 宜章・高橋 岩仁
- VII-156 地下部を活用した未利用バイオマスのメタン発酵・発酵残渣の堆肥化による資源化調査 / 清水建設 [正] 渋谷 勝利・隅倉 光博・中川 加明一郎
- VII-157 建設工事におけるバイオディーゼル燃料の適用性について~10tダンプトラックでの実証~ / 前田建設工業 [正] 林 まゆ・山本 達生・東岡 敬造
- VII-158 北海道地域における稲わらからのバイオエタノール製造実証試験 / 大成建設 [正] 副島 敬道・山本 哲史・屋祿下 亮
- VII-159 使用済み小型家電リサイクルにおけるCVMを用いた使用者の意識構造の評価 / 神戸山手大学 [正] 和田 有朗・中野 加都子
- VII-160 超深層曝気法による澱粉工場廃液処理 / 竹中土木 [正] 中野 圭輔・森嶋 章・藤田 豊彦

VII-3 (教育学部4号館(共通教育講義棟北別棟)北21) / 9月8日(木)

■LCA・循環型社会 / 8:40~10:10 / 米山 一幸(清水建設)

- VII-161 環境低負荷型トイレ導入に関するエネルギー及び費用便益評価~高速道路サービスエリアにおけるケーススタディ / 首都大学東京 [正] 中川 直子・河村 明・天口 英雄
- VII-162 LCCO₂計算による土木施工技術の再評価に関する試行 / 国土技術政策総合研究所 [正] 神田 太朗・曾根 真理・瀧本 真理
- VII-163 持続可能な社会への変化に向けた、社会資本LCAの導入・運用に関する一考察 / 国土技術政策総合研究所 [正] 曾根 真理・神田 太朗・岸田 弘之

- VII-164 都市高速道路事業へのLCA導入の必要性和今後の展望 / 阪神高速道路 [正] 坂井 康人
- VII-165 日本の貿易から見たCO₂排出量 / 中央大学 [学] 上田 裕之・佐藤 尚次
- VII-166 マルチモーダルネットワークを考慮した輸送CO₂排出量評価のためのecoMAの拡張 / 復建調査設計 [正] 三谷 卓摩・北垣 亮馬・野口 貴文
- VII-167 関東におけるバイオマスタウンのCO₂削減ポテンシャルの算定 / 東洋大学 [学] 轟 真人・村野 昭人
- VII-168 レジ袋の有料化によるライフサイクルCO₂削減量の算定 / 東洋大学 [学] 大野 元治・村野 昭人

■熱環境・エネルギー / 10:25~11:55 / 坂井 康人(阪神高速道路)

- VII-169 基礎杭を利用した地中熱利用に関する基礎実験 / 東洋大学 [学] 大井 悠・村野 昭人
- VII-170 採取試料を用いた土の熱伝導特性実験の検討 / 東京都市大学 [学] 秋葉 将太・片根 弘人・末政 直晃
- VII-171 地下水利用型ヒートポンプシステムの適用可能地域の検討 / 清水建設 [F] 百田 博宣・内田 洋平
- VII-172 地下水利用型ヒートポンプシステムの地盤蓄熱効果に関する解析検討 / 清水建設 [正] 米山 一幸・百田 博宣
- VII-173 DSMを用いた路面日射量の空間分布評価 / 福井大学 [学] 齊田 光・藤本 明宏・福原 輝幸
- VII-174 セミドライフォグの噴霧による冷却効果の確認について / 川田工業 [正] 石下 誠治・畠中 真一・佐藤 義則
- VII-175 発電所を有しない小水力発電の騒音・振動の影響について / 八千代エンジニアリング [正] 中野 裕之・梁田 信河

VII-3 (教育学部4号館(共通教育講義棟北別棟)北21) / 9月9日(金)

■バイオレメディエーション / 8:40~10:10 / 奥田 信康(竹中工務店)

- VII-176 嫌気性微生物による塩素化エチレン類の脱塩素化促進材料の検討 / 大成建設 [正] 伊藤 雅子・高畑 陽
- VII-177 生物分解処理を用いたVOC汚染地下水の流出防止技術(第四報) / 大林組 [正] 竹崎 聡・西田 憲司・緒方 浩基
- VII-178 光照射によるバイオレメディエーション効率の向上に関する検討 / 熊谷組 [正] 佐々木 静郎・門倉 伸行・土路生 修三
- VII-179 バイオパイルによる油汚染土壌の油分濃度低減実験 / 熊谷組 [正] 村上 順也・門倉 伸行・佐々木 静郎
- VII-180 バイオパイル工法によるエステル類含有土壌浄化の室内実験評価と大規模工事適用 / 鹿島建設 [正] 河野 麻衣子・川端 淳一・河合 達司
- VII-181 バイオスパーキング工法によるベンゼン汚染地下水の原位置浄化 / 大林組 [正] 西川 直仁・桐山 久・藤井 治彦
- VII-182 打ち込み式スパーキング井戸のスリット形状の検討 / 大成建設 [正] 高畑 陽・大石 雅也
- VII-183 有用微生物を用いた石灰炭からの六価クロム溶出低減に対するpHの影響 / 九州大学 [学] 橋本 大雅・大嶺 聖・安福 規之

■土壌・地下水汚染(1) / 10:25~11:55 / 竹崎 聡(大林組)

- VII-184 熊本・白川中流域における湛水事業による土壌中の残留硝酸性窒素の地下への浸透について / 東海大学 [学] 野口 翔平・市川 勉
- VII-185 キャピラリーバリアを利用した水平透過性浄化壁による硝酸性窒素浄化方法 / 大成建設 [正] 増岡 健太郎・高畑 陽・伊藤 雅子
- VII-186 揚水・注水の繰り返しによる重金属汚染地盤の原位置浄化(第4報) / 大林組 [正] 佐藤 祐輔・西田 憲司・三浦 俊彦
- VII-187 吸着機能を利用した透過性地下水浄化壁の設計手法について / 大成建設 [正] 根岸 昌範・有山 元茂・深澤 道子
- VII-188 各種酸化剤によるベンゼン汚染土壌の処理条件の検討 / 竹中工務店 [正] 奥田 信康
- VII-189 鉄バクテリア法による地下水中の地下水中のマンガ除去を支配する要因の検討 / 大阪産業大学 [学] 郭 ギョウ・菅原 正孝・濱崎 竜英
- VII-190 機械油汚染地盤の非掘削浄化効率に関する研究 / 大同大学 [学] 佐野 豊生・棚橋 秀行

■土壌・地下水汚染(2) / 15:00~16:30 / 藤川 陽子(京都大学)

- VII-191 新規変色型蛍光色素を用いた水サンプル中重金属イオンの簡易分析 / 北海道大学 [学] 羽深 昭・山田 幸司・佐藤 久
- VII-192 オンサイト重金属イオン分析に向けた新規変色型蛍光色素の開発 / 北海道大学 [学] タニヤマ ヒロキ・山田 幸司・佐藤 久
- VII-193 土壌溶出試験のろ過時間短縮に関する検討 / レアックス [正] 加藤 欣也・島田 智浩・板橋 秀治

- Ⅶ-194 土壌等の有機フッ素化合物の抽出方法の検討について／大阪産業大学〔学〕内山 善基・谷口 省吾・尾崎 博明
- Ⅶ-195 下水汚泥焼却灰より抽出したリン資材による鉛の不溶化効果とその改良／岐阜大学〔学〕松岡 秀明・加藤 雅彦・佐藤 健

- Ⅶ-196 炭素繊維充填型電解セルによる焼却灰から溶出した重金属の回収／群馬大学〔正〕森 勝伸・本田 慧規・三澤 祐子
- Ⅶ-197 農用地汚染土壌に対する動電流の修復法の適用可能性について／長崎大学〔正〕中川 啓・中瀬 健吾・森 裕樹

共通セッション

CS-1 (愛大ミュージムM23) / 9月7日(水)

■土木教育一般(1) / 10:25~11:55 / 道奥 康治(神戸大学)

- CS1-001 土木系高等教育機関における地震防災教育に関する一考察／金沢大学〔F〕北浦 勝・若松 加寿江・仲村 成貴
- CS1-002 土木構造教育に関する企業アンケートについて／函館高専〔正〕平沢 秀之・宮森 保紀・佐藤 太裕
- CS1-003 京都府北部・橋守研修会の実施及びその成果／舞鶴工業高等専門学校〔正〕玉田 和也・岩崎 英徳
- CS1-004 維持管理業務を実施する体制(組織・業務・スキル)の実態調査／東京大学〔正〕二宮 利江・石川 雄章・市川 暢之
- CS1-005 ナガサキにおける産学官民連携によるインフラ長寿命化／長崎大学〔正〕渡部 祐介・松田 浩・森田 千尋
- CS1-006 地域社会のニーズを取り入れた官学連携の教育スキームの検討とその実践／松江工業高等専門学校〔正〕広瀬 望・武邊 勝道・高尾 学
- CS1-007 世界市場で活躍できるプロジェクトマネジメント実務研修への参加／パシフィックコンサルタンツ〔正〕辻尾 大樹・濤川 功・吉田 要
- CS1-008 市民参加時代における土木技術者の倫理に関する一考察／東京工業大学〔学〕梅津 喜美夫

■土木教育一般(2) / 12:40~14:10 / 末武 義崇(足利工業大学)

- CS1-009 ドボクのチカラで「子供に外遊びを」PARTⅢ 冒険遊び場の未来／福田道路〔正〕北添 慎吾
- CS1-010 地震の基礎知識を理解させる中学校一高専間連携授業を実施して／木更津工業高等専門学校〔正〕鬼塚 信弘・菊池 奈保美・庄司 光利
- CS1-011 日本橋常盤小学校を対象としたまちづくり学習の授業効果の持続性／鉄道建設・運輸施設整備支援機構〔正〕市川 健太・鈴木 葉子・岩倉 成志
- CS1-012 初等国語科目および総合科目での教育実践一橋の構造を題材として／北海道大学〔正〕田中 岳・佐藤 靖彦・末武 義崇
- CS1-013 高校・高専・大学の連携 高知県建設系教育協議会(4K)の取り組み／高知県立高知工業高等学校〔正〕中村 文香
- CS1-014 初等教育支援の教材開発に関する高大連携教育の活用／足利工業大学〔正〕末武 義崇

■土木教育一般(3) / 14:25~15:55 / 藤井 聡(京都大学)

- CS1-015 力の分担の理解に向けたトラスの模型教材づくり／木更津工業高等専門学校〔正〕佐藤 恒明・中村 友美・宮本 裕
- CS1-016 Information Communication Technologyを使った構造力学の教育支援システムの開発／日本文理大学〔正〕山下 彰彦・吉村 充功
- CS1-017 体験学習での使用を目的とした木工用ボンド混入セメント硬化体／苫小牧工業高等専門学校〔正〕渡辺 暁央・廣川 一巳・有澤 康則
- CS1-018 公共工事における技術広報の取り組み事例報告／国土交通省〔正〕野口 孝俊・鈴木 弘之・鈴木 大介
- CS1-019 LEDと立体地図を用いた地震動表示装置の開発／和歌山工業高等専門学校〔正〕辻原 治・白根 裕也・中嶋 弘幸
- CS1-020 可視化表現方法が立視能力に与える影響に関する検討／法政大学〔学〕細川 大介・橋本 亮良・溝渕 利明
- CS1-021 平成22年度継続教育実施委員会活動の概要報告／日本工営〔正〕佐々木 寿朗・岩井 茂雄

CS-1 (愛大ミュージムM23) / 9月8日(木)

■地下空間の多角的利用(1) / 8:40~10:10 / 中山 学(防災科学技術研究所)

- CS5-001 QOLレベルから見た東京メトロの地下鉄駅構内／神奈川大学〔学〕吉本 直美・和氣 典二・和氣 洋美
- CS5-002 地下空間デザインのための色と形のイメージプロフィールについて(その3) / 〔正〕今泉 暁吾・清水 則一・近江 桃
- CS5-003 事例に基づいた地下空間の選択指標構築の試み／宇都宮大学〔正〕清木 隆文・飯澤 悠・村田 哲哉

- CS5-004 避難アナウンスが地下空間浸水時の避難安全度に与える影響について／関西大学〔学〕川中 龍児・石垣 泰輔
- CS5-005 内水氾濫時における小規模地下空間の浸水危険度に関する研究／関西大学〔学〕井上 知美・石垣 泰輔・戸田 圭一
- CS5-006 都市水害時の地下浸水と地下の雨水貯留を表現するミニチュア模型の開発／京都大学〔正〕戸田 圭一・馬場 康之・石垣 泰輔
- CS5-007 水没したスライドドア車からの避難に関する検討／関西大学〔学〕高橋 祐樹・石垣 泰輔・馬場 康之

■地下空間の多角的利用(2) / 10:25~11:55 / 岡嶋 正樹(パシフィックコンサルタンツ)

- CS5-008 地下空間利活用のための地下構造物の性能評価について／深田地質研究所〔F〕亀村 勝美・吉澤 一雄
- CS5-009 既存山岳道路トンネルの保有性能低下の予測法の検討／金沢工業大学〔学〕横山 正浩・木村 定雄
- CS5-010 山岳トンネルにおけるアセットマネジメント適用に関する一考察／鴻池組〔正〕山田 浩幸・篠田 将希・木村 定雄
- CS5-011 施設の熱負荷推定に基づいた大谷採石地下空間の有効利用に関する検討／〔学〕井上 達也・阿部 友哉・清木 隆文
- CS5-012 地域分散型CCSの成立性に関する調査研究 その1—CO₂マイクロバブル地中貯留概念、その成立条件と貯留可能量評価—／大林組〔正〕鈴木 健一郎・志田原 巧・松下 典史
- CS5-013 地域分散型CCSの成立性に関する調査研究 その2—CO₂マイクロバブルの注入井・揚水井併用方式地中貯留システム—／鹿島建設〔正〕笹倉 剛・人見 尚・小川 豊和

CS-1 (愛大ミュージムM23) / 9月9日(金)

■新設および大規模改修時における橋梁計画(1) / 8:40~10:10 / 高木 千太郎(東京都道路整備保全公社)

- CS7-001 スマートブリッジ概念に基づく迅速展開架設可能なモバイルブリッジ／広島大学〔正〕有尾 一郎・近広 雄希・中沢 正利
- CS7-002 防災対策用の折畳めるシザーズ機構を持つ仮橋プロトタイプの力学的研究／広島大学〔学〕近広 雄希・有尾 一郎・中沢 正利
- CS7-003 2009年台風8号豪雨による台湾南部洪水の落橋被害の一考察／大成建設〔正〕石野 和男・後藤 浩・大津 岩夫
- CS7-004 高齢化を迎えた長大橋梁の診断と長寿命化に関する研究プロジェクト／関西大学〔正〕坂野 昌弘
- CS7-005 淀川大橋の腐食状況調査／日本橋梁建設協会〔正〕夏秋 義広・河野 譲・増田 寛四郎
- CS7-006 淀川大橋補修溶接部の非破壊検査および成分分析／日本非破壊検査工業会〔正〕新幸 弘行・河野 譲・増田 寛四郎
- CS7-007 淀川大橋の動的載荷試験および応力頻度測定／日本非破壊検査工業会〔正〕一ノ瀬 伯子ルイザ・増田 寛四郎・坂野 昌弘
- CS7-008 当板溶接補修部を有する鋼桁の疲労実験／関西大学〔学〕水野 哲也・山岡 大輔・坂野 昌弘

■新設および大規模改修時における橋梁計画(2) / 10:25~11:55 / 坂野 昌弘(関西大学)

- CS7-009 橋梁下部工における高強度鉄筋の適用に関する検討／日本構造橋梁研究所〔正〕村岡 史朗・小松 正貴・長尾 千瑛
- CS7-010 高強度鉄筋の曲げ加工性能に関する試験／日本構造橋梁研究所〔正〕山田 達哉・酒井 修平・中井 義政
- CS7-011 維持管理に配慮した新設橋梁の細部構造／中日本高速道路〔正〕溝上 善昭・酒井 修平・長尾 千瑛
- CS7-013 重交通区間における鋼橋RC床版取替工事での留意点／オリエンタル白石〔正〕角本 周・藤木 慶博・山本 敏彦
- CS7-014 床版上面および下面からの床版補修工事／西日本高速道路〔正〕石田 信寿・萩原 豪・中村 真幸
- CS7-015 大分自動車道別府明礬橋の耐震補強計画／ドゥーユー大地〔F〕坂手 道明・今村 壮宏・大塚 久哲

■新設および大規模改修時における橋梁計画(3)／15:00～16:30／坂手 道明(ドーユー大地)

- CS7-016 短い鋼桁橋、長い鋼桁橋／[F] 塩井 幸武
 CS7-017 新しい中路アーチ橋のコンセプト／三井住友建設 [正] 春日 昭夫・平 喜彦・飯島 基裕
 CS7-018 新形式木橋の計画／エイト日本技術開発 [正] 梶木 洋子・本間 邦夫
 CS7-019 設計VEによる橋梁計画・設計／中央復建コンサルタンツ [正] 丹羽 信弘・栗山 真澄
 CS7-020 旭川市・南6条通横断橋の橋梁計画について／ドーコン構造部 [正] 中山 喜行・鎌倉 博幸・畠山 純一
 CS7-021 支間バランスに制約を受ける橋梁の計画／構研エンジニアリング [正] 竹原 智久・木村 和之・天内 和幸
 CS7-022 鋼・PC混合3径間連続アーチ補剛箱桁橋のデザインコンセプト／中日本高速道路 [正] 長尾 千瑛・酒井 修平・野口 彰宏
 CS7-023 一般国道33号「三坂道路」における橋梁計画について／国土交通省 [正] 五十川 泰史

CS-2 (愛大ミューズM24)／9月7日(水)

■放射性廃棄物の処分技術(1)／10:25～11:55／河西 基(電力中央研究所)

- CS3-001 狭隘部におけるベントナイト締固めによる側部緩衝材(低透水層)の施工性確認—地下空洞型処分施設性能確認試験による—／原子力環境整備促進・資金管理センター [正] 中島 貴弘・秋山 吉弘・千々松 正和
 CS3-002 締固め工法により施工された側部緩衝材の初期性能確認—地下空洞型処分施設性能確認試験による—／ハザマ [正] 山田 淳夫・千々松 正和・寺田 賢二
 CS3-003 放射線管理下における無人化施工を想定した上部充てん材の施工性—地下空洞型処分施設性能確認試験による—／鹿島建設 [正] 武地 真一・横関 康祐・福田 勝美
 CS3-004 廃棄体発熱の影響を考慮した上部充てん材の配合選定および諸性状—地下空洞型処分施設性能確認試験による—／原子力環境整備促進・資金管理センター [正] 矢田 勤・佐々木 敏幸・横関 康祐
 CS3-005 養生履歴の異なる充填材の空隙構造と圧縮強度試験結果に関する一考察—地下空洞型処分施設性能確認試験による—／大成建設 [正] 木ノ村 幸士・加藤 博康・矢田 勤
 CS3-006 断熱温度上昇特性の打込み温度依存性を考慮した温度解析結果／東電設計 [正] 石橋 勝彦・鈴木 康正・矢田 勤
 CS3-007 ベントナイトの品質管理のためのメチレンブルー吸着量試験に関する一考察(その1. 試験方法に関する検討)／茨城大学 [学] 小栗 光・千々松 正和・小峯 秀雄
 CS3-008 ベントナイトの品質管理のためのメチレンブルー吸着量試験に関する一考察(その2. モンモリロナイト含有率の算出に関して)／ハザマ [正] 千々松 正和

■放射性廃棄物の処分技術(2)／12:40～14:10／千々松 正和(間組)

- CS3-009 試験装置の違いがベントナイト膨潤圧に及ぼす影響の解釈／電力中央研究所 [F] 田中 幸久
 CS3-010 メチレンブルー吸着量や液性限界・塑性限界の観点からの最大粒径10mmと2mmの粒状ベントナイトの膨潤圧特性に関する考察／茨城大学 [正] 小峯 秀雄
 CS3-011 圧縮ベントナイトの膨潤圧に与える湿度およびサクシジョンの影響／足利工業大学 [正] 西村 友良
 CS3-012 乾燥密度の異なる粒子が混在する粒状ベントナイトの飽和・膨潤特性／大林組 [学] 森 拓雄・山本 修一・佐藤 伸
 CS3-013 圧縮粒状ベントナイトのせん断強度特性／名城大学 [学] 元山 泰久・小高 猛司
 CS3-014 不飽和珪砂・ベントナイト混合体の飽和度上昇に伴うせん断抵抗角の低下／名城大学 [正] 小高 猛司・元山 泰久・平手 寿大
 CS3-015 飽和・不飽和ベントナイトのせん断強度特性に関する研究／大林組 [正] 山本 修一・朝野 英一・林 英郎
 CS3-016 塩水浸潤における緩衝材の不飽和特性の推定／日本原子力研究開発機構 [正] 今井 久・九石 正美・鈴木 英明

■放射性廃棄物の処分技術(3)／14:25～15:55／山本 修一(大林組)

- CS3-017 一次元膨潤変形に伴うベントナイトの吸水量測定試験方法の提案と水分拡散係数の評価／茨城大学 [学] 遠藤 さち恵・小峯 秀雄・村上 哲
 CS3-018 粒状ベントナイトの吸水特性とその水分拡散係数としての評価／茨城大学 [学] 小山田 拓郎・小峯 秀雄・村上 哲
 CS3-019 比抵抗トモグラフィによる緩衝材の再冠水挙動の把握／日本原子力研究開発機構 [正] 鈴木 英明・中間 茂雄・藤田 朝雄

- CS3-020 長尺供試体を用いたベントナイト系人工バリア材料の一次元浸潤速度の評価／鹿島建設 [正] 竹内 信・小林 一三・笹倉 剛
 CS3-021 飽和ベントナイトのガス移行試験と寸法効果の検討／原子力環境整備促進・資金管理センター [正] 並木 和人・朝野 英一・林 秀郎
 CS3-022 圧縮ベントナイトの再冠水・ガス移行挙動に及ぼす力学影響に関する検討／大林組 [正] 佐藤 伸・朝野 英一・志村 友行
 CS3-023 余裕深度処分施設の低透水層に対する劣化要因が及ぼす影響について(その1)～劣化要因が透水係数に及ぼす影響に関する要素試験～／原子力安全基盤機構 [正] 東原 知広・下村 雅則・藤原 斉郁
 CS3-024 余裕深度処分施設の低透水層に対する劣化要因の影響について(その2)～劣化要因の重複を想定したカラム試験～／大成建設 [正] 藤原 斉郁・東原 知広・下村 雅則

CS-2 (愛大ミューズM24)／9月8日(木)

■放射性廃棄物の処分技術(4)／8:40～10:10／森 拓雄(大林組)

- CS3-025 ベントナイト系緩衝材の締固め管理への小型FWD試験の適用性について(その1)／大成建設 [正] 森川 義人・根木 政広・藤原 斉郁
 CS3-026 ベントナイト系緩衝材の締固め管理への小型FWD試験の適用性について(その2)／大成建設 [正] 根木 政広・森川 義人・藤原 斉郁
 CS3-027 狭隘部ベントナイト施工法の開発／大成建設 [正] 廻田 貴志・矢田 勤・根木 政広
 CS3-028 低配合ベントナイト混合土の練り混ぜに関する検討／日本原燃 [正] 岡本 大・西嶋 久寿・谷 智之
 CS3-029 低配合ベントナイト混合土の施工性に関する検討／ハザマ [正] 荻原 績・千々松 正和・西嶋 久寿
 CS3-030 混合率30～50%のベントナイト混合土の練り混ぜに関する検討／ハザマ [正] 石濱 裕幸・千々松 正和・西嶋 久寿
 CS3-031 ベントナイト混合土の製造に対する縦落とし式混合装置の開発(その1)縦落とし式混合装置の概要／前田建設工業 [正] 前田 和亨・武部 篤治・南 浩輔
 CS3-032 ベントナイト混合土の製造に対する縦落とし式混合装置の開発—(その2)プロトタイプ試験装置による検証試験結果—／前田建設工業 [正] 武部 篤治・前田 和亨・南 浩輔

■放射性廃棄物の処分技術(5)／10:25～11:55／岸田 潔(京都大学)

- CS3-033 地層処分におけるグラウト技術の高度化開発(その1)—平成22年度の実施概要—／日本原子力研究開発機構 [正] 藤田 朝雄・笹本 広・畑中 耕一郎
 CS3-034 地層処分におけるグラウト技術の高度化開発(その2)—グラウト材料の浸透特性に関する室内試験—／日本原子力研究開発機構 [正] 川口 昌尚・岸 裕和・延藤 遵
 CS3-035 地層処分におけるグラウト技術の高度化開発(その3)—緩衝材ブロック間の隙間浸透実験による許容湧水量の検討—／戸田建設 [正] 関根 一郎・山田 勉・関口 高志
 CS3-036 地層処分におけるグラウト技術の高度化開発(その4)—グラウト注入試験の計画立案に向けた事前調査の実施—／日本原子力研究開発機構 [正] 中西 達郎・川口 昌尚・津田 秀典
 CS3-037 地層処分におけるグラウト技術の高度化開発(その5)—結晶質岩サイトにおける地質構造評価事例—／大林組 [正] 鏡 顕正・田中 達也・橋本 秀爾
 CS3-038 地層処分におけるグラウト技術の高度化開発(その6)—結晶質における割れ目モデルの構築—／大林組 [正] 田中 達也・鏡 顕正・Patrick Bruines
 CS3-039 地層処分におけるグラウト技術の高度化開発(その7)—サンドカラム試験によるグラウトの目詰まり特性の評価—／京都大学 [学] 大橋 英紀・小山 倫史・蓮井 昭則
 CS3-040 地層処分におけるグラウト技術の高度化開発(その8)—等価多孔質媒体モデルを用いた注入事前解析—／[正] 葛葉 有史・岸 裕和・蓮井 昭則

CS-2 (愛大ミューズM24)／9月9日(金)

■放射性廃棄物の処分技術(6)／8:40～10:10／藤田 朝雄(日本原子力研究開発機構)

- CS3-041 地層処分におけるグラウト技術の高度化開発(その9)—壁面凹凸を考慮したグラウト浸透モデルの理論的考察—／京都大学 [正] 岸田 潔・小林 賢一郎・細田 尚
 CS3-042 地層処分におけるグラウト技術の高度化開発(その10)—一堆

- 積岩を対象としたグラウト浸透状況調査のための物理探査手法の適用性に関する基礎的検討—/日本原子力研究開発機構 [正] 松井 裕哉・並木 和人・鈴木 健一郎
- CS3-043 亀裂充填グラウト材料の耐水圧に関する実験的研究/大林組 [正] 納多 勝・鈴木 健一郎・三浦 律彦
- CS3-044 余裕深度処分施設のコンクリートピット中鉄筋の腐食膨張によるひび割れについて/清水建設 [正] 矢ノ倉 ひろみ・杉橋 直行・田中 博一
- CS3-045 酸化性環境下におけるコンクリート中鋼材の腐食速度に関する実験的研究/早稲田大学 [学] 朝瀬 康平・金子 聡志・石川 光男
- CS3-046 低レベル放射性廃棄物処分施設のコンクリート中鋼材の腐食速度に関する実験的検討/清水建設 [正] 杉橋 直行・名倉 健二・矢ノ倉 ひろみ
- CS3-047 余裕深度処分施設に用いるセメント系人工バリアの拡散性能評価手法に関する考察/清水建設 [正] 名倉 健二・杉橋 直行・矢ノ倉 ひろみ
- CS3-048 低発熱型混合セメントと膨張材を併用したコンクリートの諸特性/鹿島技術研究所 [正] 横関 康祐・工藤 淳・宮田 修司

■放射性廃棄物の処分技術(7)/10:25~11:55/庭瀬 一仁(日本原燃)

- CS3-049 セメント硬化体の溶出成分とpHの関係に関する基礎的検討/電力中央研究所 [正] 山本 武志・藤崎 淳・植田 浩義
- CS3-050 炭酸ナトリウム混合によるベントナイト—セメント境界部の変質抑制/群馬大学 [正] 半井 健一郎・坂本 浩幸・柴田 真仁
- CS3-051 移流場におけるセメント系材料の化学的変質に関する解析的検討/鹿島建設 [正] 取違 剛・横関 康祐・庭瀬 一仁
- CS3-052 熱—水—応力—化学連成モデルの開発に関する国際共同研究[DECOVALEX-2011](その1)—概要およびTask Aにおけるベンチレーション試験の解析について—/日本原子力研究開発機構 [正] 中間 茂雄・藤田 朝雄・小山 倫史
- CS3-053 熱—水—応力—化学連成モデルの開発に関する国際共同研究[DECOVALEX-2011](その2)—Task B:結晶質岩を対象としたPillar stability test—/京都大学 [正] 小山 倫史・清水 浩之・千々松 正和
- CS3-054 TRU廃棄物処分システムにおけるガス移行長期挙動解析モデルの高度化/地圏環境テクノロジー [正] 田原 康博・多田 和広・森 康二
- CS3-055 混合ハイブリッド有限要素法による気液2相流解析/大成建設 [正] 小野 誠・鈴木 俊一・井尻 裕二

■放射性廃棄物の処分技術(8)/15:00~16:30/山本 武志(電力中央研究所)

- CS3-056 PEM施工技術の開発(1)鋼殻リングPEM向け緩衝材の製作技術の実験的検討/清水建設 [正] 篠原 康寛・戸栗 智仁・石井 卓
- CS3-057 PEM施工技術の開発(2)鋼殻リングPEMにおける組立技術の実験的検討/原子力環境整備促進・資金管理センター [正] 矢萩 良二・朝野 英一・石井 卓
- CS3-058 セメントの使用を極力抑えた岩石利用セグメントの曲げ特性に関する検討/清水建設 [正] 齋藤 亮・多田 浩幸・林克彦
- CS3-059 岩石利用セグメント支保工の裏込め砕石の変形特性試験と坑道の安定性の検討/清水建設 [正] 多田 浩幸・熊坂 博夫・林 克彦
- CS3-060 概要調査に向けた地質環境の調査技術・評価手法の実証(その6)—物理探査技術の実証研究—/原子力発電環境整備機構 [正] 吉村 公孝・村元 茂則・石井 英一
- CS3-061 ボーリング掘削におけるトラブル事例の分析—岐阜県東濃地域における深層ボーリング孔での崩壊事例を対象とした取り組み—/日本原子力研究開発機構 [正] 榎永 幸介・天野 健治・國丸 貴紀
- CS3-062 幌延深地層研究計画における立坑内水平坑道のサイクルタイムの分析/大成建設 [正] 本島 貴之・萩原 健司・南出 賢司
- CS3-063 高電圧放電破砕工法の既設原子力発電所解体工事への適用性検討/熊谷組 [正] 松村 修治・北原 成郎・悦永 賢司

CS-3 (愛大ミュージムM32)/9月7日(水)

■複合構造物(1)/10:25~11:55/大垣 賀津雄(川崎重工業)

- CS2-001 A Discussion on Nonlinear Analysis of RCFT Columns/八戸工業大学 [学] Alifujiang Xiamuxi・長谷川 明
- CS2-002 高強度材料を用いたCFT部材の曲げ耐力・変形性能に関する載荷試験/鉄道総合技術研究所 [正] 萬代 能久・吉田 直人・池田 学

- CS2-003 コンクリート充填二重鋼管の曲げ耐力にずれ止めが与える影響/京都大学 [学] 巽 郁仁・清水 優・石川 敏之
- CS2-004 Nonlinear Elastic Buckling of CFRP Reinforced Steel Cylinders under Axial Compression/豊橋技術科学大学 [学] ベトワル クリシュナ・山田 聖志・松本 幸大
- CS2-005 複合構造物を活用した既設高架橋に対する空間創造と耐震補強方法に関する試設計/復建エンジニアリング [正] 西村 昌宏・吉村 剛・タニグチ ノゾム
- CS2-006 直上高架方式による鉄道ラーメン高架橋への合成構造適用に関する解析的検討/復建エンジニアリング [正] 佐々木 徹也・谷口 望・平尾 淳一
- CS2-007 支圧板方式による鋼ポータルラーメン橋の剛結部に関する解析的検討/高田機工 [正] 山田 貴男・山口 隆司・川元 悠平

■複合構造物(2)/12:40~14:10/池田 学(鉄道総合技術研究所)

- CS2-008 材料非線形性を考慮した急曲線合成床版トラス橋の解析的検討/復建エンジニアリング [正] 荒木 一徳・吉田 直人・谷口 望
- CS2-009 既設鋼橋への部分複合構造化補修工法の提案/太平洋マテリアル [正] 大久保 藤和・谷口 望・大垣 賀津雄
- CS2-010 既設鋼橋への部分複合化補修工法の適用に関する材料試験/太平洋マテリアル [正] 佐竹 紳也・谷口 望・大垣 賀津雄
- CS2-011 打音法による鋼板接着補強床版の非破壊検査に関する研究/川田工業 [正] 佐藤 義則・磯 光夫・橋 吉宏
- CS2-012 打音法による合成床版のまだ固まらないコンクリートの品質管理/川田工業 [正] 磯 光夫・小笠原 照夫・松井 信武
- CS2-013 UFCパネル敷設鋼床版の輪荷重疲労試験/首都高速道路 [正] 神田 信也・中野 博文・竹淵 敏郎
- CS2-014 UFCパネルと鋼板からなる複合板の疲労耐久性に関する検討/太平洋セメント [正] 川口 哲生・河野 克哉・田中 敏嗣

■複合構造物(3)/14:25~15:55/武知 勉(オリエンタル白石)

- CS2-015 Influence of SBHS500 on section classification criterion for composite girders/埼玉大学 [正] 奥井 義昭・Dang Viet Duc・利根川 太郎
- CS2-016 SBHS鋼の連続合成少数鉋桁橋への適用性/新日本技研 [正] 小菅 匠・西川 貴志・高濱 光夫
- CS2-017 鋼・コンクリート二重合成2主1桁橋の乾燥収縮挙動に及ぼす埋設型枠の影響/大阪工業大学 [学] 田村 崇・山本 真気・大山 理
- CS2-018 既設鋼橋の合成構造化における施工手順を考慮した実験的検討—その1—/鉄道総研 [正] 杉本 一朗・谷利 晃・平陽兵
- CS2-019 既設鋼橋の合成構造化における施工手順を考慮した実験的検討—その2—/鹿島建設 [正] 浅沼 大寿・平 陽兵・杉本 一朗
- CS2-020 SRC部材の曲げひび割れ算定式の検討/鉄道総合技術研究所 [正] 仁平 達也・岡本 大・谷村 幸裕

CS-3 (愛大ミュージムM32)/9月8日(木)

■複合構造物(4)/8:40~10:10/渡辺 忠朋(北武コンサルタント)

- CS2-021 接着剤を用いた鋼・コンクリート合成構造の一面せん断実験/宇部興産機械 [正] 小川 淳史・吉武 勇・三村 陽一
- CS2-022 Nonlinear Static Study on Group Studs under Biaxial Action/京都大学 [学] 徐 晨・XU Chen・SUGIURA Kunitomo
- CS2-023 半円シアコネクタの直接せん断特性に関する実験的研究/神戸市立工業高等専門学校 [正] 上中 宏二郎・東山 浩士・石川 敏之
- CS2-024 せん断力—ずれ変位関係に着目した各種ずれ止め形式の比較/サクラダ [正] 大口 真司・酒井 武志・梅原 郁弘
- CS2-025 孔あき鋼板ジベルのずれ耐力と破壊メカニズム/広島大学 [学] 古川 祐輔・藤井 堅・山口 詩織
- CS2-026 拘束度の高い押抜き試験に基づく孔あき鋼板ジベルの強度評価/宇都宮大学 [学] 橋本 昌利・中島 章典・鈴木 康夫

■複合構造物(5)/10:25~11:55/松本 高志(北海道大学)

- CS2-027 床版橋形式GFRP歩道橋の接着接合断面のはく離挙動と安全性/西日本旅客鉄道 [正] 荻屋 彰吾・中村 一史・前田 研一
- CS2-028 CFRP板接着によるFRP桁の高剛性化と実用性に関する検討/パシフィックコンサルタンツ [正] オベディ デニス・中村 一史・前田 研一
- CS2-029 FRPを用いた橋梁用伸縮装置の静的耐荷性能/宮地エンジニアリング [正] 久保 圭吾・福永 靖雄・山口 浩平

- CS2-030 GFRP引抜き成形の橋梁点検検査路のブラケット部への適用／九州大学 [学] 李 宏斌・日野 伸一・山口 浩平
 CS2-031 足場用FRPパイプの曲げ破壊メカニズムの検討／建設塗装工業 [正] 本間 伸吾・鈴木 周一・福島 徹
 CS2-032 足場用FRPパイプの安全率の検討／建設塗装工業 [正] 鈴木 周一・福島 徹・本間 伸吾

CS-3 (愛大ミュージムM32) / 9月9日(金)

■複合構造物(6) / 8:40~10:10 / 山口 浩平(九州大学)

- CS2-033 高力ボルトと接着剤を用いたハイブリッドFRP部材の接合方法に関する実験的研究／首都大学東京 [学] 濱崎 景太・中村 一史・前田 研一
 CS2-034 ハイブリッドFRP部材の継手に関する研究／埼玉大学 [学] 新井 朋也・睦好 宏志・石濱 達也
 CS2-035 ハイブリッドFRP主桁斜張橋における主桁と横桁の接合方法に関する検討／首都大学東京 [学] 飯田 達也・中村 一史・前田 研一
 CS2-036 鋼桁腹板部の補修・補強方法開発に向けたCFRP接着鋼桁のせん断座屈試験／東日本高速道路 [正] 藤野 和雄・宮下 剛・長井 正嗣
 CS2-037 ものつくり大学FRPトラス歩道橋の振動特性／豊橋技術科学大学 [正] 松本 幸大・山田 聖志・花田 幸大
 CS2-038 GFRP桁の重ね合成による大断面化と実用性に関する研究／首都大学東京 [正] 中村 一史・水貝 脩平・前田 研一

■土木工学発展に向けた資料の収集・保存・提供と利活用 / 10:25~11:55 / 野末 道子(鉄道総合技術研究所)

- CS11-001 アニメーションを取り入れた映像作品の活用と課題について―「私たちの暮らしと土木」シリーズを例にして―／全国建設研修センター [正] 榊山 清人
 CS11-002 建設技術記録映像利活用に向けた映像情報データベースのモデル構築／北海道教育大学 [正] 今 尚之・馬淵 浩一・早川 渡
 CS11-003 土木図書館におけるデジタルライブラリーへの取り組み(その6)―レファレンスサービスについて―／土木学会 [正] 坂本 真至
 CS11-004 電子書籍時代の土木学会の姿／関西大学 [F] 三上 市藏・三上 卓
 CS11-005 トンネルの地質調査・施工計測データの情報資源化に向けた検討例／土木研究所寒地土木研究所 [正] 岡崎 健治・伊東 佳彦・佐々木 博一

CS-4 (愛大ミュージムM33) / 9月7日(水)

■計算力学(1) / 10:25~11:55 / 田中 聖三(中央大学)

- CS10-001 拡張有限要素法と有限被覆法による不連続変形解析に関する研究／茨城大学 [正] 車谷 麻緒・Tran Anh Quang
 CS10-002 KS-MOR法による縮約化動的解析における有効自由度数の決定法／九州大学 [学] 飯田 浩貴・Norliyati M Amin・浅井 光輝
 CS10-003 過粘性を考慮した安定化ISPH法による流体力評価の精度検証／九州大学 [学] 藤本 啓介・浅井 光輝・園田 佳巨
 CS10-004 時間・境界上の離散化にHaar waveletを用いた拡散問題時間領域BEMにおける係数行列計算の効率化／新潟大学 [学] 佐藤 鉄太郎・紅露 一寛・阿部 和久
 CS10-005 有限被覆法b)に基づく自由表面を有する流体一構造連成解析／中央大学 [学] 関谷 香恵・中村 正人・高瀬 慎介
 CS10-006 混合型剛塑性有限要素解析へのアダプティブ法の適用について／京都大学 [正] 西藤 潤・島越 貴之・小林 俊一
 CS10-007 二重周期弾性場の表面波伝播特性に関する研究／新潟大学 [学] 荒木 聡秀・阿部 和久・紅露 一寛
 CS10-008 自由表面流れ解析における安定化ISPH法の精度検証／中央大学 [学] 原田 悠里・榎山 和男・浅井 光輝

■計算力学(2) / 12:40~14:10 / 石井 建樹(木更津工業高等専門学校)

- CS10-009 微視的な引張強度と破壊エネルギーに着目したコンクリートの破壊進行シミュレーション／茨城大学 [学] 神野 真弥・車谷 麻緒
 CS10-010 微視的構造特性を考慮した超高強度セメントペーストの応力分布評価／茨城大学 [学] 田久 智行・車谷 麻緒・寺田 賢二郎
 CS10-011 半無限地盤・走行車輪・軌道連成系の定常応答特性に関する研究／新潟大学 [学] 高野 祐紀・阿部 和久・紅露 一寛
 CS10-012 CIP法による室内音場解析／中央大学 [学] 守屋 陽平・榎山 和男・谷川 将規

- CS10-013 コンクリート材料劣化予測シミュレータ開発に向けた基礎検討／九州大学 [学] 渡邊 茜・浅井 光輝・園田 佳巨
 CS10-014 作用強度からみた塩害劣化評価法の数値解析的検討／琉球大学 [正] 富山 潤・中林 靖
 CS10-015 熱流体連成解析における流出境界条件処理法の比較研究／中央大学 [学] 池田 哲也・榎山 和男・石坂 俊輔
 CS10-016 DG法による浅水長波流れ解析／中央大学 [学] 牧野 優作・田中 聖三・桜庭 雅明

■計算力学(3) / 14:25~15:55 / 斎藤 隆泰(東京工業大学)

- CS10-017 Level set-based topology optimization of phononic crystals for sound barrier／新潟大学 [学] 橋本 大・Hashimoto Hiroshi・Kim Min-Geum
 CS10-018 空気―固体連成問題のための演算子積分時間領域境界要素法／東京工業大学 [学] 丸山 泰蔵・斎藤 隆泰・廣瀬 壮一
 CS10-019 視覚・聴覚情報を用いた対話型道路交通騒音評価VRシステムの構築／中央大学 [学] 柴田 啓輔・榎山 和男・志村 正幸
 CS10-020 2次元スカラー波動問題のための wavelet 時間領域境界要素法の計算効率に対する境界条件の影響／新潟大学 [学] 菅波 祐太・紅露 一寛・阿部 和久
 CS10-021 SH波の入射を受ける連続橋・地盤連成系の定常応答解析／新潟大学 [学] 田村 建・阿部 和久・紅露 一寛
 CS10-022 OpenCVに基づく動画画像を用いた大変形計測／木更津工業高等専門学校 [正] 石井 建樹・月崎 良一・浅野 洋介
 CS10-023 流体中に置かれた物体の抗力低減形状決定問題における初期条件に関する研究／中央大学 [正] 野島 和也
 CS10-024 電磁界有限積分法(EMFIT)による電磁波レダ法のモデリング／愛媛大学 [学] 伊賀 達郎・中畑 和之

CS-4 (愛大ミュージムM33) / 9月8日(木)

■土木分野における木材利用(1) / 8:40~10:10 / 佐々木 貴信(秋田県立大学)

- CS13-001 ボールジョイント型木製トラス歩道橋の振動軽減策／金沢工業大学 [学] 興津 光・本田 秀行
 CS13-002 20年経過した木製類杖車道橋の健全度と強度低減率の推定／金沢工業大学 [F] 本田 秀行・糠山 尚希・興津 光
 CS13-003 中国の木アーチ橋との比較による錦帯橋の唯一性の検証／福岡大学 [正] 渡辺 浩・小林 一郎・佐々木 康寿
 CS13-004 プレストレス木床版を利用した新形式木橋／秋田大学 [学] ブイ ジュハイ・高橋 篤・後藤 文彦
 CS13-005 組立て・解体が容易な木製トラス橋の静的載荷実験／函館高専 [学] 吉田 朋哉・平沢 秀之・渡辺 浩
 CS13-006 オンサイト製材を用いたオールウッド型木製治山ダムの部材接合部に関する研究／秋田県立大学 [正] 千田 知弘・佐々木 貴信・野田 龍
 CS13-007 経済性を考慮したオールウッド型木製治山ダムに関する研究／森林土木施設研究所 [正] 野田 龍・井上 孝人・佐々木 貴信

■土木分野における木材利用(2) / 10:25~11:55 / 原 忠(高知大学)

- CS13-008 木杭の支持力機構について／兼松日産農林 [正] 水谷 羊介
 CS13-009 間伐材打設による液状化対策の小型振動実験の方法／飛鳥建設 [正] 沼田 淳紀・本山 寛・桃原 郁夫
 CS13-010 小型振動実験による間伐材打設間隔と液状化対策効果／飛鳥建設 [正] 本山 寛・沼田 淳紀・桃原 郁夫
 CS13-011 木杭基礎による構造物の液状化と地盤流動対策法に関する実験的研究／早稲田大学 [学] 岸田 健吾・堤 圭司・濱田 政則
 CS13-012 丸太を用いた液状化時の構造物の沈下対策に関する模型振動実験／福井工業高等専門学校 [正] 吉田 雅穂・鎮守 佑介・吉田 友美
 CS13-013 海虫害を受けた15樹種の木材試験体の質量と強度の減少率／港湾空港技術研究所 [正] 山田 昌郎・森 満範
 CS13-014 地中使用する木材の長期耐久性に関する事例調査(その2)／地域環境研究所 [正] 中村 裕昭・濱田 政則・本山 寛
 CS13-015 住宅地盤補強用木杭を想定した木材の腐朽促進実験／昭和マテリアル [正] 池田 浩明・沼田 淳紀・本山 寛

CS-4 (愛大ミュージムM33) / 9月9日(金)

■土木分野における木材利用(3) / 8:40~10:10 / 村野 昭人(東洋大学)

- CS13-016 土木技術者の役割の再考と木材利用の提案／飛鳥建設 [正] 富松 義晴・沼田 淳紀・三輪 滋
 CS13-017 木製土木施設オンサイト生産システムの構築／秋田県立大

- 学 [正] 佐々木 貴信・山内 秀文・栗本 康司
CS13-018 歴史的構造物への木材利用—伊勢神宮の場合—/間組 [正] 辻井 修・池田 穰
CS13-019 土木分野における木材利用のLCA—木製ガードレールのCO₂収支を対象として—/国立環境研究所 [正] 加用 千裕・橋本 征二・柴田 直明
CS13-020 NETIS登録された木製遮音壁の実績—サイレントウッド—/日本国土開発 [正] 田代 晃一・山口 秋生・池田 穰
CS13-021 木製遮音壁の現状調査とカスケード利用の提案/飛鳥建設 [正] 坂崎 友美・沼田 淳紀・柴田 直明
CS13-022 他材料とのハイブリッド化による木材の利用拡大—長野県内における道路関連構造物の調査報告—/長野県林業総合センター [正] 柴田 直明・山内 仁人
CS13-023 丸太筋工を用いたのり面緑化工の丸太腐朽と根系成長を考慮した安定性の試算/間組(ハザマ) [正] 池田 穰・今井 久・柴田 直明

■水環境における生物多様性評価・保全技術/10:25~11:55/赤松 良久(山口大学)

- CS12-001 河川の上・中流域での生物多様性と環境評価/土木研究所 [正] 萱場 祐一
CS12-002 河川底生昆虫の遺伝的多様性と生息場環境の関係の解明/東北大学 [学] 八重樫 咲子・永峯 賢人・高橋 真司
CS12-003 行動圏内の環境多様性に着目した河川魚類生息場の定量評価手法/山口大学 [正] 神野 有生・藤本 侑樹・関根 雅彦
CS12-004 琵琶湖岸全抽水植物群落の植生調査と生育状況を考慮した多様性評価手法の検討/京都大学 [正] 田中 周平・藤井 滋穂・水谷 沙織
CS12-005 WET手法を用いた排水・環境水の評価および管理の可能性/徳島大学 [正] 山本 裕史・安田 侑右・田村 生弥
CS12-006 河口干潟における底質環境と生物多様性の関係/京都大学 [正] 大谷 壮介・上月 康則
CS12-007 干潟の微地形がカブトガニ幼生の生息環境に及ぼす役割/山口大学 [学] 久保田 悠資・山本 浩一・関根 雅彦
CS12-008 山口湾における干潟微地形の変動特性に関する研究/山口大学 [正] 山本 浩一・鹿野 義行・関根 雅彦

CS-5 (愛大ミューズ101) /9月7日(水)

■土木分野におけるセンサ技術の利用と可能性(1)/10:25~11:55/松谷 治(アイベック)

- CS9-001 光ファイバセンサによるアスファルト構造物のひずみ計測技術の開発(その1)—ケーブルセンサの開発—/飛鳥建設 [正] 今井 道男・高橋 行彦・水野 秀太郎
CS9-002 光ファイバセンサによるアスファルト構造物のひずみ計測技術の開発(その2)—屋外試験による実証—/北海道電力 [正] 水野 秀太郎・高橋 行彦・今井 道男
CS9-003 FBGセンサを用いた変位分布計測用センサユニットの開発/飛鳥建設 [正] 田村 琢之・上明戸 昇・小林 敏之
CS9-004 3軸ひずみ聴診器の試作と検証/名城大学 [正] 小塩 達也・木全 博聖
CS9-005 応力発光体によるひずみ計測遠隔モニタリング実験/大成基礎設計 [正] 篠川 俊夫・青木 俊朗・徐 超男
CS9-006 岩盤斜面やコンクリート構造物の変位観測を目的とした地上型合成開口レーダー/日本工営 [正] 倉岡 千郎・Farina Paolo
CS9-007 電波位相差変位計測の斜面変位モニタリングへの適用性に関する検討/地層科学研究所 [正] 里 優・西山 哲・矢野 隆夫

■土木分野におけるセンサ技術の利用と可能性(2)/12:40~14:10/高田 知典(リプロ)

- CS9-008 無線加速度センサによる構造物の多点同時計測と振動の3次元可視化/愛媛大学 [正] 中畑 和之・高本 龍直・岡村 未対
CS9-009 簡易センサシステムを利用した鋼鉄道橋ヘルスマニタリングの一考察/東日本旅客鉄道 [正] 阿部 嘉貴・高橋 天平
CS9-010 スマートセンサーを用いた人道用吊橋の振動測定実験/北見工業大学 [学] 坂 和平・宮森 保紀・大島 俊之
CS9-011 岩盤斜面評価用遠隔非接触振動計測システムの開発/鉄道総合技術研究所 [正] 上半 文昭・村田 修・斎藤 秀樹
CS9-012 建物の高密度振動観測システムと観測情報のリアルタイム的活用法/東京大学 [学] 水橋 光希・西川 貴文・長山 智則
CS9-013 地下ダム施工における、先行削孔での基礎部判定の考察/大成建設 [正] 近藤 高弘・伊佐 健次
CS9-014 道路防災管理のためのナノセンサデバイスの開発と適用/地層科学研究所 [正] 中川 光雄・成田 穰・里 優

■土木分野におけるセンサ技術の利用と可能性(3)/14:25~15:55/石間 計夫(ジェイアール東日本コンサルタンツ)

- CS9-015 距離画像センサを用いた走行車両検知手法に関する研究/東鉄工業 [正] 林 佑樹・佐田 達典・石坂 哲宏
CS9-016 距離画像センサを用いた走行車両の速度算出手法に関する研究/日本大学 [学] 一見 健太・佐田 達典・石坂 哲宏
CS9-017 レーザスキャナ及びデジタルカメラによる3次元計測に関する一考察/計測リサーチコンサルタント [正] 渡邊 弘行・西村 正三・米本 雅紀
CS9-018 移動撮影による連続画像を利用したひび割れ抽出に関する基礎実験/三井住友建設 [正] 塩崎 正人・高橋 邦輝・菊地 典明
CS9-019 コンクリート打設状況の連続検知、ビジュアル化による品質管理手法の開発と適用事例/フジタ技術センター [正] フジクラ ユウスケ・茶園 裕二・平野 勝織
CS9-020 応力発光モニタリングによる改修工事の影響評価/産業 [正] 寺崎 正・徐 超男・張 琳
CS9-021 コンクリート内部に埋設するRFタグの性能評価に関する一検討/住友大阪セメント [正] 川島 恭志・君島 健之・井ノ川 尚

「ジオパーク」のマネジメント実務がわかる本!



ジオパーク・ マネジメント入門

社団法人全国地質調査業協会連合会
特定非営利活動法人地質情報整備・活用機構 共編
■ A5判／170頁／定価2,625円(税込)

「ジオパーク」のマネジメントに従事するための実務的な知識をまとめました。「ジオガイド、ジオパーク・プランナー」のテキストです。

日本の地質百選を見て歩くためのガイドブックの第2弾!



日本列島ジオサイト 地質百選 II

社団法人 全国地質調査業協会連合会
特定非営利活動法人 地質情報整備・活用機構 共編
■ A5判／202頁／定価2,940円(税込)

第2次「日本の地質百選」を含む84カ所のジオサイトについて、地質学的な特質などを見開きでわかりやすくまとめました。

オーム社

〒101-8460 東京都千代田区神田錦町3-1
TEL 03 (3233) 0853 FAX 03 (3293) 6224
定価(税込)は変更する場合があります。

★詳しい情報は www.ohmsha.co.jp



絵ときで学ぶ「測量」、待望の改訂版!

絵とき 測量(改訂3版)

粟津清蔵 監修
包国 勝・茶畑洋介・平田健一・小松 博英 共著
■ A5判／226頁／定価2,940円(税込)

評価、対策技術から
リスクマネジメントの実務まで!

地質リスクマネジメント入門

地質リスク学会
社団法人 全国地質調査業協会連合会 共編
■ A5判／216頁／定価3,675円(税込)

ジオサイトの考え方から
事業化のポイントまでがわかる!

ジオパーク

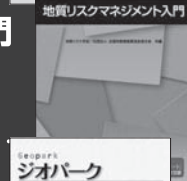
地質遺産の活用・
オンサイトツーリズムによる地域づくり

平野 勇 著
■ A5判／194頁／定価2,625円(税込)

日本の特徴的な地質をカラー写真と
地質図でわかりやすく解説!

写真と図で見る 日本の地質

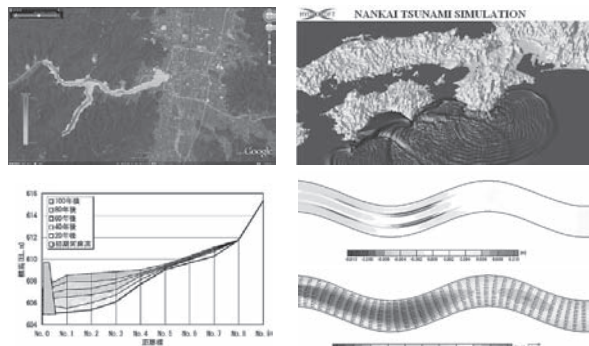
特定非営利活動法人地質情報整備・活用機構
独立行政法人産業技術総合研究所 地質調査総合センター 共編
■ A5変判／162頁／定価2,940円(税込)



「確かな技術で未来を創る」

河川・砂防・ダム及び海岸の各事業分野において、専門技術を生かし、建設コンサルタント業界における
数値解析と土木システム構築・データ処理の高品質な技術サービスを提供いたします。

解析技術サービス



- 土砂水理解析 ● 海岸水理解析 ● 環境水理解析
- 氾濫・防災関連解析 ● 下水道解析 ● 水循環・地下水解析

情報技術サービス

津波予警報システム



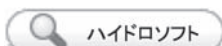
- 土木・防災情報システム ● 解析プログラムのGUI構築
- GIS, Webシステム構築 ● 各種データの処理・分析

HYDROSOFT

株式会社 ハイドロソフト技術研究所

www.hydro-soft.co.jp

【技術に関するお問い合わせは、
お電話・HPへお寄せください】



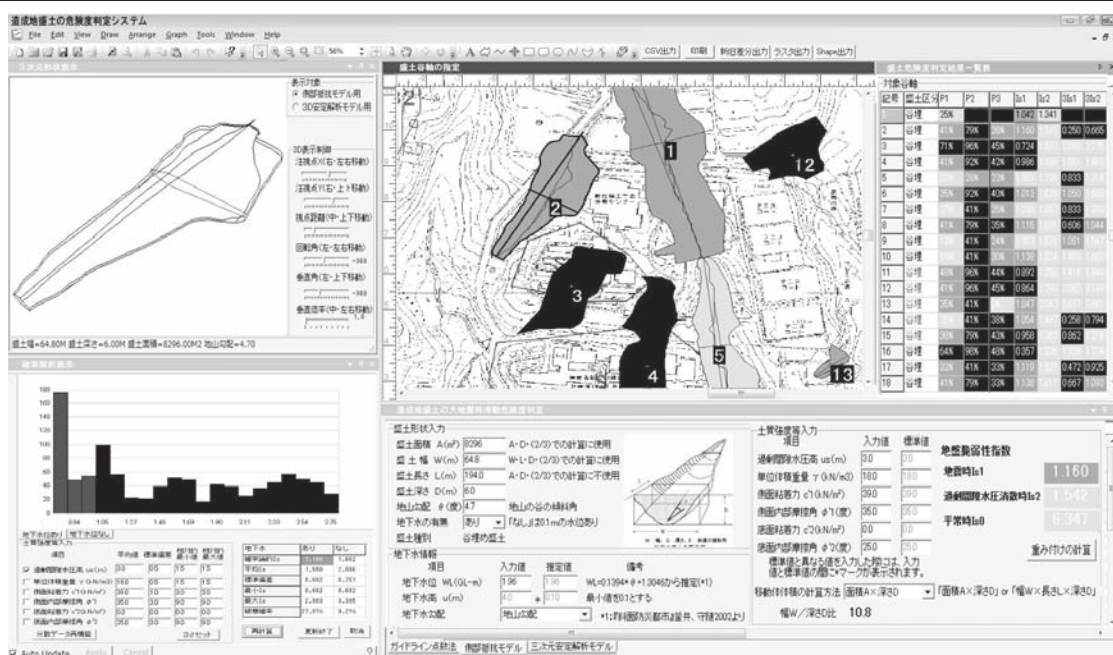
大阪本社

〒550-0015 大阪市西区南堀江1丁目7番4号 パロスビル7F
TEL: 06-6533-8011 FAX: 06-6533-8022

東京研究所

〒135-0016 東京都江東区東陽7丁目2番14号 東陽MKビル4F
TEL: 03-5857-4861 FAX: 03-5857-4863

盛土の地震時地すべり危険度予測



有限会社 太田ジオリサーチ
http://www.ohta-geo.co.jp/

Tel. 078-907-3120
Fax. 078-907-3123

学会 on the WEB

■オンラインソリューション例



学術研究機関をオンラインシステムでサポートします。

秋田活版印刷株式会社では、土木学会はじめ各学会・研究機関の論文集・講演集の編集印刷製本はもとより、オンライン投稿システム・査読システム等の提供により、研究者の時間というコスト、事務局の経費というコストの削減をお手伝いするとともに、リアルタイムでの管理システムを実現します。

セキュアな環境で提供するオンラインシステムは、投稿の負担軽減、管理の効率化はもちろんのこと、デジタルデータ収集により学会誌・論文集・講演集・予稿集等の刊行物やCD-ROM・DVD・WEBコンテンツと幅広い活用が出来ます。

URL <http://www.kappan.co.jp/>
Kappan
E-mail info@kappan.co.jp

■運用実績・事例はお問い合わせください

秋田活版印刷株式会社

〒011-0901 秋田県秋田市寺内三千刈110-1
TEL 018-888-3500 FAX 018-888-3505



沿岸域の環境創造

五洋建設が培ってきた海洋土木技術は、
多岐にわたる沿岸域の再生と創造を可能にします



総合建設コンサルタント

豊かな社会づくりに技術で貢献し、
新しい価値の創造と夢を実現します。



YON-C
よんでんぎじゅつ

株式会社 **四電技術コンサルタント**

代表取締役社長 **武山 正人**

本 社：〒761-0121 香川県高松市牟礼町牟礼1007-3 TEL (087) 845-8881 (代) FAX (087) 887-2205
支 店：高松、徳島、高知、松山 / 事務所：東京 / 営業所：池田
ホームページ：http://www.yon-c.co.jp





熊谷組



佐藤工業



TEKKEN

鉄建



飛島建設

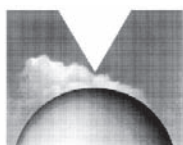


西松建設



HAZAMA

ハザマ



MAEDA

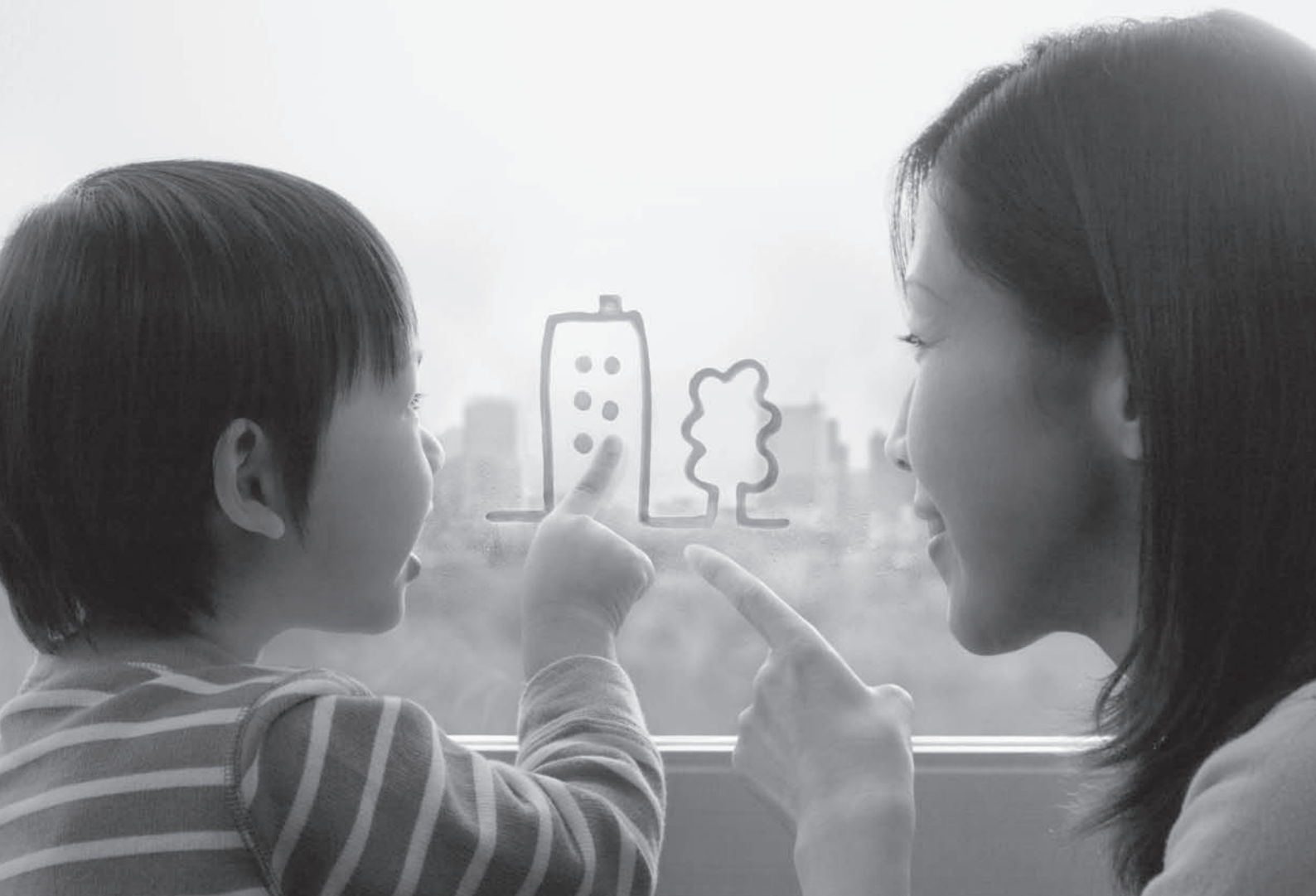
前田建設

時をつくる　　ところで創る

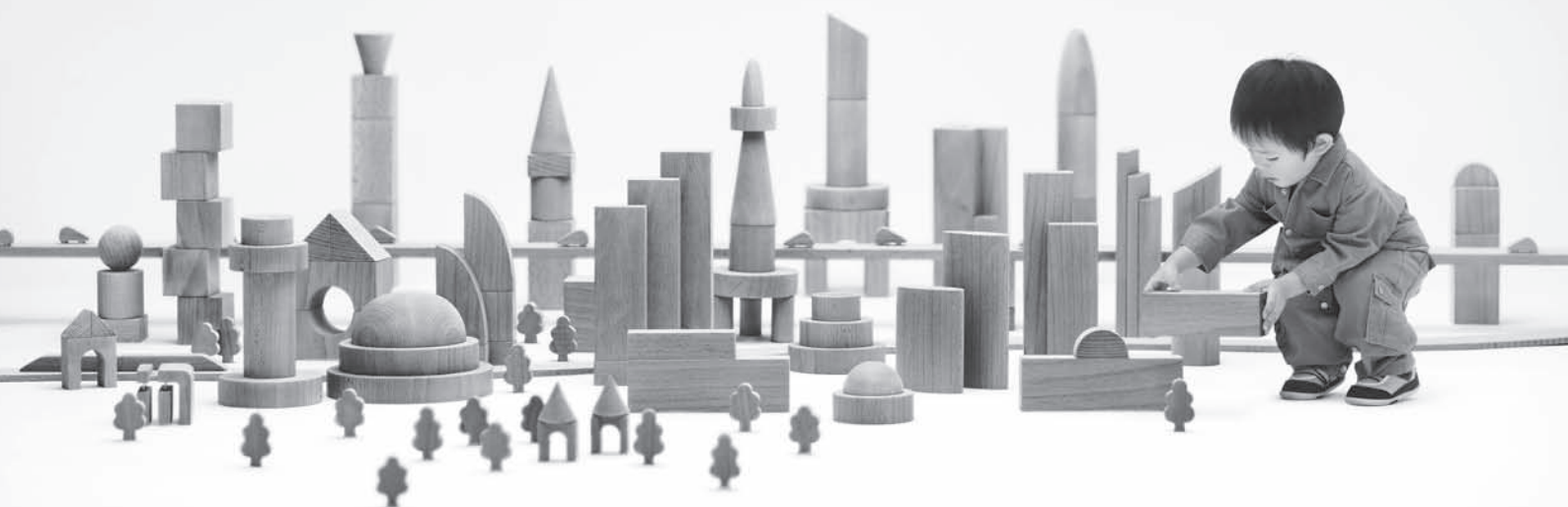
子どもたちが大人になっていくように、
街も健やかに育っていくと、
そこで暮らすみんなに幸せが広がります。

わたしたち大林組は、
親が子どもたちに愛情を注ぐように、
ところを込めて、建物や街をつくっています。

みんなの未来を、夢のある時間で満たすために。



想像を、チカラに。



フランス人の小説家、ジュール・ヴェルヌが残したという言葉があります。「人が想像できることは、必ず人が実現できる」

100年以上も前に彼が空想したロケットや携帯電話が、世界の常識になっている今日。私たちは、「想像」の可能性を否定することはできません。いま、私たちが建設するひとつひとつが、地球の上でどんな存在なのかが問われる時代。これから築かなければいけないのは、人と地球のいい関係です。100年先、200年先、ずっと先の未来まで。私たちは、想像します。たとえいま困難に思えることでも、やがて世界の常識になる日が来るために。

人が想像できることは、必ず人が実現できる。鹿島の都市づくりは、100年先を見つめています。



子どもたちに誇れるしごとを。

目を輝かせて何かに没頭していたあの頃から、私たちのものづくりへの気持ちは変わりません。

ずっと思い描いてきた夢や情熱を、建造物に込めて未来へ伝えていきます。

SHIMIZU CORPORATION 
清水建設

For a Lively World



大成建設の技術で実現する未来都市

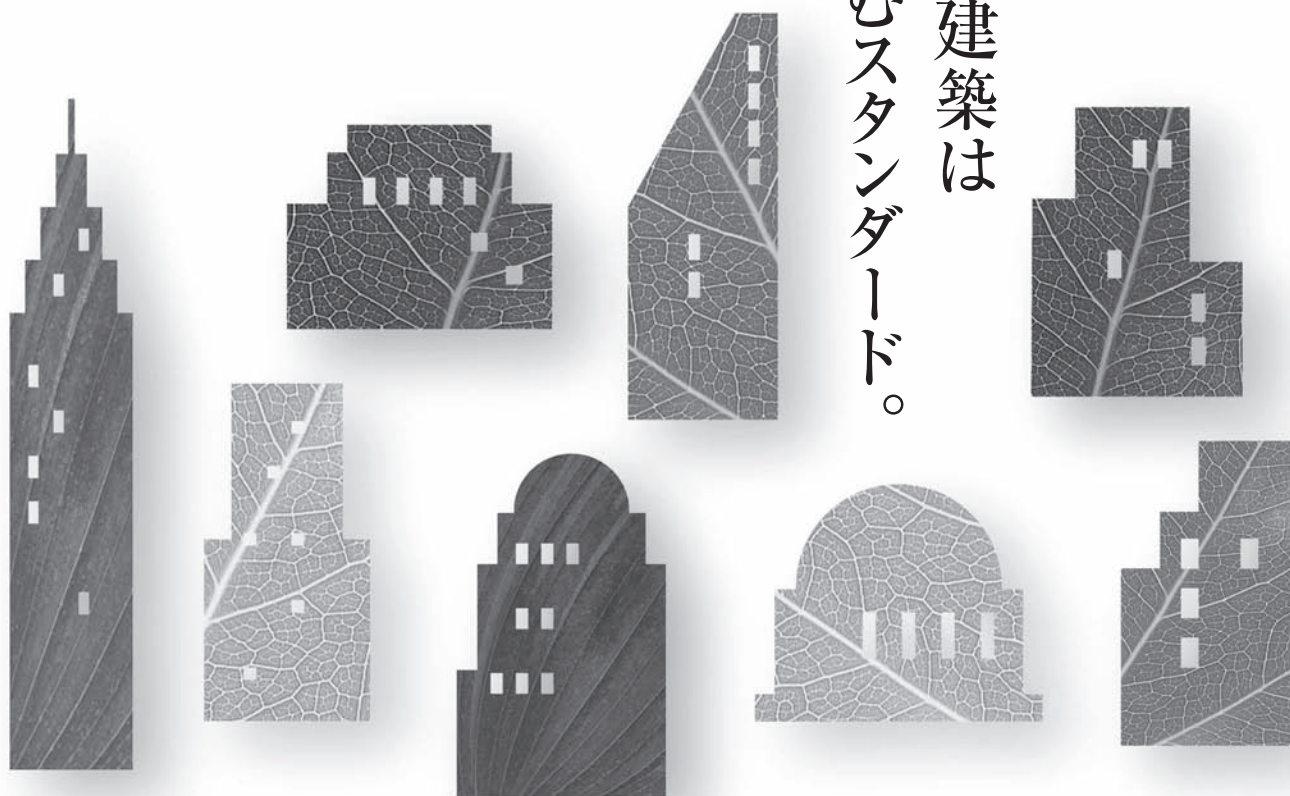
わたしたちは“人がいきいきとする環境を創造する”というグループ理念のもと、
自然との調和の中で、安全・安心で魅力ある空間と豊かな価値を生み出してきました。
For a Lively World…この思いとともに、これまで育んできた技術を、さらに高め次の世代へ。
わたしたちは、夢と希望に溢れた地球社会づくりに取り組んでいきます。

地球がいきいき、人もいきいき。大成建設がめざす未来です。



大成建設株式会社

サステナブル建築は
地球がのぞむスタンダード。



**SUSTAINABLE
WORKS®**
サステナブル・ワークス

持続可能な社会を未来へ

例えば、生物多様性の保全、資源循環の推進、
地球温暖化対策……。

美しい地球を未来の子供たちに遺すため、
建築に課せられたテーマは、たくさんあります。

私たちは、皆さまのパートナーとして

サステナブルな社会を、一緒に築き上げたいと願っています。

想いをかたちに

 **竹中工務店**

お問い合わせは ————— 広報部へ
〒136-0075 東京都江東区新砂1丁目1-1 Tel.03(6810)5140
〒541-0053 大阪市中央区本町4丁目1-13 Tel.06(6263)5605

マスコンクリートの3次元温度応力解析専用プログラム

目地検討も

らくらく
温度応力

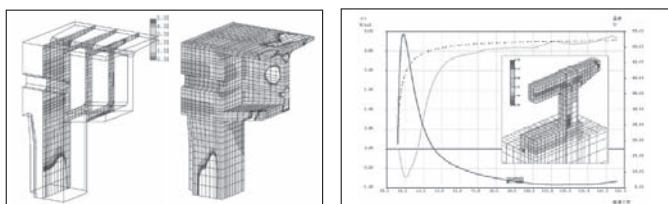
ASTEAMACS

最強バージョンアップ V6新規リリース

MACS スタンダード版

土木学会RC標準示方書
JCIひび割れ制御指針2008
建築学会マスコン指針に準拠

マスコンクリートの温度応力検討専用開発されたシステムで、土木学会標準示方書・建築学会マスコン指針に準拠しています。コンクリート打設に伴う境界条件の変化や水和発熱・養生条件などを考慮した3次元非定熱伝導計算と強度発現を伴う温度応力計算を一貫して行なうことが出来ます。プリ・ポスト機能を重視し、標準データベースのデフォルト設定など解析初心者にも優しい設計となっております。(CSの機能はすべて含まれております)



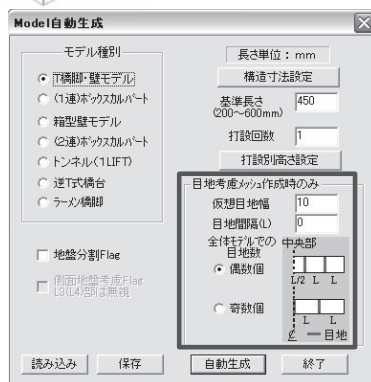
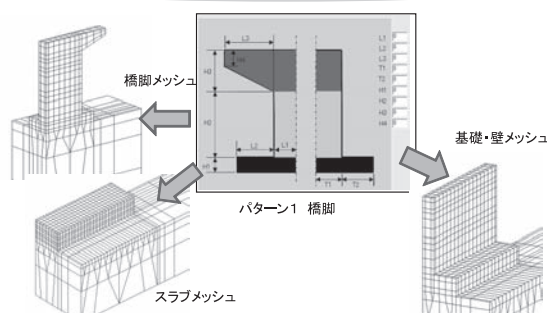
	パイプクーリングなし	パイプクーリングあり
経験最高温度		
経験最小ひび割れ指数		

現場向けオートメッシュ搭載MACS

MACS CS Construction Site

現場の技術者が手軽に温度応力評価ができます。スタンダード版との互換性があるので、更に詳細な検討につなぐことが可能です。解析対象構造を限定し、主要な機能のみのコンパクト版です。メッシュ、物性データ、境界条件の自動設定により、作業時間を大幅に短縮できます。

サイズを入力するだけで簡単にメッシュが完成します。



目地の検討も
簡単です。

バージョンアップして更に使いやすく、更にお求め安くなりました。

ASTEAMACS for Windows スタンダード版			MACS-CS
年間ライセンス	3ヶ月ライセンス	1ヶ月ライセンス	年間ライセンス
400,000円～	250,000円～	180,000円～	300,000円

上記はすべてサポート込の価格です。

お問い合わせ先は

Research Center of Computational Mechanics, Inc.
RCCM 株式会社 計算力学研究センター

〒142-0041 東京都品川区戸越1-7-1 戸越NIビル
TEL.03-3785-3033 FAX.03-3785-6066
E-mail: macs@rccm.co.jp http://www.rccm.co.jp

SE CORPORATION

For a high-quality social infrastructure

SEEE工法を主力とするエスイーは、土木技術を高性能化するコア・テクノロジーを柱に、高架橋や斜張橋などの社会インフラ事業分野で建設コストの削減、工期の短縮、施工性向上などを実現するとともに、国際競争力を持つトータルエンジニアリングメーカーとして新製品・新技術の開発を行い、高品質を保証した製品、ニーズに応えたソリューションを国際競争の視点で提案しています。



● 矢部川大橋 平成21年3月14日開通



● 鷹島肥前大橋 平成21年4月18日開通



● 鉾子大橋 平成21年3月24日開通

● 矢部川大橋

2009年3月14日開通した有明海沿岸道路の「矢部川大橋」。福岡県のみやま市高田町と柳川市大和町を結ぶこの橋は、中央支間長が国内最大の261メートルのPC斜張橋です。エスイーがケーブルを提供し、グループ子会社のアンジェロセックも「橋梁形式検討業務」を受注しました。

● 鷹島肥前大橋

2009年4月18日に開通した鷹島肥前大橋。長崎県鷹島と佐賀県肥前町を結ぶ鉄筋コンクリート主塔の斜張橋(840メートル)で、エスイーの斜材ケーブルが使われています。エスイーは架設工事業務も請け負いました。

● 鉾子大橋

2009年3月24日に新橋の一部が供用開始となった「鉾子大橋」。利根川の河口付近、千葉県鉾子市と茨城県神栖市を結ぶ長大橋。建設以来40年以上経過し老朽化が激しくなったため、橋の架け替え工事となりました。今回、新橋の斜張橋部分(400m)の架設が終了し、迂回路として開通しました。エスイーは斜材ケーブルの提供と架設工事業務を請け負いました。

SEC 株式会社 エスイー

URL <http://www.se-corp.com>

本社 〒163-1343 東京都新宿区西新宿6丁目5番1号(新宿アイランドタワー 43F) TEL.03-3340-5500

東京支店 TEL.03-3340-1801
東北支店 TEL.022-792-0450
四国営業所 TEL.087-826-0481
山口工場 TEL.083-989-6666

大阪支店 TEL.06-6245-0921
名古屋支店 TEL.052-229-0311
北陸営業所 TEL.025-285-7581
厚木工場 TEL.046-228-2151

九州支店 TEL.092-473-0191
中国支店 TEL.082-546-1861
北海道営業所 TEL.011-717-5811



ISO9001 認証取得



ISO14001 認証取得

環境認証範囲は山口工場と本社部門

- エスイーグループ会社 株式会社 アンジェロセック／エスイーバイオマステクノ株式会社／エスイー朝日株式会社／株式会社 キョウエイ／
- 海外関連企業 フランス INGEROP／韓国 KOREA SEC・TIS／台湾 九春工業公司／ベトナム V-JEC／



創業
47年
の信頼と実績

学会誌、論文集、季刊誌、機関誌、各種出版物、
一般印刷物などの原稿執筆依頼から校閲校正・
事務処理・印刷・発送まで一貫して承ります。
外部発注にかかわる経費節減と品質向上をお約束します。

エコ用紙、大豆インク、そして廃材廃液を
出さない、環境に配慮した最新のシステ
ムで質と価格にこだわり印刷します。



弊社、株式会社 大 應は昭和 39 年創設以来、主に土
木学会、国公立・私立大学、日本学術振興会、シンク
タンク研究機関、経済産業省・国土交通省・関連協
会団体、自治体、コンサルタンツより商業印刷物な
ど主に学会誌、協会誌、記念誌、パンフレット、ポス
ターなどのデザイン編集制作・印刷を専門に 47
年の実績とデジタル総合技術を持って営業展開し
ております。

弊社では編集技術を駆使し各種データからのカ
ラー印刷システムにて、**工期の短縮・高品質・低価
格のカラー印刷を実現し、一層のコスト削減**におけ
てサービスを展開しております。

グラフィックデザイナーと印刷オペレータが直接
言葉を交わせる環境が大切です。制作部門と印刷を
併設する私達は魅力的な発色にこだわっています。
その他、**高速デジタルオンデマンド印刷**で素早く安
価に提供しております。

是非一度お試しくださいようお願い申し上げます。



最先端のデジタルテクノロジー

株式会社 **大 應**

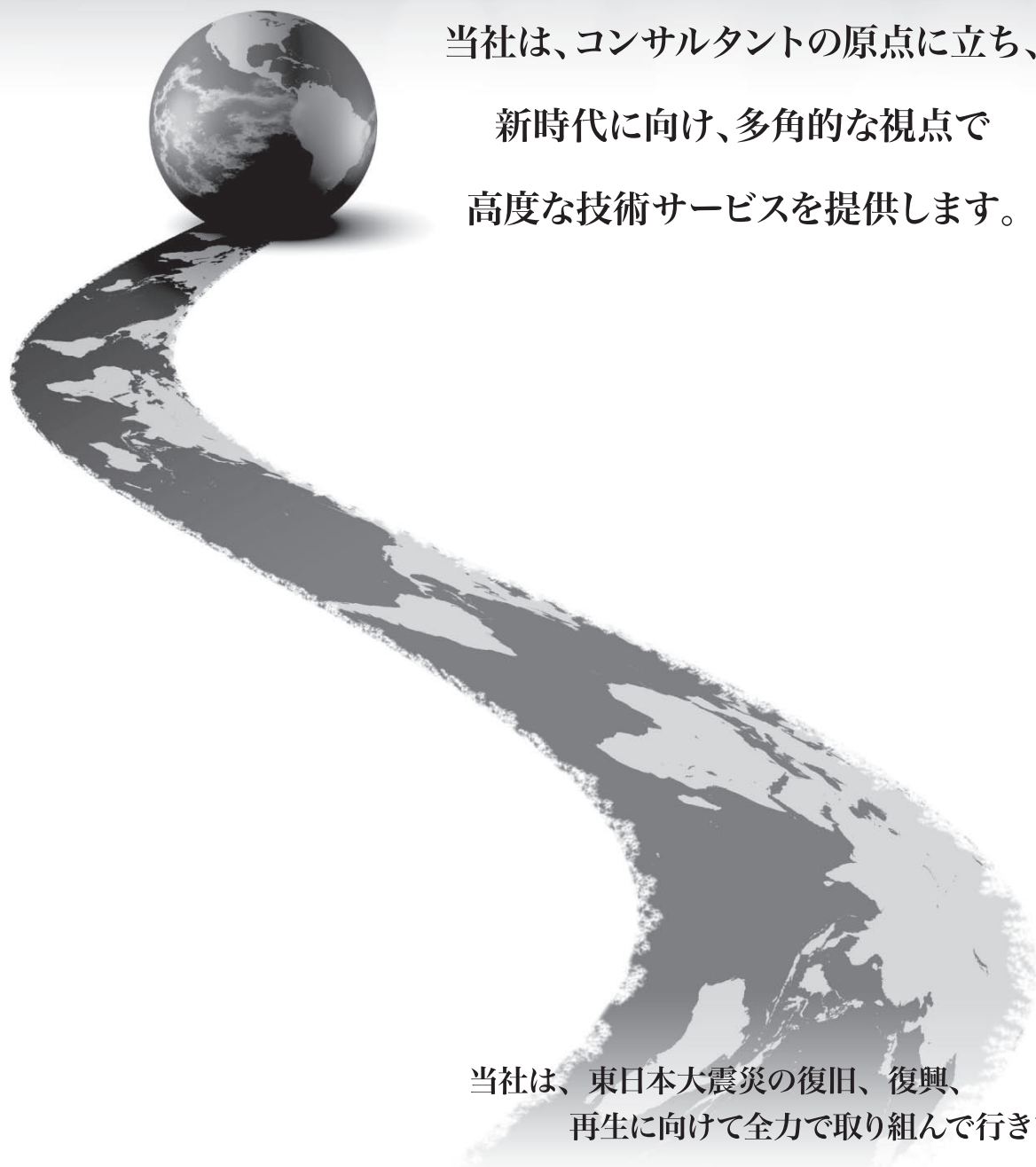
カラー総合技術印刷・情報処理・編集加工・Web制作

〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-7-5

Tel 03(3292)1488 Fax 03(3292)1485

E-mail : p.hatsushiba@dai-oh.co.jp <http://www.dai-oh.co.jp>

Design for Next Age



当社は、コンサルタントの原点に立ち、
新時代に向け、多角的な視点で
高度な技術サービスを提供します。

当社は、東日本大震災の復旧、復興、
再生に向けて全力で取り組んで行きます。



〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-15-6
TEL. (03) 5980-2633 FAX. (03) 5980-2601

<http://www.tokencon.co.jp/>

支社・支店

東京本社（東京）、関西本社（大阪）、東北支社（仙台）、中部支社（名古屋）、中国支社（広島）、
九州支社（福岡）、北海道支店（札幌）、北陸支店（新潟）、四国支店（高松）

事業内容

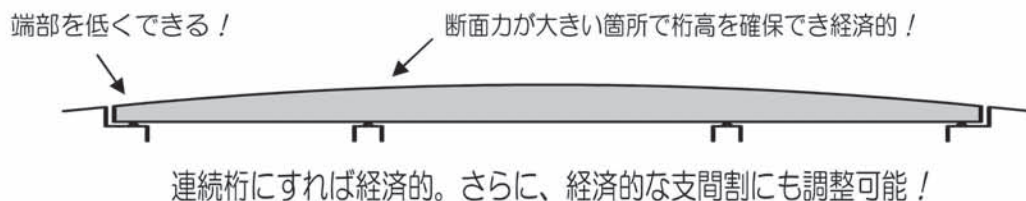
河川計画、河川構造物、河川環境、水質保全、上下水道、道路、橋梁、交通、海岸、ダム、砂防、
環境アセスメント、観測技術、模型実験、都市・地域計画、廃棄物処理、事業執行マネジメント、
防災、LCM、機械電気設備技術、情報通信技術、測量・地質調査、施工管理、建築設計

桁高変化が得意なプレビーム桁橋

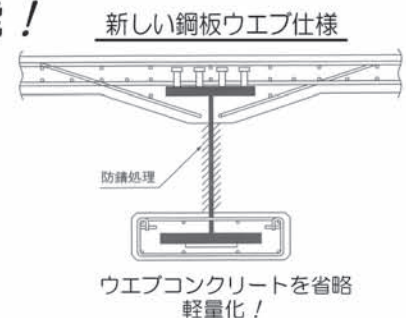
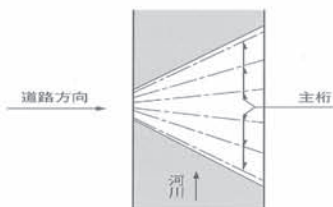
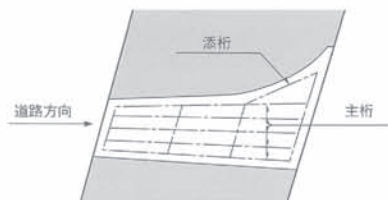


★ 桁剛性が高く、低い桁高が可能！ ★ 分割工法、連続桁が可能！

★ 道路縦断に合わせ、必要な桁高に変化が可能！



★ 他形式では困難とされる道路線形に対応可能！



★ 鋼板ウェブ仕様で、死荷重低減・コストダウンが可能！

★ 40年以上・900橋以上の実績があり、信頼される橋梁。

プレビーム工法 1000件突破！

「カタログ」「設計・施工指針」「標準設計集」「設計・製作・施工要領書」の図書販売、
無料の設計計算プログラム、橋梁の実績等をホームページにて公開中！

プレビーム振興会

<http://www.prebeam.jp>

事務局 〒114-0023 東京都北区滝野川1-3-11 TEL(03)3915-5394
東北支部 〒980-0021 仙台市青葉区中央1-6-35 TEL(022)266-8887
中部支部 〒460-0008 名古屋市中区栄2-4-1 TEL(052)223-8211

北陸支部 〒939-1593 富山県南砺市苗島4610 TEL(0763)22-6669
関西支部 〒550-0014 大阪市西区北堀江1-22-19 TEL(06)6532-4174
九州支部 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-5-19 TEL(092)431-7345

プレビーム振興会会員

賛助会員

●(株)安部日鋼工業
●川田建設(株)
●川田工業(株)
●極東興和(株)

●コアツ工業(株)
●昭和コンクリート工業(株)
●日本高圧コンクリート(株)
●(株)日本ピーエス

●(株)ピーエス三菱
●ピーシー橋梁(株)
●(株)富士ピー・エス

●(株)駒井ハルテック
●(株)メタルワン建材

景観と構造美を調和させるPC構造



平成22年度 土木学会賞田中賞作品部門賞 不動大橋(旧称:ハッ場ダム湖面2号橋)

 社団法人 **プレストレスト・コンクリート建設業協会**

会 長	勝 木 恒 男
副 会 長	則 久 芳 行
//	長 尾 徳 博
専務理事	木 下 賢 司

事務所 〒162-0821 東京都新宿区津久戸町4番6号(第3都ビル)
TEL 03(3260)2535(代) FAX 03(3260)2518

代表取締役社長 永治泰司



21世紀の環境創造にチャレンジします

がんばろう日本

東日本大震災にて甚大な被害を受けられました
皆様に対し、心からのお見舞いを申し上げます。

人々の営みの風景が、
豊かな自然の風景が、
そこにはあった。

私たちは
人と自然が共生する
豊かな「日常」の創出のため
技術と英知を結集し
社会に貢献してまいります。

株式会社 **オリエンタルコンサルタンツ**

TEL. 03-6311-7551 (代)

URL <http://www.oriconsul.com>

地盤工学のための統合ソフトウェア

エスビオフィス [英語版]

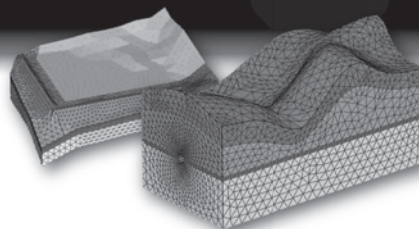


SVOFFICE

Next Generation Geotechnical Software

SoilVision Systems 社が提供する、世界中の地盤工学エンジニア向けの、有限要素と斜面安定性の次世代の数値モデリングソフトウェアテクノロジーです。

SVOFFICE シリーズは、最も高度な技術の 1 次元 / 2 次元 / 3 次元 地盤工学ソフトウェアの総合ソフトウェアパッケージです。自動メッシュ細分化、不飽和土壌、3D 解析のような新しい技術を、すぐに利用・適用できます。



SVOFFICE 有限要素モデリング・ソフトウェア



浸水・地下水モデリング

SVFLUX



汚染物質輸送モデリング

CHEMFLUX



地層温度モデリング

SVHEAT



斜面安定モデリング

SVSLOPE



応力変形モデリング

SVSOLID



土壌蒸気抽出モデリング

SVAIRFLOW



知識ベースの土壌データベース

SOIL VISION

関連製品

SVOFFICE を選ぶ 10 の理由

1. 先進的な斜面安定性解析
2. 先進的なモデル結合
3. 3次元モデリングソリューション
4. 大規模なひずみ稼働型メッシュ
5. 自動メッシュ生成および細分化
6. 物質の性質の空間的な変化
7. 製品の統合
8. 包括的な確率的解析
9. ソリューションのカスタマイズ
10. 広範囲にわたる土壌データベース

開発元

**SOIL VISION
SYSTEMS LTD.**

SURFER®

サーファー [英語版]

科学者とエンジニアのための 等高線・3D 地表マップ作成ツール

Surfer は、もっともパワフルで、フレキシブルで、使いやすい等高線・3D 地表マップ作成ツールです。Surfer を使えば、XYZ データをもとに、高画質のカラー等高線マップ、地表マップ、ワイヤーフレームマップ、陰影のある起伏をもつ地図、イメージマップ、ポストマップ、ベクトルマップなどを精密にしかもスピーディーに作成できます。

開発元

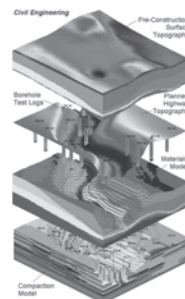
**Golden
Software**

RockWorks™

ロックワークス [英語版]

地質情報の管理・分析・視覚化

RockWorks は、石油、環境、地盤工学、採鉱といった産業において、地中データを可視化する標準的プログラムとして広く普及しており、この分野でよく利用されるマップ、ログ（柱状図）、クロスセクション（断面図）、フェンスダイアグラム、ソリッドモデル、ポリュメトリクスといった役立つツールが装備されています。



開発元

RockWare®

知的創造性を支援するソリューションカンパニー



HULINKS 株式会社ヒューリンクス

TEL:03-5642-8380 FAX:03-5642-8381

ヒューリンクス取扱い製品の最新情報は下記 URL をご覧ください

<http://www.hulinks.co.jp/>

お問い合わせはこちら: soft.sales@hulinks.co.jp

※記載された会社名およびロゴ、製品名などは各社の商標または登録商標です。

公益社団法人 土木学会は 技術・学術・文化・人の 融合の場です

現在、学生会員を含めた土木学会個人会員数は、約36,000人です。
個人会員は土木学会を通じて、様々な分野で活躍している会員と交
流することができます。公益社団法人として、社会に寄与する技術、
学術、文化、人の四輪が融合するのが、土木学会です。
皺(四輪)がよるまで、土木学会員。
入会は随時受け付けております。手続きは土木学会ホームページ
(www.jsce.or.jp)より簡単に行うことができます。



ここを
クリック

会員募集概要

土木学会は、土木に携わる方、土木に関心をお持ちのすべてのの方々の参加をお待ちしています。
お気軽にお問い合わせください。

正会員

① 個人

- ・土木工学や土木事業に関心がある方
- ・土木工学に関する専門的あるいは実践的知識を更に深めたい方
- ・土木工学や土木事業に関する知識や経験をより広く活用したい方

など、当学会の活動に賛同される個人

② 法人

建設業、建設コンサルタント、その他土木に関連する事業を行い、土木技術を有する法人

学生会員

土木工学に関する専門的知識を修めるため、大学、工業高等専門学校、高等学校
およびこれらに準ずる学校に在学中の方

※聴講生、研究生を除きます。

特別会員

学会の活動に賛同し、ご支援、ご協力いただける法人

※法人会員・特別会員については、別に定める申込方法・会費等がありますのでホームページを
ご覧いただくか、お問い合わせ下さい。



© 2009 Central Japan Railway Company



お問合先

公益社団法人 土木学会 事務局会員課

TEL : 03-3355-3443 FAX : 03-5379-2769 E-mail : member@jsce.or.jp

<http://www.jsce.or.jp>

公益社団法人 土木学会では、魅力ある多数の特典を用意し、皆様の入会をお待ちしております。

1 新しい知識の習得とネットワークづくりに役立ちます！

- 人材・技術情報が満載の「土木学会誌」(年12冊)が配布されます。
- 本会が発行する刊行物(既刊200冊、毎年新刊20冊程度)を会員特価(原則1割引)・送料無料で購入できます。
- 土木図書館蔵書の書籍を無料で閲覧できます。
- 本会が主催する全国大会・講演会等で発表ができます。
- 本会が主催する講習会・シンポジウム等(年間約130回)に会員特価で参加できます。
- 学会論文デジタルコンテンツ(25万件)を閲覧することができます。
- 土木学会誌等によって、土木技術や社会の動き等の最新の情報や土木遺産・文化を知ることができます。
- さまざまな学会行事や海外26協定学協会行事の情報を入手できます。
- 種々の委員会に参加することにより、その分野の専門家と交流ができます。
- 最新ニュースが月1回メールにて配信されます。

2 自己啓発に役立ちます！

土木学会の継続教育プログラム(講習会、講演会、シンポジウム等)に会員特価で参加でき、土木学会認定土木技術者、技術士、APECエンジニア、RCCM、土木施工管理技術士等の資格をお持ちの方のCPD(継続教育)単位の取得に役立ちます。技術士1次試験の合格率は、非会員と比較して本会会員の方が高い傾向にあります。

また、論文賞、技術賞をはじめ、各種表彰があり、会員のキャリアアップに役立ちます。

3 社会的信用が得られます！

土木学会は、災害等の発生時に調査団を派遣し、また、科学的根拠と合意形成に基づいた社会基盤整備や地球温暖化の対策への提言を行っております。土木学会の会員になることは、土木技術者としての自覚を持って社会に貢献しようとする意思表示の証です。日々の活動を行うことにより、土木技術者としての社会的信用が得られます。

4 充実した支部活動により身近でさまざまな特典が得られます！

全国の8支部では、支部独自の活動により、さまざまな情報・プログラムの提供を行っています。また、市民講座、小中高生見学会など、一般向けのプログラムを通じ、地域の教育・文化活動にも貢献しています。

- 各種講習会、選奨土木遺産の選定、支部表彰(各支部)
- 学生の将来設計を支援するVISIT(職場訪問)事業(北海道支部)
- 東北の土木技術を語る会(東北支部)
- コンクリートカヌー大会(関東支部)
- 体験型見学会「エクスカージョン」(中部支部)
- 小中高生見学会と教員免許更新講習会支援(関西支部)
- 「身近な土木を描いてみよう!」図画コンクール&授賞式(中国支部)
- 2橋(明石海峡大橋・大鳴門橋)まるごと体験ツアー(四国支部)
- 韓国土木学会との交流(西部支部)

5 自己啓発のための経済的負担が軽減されます！

土木学会の個人会員になると、非会員と比べて年会費の2倍以上の特典が得られます。

項 目	会 員	非会員	差 額
会 費	12,000 円	0 円	△ 12,000 円
学会誌	0 円	1,800 円×12 冊/年	21,600 円
オンラインジャーナルの閲覧	閲覧可 (年間購読料 4,000 円)	閲覧不可	
全国大会参加費	10,000 円	20,000 円	10,000 円
講習会参加費(例:「新しい高性能鋼材の利用技術に関する講習会」)	5,000 円	7,000 円	2,000 円
学会出版物購入(〔例〕2007 年制定 コンクリート標準示方書【施工編】+ 送料)	6,240 円 + 0 円	6,930 円 + 590 円	1,280 円
土木図書館利用	無料	400 円	400 円
土木学会 CPD システム利用(年間)	無料	6,000 円	6,000 円
合 計	33,240 円	62,520 円	29,280 円



頼れるパートナー、土木学会

世界に誇れる技術と英知で 安全で潤いのある 豊かな社会づくりに挑戦する



「耐震性能グレードを考慮したハーバーハイウェイ長大橋部の耐震補強事業」が平成22年度土木学会関西支部技術賞を受賞しました。

本事業は、神戸港ハーバーハイウェイに架かる6つの長大橋の合理的な耐震対策を行うため、個別の耐震性能グレード（要求性能）を設定し、補強事業を設計したものです。この設計方法は従来の仕様設計の枠を超えた新たな性能設計の考え方です。当社はその中で、各長大橋の耐震性能グレードの設定と3橋（六甲大橋、灘大橋、住吉浜大橋）の耐震補強設計を行いました。

◀ 六甲大橋の写真

CTi 株式会社 **建設技術研究所**

本社：〒103-8430 東京都中央区日本橋浜町 3-21-1（日本橋浜町 F タワー） TEL：03-3668-0451（代）
E-mail：koho-2007@ctie.co.jp <http://www.ctie.co.jp/>

人のため 社会のため 自然のため

おかげさまで
60周年

地球への感謝と感動を次世代へ。

確かな未来へ、パシフィックコンサルタンツ。



 パシフィックコンサルタンツ株式会社 since1951

URL : <http://www.pacific.co.jp>

〒206-8550 東京都多摩市関戸一丁目7番地5 042-372-0111 (大代表)